

大井町
子育て支援に関するアンケート調査
結果報告書

令和6年8月

大 井 町

目次

I	調査の概要	1
1	調査の目的	1
2	調査対象	1
3	調査期間	1
4	調査方法	1
5	回収状況	1
6	調査結果の表示方法	1
II	調査結果	2
1	就学前保護者	2
(1)	お住まいの地域について	2
(2)	封筒の宛名のお子さんご家族の状況について	2
(3)	子どもの育ちをめぐる環境について	8
(4)	宛名のお子さんの保護者の就労状況について	12
(5)	宛名のお子さんの平日の定期的な教育・保育事業の利用状況について	21
(6)	宛名のお子さんの地域の子育て支援事業の利用状況について	31
(7)	宛名のお子さんの土曜・休日や長期休暇中の「定期的」な教育・保育事業の利用希望について	38
(8)	宛名のお子さんの病気の際の対応について（平日の教育・保育を利用する方のみ）	43
(9)	宛名のお子さんの不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用について	51
(10)	こども誰でも通園制度について	55
(11)	宛名のお子さんが5歳以上である方に、小学校就学後の放課後の過ごし方について	56
(12)	すべての方に、育児休業や短時間勤務制度など職場の両立支援制度について	61
(13)	子どもの権利について	72
(14)	ヤングケアラーについて	74
(15)	大井町の子育て関連の取り組み全般について	75
2	小学生保護者	79
(1)	お住まいの地域について	79
(2)	封筒の宛名のお子さんご家族の状況について	79
(3)	子どもの育ちをめぐる環境について	85
(4)	宛名のお子さんの保護者の就労状況について	88
(5)	宛名のお子さんの病気の際の対応について	97
(6)	宛名のお子さんの不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用について	104
(7)	宛名のお子さんの放課後の過ごし方について	108

(8) 子どもの権利について.....	115
(9) ヤングケアラーについて.....	117
(10) 大井町の子育て関連の取り組み全般について.....	118
3 小学生・中学生・高校生.....	122
(1) あなた自身のことについて.....	122
(2) 「あなたの気持ち」について.....	122
(3) 困っていること、つらいことの相談について.....	126
(4) 「あなたの意見を言う機会」について.....	128
(5) あなたの生活のことについて.....	138
(6) あなたの将来について.....	144
(7) その他について.....	147
Ⅲ 記述意見.....	148
(1) 制度・事業・町の取組・費用.....	148
(2) 預け先確保・待機児童.....	150
(3) 窓口・相談・情報・手続き.....	151
(4) 子ども・子育て・教育.....	152
(5) 仕事と子育て・就労・育休.....	154
(6) 健康・医療・障害.....	154
(7) 施設・設備・サービス拡充.....	155
(8) 生活環境・地域環境・安全.....	156
(9) 学校の設備について.....	158
(10) 公園について.....	159
(11) 公共施設（公園、学校以外）の充実.....	160
(12) 地域イベントについて.....	161
(13) 安全、安心について.....	162
(14) 教育環境について.....	162
(15) 環境への配慮について.....	163
(16) 支援について.....	164
(17) その他.....	164
Ⅳ 調査票.....	166
1 就学前保護者.....	166
2 小学生保護者.....	178
3 小学生.....	186
4 中学生.....	190
5 高校生.....	194

I 調査の概要

1 調査の目的

本調査は、「大井町子ども・子育て支援事業計画」の見直しに当たり、計画策定の基礎資料を得ることを目的として実施したものです。

2 調査対象

未就学児保護者：大井町在住の小学校就学前のお子さんがある世帯

就学児保護者：大井町在住の小学生のお子さんがある世帯

小学生：大井町内の小学校に通っている児童

中学生：大井町内の中学校に通っている生徒

高校生：大井町内在住の高校生徒

3 調査期間

令和6年7月12日～令和6年7月31日

4 調査方法

郵送による配布・回収

※中学生のみ、郵送による配布・回収に加え、WEB回答

5 回収状況

	配布数	有効回答数	有効回答率
未就学児保護者	400通	158通	39.5%
就学児保護者	399通	134通	33.6%
小学生	242通	189通	78.1%
中学生	149通	45通（うちWEB回答7通）	30.2%
高校生	182通	50通	27.5%

6 調査結果の表示方法

- ・回答は各質問の回答者数（N）を基数とした百分率（%）で示してあります。また、小数点以下第2位を四捨五入しているため、内訳の合計が100.0%にならない場合があります。
- ・複数回答が可能な設問の場合、回答者が全体に対してどのくらいの比率であるかという見方になるため、回答比率の合計が100.0%を超える場合があります。
- ・クロス集計の場合、無回答を排除しているため、クロス集計の有効回答数の合計と単純集計（全体）の有効回答数が合致しないことがあります。なお、クロス集計とは、複数項目の組み合わせで分類した集計のことで、複数の質問項目を交差して並べ、表やグラフを作成することにより、その相互の関係を明らかにするための集計方法です。
- ・回答者数が1桁の場合、回答件数による表記としています。また、クロス集計において回答者数が1桁の場合は、コメントを差し控えています。

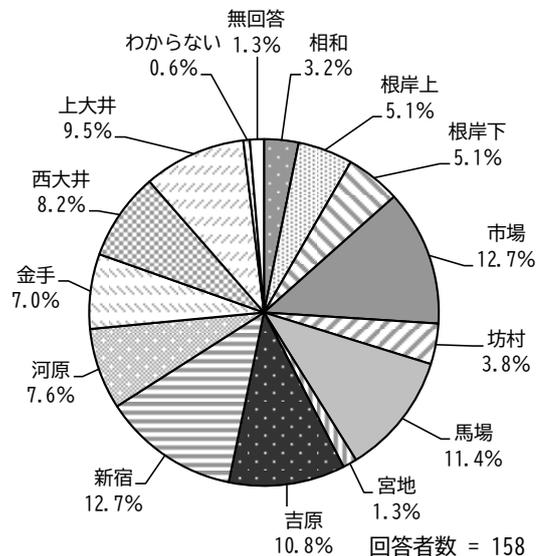
II 調査結果

1 就学前保護者

(1) お住まいの地域について

問1 お住まいの地区（自治会）として当てはまる番号1つに○をつけてください。

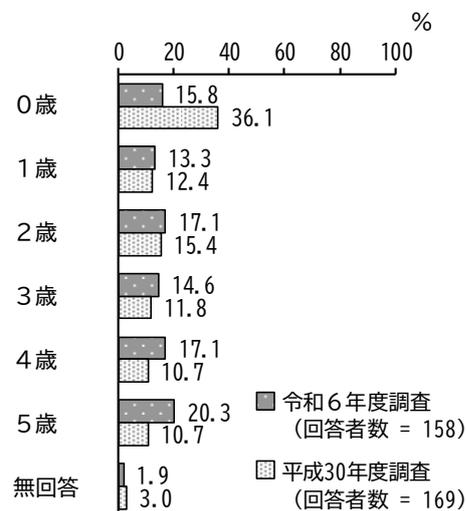
「市場」、「新宿」の割合が12.7%と最も高く、次いで「馬場」の割合が11.4%となっています。



(2) 封筒の宛名のお子さんのご家族の状況について

問2 宛名のお子さんの生年月月をご記入ください。() 内に数字でご記入ください。

「5歳」の割合が20.3%と最も高く、次いで「2歳」、「4歳」の割合が17.1%となっています。平成30年度調査と比較すると、「4歳」「5歳」の割合が増加しています。一方、「0歳」の割合が減少しています。



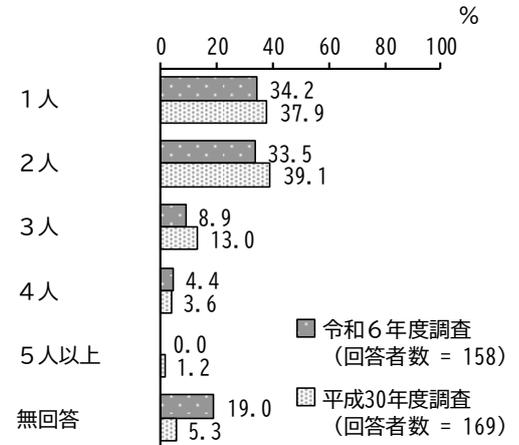
問3 宛名のお子さんのきょうだいは何人いらっしゃいますか。宛名のお子さんを含めた人数を（ ）内に数字でご記入ください。お2人以上のお子さんがいらっしゃる場合は、末子の方の生年月月をご記入ください。

きょうだい数

「1人」の割合が34.2%と最も高く、次いで

「2人」の割合が33.5%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「2人」の割合が減少しています。

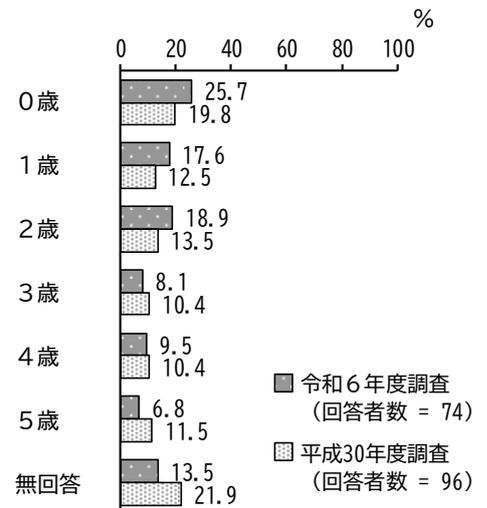


末子の年齢

「0歳」の割合が25.7%と最も高く、次いで

「2歳」の割合が18.9%、「1歳」の割合が17.6%となっています。

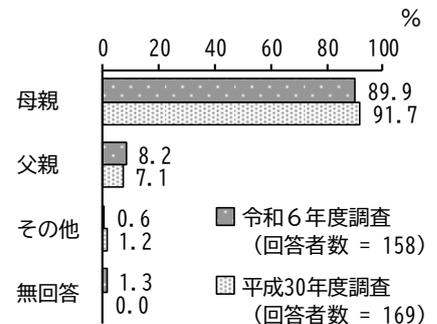
平成30年度調査と比較すると、「1歳」「2歳」の割合が増加しています。



問4 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。宛名のお子さんからみた関係でお答えください。当てはまる番号1つに○をつけてください。

「母親」の割合が89.9%、「父親」の割合が8.2%となっています。

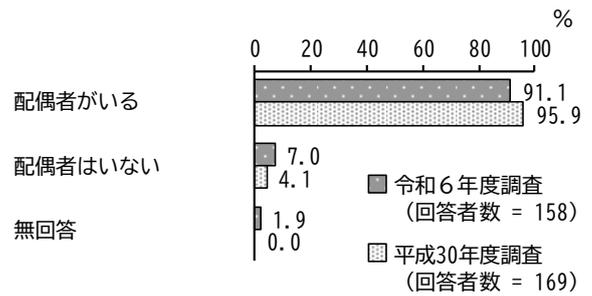
平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



問5 この調査票にご回答いただいている方の配偶関係についてお答えください。当てはまる番号1つに○をつけてください。

「配偶者がいる」の割合が91.1%、「配偶者がいない」の割合が7.0%となっています。

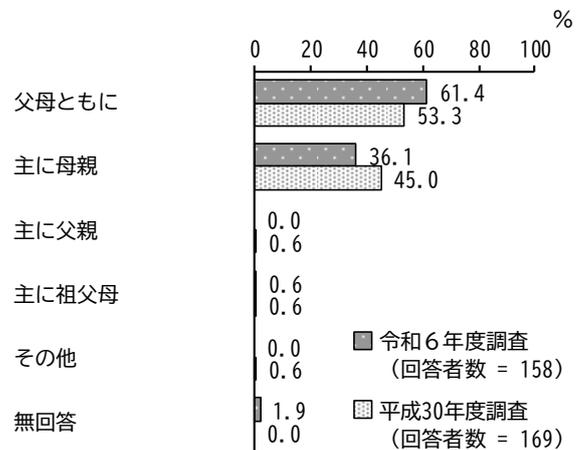
平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



問6 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）を主に行っているのはどなたですか。お子さんからみた関係で当てはまる番号1つに○をつけてください。

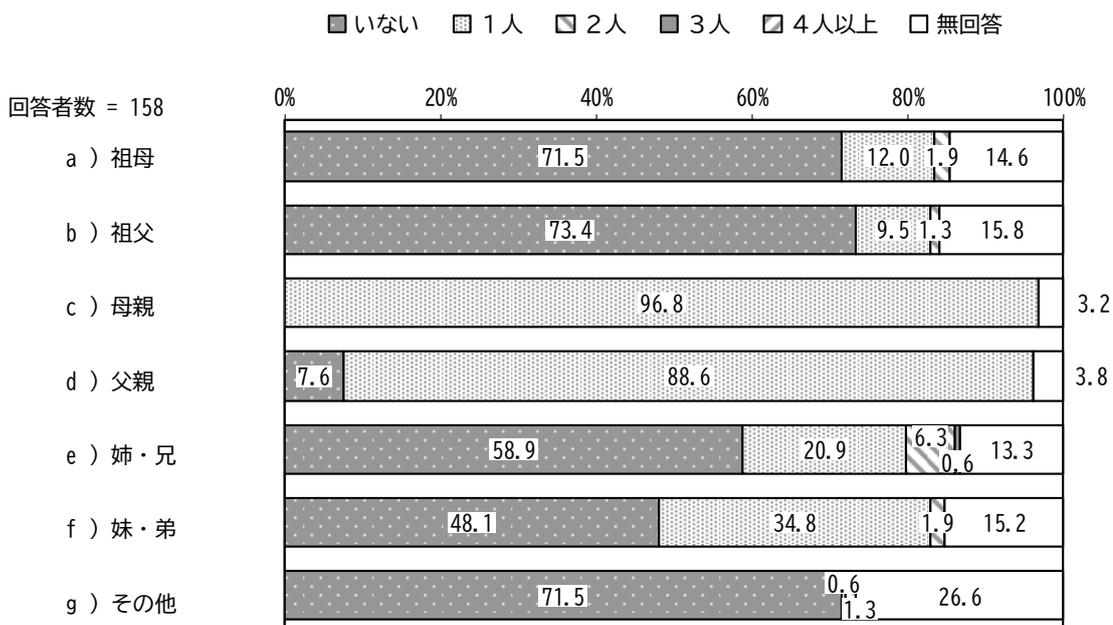
「父母ともに」の割合が61.4%と最も高く、次いで「主に母親」の割合が36.1%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「父母ともに」の割合が増加しています。一方、「主に母親」の割合が減少しています。



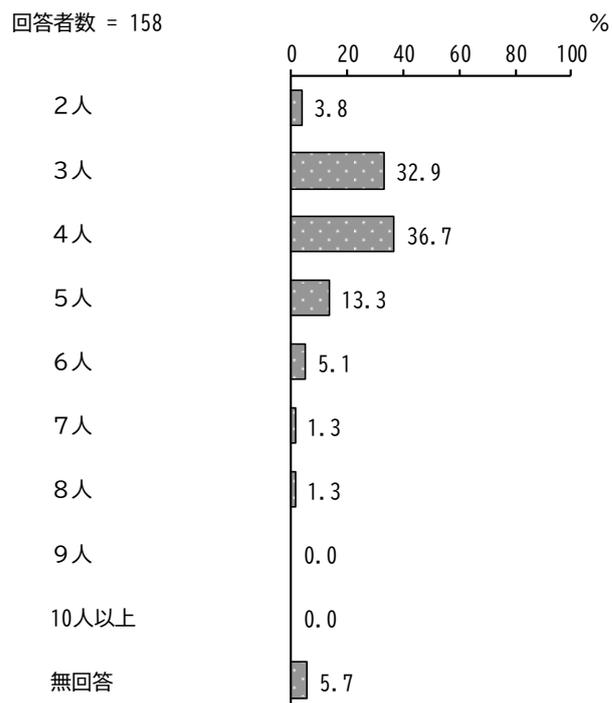
問7 お子さんと同居し、生計を同一にしているご家族の構成と人数をお答えください。単身赴任中の方や学業のために世帯を離れているお子さんがいる場合には、ご家族の人数に含めて教えてください。(a～hは、お子さんから見た続柄です。それぞれについて、当てはまる番号1つに○をしてください。)

『a) 祖母』、『b) 祖父』で、「いない」の割合が高く、70%を超えています。
また、『c) 母親』、『d) 父親』では「1人」の割合が、それぞれ 96.8%、88.6%となっています。



h) 合計人数 (あなたや対象のお子さんを含む)

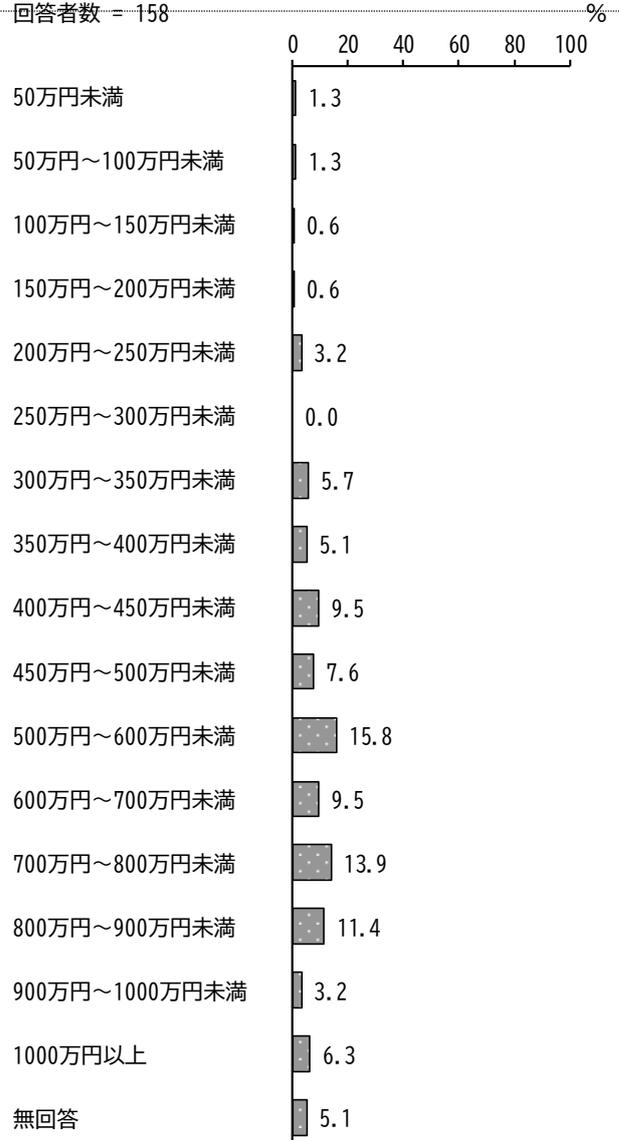
「4人」の割合が 36.7%と最も高く、次いで「3人」の割合が 32.9%、「5人」の割合が 13.3%となっています。



問8 世帯全体のおおよその年間収入（税込）はいくらですか。当てはまる番号1つに○をつけてください。
 ※令和5年の年間収入（生計を同一にしている家族全員の収入）についてお答えください。

回答者数 = 158

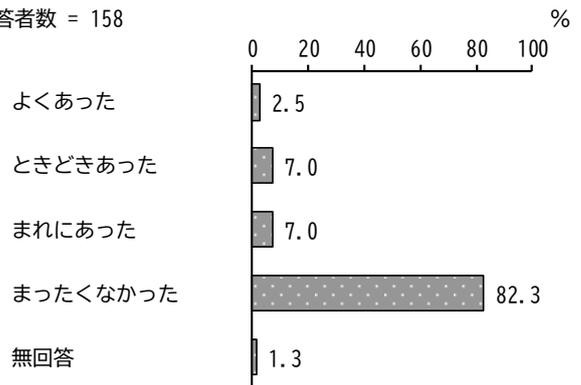
「500万円～600万円未満」の割合が15.8%と最も高く、次いで「700万円～800万円未満」の割合が13.9%、「800万円～900万円未満」の割合が11.4%となっています。



問9 あなたの世帯では、過去1年の間に、お金が足りなくて、家族が必要とする食料が買えないことがありましたか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

「まったくなかった」の割合が82.3%と最も高くなっています。

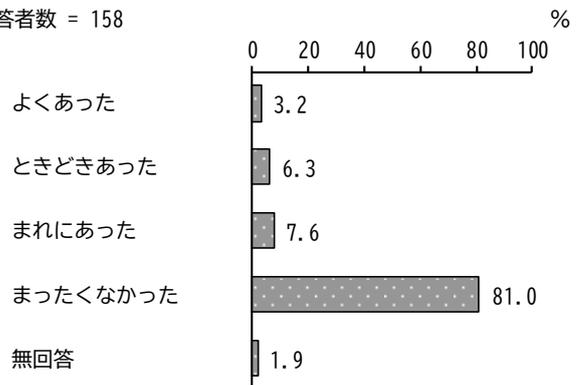
回答者数 = 158



問10 あなたの世帯では、過去1年の間に、お金が足りなくて、家族が必要とする衣服が買えないことがありましたか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

「まったくなかった」の割合が81.0%と最も高くなっています。

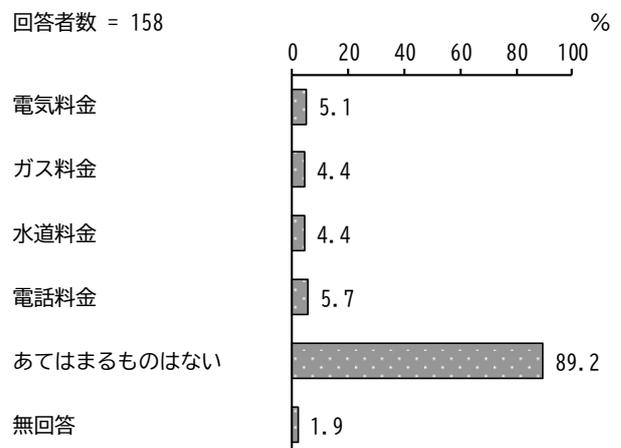
回答者数 = 158



問11 あなたの世帯では、過去1年の間に、以下の料金について、経済的な理由で支払えなかったことがありましたか。電気料金～電話料金については、当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「あてはまるものはない」の割合が89.2%と最も高くなっています。

回答者数 = 158

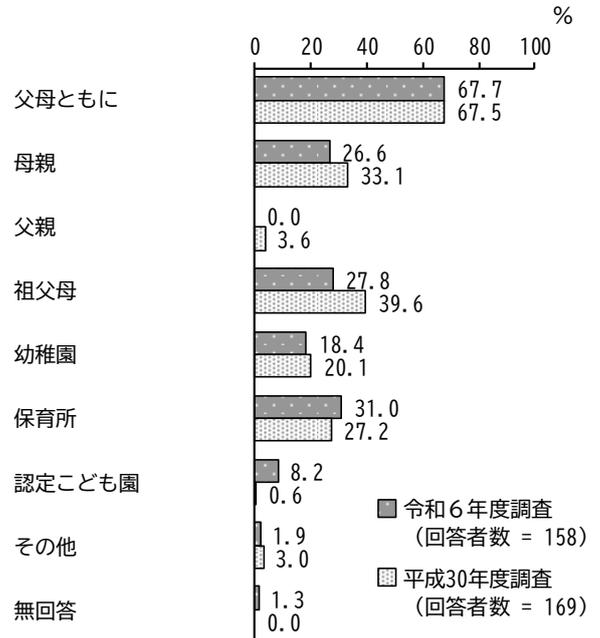


(3) 子どもの育ちをめぐる環境について

問12 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）に日常的に関わっている方はどなた（施設）ですか。お子さんからみた関係で当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「父母ともに」の割合が67.7%と最も高く、次いで「保育所」の割合が31.0%、「祖父母」の割合が27.8%となっています。

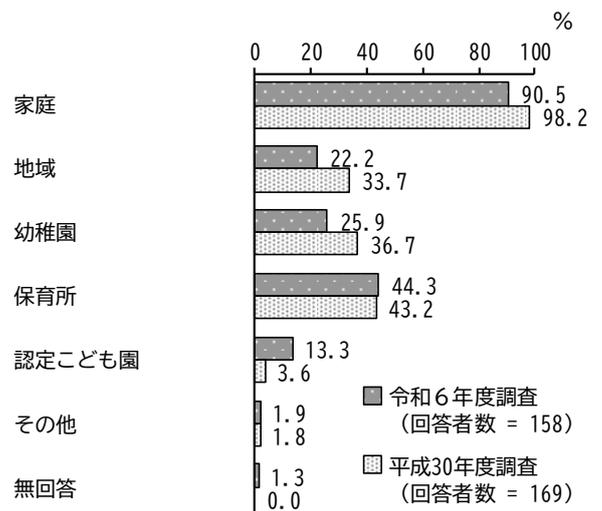
平成30年度調査と比較すると、「認定こども園」の割合が増加しています。一方、「母親」「祖父母」の割合が減少しています。



問13 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）に、もっとも影響すると思われる環境すべてに○をつけてください。

「家庭」の割合が90.5%と最も高く、次いで「保育所」の割合が44.3%、「幼稚園」の割合が25.9%となっています。

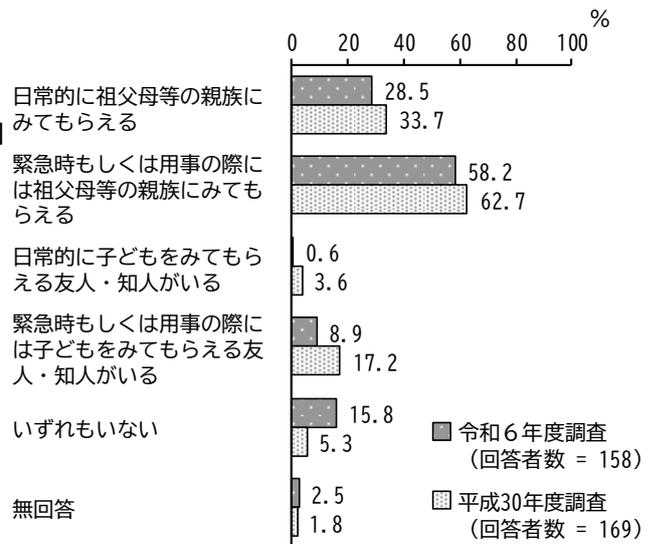
平成30年度調査と比較すると、「認定こども園」の割合が増加しています。一方、「家庭」「地域」「幼稚園」の割合が減少しています。



問 14 日頃、宛名のお子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」の割合が 58.2%と最も高く、次いで「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」の割合が 28.5%、「いずれもない」の割合が 15.8%となっています。

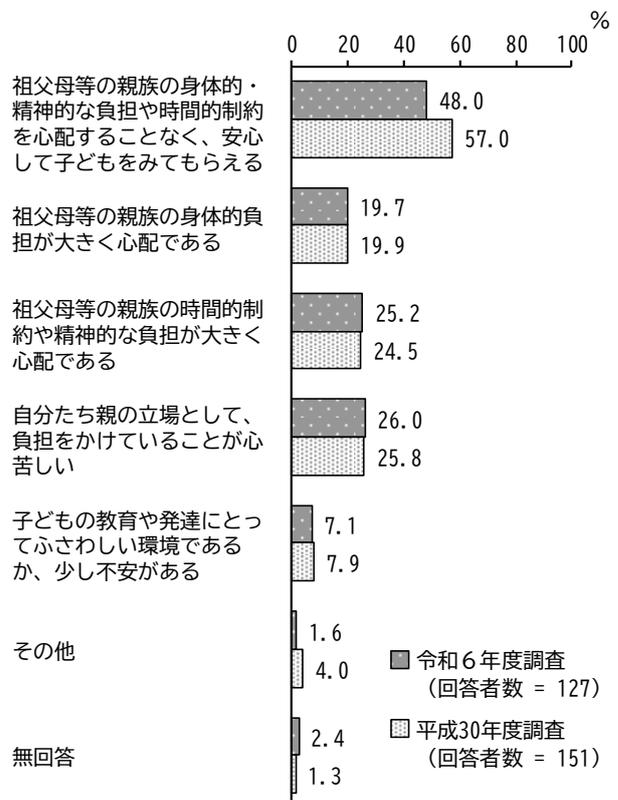
平成 30 年度調査と比較すると、「いずれもない」の割合が増加しています。一方、「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」「緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる」の割合が減少しています。



問 14-1 問 14 で「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」または「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」に○をつけた方にうかがいます。祖父母等の親族にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「祖父母等の親族の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる」の割合が 48.0%と最も高く、次いで「自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい」の割合が 26.0%、「祖父母等の親族の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である」の割合が 25.2%となっています。

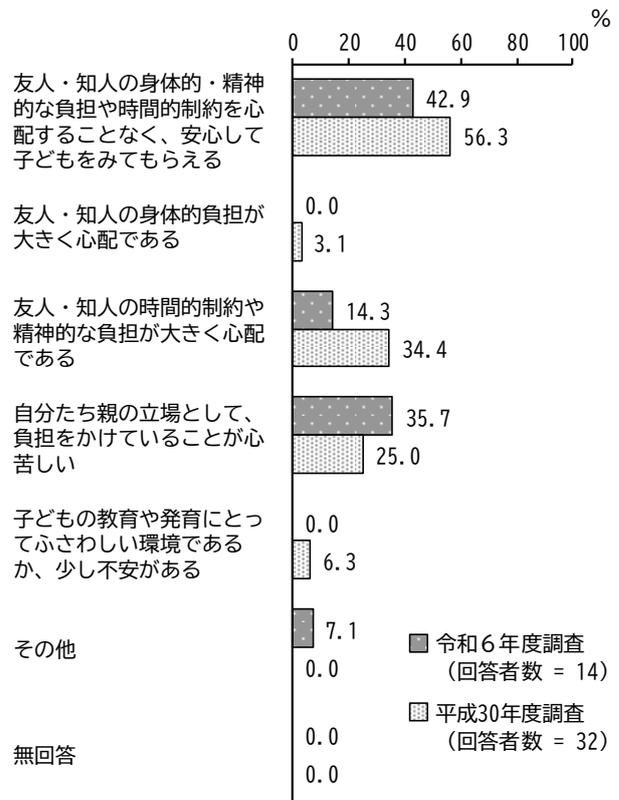
平成 30 年度調査と比較すると、「祖父母等の親族の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる」の割合が減少しています。



問 14-2 問 14 で「日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる」または「緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる」に○をつけた方
 にかがいます。
 友人・知人にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。当てはまる
 番号すべてに○をつけてください。

「友人・知人の身体的・精神的な負担や時間的
 制約を心配することなく、安心して子どもをみて
 もらえる」の割合が 42.9%と最も高く、次いで
 「自分たち親の立場として、負担をかけているこ
 とが心苦しい」の割合が 35.7%、「友人・知人の
 時間的制約や精神的な負担が大きく心配である」
 の割合が 14.3%となっています。

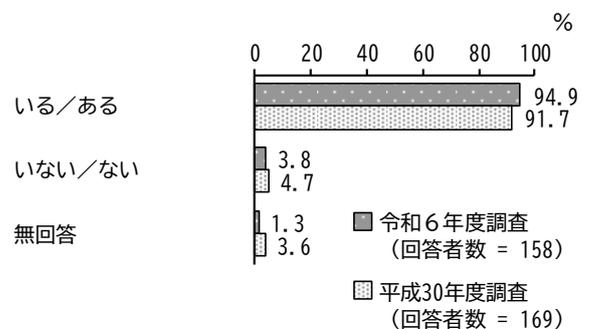
平成 30 年度調査と比較すると、「自分たち親の
 立場として、負担をかけていることが心苦しい」
 の割合が増加しています。一方、「友人・知人の身
 体的・精神的な負担や時間的制約を心配すること
 なく、安心して子どもをみてもらえる」「友人・知
 人の時間的制約や精神的な負担が大きく心配で
 ある」「子どもの教育や発育にとってふさわしい
 環境であるか、少し不安がある」の割合が減少し
 ています。



問 15 すべての方にかがいます。宛名のお子さんの子育て（教育を含む）をする上
 で、気軽に相談できる人はいますか。また、相談できる場所がありますか。当ては
 まる番号1つに○をつけてください。

「いる／ある」の割合が 94.9%、「いない／な
 い」の割合が 3.8%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化は
 みられません。

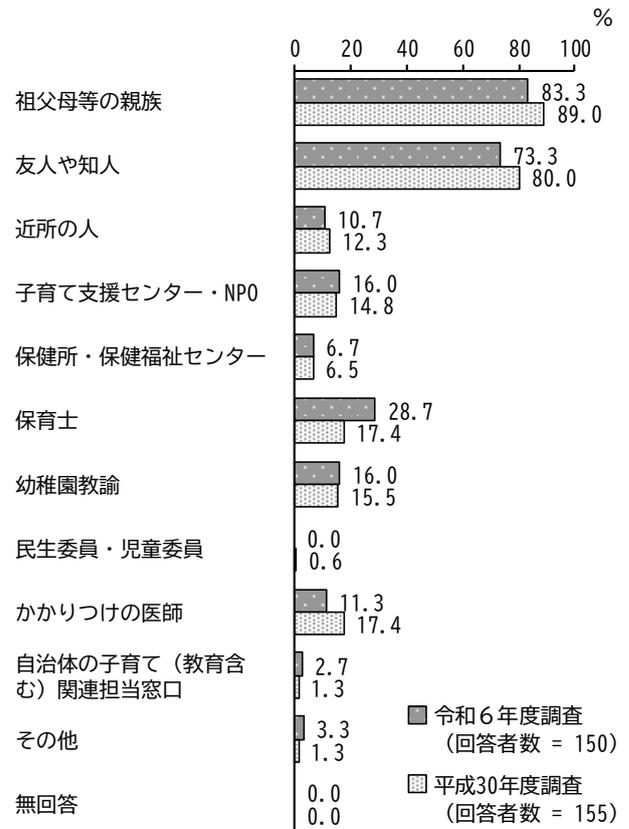


問 15-1 問 15 で「いる／ある」に○をつけた方にうかがいます。

お子さんの子育て（教育を含む）に関して、気軽に相談できる先は、誰（どこ）ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「祖父母等の親族」の割合が 83.3%と最も高く、次いで「友人や知人」の割合が 73.3%、「保育士」の割合が 28.7%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「保育士」の割合が増加しています。一方、「祖父母等の親族」「友人や知人」「かかりつけの医師」の割合が減少しています。



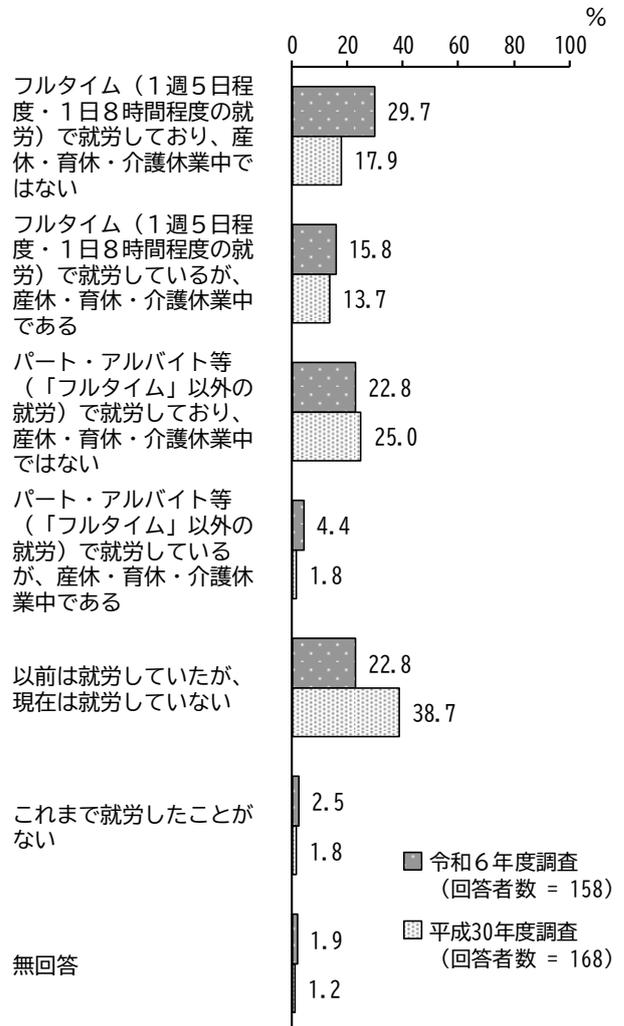
(4) 宛名のお子さんの保護者の就労状況について

問 17 宛名のお子さんの保護者の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）をうかがいます。

(1) 母親【父子家庭の場合は記入は不要です】当てはまる番号1つに○をつけてください。

「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」の割合が29.7%と最も高く、次いで「パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」、「以前は就労していたが、現在は就労していない」の割合が22.8%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」の割合が増加しています。一方、「以前は就労していたが、現在は就労していない」の割合が減少しています。



(1) - 1 (1) で「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない～パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しているが、産休・育休・介護休業中である」に○をつけた方にうかがいます。

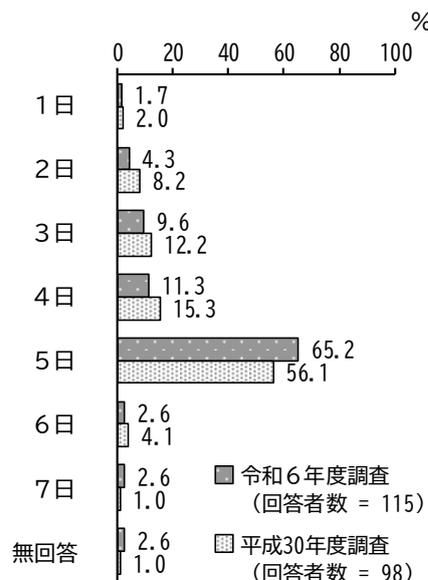
1週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間（残業時間を含む）」をお答えください。就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。（ ）内に数字でご記入ください。

1週当たり就労日数

「5日」の割合が 65.2%と最も高く、次いで

「4日」の割合が 11.3%となっています。

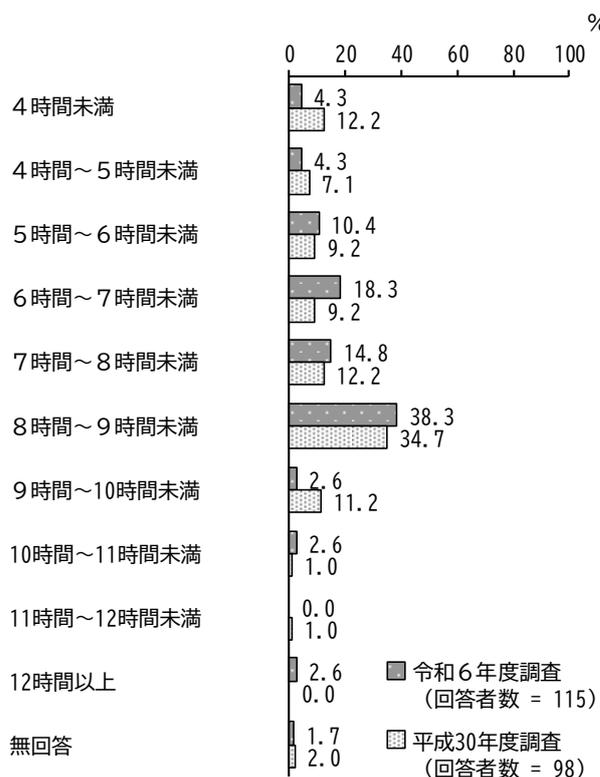
平成 30 年度調査と比較すると、「5日」の割合が増加しています。



1日当たり就労時間

「8時間～9時間未満」の割合が 38.3%と最も高く、次いで「6時間～7時間未満」の割合が 18.3%、「7時間～8時間未満」の割合が 14.8%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「6時間～7時間未満」の割合が増加しています。一方、「4時間未満」「9時間～10時間未満」の割合が減少しています。



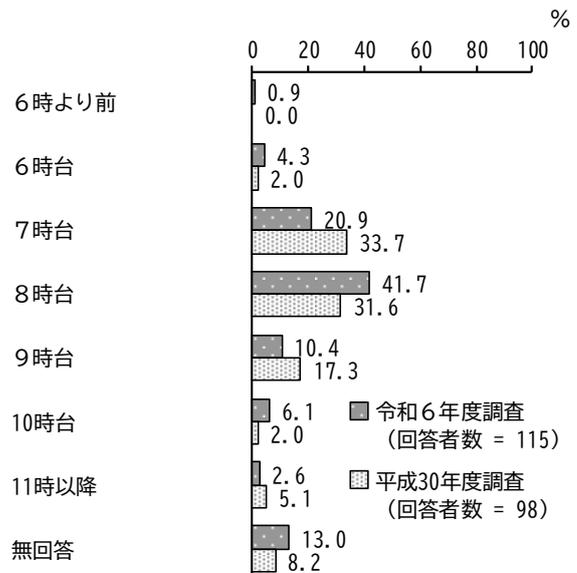
(1) - 2 (1) で「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない～パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しているが、産休・育休・介護休業中である」に○をつけた方にかがいます。

家を出る時刻と帰宅時刻をお答えください。時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。時間は、必ず（例）8時～18時のように、24時間制でお答えください。（ ）内に数字でご記入ください。

家を出る時刻

「8時台」の割合が41.7%と最も高く、次いで「7時台」の割合が20.9%、「9時台」の割合が10.4%となっています。

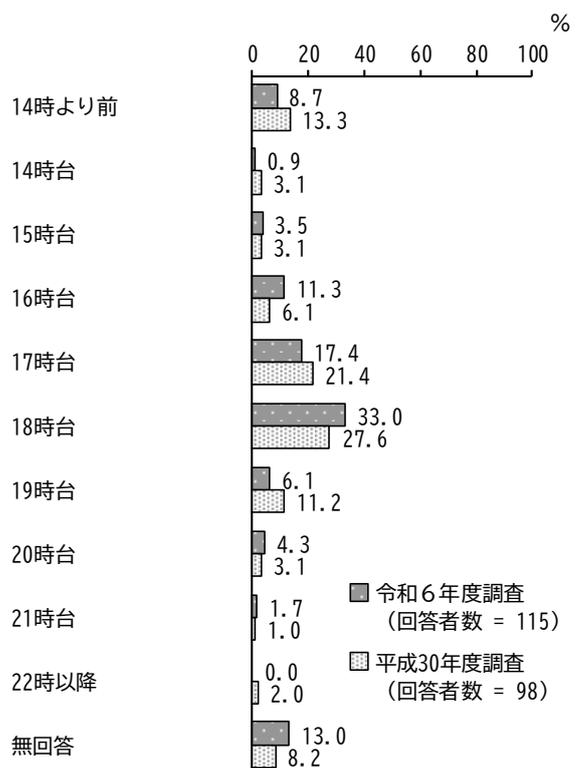
平成30年度調査と比較すると、「8時台」の割合が増加しています。一方、「7時台」「9時台」の割合が減少しています。



帰宅時刻

「18時台」の割合が33.0%と最も高く、次いで「17時台」の割合が17.4%、「16時台」の割合が11.3%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「16時台」「18時台」の割合が増加しています。一方、「19時台」の割合が減少しています。



(2) 父親【母子家庭の場合は記入は不要です】当てはまる番号1つに○をつけてください。

「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しており、育休・介護休業中ではない」の割合が86.1%と最も高くなっています。

平成30年度調査と比較すると、「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しており、育休・介護休業中ではない」の割合が減少しています。

フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しており、育休・介護休業中ではない

フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しているが、育休・介護休業中である

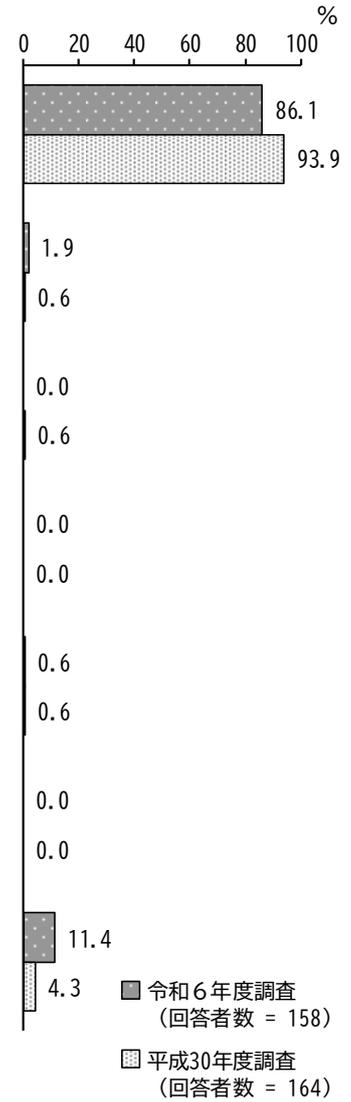
パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しており、育休・介護休業中ではない

パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しているが、育休・介護休業中である

以前は就労していたが、現在は就労していない

これまで就労したことがない

無回答

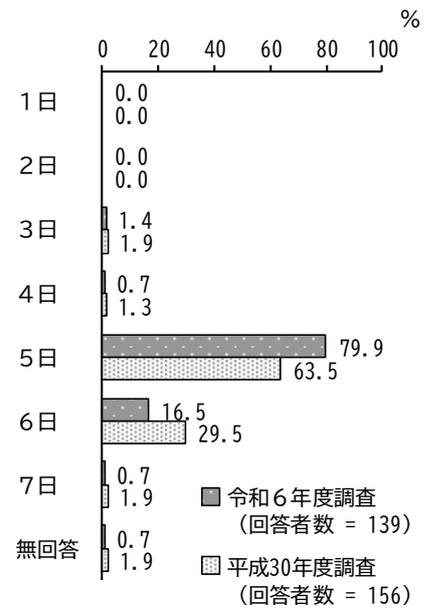


(2) - 1 (2) で「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しており、育休・介護休業中ではない～パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しているが、育休・介護休業中である」に○をつけた方にうかがいます。1週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間（残業時間を含む）」をお答えください。就労日数や就労時間が、一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。（ ）内に数字でご記入ください。

1週当たり就労日数

「5日」の割合が79.9%と最も高く、次いで「6日」の割合が16.5%となっています。

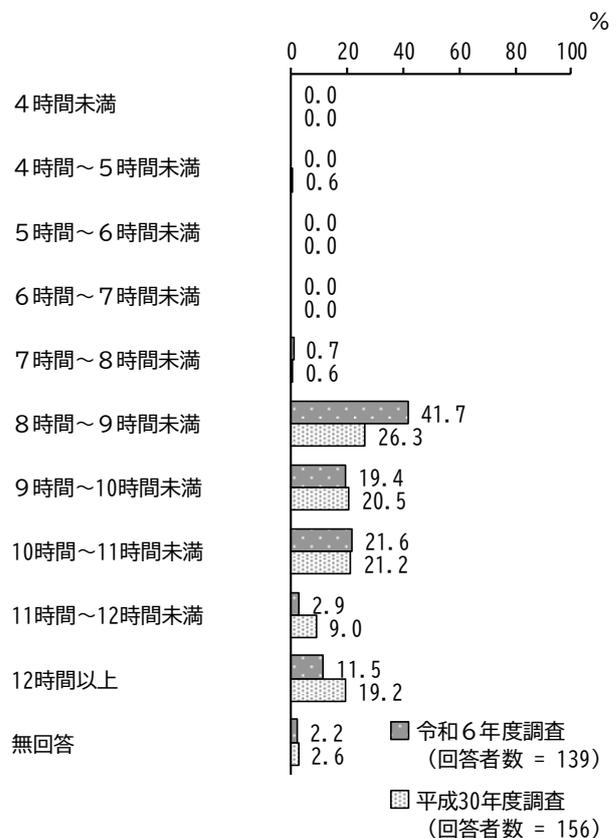
平成30年度調査と比較すると、「5日」の割合が増加しています。一方、「6日」の割合が減少しています。



1日当たり就労時間

「8時間～9時間未満」の割合が41.7%と最も高く、次いで「10時間～11時間未満」の割合が21.6%、「9時間～10時間未満」の割合が19.4%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「8時間～9時間未満」の割合が増加しています。一方、「11時間～12時間未満」「12時間以上」の割合が減少しています。

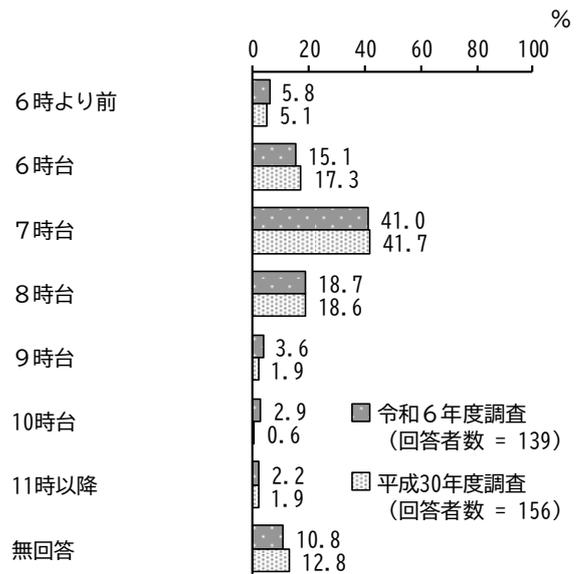


(2) - 2 (2) で「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しており、育休・介護休業中ではない～パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しているが、育休・介護休業中である」に○をつけた方にうかがいます。家を出る時刻と帰宅時刻をお答えください。時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。時間は、必ず（例）8時～18時のように、24時間制でお答えください。（ ）内に数字でご記入ください。

家を出る時刻

「7時台」の割合が41.0%と最も高く、次いで「8時台」の割合が18.7%、「6時台」の割合が15.1%となっています。

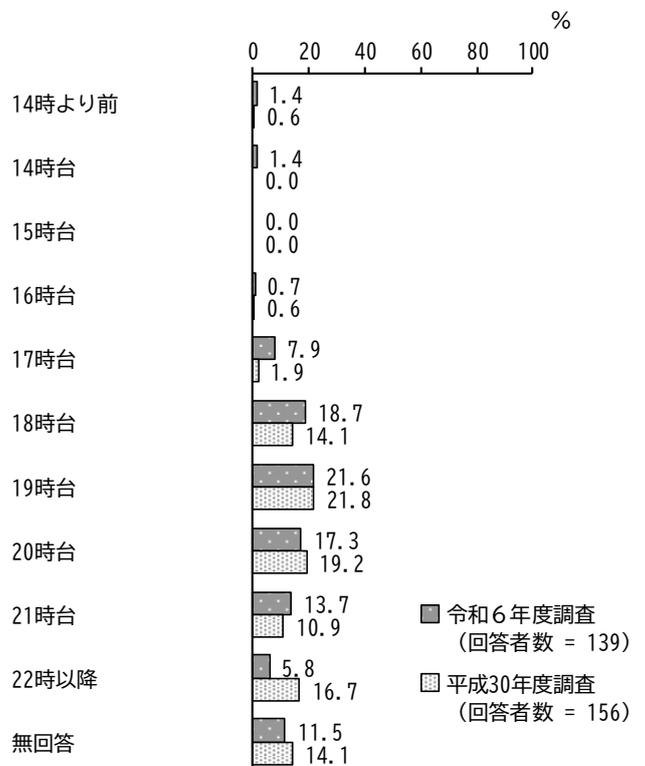
平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



帰宅時刻

「19時台」の割合が21.6%と最も高く、次いで「18時台」の割合が18.7%、「20時台」の割合が17.3%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「17時台」の割合が増加しています。一方、「22時以降」の割合が減少しています。

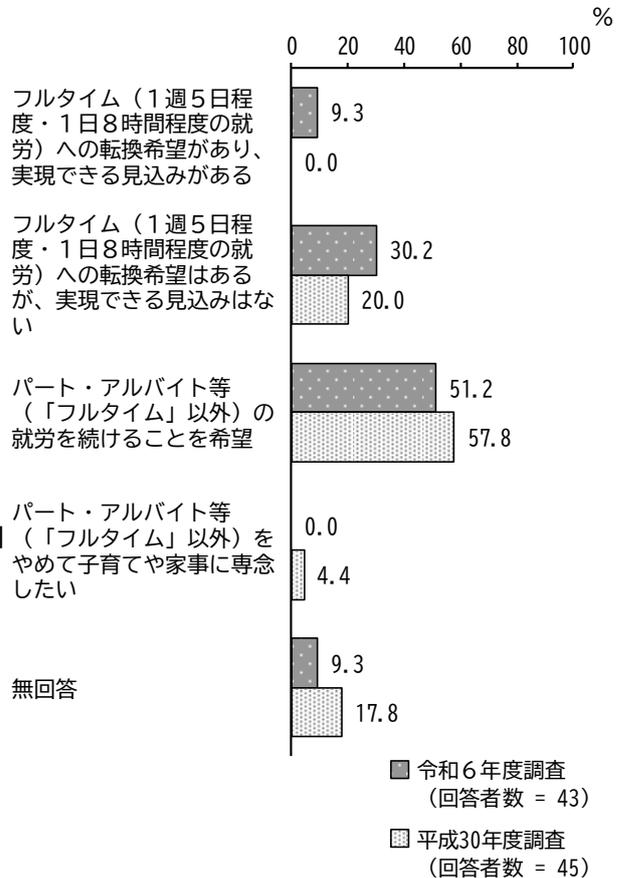


問18 問17の(1)または(2)で「パート・アルバイト等(「フルタイム」以外の就労)で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」、「パート・アルバイト等(「フルタイム」以外の就労)で就労しているが、産休・育休・介護休業中である」に○をつけた方にうかがいます。該当しない方は、問20へお進みください。フルタイムへの転換希望はありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

(1) 母親

「パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)の就労を続けることを希望」の割合が51.2%と最も高く、次いで「フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)への転換希望はあるが、実現できる見込みはない」の割合が30.2%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)への転換希望があり、実現できる見込みがある」「フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)への転換希望はあるが、実現できる見込みはない」の割合が増加しています。一方、「パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)の就労を続けることを希望」の割合が減少しています。



(2) 父親

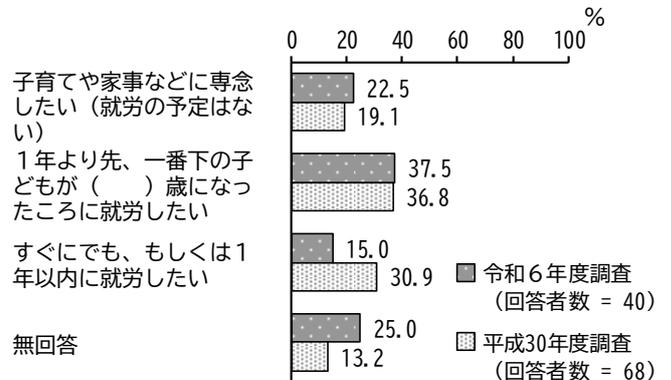
有効回答がありませんでした。

問19 問17の(1)または(2)で「以前は就労していたが、現在は就労していない」または「これまで就労したことがない」に○をつけた方にかがいます。該当しない方は、問20へお進みください。
 就労したいという希望はありますか。当てはまる番号・記号それぞれ1つに○をつけ、該当する()内には数字でご記入ください。

(1) 母親

「1年より先、一番下の子どもが何歳になったころに就労したい」の割合が37.5%と最も高く、次いで「子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)」の割合が22.5%、「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」の割合が15.0%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」の割合が減少しています。

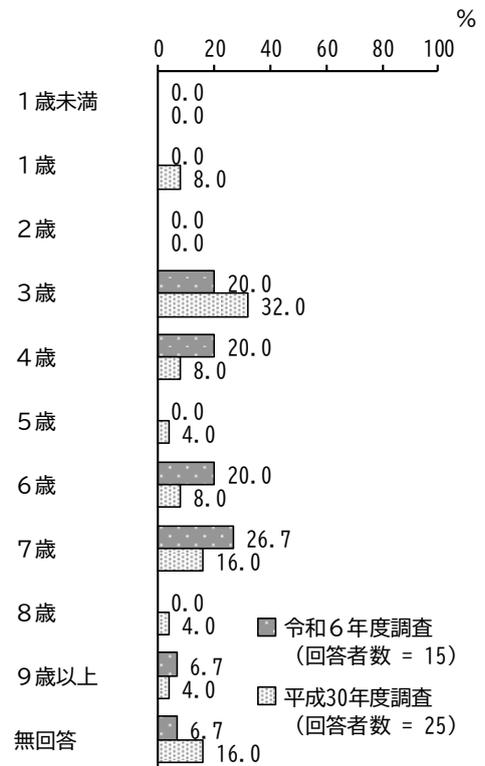


就労希望時期

一番下の子どもが何歳になったころ

「7歳」の割合が26.7%と最も高く、次いで「3歳」、「4歳」、「6歳」の割合が20.0%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「4歳」「6歳」「7歳」の割合が増加しています。一方、「1歳」「3歳」の割合が減少しています。



希望する就労形態

「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）」が2件、「パートタイム、アルバイト等（「ア」以外）」が4件となっています。

パートタイム、アルバイト等の1週当たり希望就労日数

「3日」が2件となっています。

パートタイム、アルバイト等の1日当たり希望就労時間

「4時間～5時間未満」が2件となっています。

(2) 父親

「子育てや家事などに専念したい（就労の予定はない）」が1件となっています。

就労希望時期

一番下の子どもが何歳になったころ

有効回答がありませんでした。

希望する就労形態

有効回答がありませんでした。

パートタイム、アルバイト等

1週当たり希望就労日数

有効回答がありませんでした。

1日当たり希望就労時間

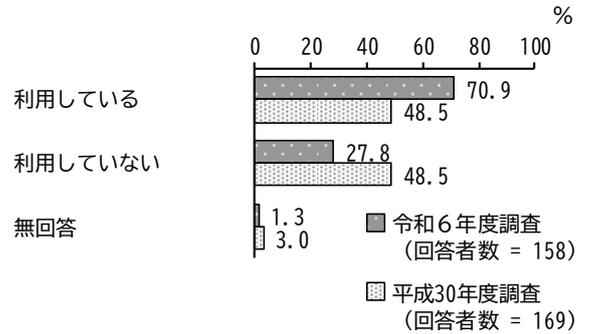
有効回答がありませんでした。

(5) 宛名のお子さんの平日の定期的な教育・保育事業の利用状況について

問 20 宛名のお子さんは現在、幼稚園や保育所などの「定期的な教育・保育の事業」を利用されていますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

「利用している」の割合が70.9%、「利用していない」の割合が27.8%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「利用している」の割合が増加しています。

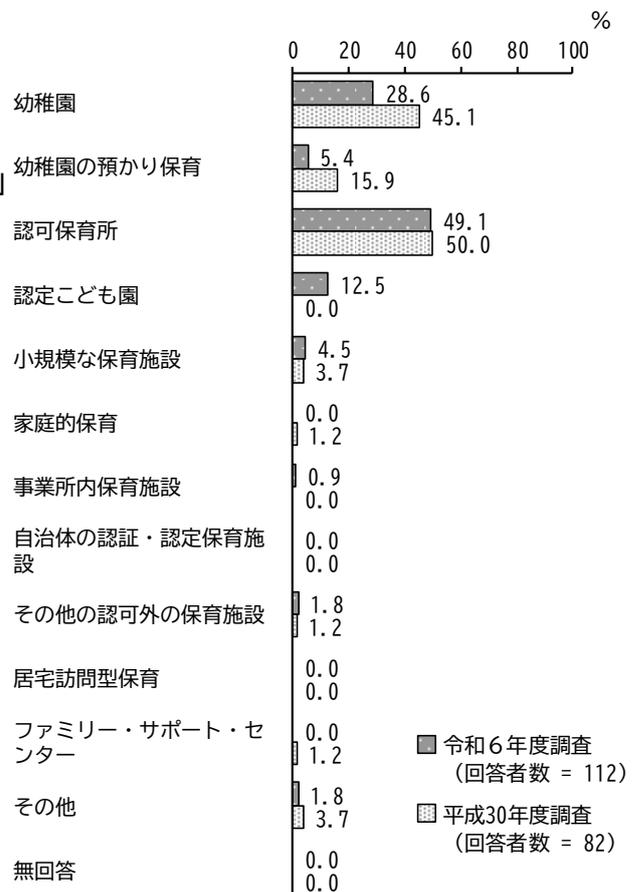


問 20-1 問 20-1～問 20-4は、問 20で「利用している」に○をつけた方にかがいます。

宛名のお子さんは、平日どのような教育・保育の事業を利用していますか。年間を通じて「定期的に」利用している事業をお答えください。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「認可保育所」の割合が49.1%と最も高く、次いで「幼稚園」の割合が28.6%、「認定こども園」の割合が12.5%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「認定こども園」の割合が増加しています。一方、「幼稚園」「幼稚園の預かり保育」の割合が減少しています。



【子どもの年齢別】

子どもの年齢別にみると、2歳で「認可保育所」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	幼稚園	幼稚園の預かり保育	認可保育所	認定こども園	小規模な保育施設	家庭的保育	事業所内保育施設	自治体の認証・認定保育施設	その他の認可外の保育施設	居宅訪問型保育	ファミリー・サポート・センター	その他	無回答
全 体	112	28.6	5.4	49.1	12.5	4.5	—	0.9	—	1.8	—	—	1.8	—
0歳	5	20.0	—	60.0	20.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—
1歳	9	—	—	33.3	11.1	44.4	—	—	—	—	—	—	11.1	—
2歳	16	—	—	68.8	18.8	6.3	—	—	—	6.3	—	—	—	—
3歳	22	27.3	—	63.6	9.1	—	—	—	—	—	—	—	—	—
4歳	26	42.3	3.8	46.2	11.5	—	—	—	—	—	—	—	—	—
5歳	32	43.8	15.6	34.4	12.5	—	—	—	—	3.1	—	—	3.1	—

問 20-2 平日に定期的に利用している教育・保育の事業について、どのくらい利用していますか。また、希望としてはどのくらい利用したいですか。1週間あたり何日、1日あたり何時間（何時から何時まで）かを、()内に具体的な数字でご記入ください。時間は、必ず（例）9時～18時のように24時間制でご記入ください。

(1) 現在

1週あたり利用日数

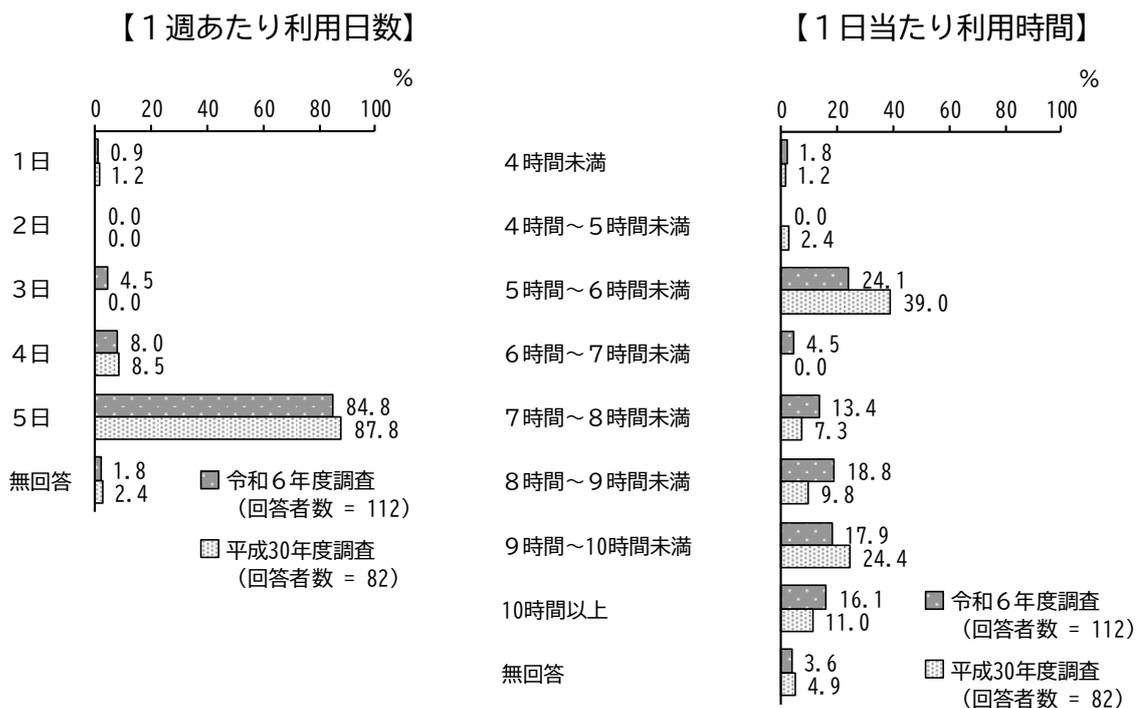
「5日」の割合が84.8%と最も高くなっています。

平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

1日あたり利用時間

「5時間～6時間未満」の割合が24.1%と最も高く、次いで「8時間～9時間未満」の割合が18.8%、「9時間～10時間未満」の割合が17.9%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「7時間～8時間未満」「8時間～9時間未満」「10時間以上」の割合が増加しています。一方、「5時間～6時間未満」「9時間～10時間未満」の割合が減少しています。



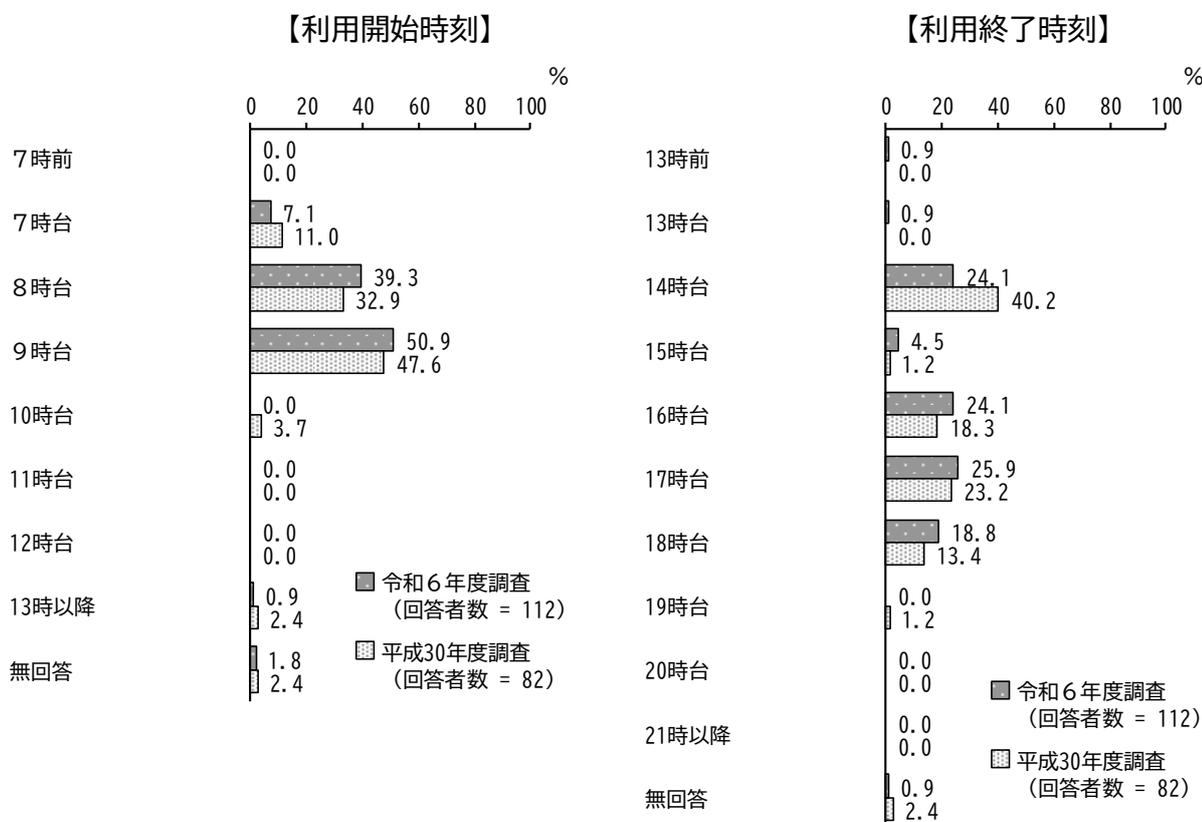
利用開始時刻

「9時台」の割合が50.9%と最も高く、次いで「8時台」の割合が39.3%となっています。
平成30年度調査と比較すると、「8時台」の割合が増加しています。

利用終了時刻

「17時台」の割合が25.9%と最も高く、次いで「14時台」、「16時台」の割合が24.1%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「16時台」「18時台」の割合が増加しています。一方、「14時台」の割合が減少しています。



(2) 希望

1週あたり利用日数

「5日」の割合が72.3%と最も高くなっています。

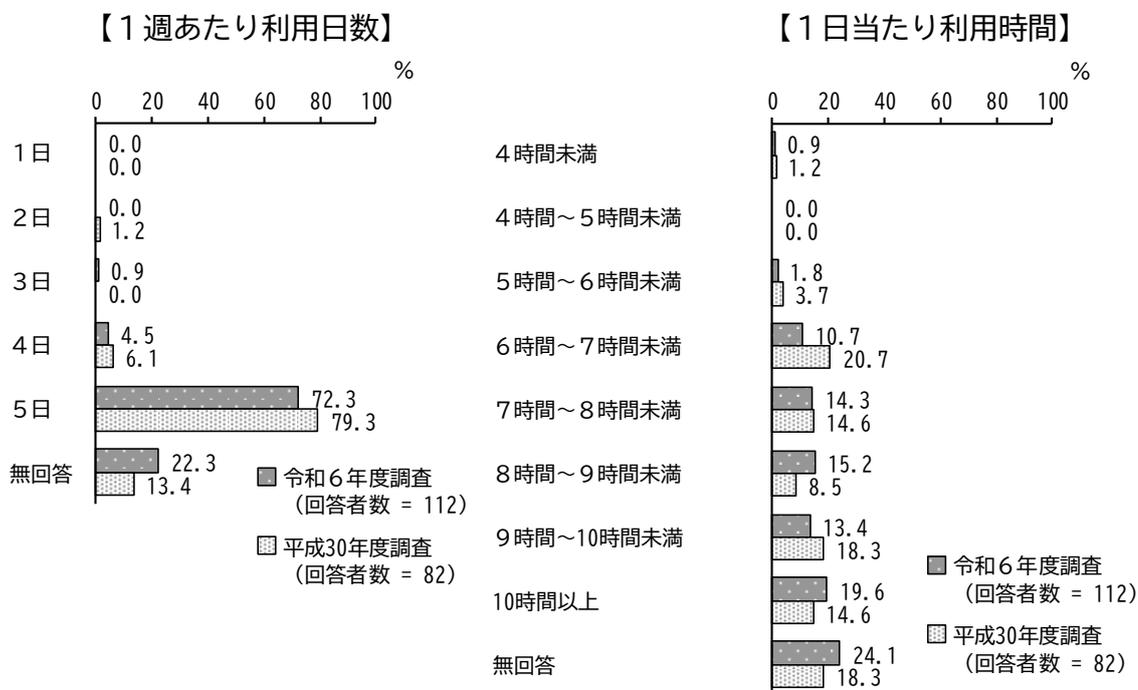
平成30年度調査と比較すると、「5日」の割合が減少しています。

1日あたり利用時間

「10時間以上」の割合が19.6%と最も高く、次いで「8時間～9時間未満」の割合が15.2%、「7時間～8時間未満」の割合が14.3%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「8時間～9時間未満」「10時間以上」の割合が増加しています。

一方、「6時間～7時間未満」の割合が減少しています。



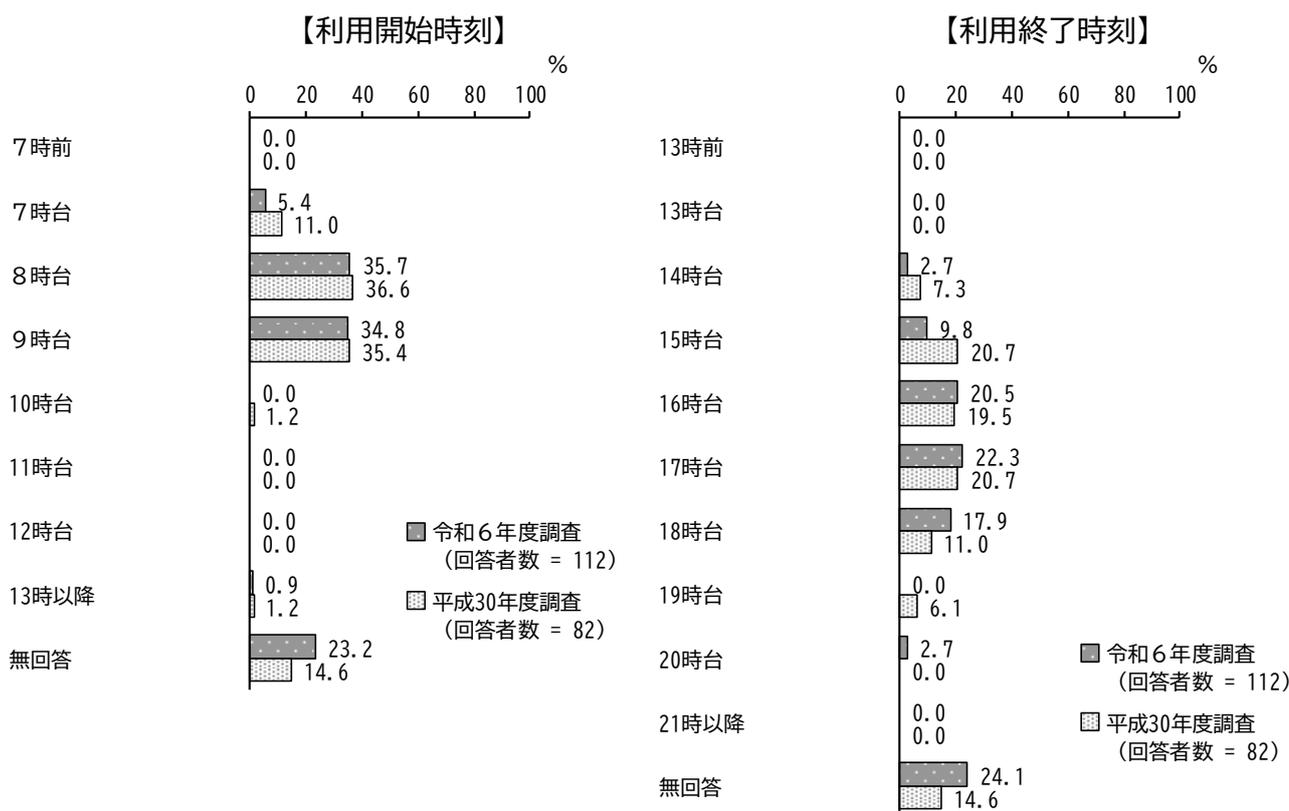
利用開始時刻

「8時台」の割合が35.7%と最も高く、次いで「9時台」の割合が34.8%となっています。
平成30年度調査と比較すると、「7時台」の割合が減少しています。

利用終了時刻

「17時台」の割合が22.3%と最も高く、次いで「16時台」の割合が20.5%、「18時台」の割合が17.9%となっています。

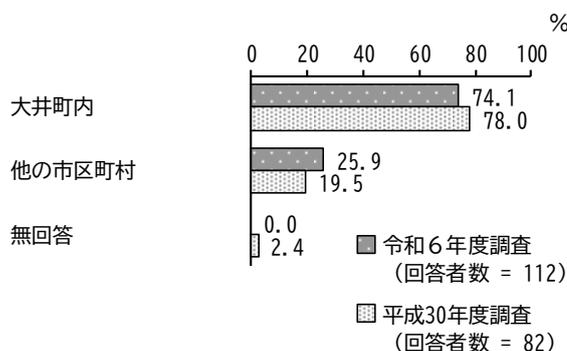
平成30年度調査と比較すると、「18時台」の割合が増加しています。一方、「15時台」「19時台」の割合が減少しています。



問 20-3 現在、利用している教育・保育事業の実施場所についてうかがいます。
「大井町内」「他の市区町村」のいずれかに○をつけてください。

「大井町内」の割合が74.1%、「他の市区町村」の割合が25.9%となっています。

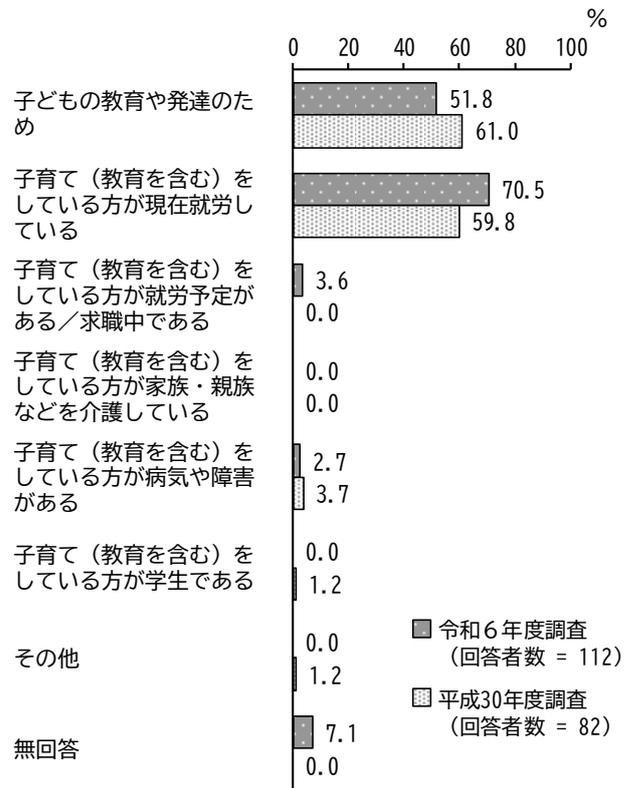
平成30年度調査と比較すると、「他の市区町村」の割合が増加しています。



問 20-4 平日に定期的に教育・保育の事業を利用されている理由についてうかがいます。主な理由として当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「子育て（教育を含む）をしている方が現在就労している」の割合が 70.5%と最も高く、次いで「子どもの教育や発達のため」の割合が 51.8%となっています。

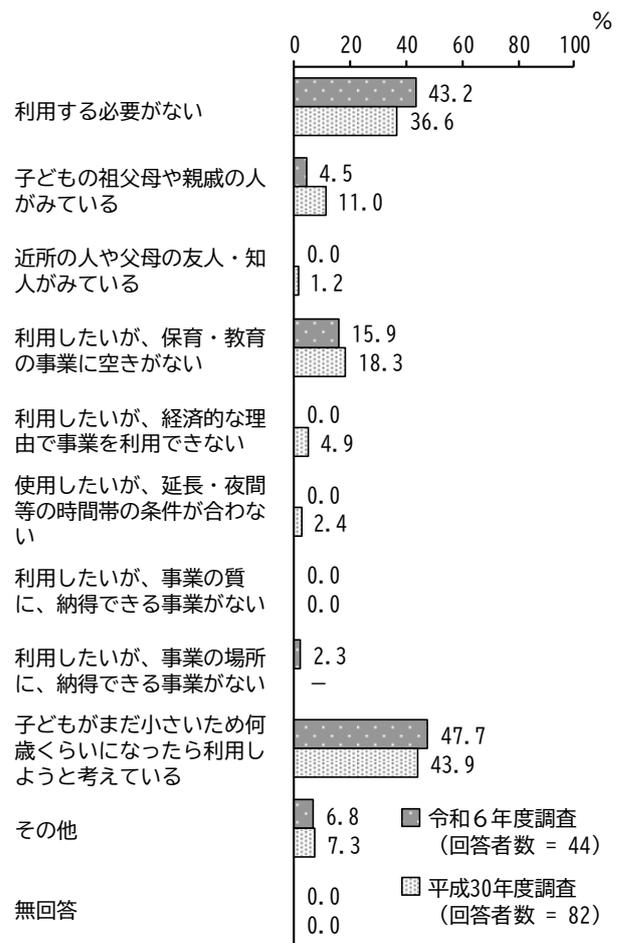
平成 30 年度調査と比較すると、「子育て（教育を含む）をしている方が現在就労している」の割合が増加しています。一方、「子どもの教育や発達のため」の割合が減少しています。



問 20-5 問 20 で「利用していない」に○をつけた方にかがいます。利用していない理由は何ですか。理由としてもっとも当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「子どもがまだ小さいため何歳くらいになったら利用しようと考えている」の割合が 47.7%と最も高く、次いで「利用する必要がない」の割合が 43.2%、「利用したいが、保育・教育の事業に空きがない」の割合が 15.9%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「利用する必要がない」の割合が増加しています。一方、「子どもの祖父母や親戚の人がみている」の割合が減少しています。

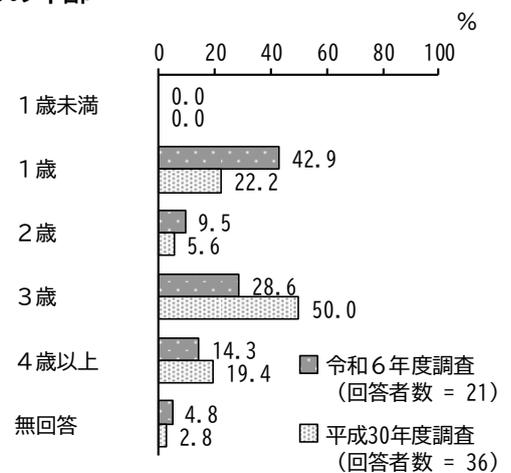


※前回調査では、「利用したいが、事業の場所に、納得できる事業がない」の選択肢はありませんでした。

子どもがまだ小さいためと回答した人が、利用を希望する子どもの年齢

「1歳」の割合が 42.9%と最も高く、次いで「3歳」の割合が 28.6%、「4歳以上」の割合が 14.3%となっています。

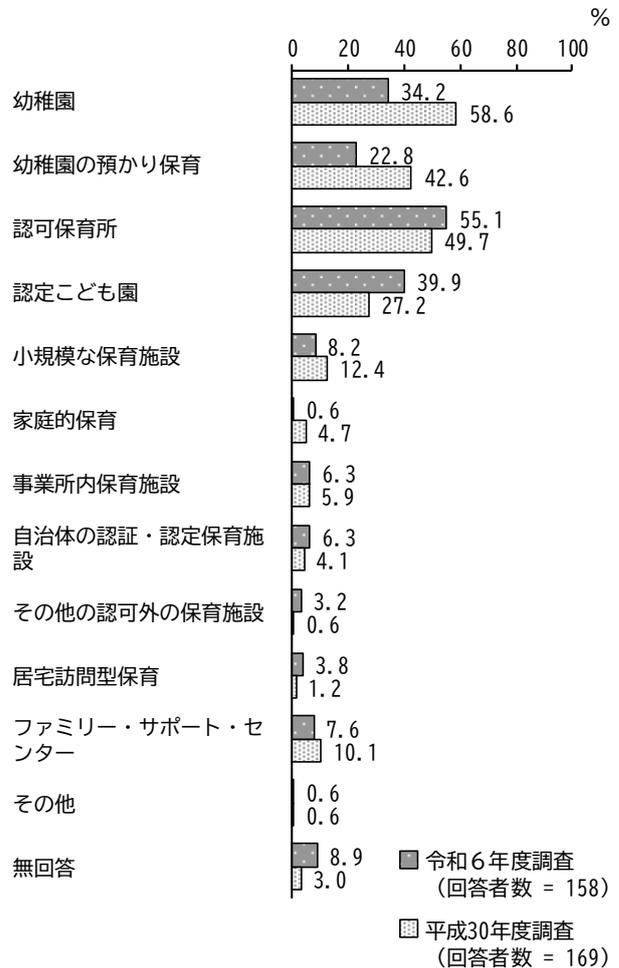
平成 30 年度調査と比較すると、「1歳」の割合が増加しています。一方、「3歳」「4歳以上」の割合が減少しています。



問 21 すべての方にうかがいます。現在、利用している、利用していないにかかわらず、宛名のお子さんの平日の教育・保育の事業として、「定期的に」利用したいと考える事業をお答えください。当てはまる番号すべてに○をつけてください。なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。認可保育所の場合、世帯収入に応じた利用料が設定されています。

「認可保育所」の割合が 55.1%と最も高く、次いで「認定こども園」の割合が 39.9%、「幼稚園」の割合が 34.2%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「認可保育所」「認定こども園」の割合が増加しています。一方、「幼稚園」「幼稚園の預かり保育」の割合が減少しています。



【子どもの年齢別】

子どもの年齢別にみると、0歳で「認定こども園」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数(件)	幼稚園	育 幼稚園の預かり保	認可保育所	認定こども園	小規模な保育施設	家庭的保育	事業所内保育施設	自治体の認証・認定保育施設	その他の認可外の保育施設	居宅訪問型保育	ファミリー・サポート・センター	その他	無回答
全 体	158	34.2	22.8	55.1	39.9	8.2	0.6	6.3	6.3	3.2	3.8	7.6	0.6	8.9
0 歳	25	20.0	4.0	72.0	76.0	12.0	—	16.0	16.0	—	4.0	4.0	—	4.0
1 歳	21	42.9	28.6	52.4	47.6	19.0	—	4.8	—	—	4.8	4.8	—	4.8
2 歳	27	29.6	18.5	40.7	25.9	7.4	—	3.7	3.7	3.7	11.1	11.1	—	18.5
3 歳	23	30.4	21.7	65.2	34.8	4.3	—	4.3	4.3	8.7	—	—	—	13.0
4 歳	27	48.1	18.5	55.6	29.6	3.7	—	7.4	7.4	3.7	3.7	7.4	—	3.7
5 歳	32	37.5	40.6	50.0	31.3	6.3	—	3.1	6.3	3.1	—	12.5	3.1	6.3

【母親の就労状況別】

母親の就労状況別にみると、以前は就労していたが、現在は就労していないで「幼稚園」の割合が高くなっています。

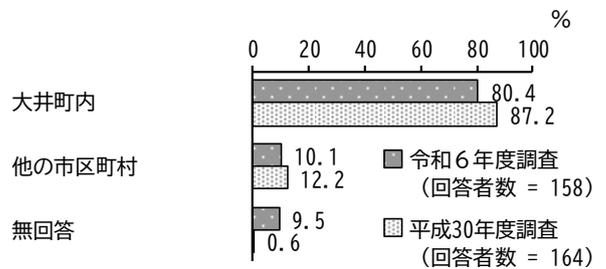
単位：％

区分	回答者数(件)	幼稚園	幼稚園の預かり保育	認可保育所	認定こども園	小規模な保育施設	家庭的保育	事業所内保育施設	認定保育施設	自治体の認証・認定保育施設	その他の認可外の保育施設	居宅訪問型保育	ファミリー・サポート・センター	その他	無回答
全体	158	34.2	22.8	55.1	39.9	8.2	0.6	6.3	6.3	3.2	3.8	7.6	0.6	8.9	
フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	47	10.6	10.6	70.2	36.2	4.3	2.1	2.1	—	2.1	2.1	8.5	—	12.8	
フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である	25	16.0	16.0	84.0	76.0	20.0	—	20.0	16.0	4.0	—	4.0	—	8.0	
パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	36	27.8	33.3	55.6	33.3	8.3	—	8.3	8.3	5.6	5.6	8.3	2.8	5.6	
パート・アルバイト等で就労しているが、産休・育休・介護休業中である	7	42.9	28.6	57.1	42.9	14.3	—	—	14.3	—	—	—	—	—	
以前は就労していたが、現在は就労していない	36	75.0	27.8	22.2	30.6	2.8	—	2.8	5.6	2.8	8.3	11.1	—	5.6	
これまで就労したことがない	4	75.0	50.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	25.0	

問 21-1 教育・保育事業を利用したい場所についてうかがいます。「大井町内」「他の市区町村」のいずれかに○をつけてください。

「大井町内」の割合が80.4%、「他の市区町村」の割合が10.1%となっています。

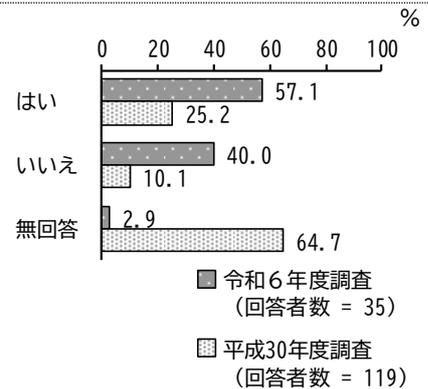
平成30年度調査と比較すると、「大井町内」の割合が減少しています。



問 21-2 問 21 で「幼稚園」または「幼稚園の預かり保育」に○をつけ、かつ認可保育所～その他にも○をつけた方にうかがいます。特に幼稚園（幼稚園の預かり保育をあわせて利用する場合を含む）の利用を強く希望しますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

「はい」の割合が57.1%、「いいえ」の割合が40.0%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「はい」「いいえ」の割合が増加しています。

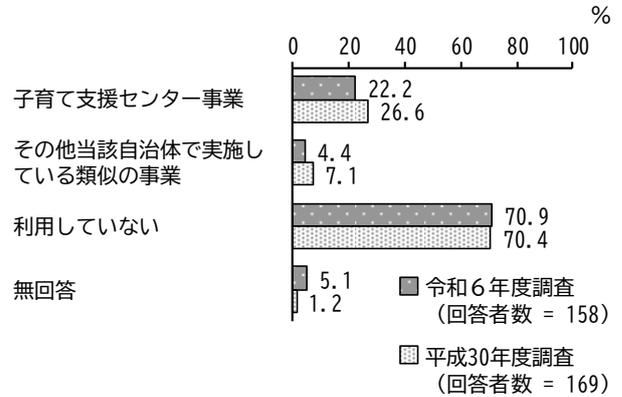


(6) 宛名のお子さんの地域の子育て支援事業の利用状況について

問 22 宛名のお子さんは、現在、地域子育て支援拠点事業（親子が集まって過ごしたり、相談をしたり、情報提供を受けたりする場で、「子育て支援センター」と呼ばれています）を利用していますか。次の中から、利用されているものすべてに○をつけてください。また、おおよその利用回数（頻度）を（ ）内に数字でご記入ください。

「利用していない」の割合が 70.9%と最も高く、次いで「子育て支援センター事業」の割合が 22.2%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



(1) 子育て支援センター事業

1 週当たり利用回数

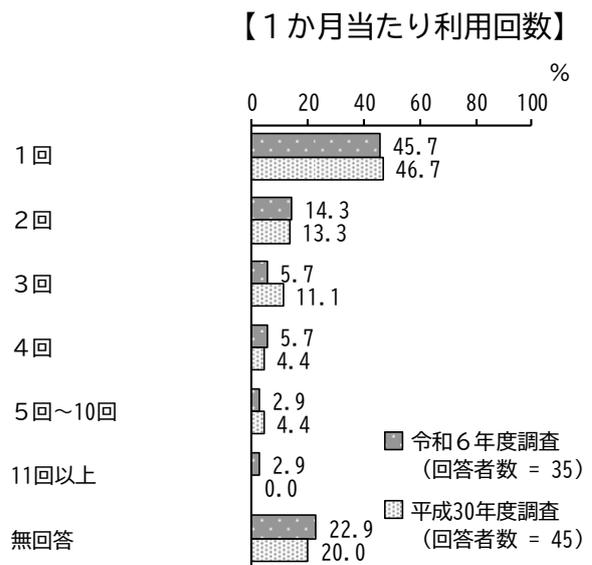
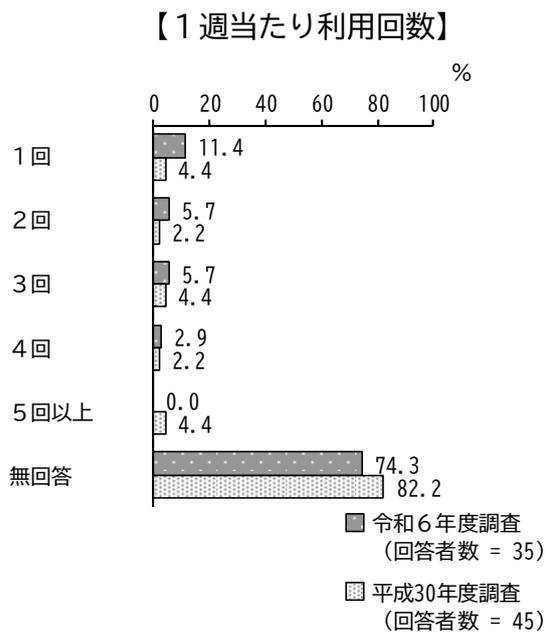
「1回」の割合が 11.4%と最も高くなっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「1回」の割合が増加しています。

1 か月当たり利用回数

「1回」の割合が 45.7%と最も高く、次いで「2回」の割合が 14.3%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「3回」の割合が減少しています。



(2) その他当該自治体で実施している類似の事業

1週当たり利用回数

「2回」が1件となっています。

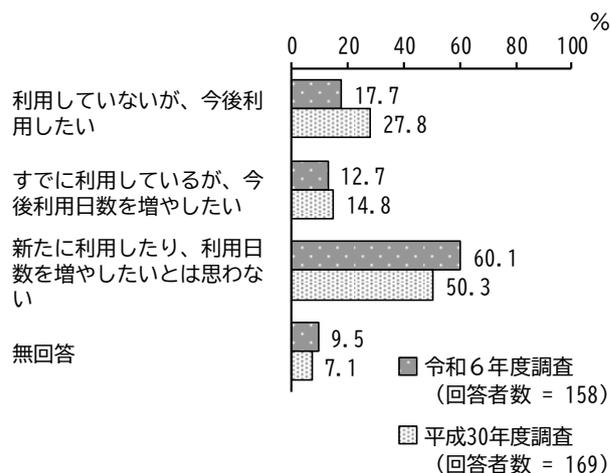
1か月当たり利用回数

「1回」が6件となっています。

問23 問22のような地域子育て支援拠点事業について、今は利用していないが、できれば今後利用したい、あるいは、利用日数を増やしたいと思いませんか。当てはまる番号1つに○をつけて、おおよその利用回数(頻度)を()内に数字でご記入ください。なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生する場合があります。

「新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない」の割合が60.1%と最も高く、次いで「利用していないが、今後利用したい」の割合が17.7%、「すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい」の割合が12.7%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない」の割合が増加しています。一方、「利用していないが、今後利用したい」の割合が減少しています。



(1) 利用していないが、今後利用したい

週当たりの利用回数

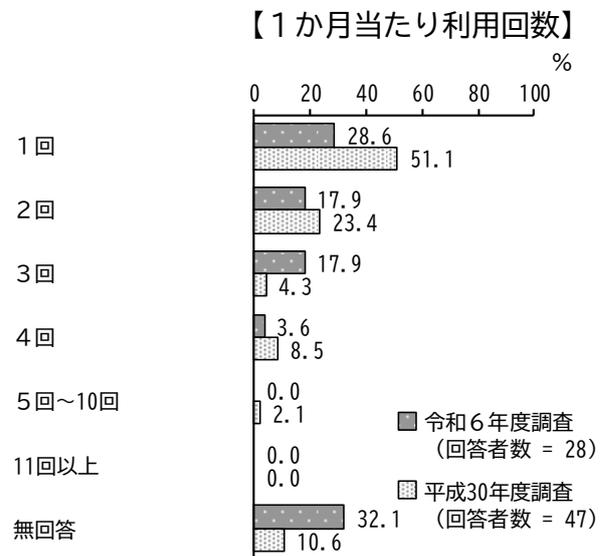
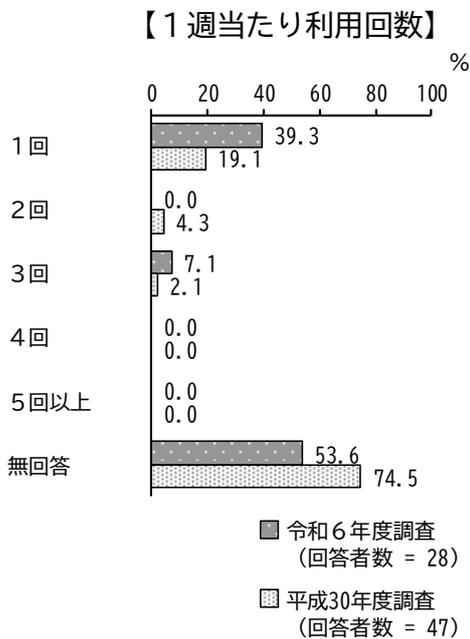
「1回」の割合が39.3%と最も高くなっています。

平成30年度調査と比較すると、「1回」の割合が増加しています。

1か月当たりの利用回数

「1回」の割合が28.6%と最も高く、次いで「2回」、「3回」の割合が17.9%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「3回」の割合が増加しています。一方、「1回」「2回」の割合が減少しています。



すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい

週当たりの増やしたい利用回数

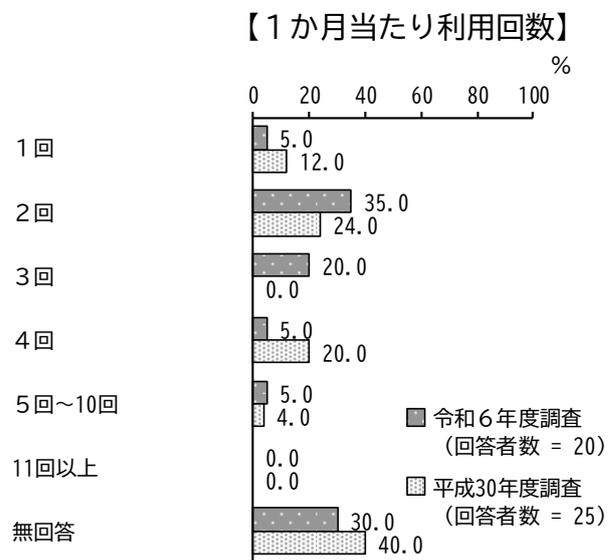
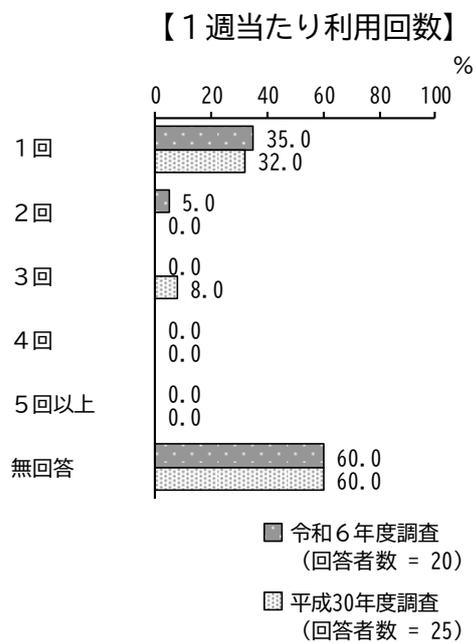
「1回」の割合が35.0%と最も高くなっています。

平成30年度調査と比較すると、「3回」の割合が減少しています。

1か月当たりの増やしたい利用回数

「2回」の割合が35.0%と最も高く、次いで「3回」の割合が20.0%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「2回」「3回」の割合が増加しています。一方、「1回」「4回」の割合が減少しています。



問 24 下記の事業で知っているものや、これまでに利用したことがあるもの、今後、利用したいと思うものをお答えください。①～⑧の事業ごとに、A～Cのそれぞれについて、「はい」「いいえ」のいずれかに○をつけてください。なお、事業によっては、お住まいの地域で実施されていないものもあります。

A 知っている

『②育児支援教室（ぞうさんくらぶ）』『③離乳食講習会』『⑤赤ちゃん健康相談』で「はい」の割合が高くなっています。一方、『⑦かんたんクッキング』『⑧就学に関する教育相談』で「いいえ」の割合が高くなっています。

平成 30 年度調査と比較すると、『①母親父親教室（エンジョイ！マタニティ）』で「はい」の割合が増加している一方、『⑦かんたんクッキング』で「はい」の割合が減少しています。

【令和 6 年度調査】

回答者数 = 158

①母親父親教室
（エンジョイ！マタニティ）

②育児支援教室
（ぞうさんくらぶ）

③離乳食講習会

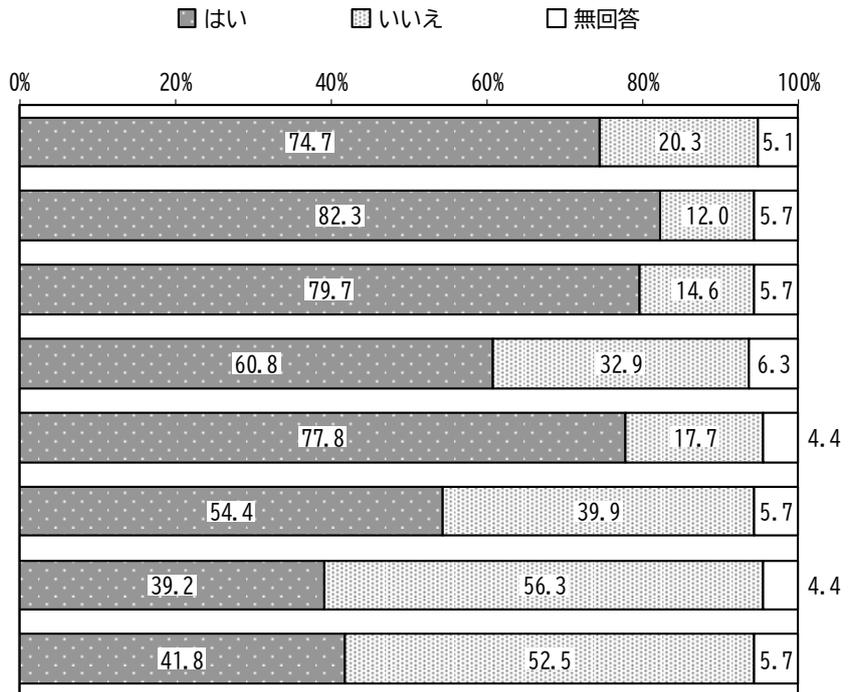
④1 歳児育児教室

⑤赤ちゃん健康相談

⑥親子相談

⑦かんたんクッキング

⑧就学に関する教育相談



【平成 30 年度調査】

回答者数 = 169

①母親父親教室
（エンジョイ！マタニティ）

②育児支援教室
（ぞうさんくらぶ）

③離乳食講習会

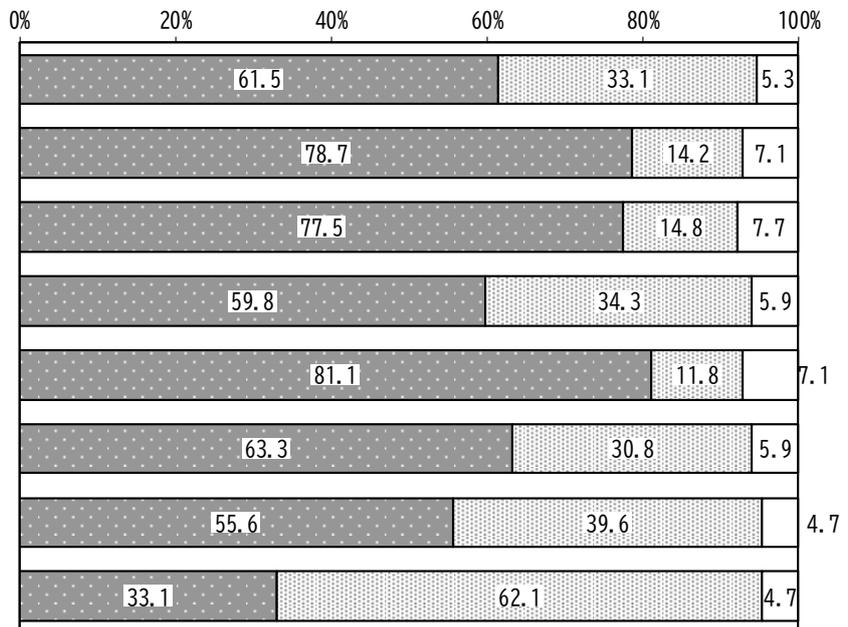
④1 歳児育児教室

⑤赤ちゃん健康相談

⑥親子相談

⑦かんたんクッキング

⑧就学に関する教育相談

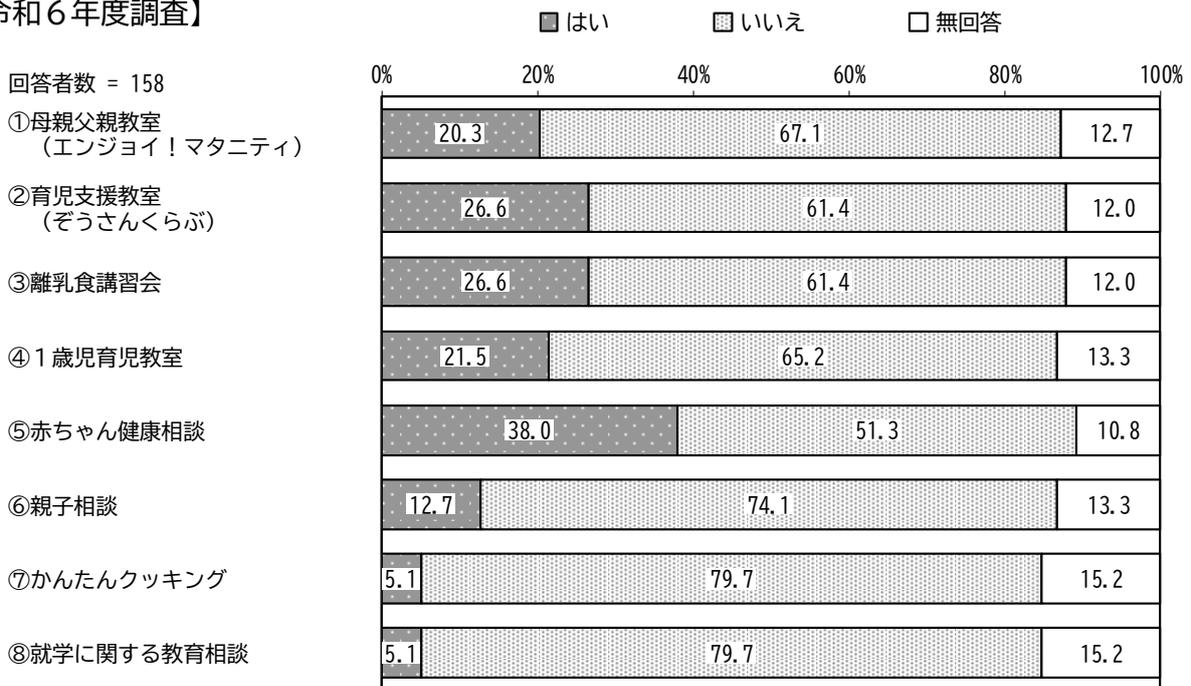


B これまでに利用したことがある

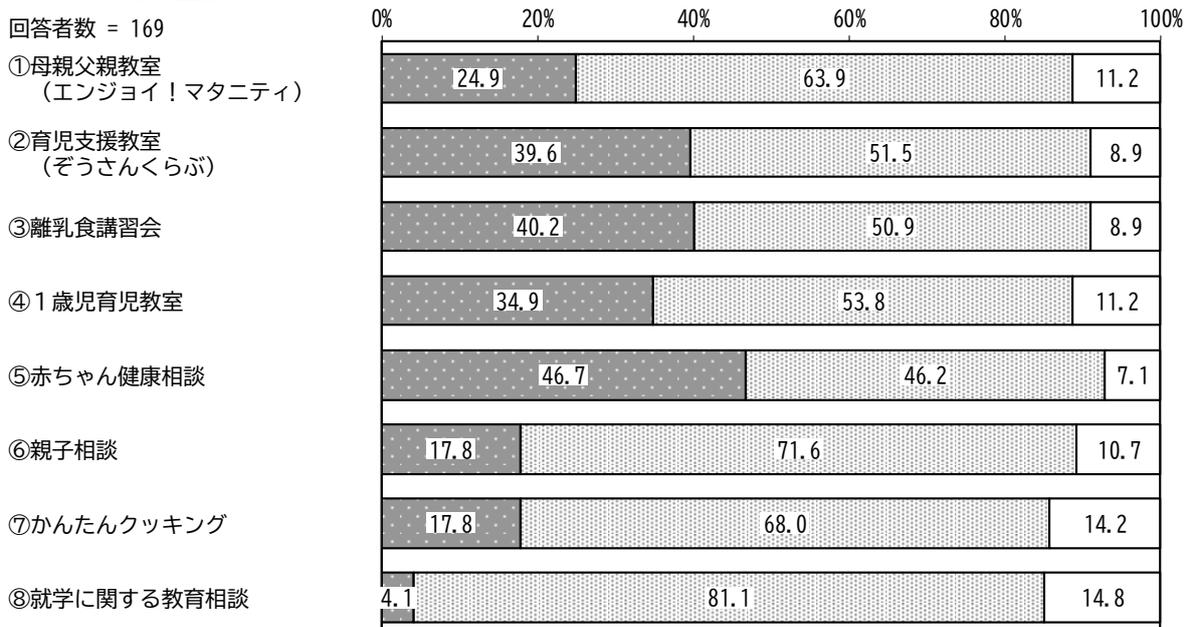
『⑤赤ちゃん健康相談』で「はい」の割合が高くなっています。一方、『⑦かんたんクッキング』『⑧就学に関する教育相談』で「いいえ」の割合が高くなっています。

平成 30 年度調査と比較すると、『⑧就学に関する教育相談』を除くすべての項目で「はい」の割合が減少しており、特に『②育児支援教室（ぞうさんくらぶ）』『③離乳食講習会』『④1歳児育児教室』『⑦かんたんクッキング』では10ポイント以上減少しています。

【令和6年度調査】



【平成30年度調査】

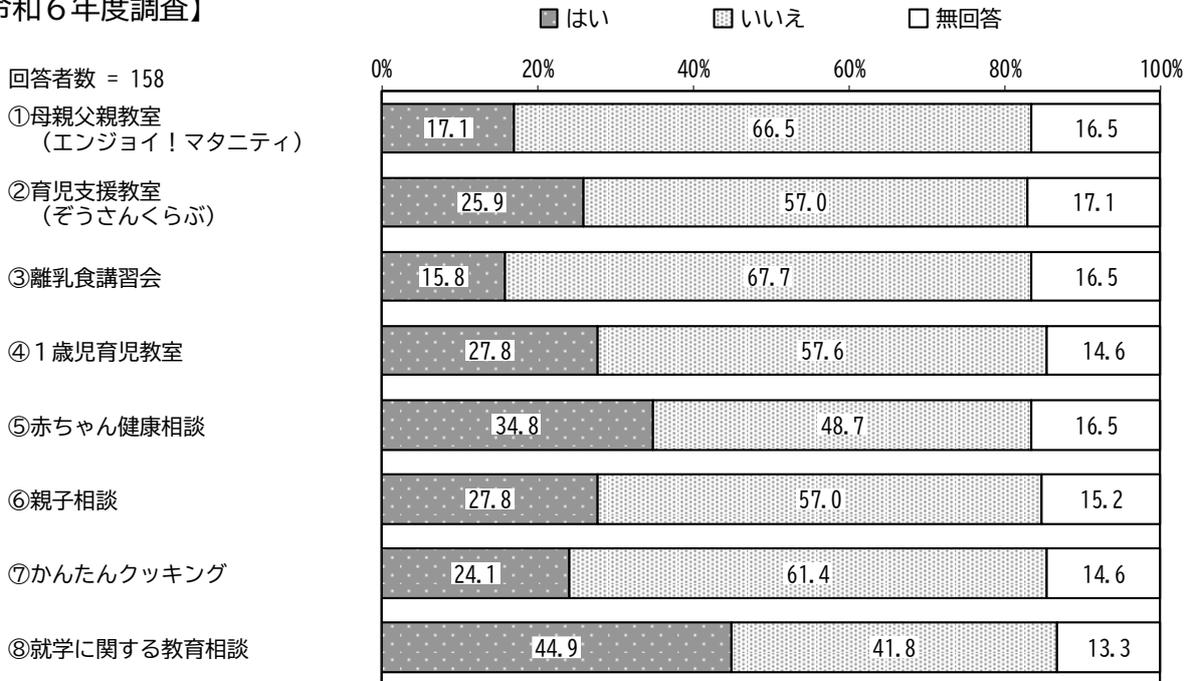


C 今後利用したい

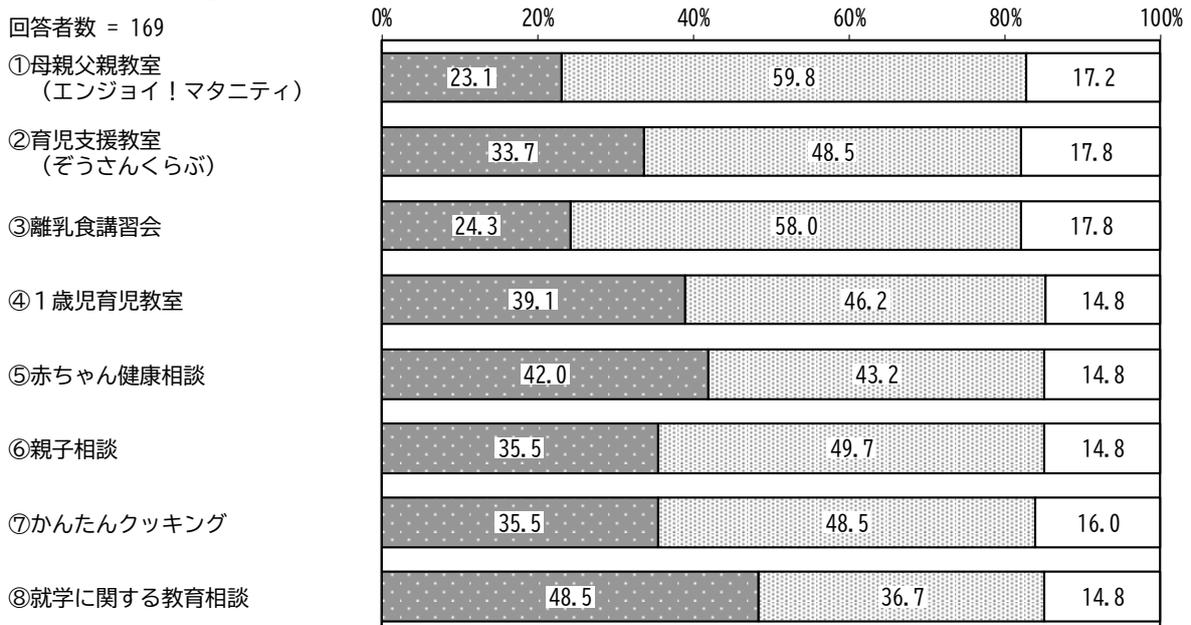
『⑧就学に関する教育相談』で「はい」の割合が高くなっています。一方、『①母親父親教室（エンジョイ！マタニティ）』『③離乳食講習会』で「いいえ」の割合が高くなっています。

平成30年度調査と比較すると、すべての項目で「はい」の割合が減少しており、特に『④1歳児育児教室』『⑦かんたんクッキング』で10ポイント以上減少しています。

【令和6年度調査】



【平成30年度調査】



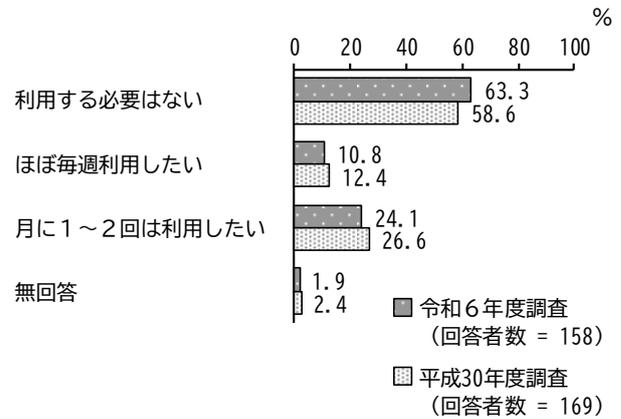
(7) 土曜・休日や長期休暇中の「定期的」な教育・保育事業の利用希望について

問 25 宛名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、定期的な教育・保育の事業の利用希望はありますか（一時的な利用は除きます）。希望がある場合は、利用したい時間帯を、(例)9時～18時のように24時間制でご記入ください。なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。

(1) 土曜日

「利用する必要はない」の割合が63.3%と最も高く、次いで「月に1～2回は利用したい」の割合が24.1%、「ほぼ毎週利用したい」の割合が10.8%となっています。

平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



利用したい時間帯

開始時刻

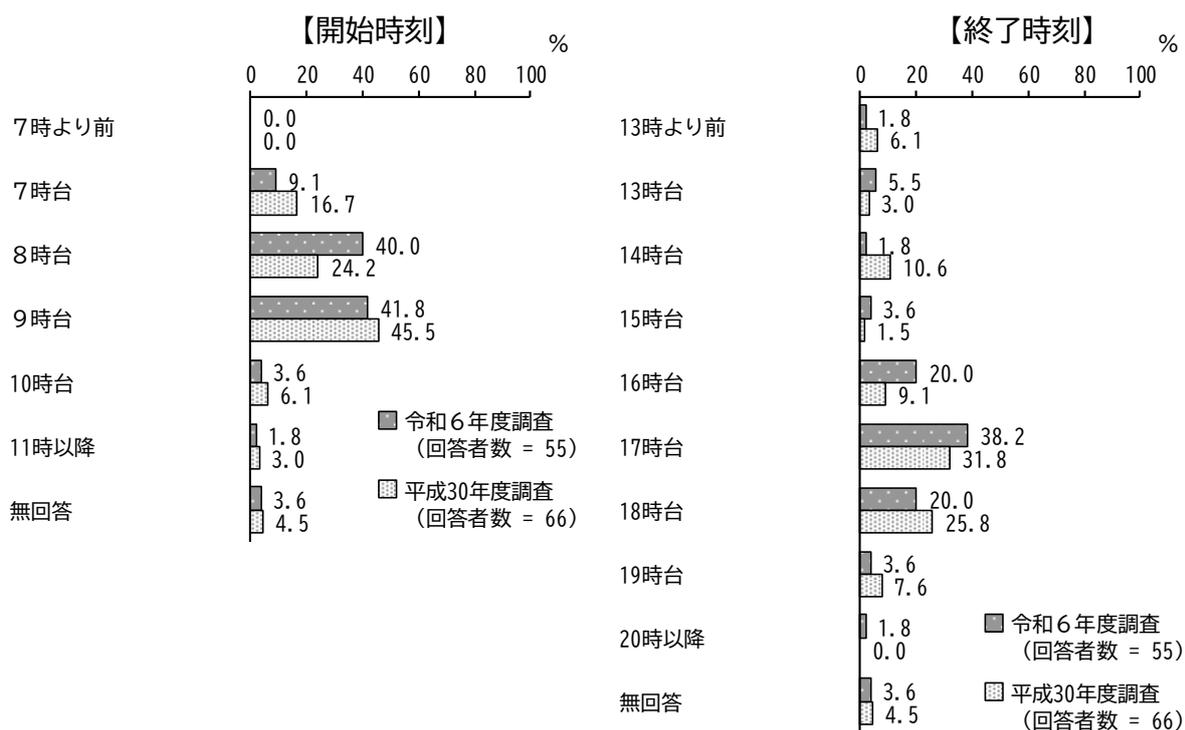
「9時台」の割合が41.8%と最も高く、次いで「8時台」の割合が40.0%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「8時台」の割合が増加しています。一方、「7時台」の割合が減少しています。

終了時刻

「17時台」の割合が38.2%と最も高く、次いで「16時台」、「18時台」の割合が20.0%となっています。

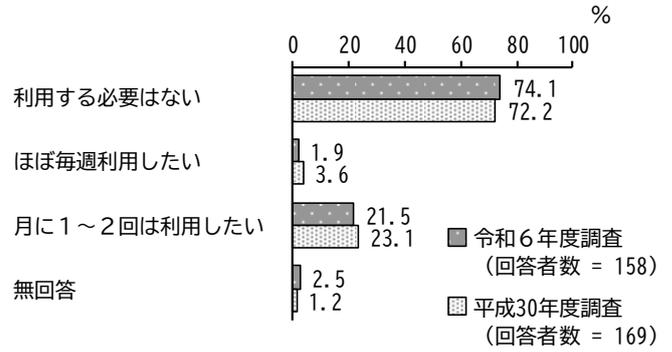
平成30年度調査と比較すると、「16時台」「17時台」の割合が増加しています。一方、「14時台」「18時台」の割合が減少しています。



(2) 日曜・祝日

「利用する必要はない」の割合が74.1%と最も高く、次いで「月に1～2回は利用したい」の割合が21.5%となっています。

平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



利用したい時間帯

開始時刻

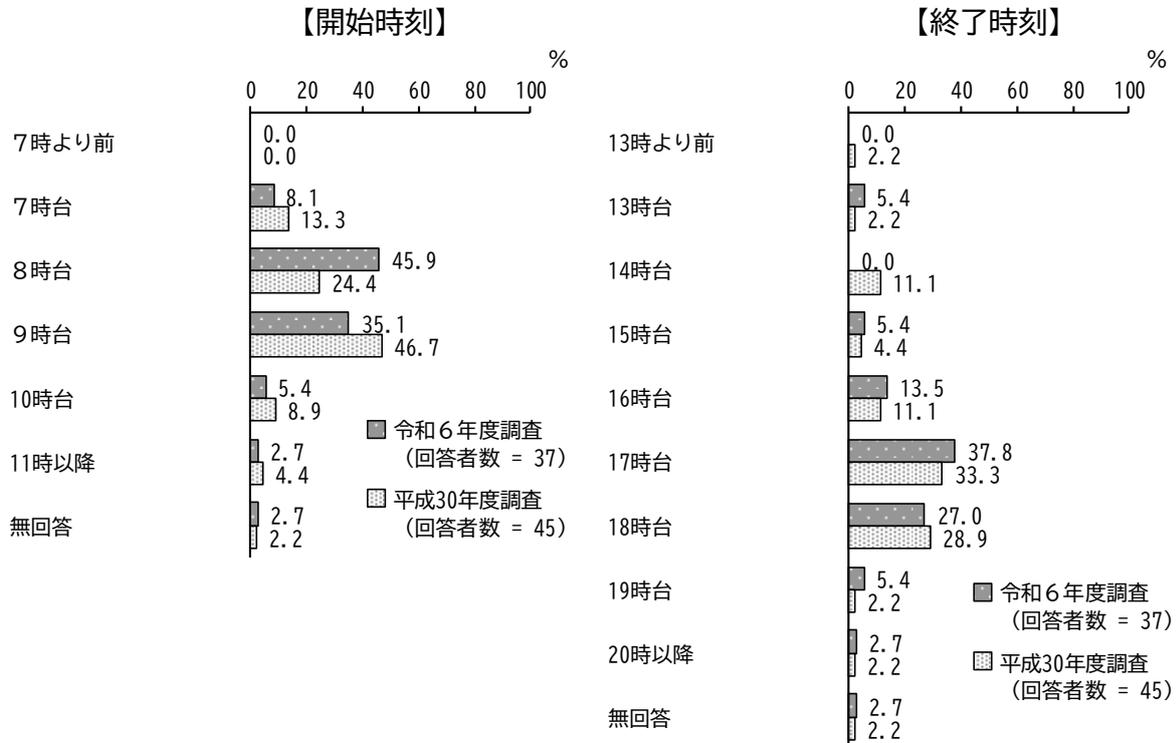
「8時台」の割合が45.9%と最も高く、次いで「9時台」の割合が35.1%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「8時台」の割合が増加しています。一方、「7時台」「9時台」の割合が減少しています。

終了時刻

「17時台」の割合が37.8%と最も高く、次いで「18時台」の割合が27.0%、「16時台」の割合が13.5%となっています。

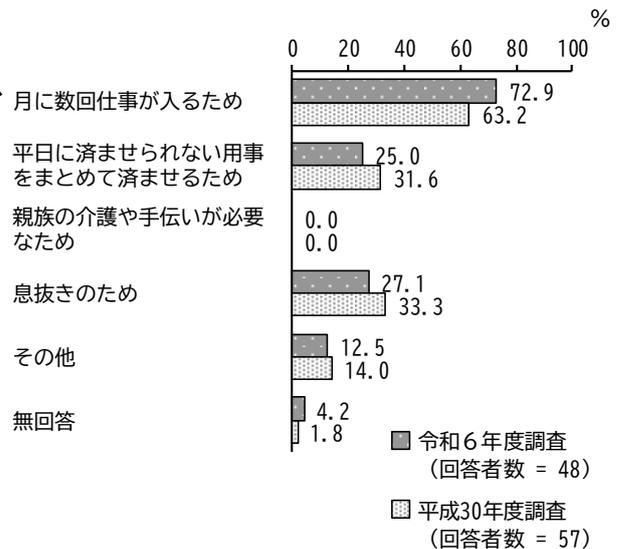
平成30年度調査と比較すると、「14時台」の割合が減少しています。



問 25-1 問 25 の (1) もしくは (2) で、「月に1~2回は利用したい」に○をつけた方にうかがいます。
毎週ではなく、たまに利用したい理由は何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「月に数回仕事が入るため」の割合が72.9%と最も高く、次いで「息抜きのため」の割合が27.1%、「平日に済ませられない用事をまとめて済ませるため」の割合が25.0%となっています。

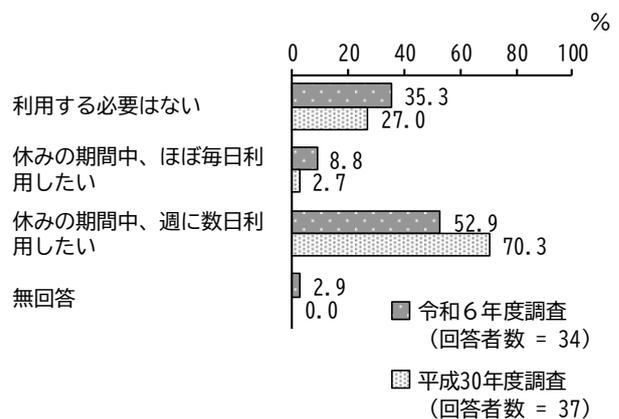
平成30年度調査と比較すると、「月に数回仕事が入るため」の割合が増加しています。一方、「平日に済ませられない用事をまとめて済ませるため」「息抜きのため」の割合が減少しています。



問 26 「幼稚園」を利用されている方にうかがいます。
宛名のお子さんについて、夏休み・冬休みなど長期の休暇期間中の教育・保育の事業の利用を希望しますか。希望がある場合は、利用したい時間帯を、(例)9時~18時のように24時間制でご記入ください。なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。

「休みの期間中、週に数日利用したい」の割合が52.9%と最も高く、次いで「利用する必要はない」の割合が35.3%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「利用する必要はない」「休みの期間中、ほぼ毎日利用したい」の割合が増加しています。一方、「休みの期間中、週に数日利用したい」の割合が減少しています。



利用したい時間帯

開始時刻

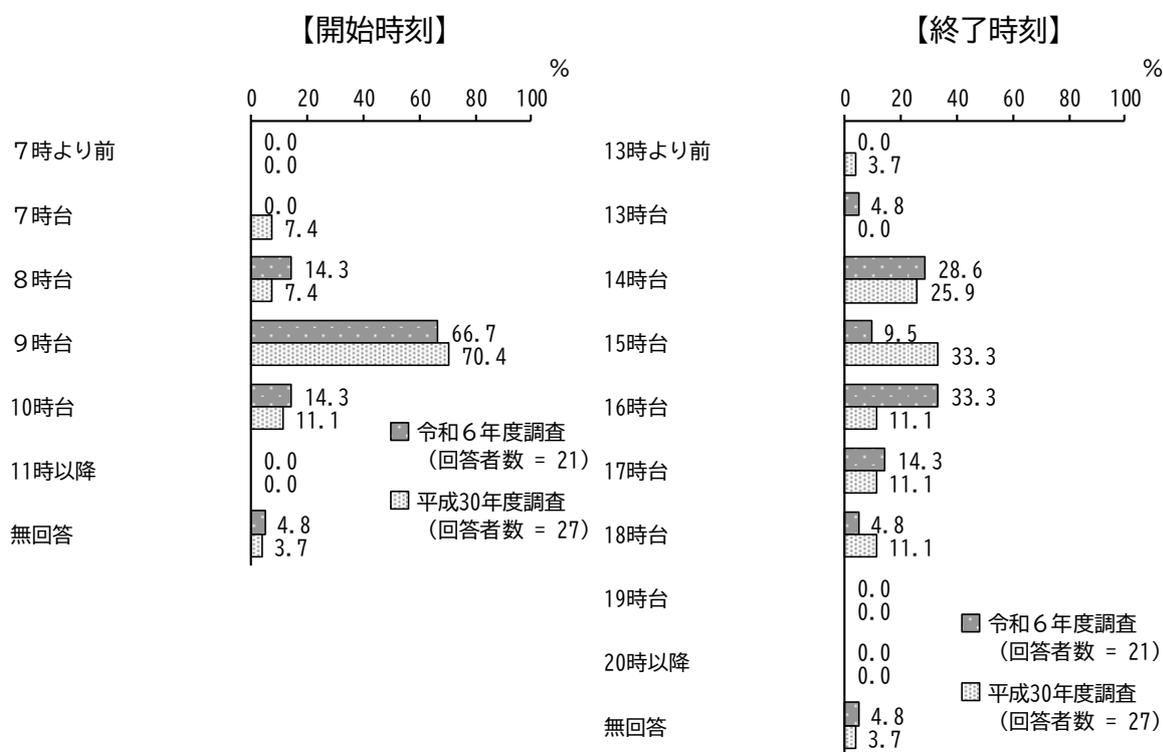
「9時台」の割合が66.7%と最も高く、次いで「8時台」、「10時台」の割合が14.3%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「8時台」の割合が増加しています。一方、「7時台」の割合が減少しています。

終了時刻

「16時台」の割合が33.3%と最も高く、次いで「14時台」の割合が28.6%、「17時台」の割合が14.3%となっています。

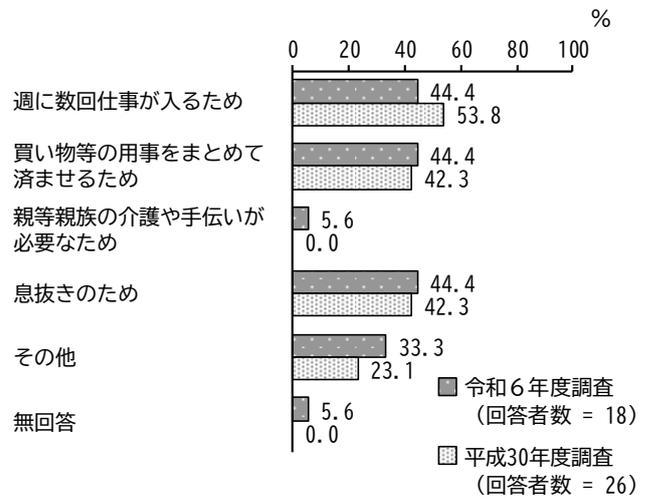
平成30年度調査と比較すると、「16時台」の割合が増加しています。一方、「15時台」「18時台」の割合が減少しています。



問 26-1 問 26 で、「休みの期間中、週に数日利用したい」に○をつけた方にかがいます。
 毎日ではなく、たまに利用したい理由は何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「週に数回仕事が入るため」、「買い物等の用事をまとめて済ませるため」、「息抜きのため」の割合が 44.4%と最も高くなっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「親等親族の介護や手伝いが必要なため」の割合が増加しています。一方、「週に数回仕事が入るため」の割合が減少しています。

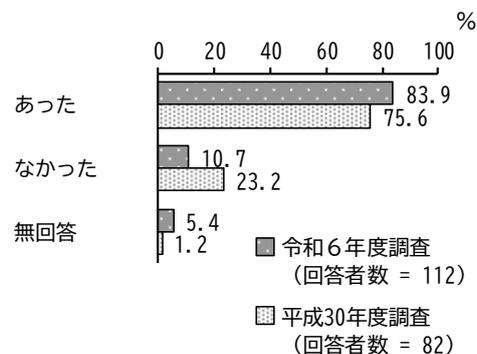


(8) 宛名のお子さんの病気の際の対応について (平日の教育・保育を利用する方のみ)

問 27 平日の定期的な教育・保育の事業を利用していると答えた保護者の方（問 20 で「利用している」に○をつけた方）にうかがいます。利用していらっしゃらない方は、問 28 にお進みください。
この1年間に、宛名のお子さんが病気やけがで通常の事業が利用できなかったことはありますか。

「あった」の割合が83.9%、「なかった」の割合が10.7%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「あった」の割合が増加しています。



【子どもの年齢別】

子どもの年齢別にみると、大きな差はみられません。

単位：%

区分	回答者数 (件)	あった	なかった	無回答
全 体	112	83.9	10.7	5.4
0 歳	5	100.0	—	—
1 歳	9	100.0	—	—
2 歳	16	87.5	—	12.5
3 歳	22	86.4	9.1	4.5
4 歳	26	80.8	15.4	3.8
5 歳	32	78.1	15.6	6.3

【母親の就労状況別】

母親の就労状況別にみると、以前は就労していたが、現在は就労していないで「なかった」の割合が高くなっています。

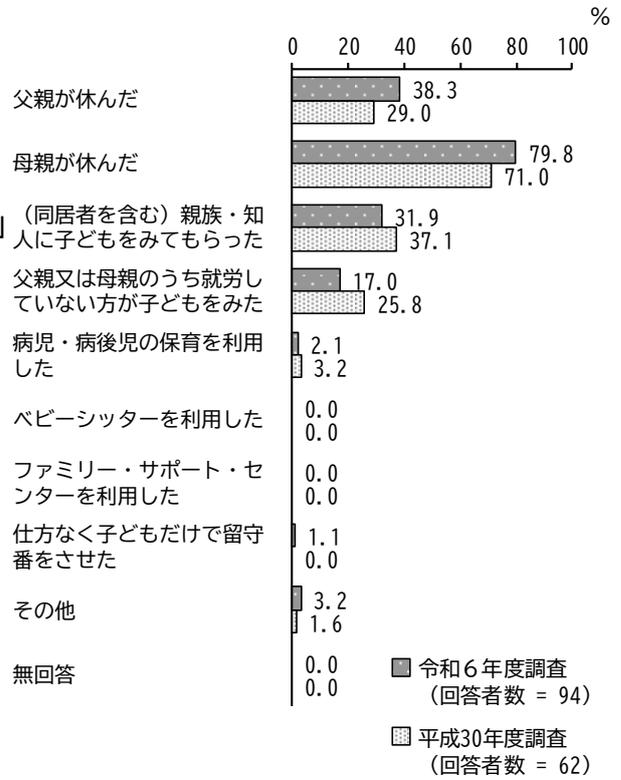
単位：％

区分	回答者数 (件)	あった	なかった	無回答
全 体	112	83.9	10.7	5.4
フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	47	89.4	8.5	2.1
フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しているが、産休・育休・介護休業中である	9	100.0	—	—
パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	33	78.8	15.2	6.1
パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しているが、産休・育休・介護休業中である	3	100.0	—	—
以前は就労していたが、現在は就労していない	16	68.8	18.8	12.5
これまで就労したことがない	2	50.0	—	50.0

問 27-1 宛名のお子さんが病気やけがで普段利用している教育・保育の事業が利用できなかった場合に、この1年間に行った対処方法として当てはまる記号すべてに○をつけ、それぞれの日数も()内に数字でご記入ください。(半日程度の対応の場合も1日とカウントしてください。)

「母親が休んだ」の割合が79.8%と最も高く、次いで「父親が休んだ」の割合が38.3%、「(同居者を含む)親族・知人に子どもをみてもらった」の割合が31.9%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「父親が休んだ」「母親が休んだ」の割合が増加しています。一方、「(同居者を含む)親族・知人に子どもをみてもらった」「父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた」の割合が減少しています。



【子どもの年齢別】

子どもの年齢別にみると、2歳で「(同居者を含む)親族・知人に子どもをみてもらった」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数(件)	父親が休んだ	母親が休んだ	みてもらった(同居者を含む)親族・知人に子どもを	父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた	病気・病後児の保育を利用した	ベビーシッターを利用した	ファミリー・サポート・センターを利用した	仕方なく子どもだけで留守番をさせた	その他	無回答
全体	94	38.3	79.8	31.9	17.0	2.1	-	-	1.1	3.2	-
0歳	5	40.0	100.0	40.0	-	-	-	-	-	-	-
1歳	9	33.3	88.9	44.4	-	11.1	-	-	-	-	-
2歳	14	50.0	85.7	57.1	-	-	-	-	-	7.1	-
3歳	19	31.6	73.7	31.6	26.3	-	-	-	-	5.3	-
4歳	21	28.6	66.7	14.3	33.3	4.8	-	-	4.8	4.8	-
5歳	25	44.0	84.0	28.0	16.0	-	-	-	-	-	-

【母親の就労状況別】

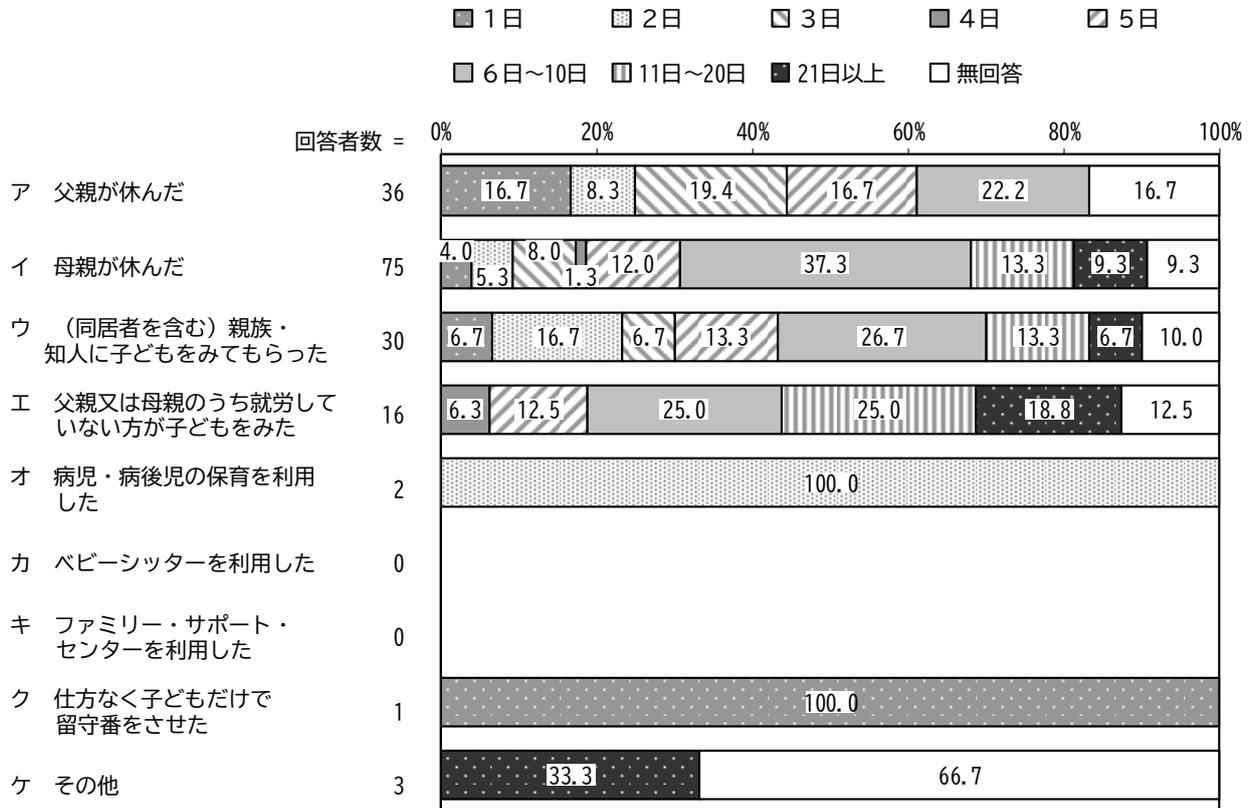
母親の就労状況別にみると、以前は就労していたが、現在は就労していないで「父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数(件)	父親が休んだ	母親が休んだ	に(同居者を含む)親族・知人に子どもをみてもらった	父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた	病児・病後児の保育を利用した	ベビーシッターを利用した	ファミリー・サポート・センターを利用した	仕方なく子どもだけで留守番をさせた	その他	無回答
全 体	94	38.3	79.8	31.9	17.0	2.1	-	-	1.1	3.2	-
フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	42	50.0	92.9	47.6	2.4	-	-	-	2.4	2.4	-
フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)で就労しているが、産休・育休・介護休業中である	9	55.6	77.8	33.3	22.2	-	-	-	-	11.1	-
パート・アルバイト等(「フルタイム」以外の就労)で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	26	19.2	96.2	23.1	3.8	7.7	-	-	-	-	-
パート・アルバイト等(「フルタイム」以外の就労)で就労しているが、産休・育休・介護休業中である	3	33.3	66.7	33.3	33.3	-	-	-	-	-	-
以前は就労していたが、現在は就労していない	11	18.2	9.1	-	81.8	-	-	-	-	9.1	-
これまで就労したことがない	1	100.0	-	-	100.0	-	-	-	-	-	-

1年間の対処日数

『ア 父親が休んだ』で「1日」の割合が高くなっている一方、『イ 母親が休んだ』で「6日～10日」の割合が高くなっています。また、『エ 父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた』で「11日～20日」「21日以上」の割合が高くなっています。

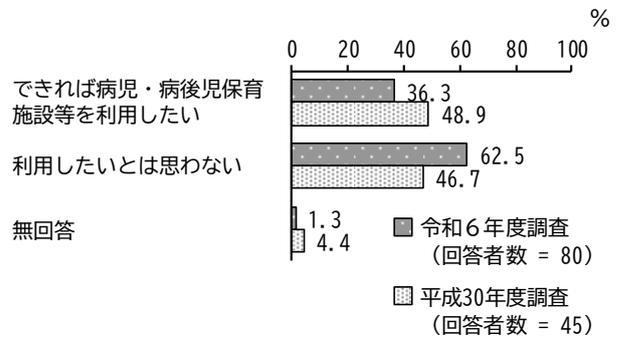


問 27-2 問 27-1 で「父親が休んだ」「母親が休んだ」のいずれかに○をつけた方にかがいます。

その際、「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思われましたか。当てはまる番号1つに○をつけ、日数についても（ ）内に数字でご記入ください。なお、病児・病後児のための事業等の利用には、一定の利用料がかかり、利用前にかかりつけ医の受診が必要となります。

「できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」の割合が 36.3%、「利用したいとは思わない」の割合が 62.5%となっています。

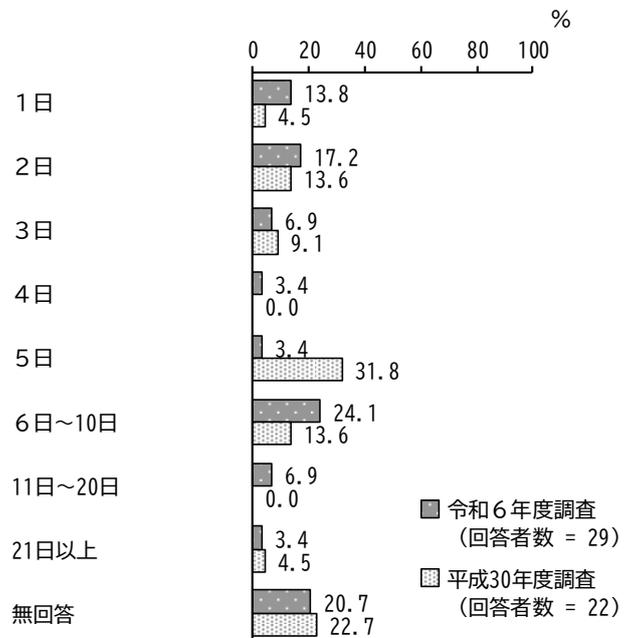
平成 30 年度調査と比較すると、「利用したいとは思わない」の割合が増加しています。



病児・病後児保育施設等を利用したい日数

「6日～10日」の割合が 24.1%と最も高く、次いで「2日」の割合が 17.2%、「1日」の割合が 13.8%となっています。

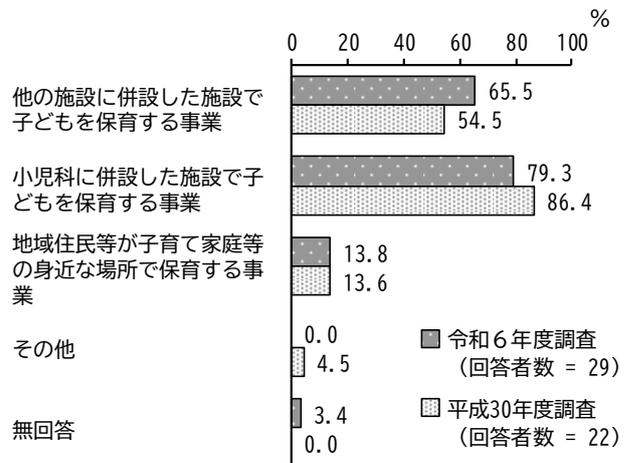
平成 30 年度調査と比較すると、「1日」「6日～10日」「11日～20日」の割合が増加しています。一方、「5日」の割合が減少しています。



問 27-3 問 27-2で「できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」に○をつけた方にうかがいます。
 上記の目的で子どもを預ける場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思われるか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「小児科に併設した施設で子どもを保育する事業」の割合が79.3%と最も高く、次いで「他の施設に併設した施設で子どもを保育する事業」の割合が65.5%、「地域住民等が子育て家庭等の身近な場所で保育する事業」の割合が13.8%となっています。

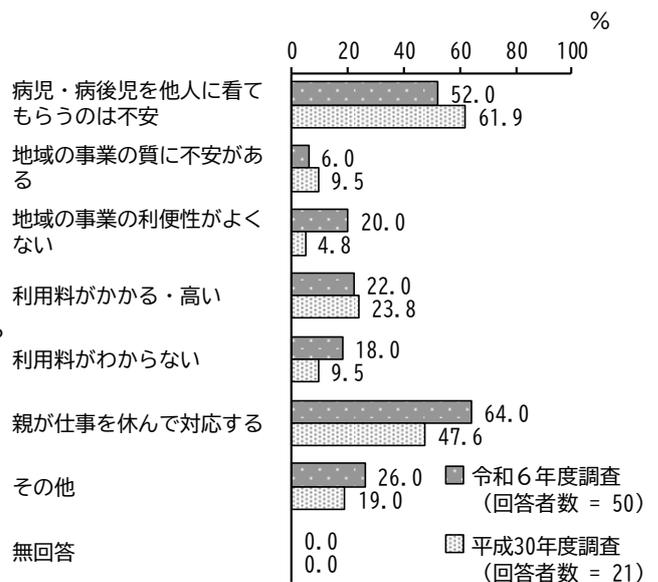
平成30年度調査と比較すると、「他の施設に併設した施設で子どもを保育する事業」の割合が増加しています。一方、「小児科に併設した施設で子どもを保育する事業」の割合が減少しています。



問 27-4 問 27-2で「利用したいとは思わない」に○をつけた方にうかがいます。
 そう思われる理由について当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「親が仕事を休んで対応する」の割合が64.0%と最も高く、次いで「病児・病後児を他人に看ってもらうのは不安」の割合が52.0%、「利用料がかかる・高い」の割合が22.0%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「地域の事業の利便性がよくない」「利用料がわからない」「親が仕事を休んで対応する」の割合が増加しています。一方、「病児・病後児を他人に看ってもらうのは不安」の割合が減少しています。

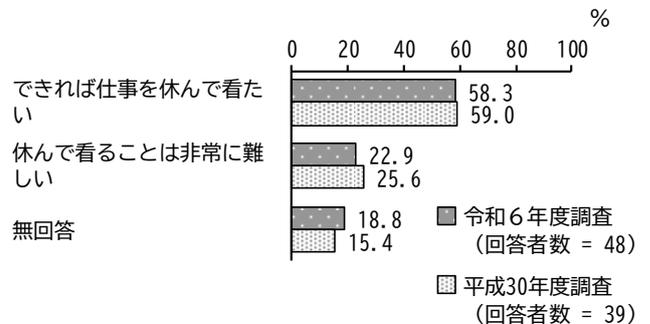


問 27-5 問 27-1 で「(同居者を含む) 親族・知人に子どもをみてもらった」から「その他」のいずれかに○をつけた方にかがいます。

その際、「できれば父母のいずれかが仕事を休んで看たい」と思われましたか。当てはまる番号1つに○をつけ、「(同居者を含む) 親族・知人に子どもをみてもらった」から「その他」の日数のうち仕事を休んで看たかった日数についても () 内に数字でご記入ください。

「できれば仕事を休んで看たい」の割合が 58.3%、「休んで看ることは非常に難しい」の割合が 22.9%となっています。

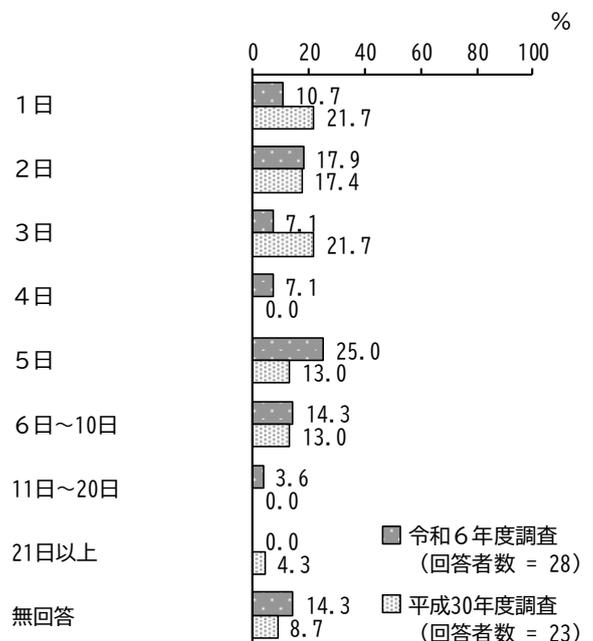
平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



できれば仕事を休んで看たい日数

「5日」の割合が 25.0%と最も高く、次いで「2日」の割合が 17.9%、「6日~10日」の割合が 14.3%となっています。

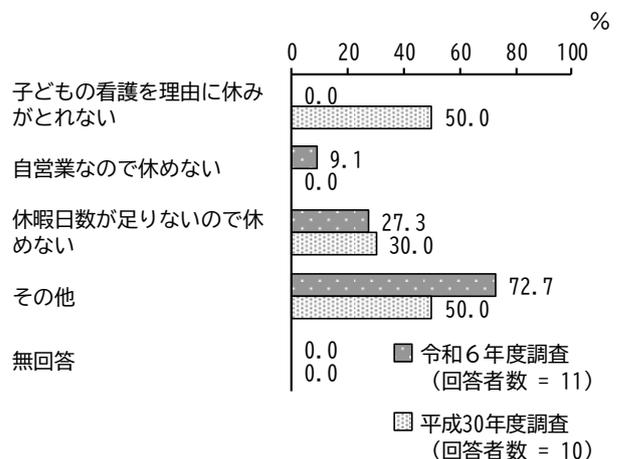
平成 30 年度調査と比較すると、「4日」「5日」の割合が増加しています。一方、「1日」「3日」の割合が減少しています。



問 27-6 問 27-5 で「休んで看ることは非常に難しい」に○をつけた方にかがいます。そう思われる理由について当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「休暇日数が足りないので休めない」の割合が 27.3%と最も高くなっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「自営業なので休めない」の割合が増加しています。一方、「子どもの看護を理由に休みがとれない」の割合が減少しています。

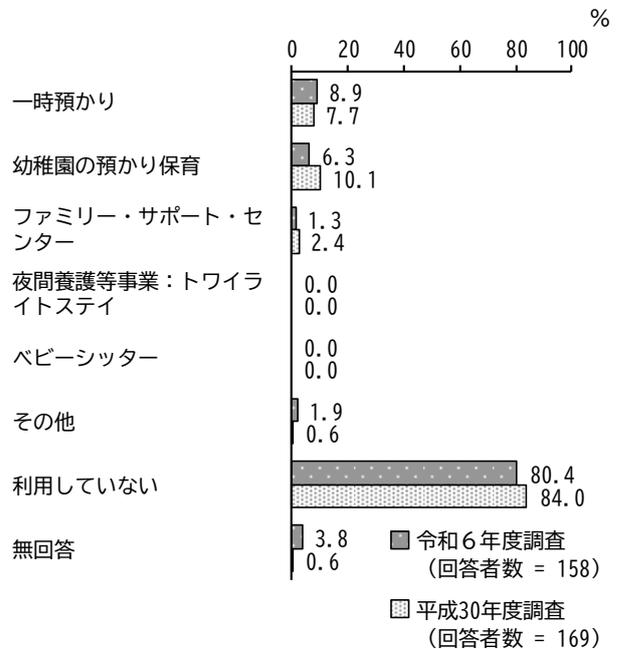


(9) 宛名のお子さんの不特定の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用について

問 28 宛名のお子さんについて、日中の定期的な保育や病気のため以外に、私用、親の通院、不特定の就労等の目的で不定期に利用している事業はありますか。ある場合は、当てはまる番号すべてに○をつけ、1年間の利用日数（おおよそ）を（ ）内に数字でご記入ください。

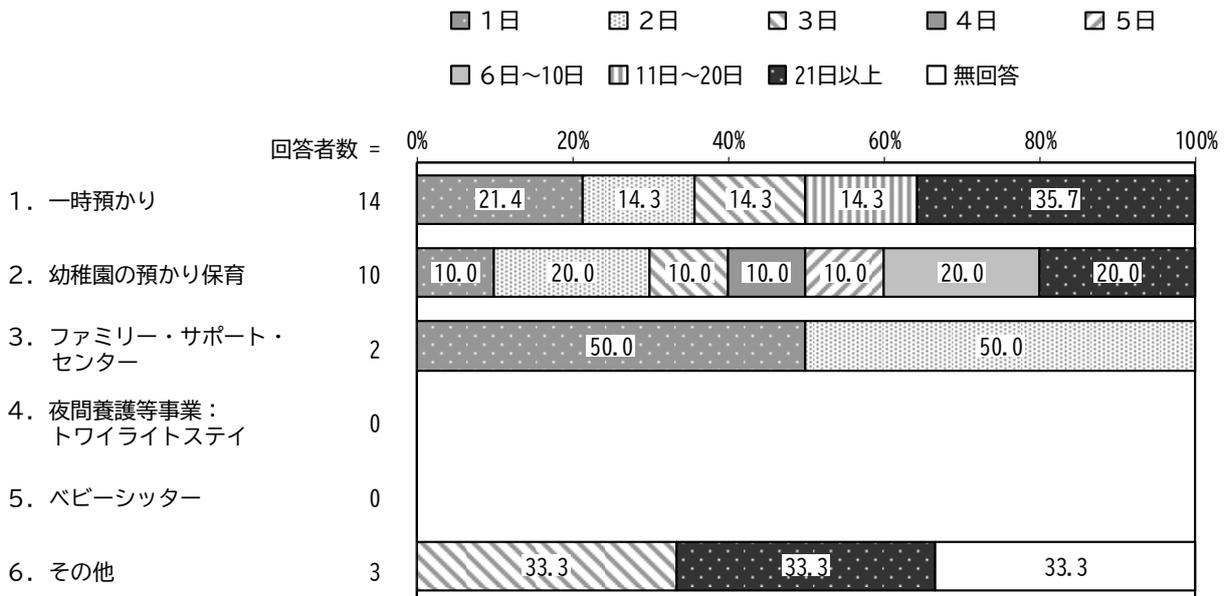
「利用していない」の割合が80.4%と最も高くなっています。

平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



年間利用日数

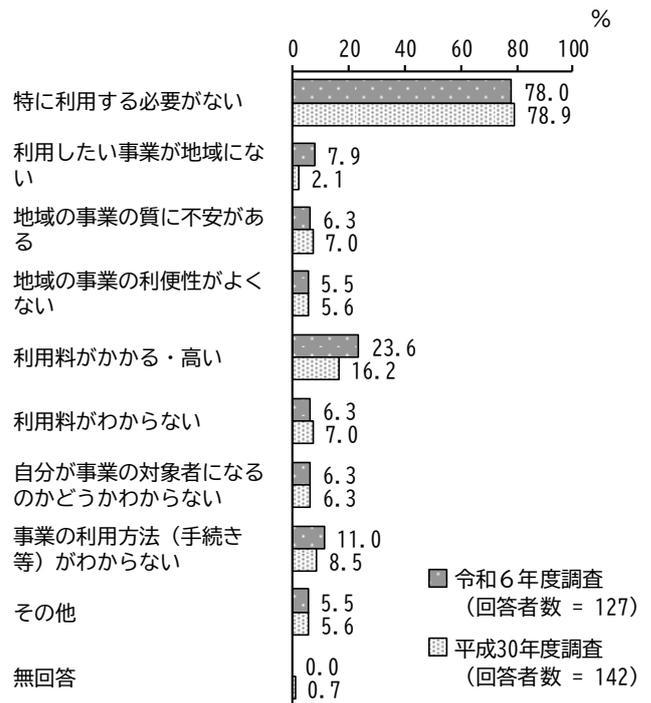
『1. 一時預かり』『2. 幼稚園の預かり保育』で「21日以上」の割合が高くなっています。



問 28-1 問 28 で「利用していない」に○をつけた方にうかがいます。
 現在利用していない理由は何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「特に利用する必要がない」の割合が 78.0%と最も高く、次いで「利用料がかかる・高い」の割合が 23.6%、「事業の利用方法（手続き等）がわからない」の割合が 11.0%となっています。

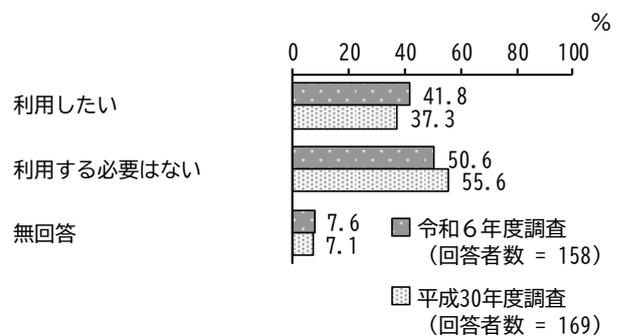
平成 30 年度調査と比較すると、「利用したい事業が地域にない」「利用料がかかる・高い」の割合が増加しています。



問 29 宛名のお子さんについて、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で、年間何日くらい事業を利用する必要があると思いますか。利用希望の有無について当てはまる番号・記号すべてに○をつけ、必要な日数をご記入ください。（利用したい日数の合計と、目的別の内訳の日数を（ ）内に数字でご記入ください。）

「利用したい」の割合が 41.8%、「利用する必要はない」の割合が 50.6%となっています。

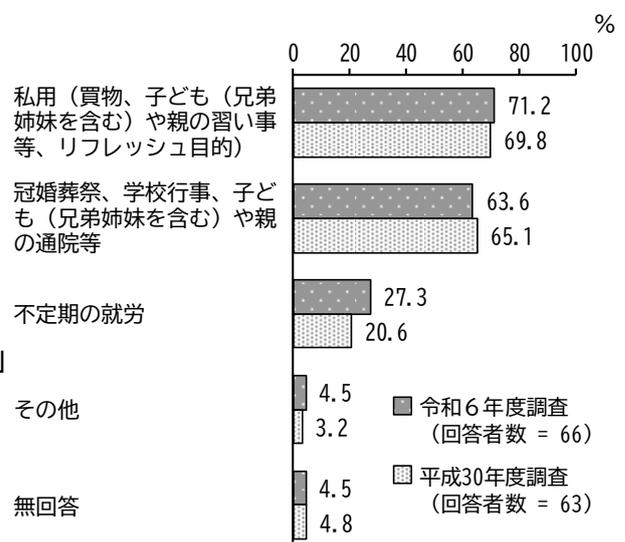
平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



利用目的

「私用（買物、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の習い事等、リフレッシュ目的）」の割合が 71.2%と最も高く、次いで「冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の通院等」の割合が 63.6%、「不定期の就労」の割合が 27.3%となっています。

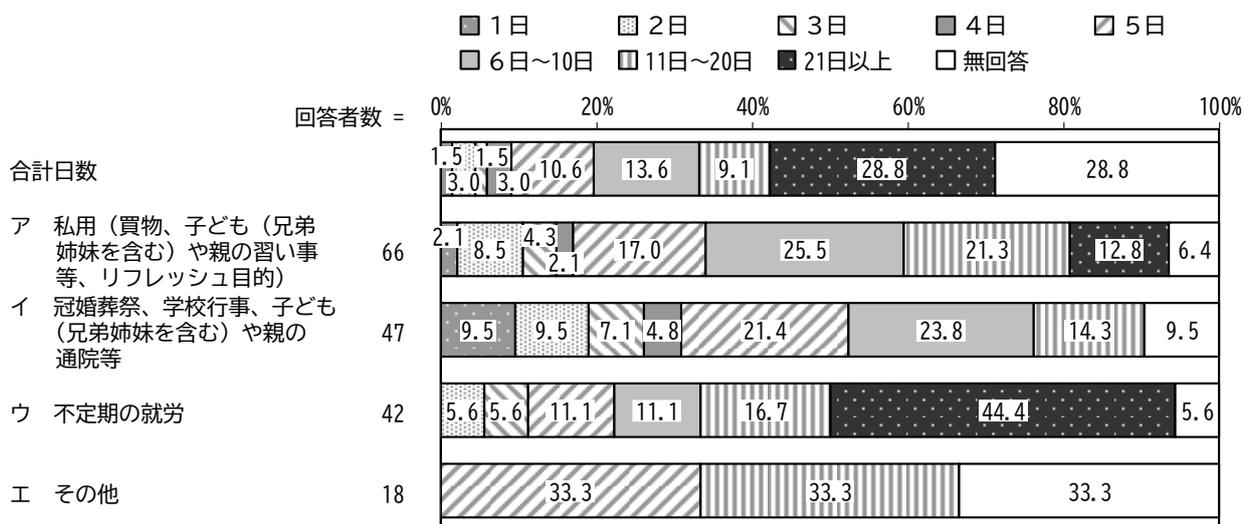
平成 30 年度調査と比較すると、「不定期の就労」の割合が増加しています。



利用日数

利用合計日数では、「21日以上」の割合が28.8%と最も高く、次いで「6日～10日」の割合が13.6%、「5日」の割合が10.6%となっています。

利用目的別では、『ア 私用（買物、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の習い事等、リフレッシュ目的）』で「11日～20日」の割合が、『ウ 不定期の就労』で「21日以上」の割合が高くなっています。

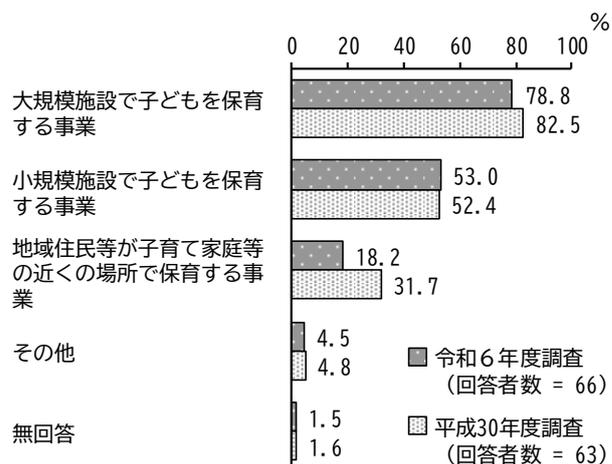


問 29-1 問 29 で「利用したい」に○をつけた方にうかがいます。

問 29 の目的でお子さんを預ける場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思われますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「大規模施設で子どもを保育する事業」の割合が78.8%と最も高く、次いで「小規模施設で子どもを保育する事業」の割合が53.0%、「地域住民等が子育て家庭等の近くの場所で保育する事業」の割合が18.2%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「地域住民等が子育て家庭等の近くの場所で保育する事業」の割合が減少しています。

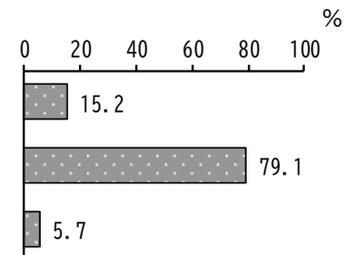


問 30 宛名のお子さんについて、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族（兄弟姉妹含む）の育児疲れや育児不安、病気など）により、泊りがけで年間何日くらい家族以外に預ける必要があると思いますか。利用希望の有無について当てはまる番号・記号すべてに○をつけ、必要な泊数をご記入ください。（利用したい泊数の合計と、目的別の内訳の泊数を（ ）内に数字でご記入ください。）なお事業の利用にあたっては、一定の利用料がかかります。

「利用したい」の割合が 15.2%、「利用する必要はない」の割合が 79.1%となっています。

回答者数 = 158

利用したい
利用する必要はない
無回答

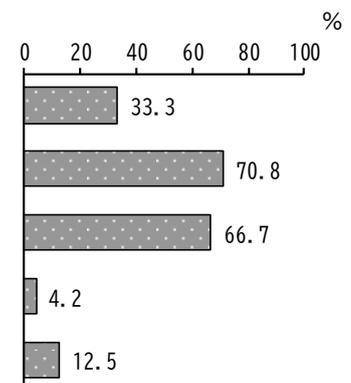


利用目的

「保護者や家族の育児疲れ」の割合が 70.8%と最も高く、次いで「保護者や家族の病気」の割合が 66.7%、「冠婚葬祭」の割合が 33.3%となっています。

回答者数 = 24

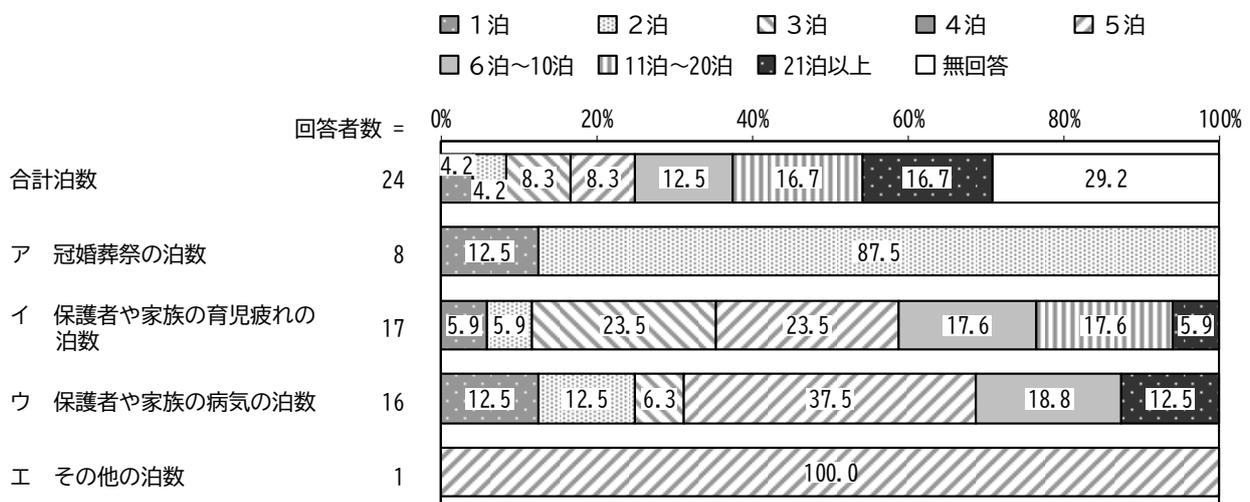
冠婚葬祭
保護者や家族の育児疲れ
保護者や家族の病気
その他
無回答



利用泊数

利用合計泊数では、「11泊～20泊」、「21泊以上」の割合が 16.7%と最も高く、次いで「6泊～10泊」の割合が 12.5%となっています。

利用目的別では、『ウ 保護者や家族の病気の泊数』で「5泊」の割合が高くなっています。

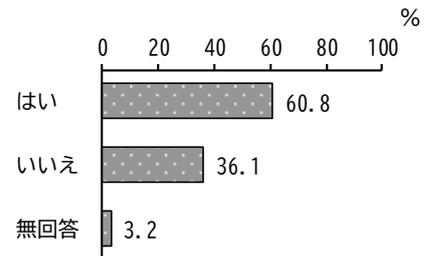


(10) こども誰でも通園制度について

問 31 こども誰でも通園制度を利用したいですか。

「はい」の割合が60.8%、「いいえ」の割合が36.1%となっています。

回答者数 = 158

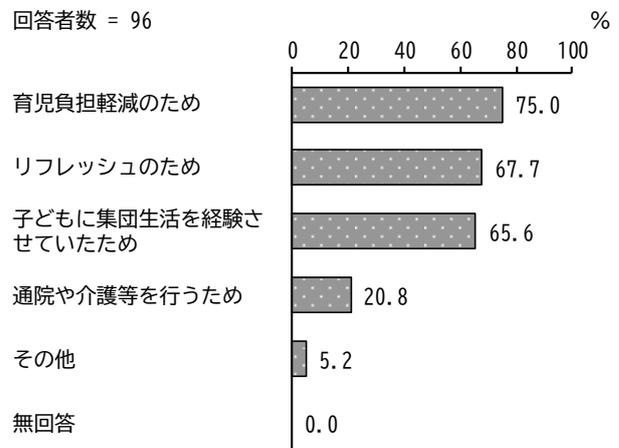


問 31-1 問 31 で「はい」に○をつけた方にうかがいます。

利用したい理由は何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「育児負担軽減のため」の割合が75.0%と最も高く、次いで「リフレッシュのため」の割合が67.7%、「子どもに集団生活を経験させていたため」の割合が65.6%となっています。

回答者数 = 96

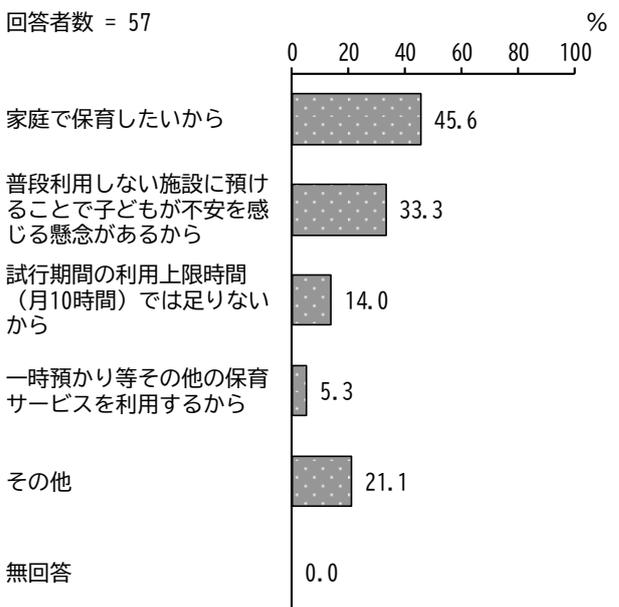


問 31-2 問 31 で「いいえ」に○をつけた方にうかがいます。

利用したくない理由は何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「家庭で保育したいから」の割合が45.6%と最も高く、次いで「普段利用しない施設に預けることで子どもが不安を感じる懸念があるから」の割合が33.3%、「試行期間の利用上限時間（月10時間）では足りないから」の割合が14.0%となっています。

回答者数 = 57

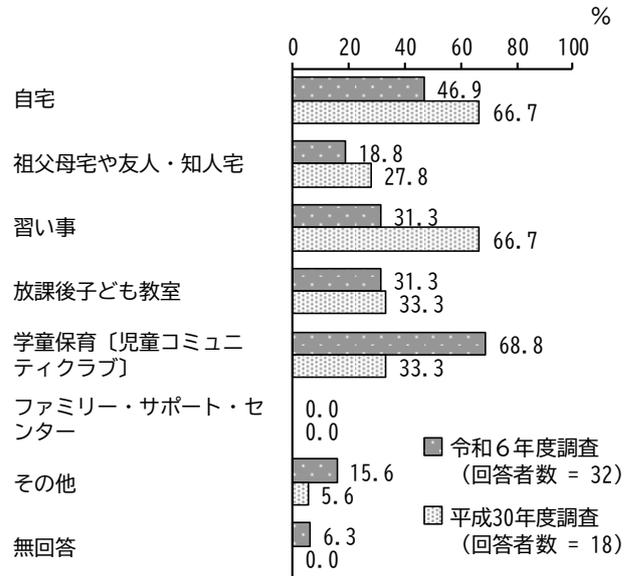


(11) 小学校就学後の放課後の過ごし方について (宛名のお子さんが5歳以上の方のみ)

問 32 宛名のお子さんについて、小学校低学年（1～3年生）のうち、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれ希望する週あたり日数を数字でご記入ください。また、「学童保育」の場合には、利用を希望する時間も（ ）内に数字でご記入ください。時間は必ず（例）18時のように24時間制でご記入ください。

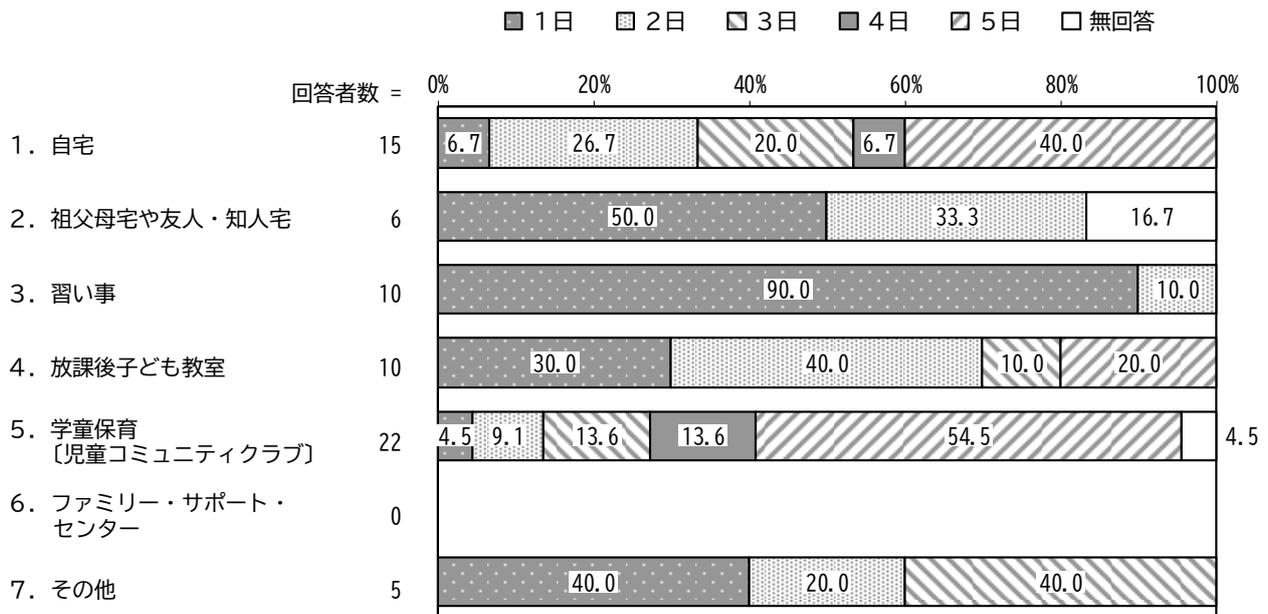
「学童保育〔児童コミュニティークラブ〕」の割合が68.8%と最も高く、次いで「自宅」の割合が46.9%、「習い事」、「放課後子ども教室」の割合が31.3%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「学童保育〔児童コミュニティークラブ〕」の割合が増加しています。一方、「自宅」「祖父母宅や友人・知人宅」「習い事」の割合が減少しています。



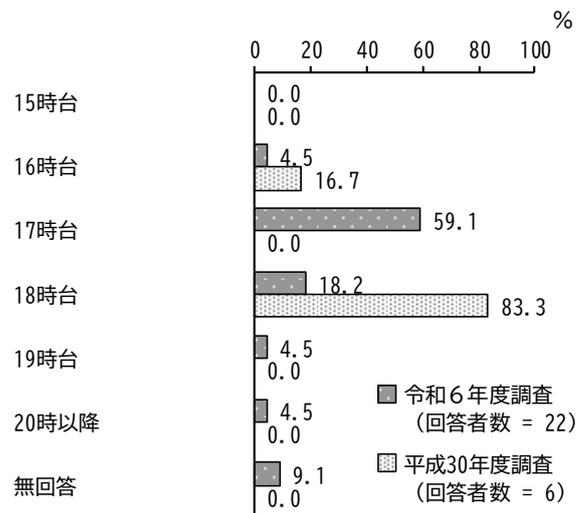
週当たりの利用日数

『3. 習い事』で「1日」の割合が高く、『5. 学童保育〔児童コミュニティークラブ〕』で「5にち」の割合が高くなっています。



学童保育〔児童コミュニティークラブ〕の利用終了時刻

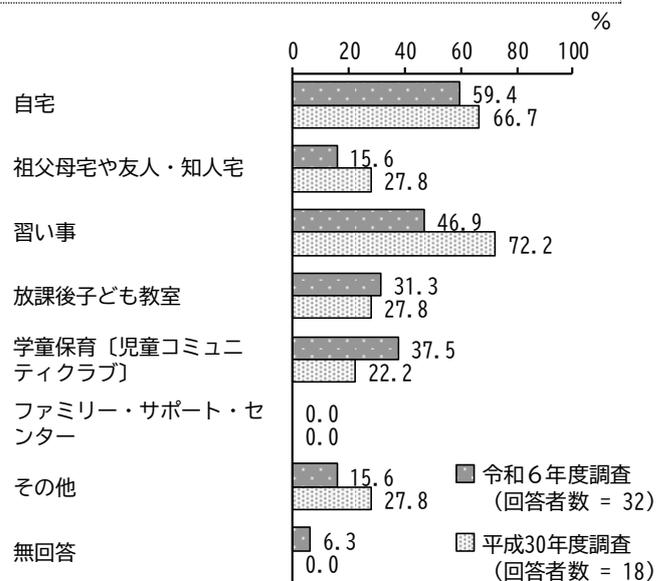
「17時台」の割合が59.1%と最も高く、次いで「18時台」の割合が18.2%となっています。



問 33 宛名のお子さんについて、小学校高学年（4～6年生）になったら、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれの週あたり日数を数字でご記入ください。また、「学童保育」の場合には、利用を希望する時間も（ ）内に数字でご記入ください。時間は必ず（例）18時のように24時間制でご記入ください。

「自宅」の割合が59.4%と最も高く、次いで「習い事」の割合が46.9%、「学童保育〔児童コミュニティークラブ〕」の割合が37.5%となっています。

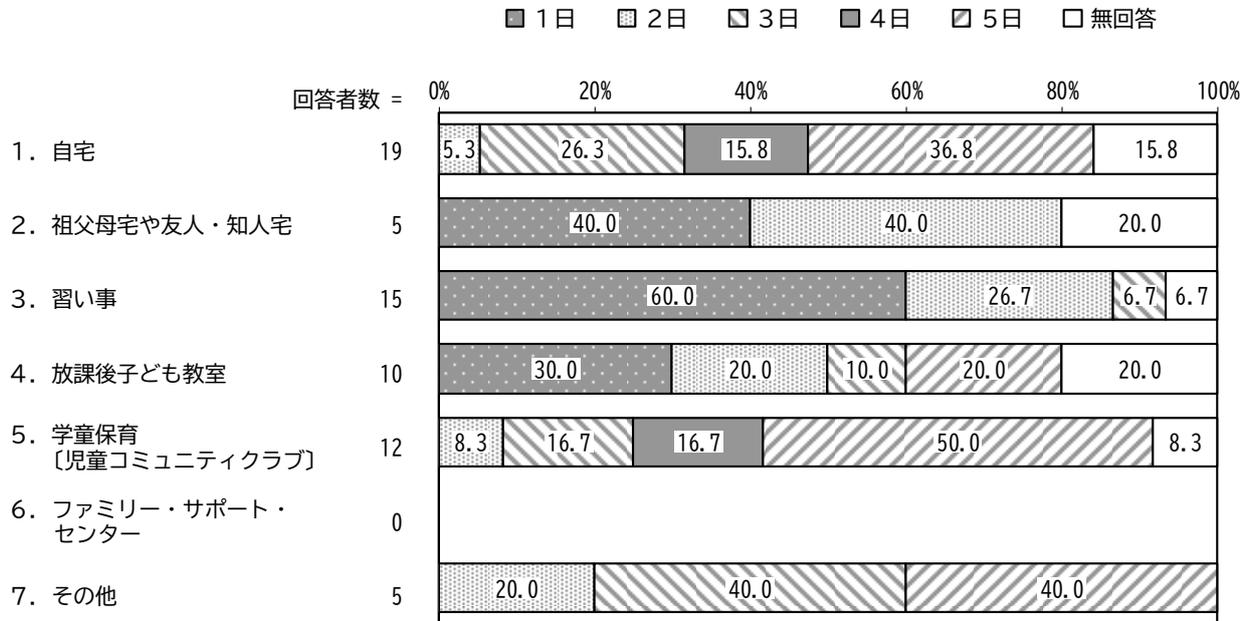
平成30年度調査と比較すると、「学童保育〔児童コミュニティークラブ〕」の割合が増加しています。一方、「自宅」「祖父母宅や友人・知人宅」「習い事」の割合が減少しています。



週当たりの利用日数

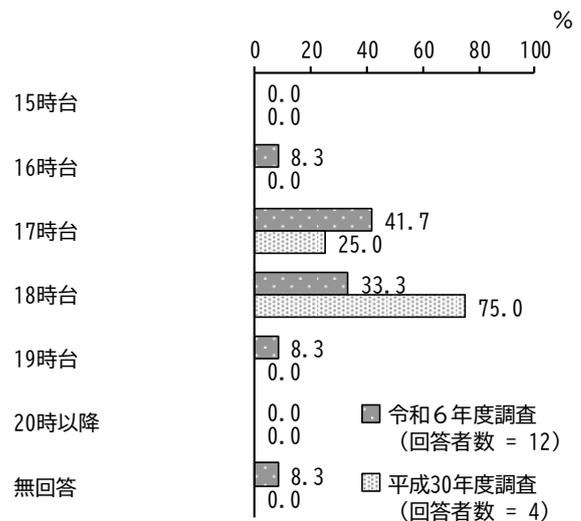
『3. 習い事』で「1日」の割合が高く、『5. 学童保育〔児童コミュニティクラブ〕』で「5日」の割合が高くなっています。

【令和6年度調査】



学童保育〔児童コミュニティクラブ〕の利用終了時刻

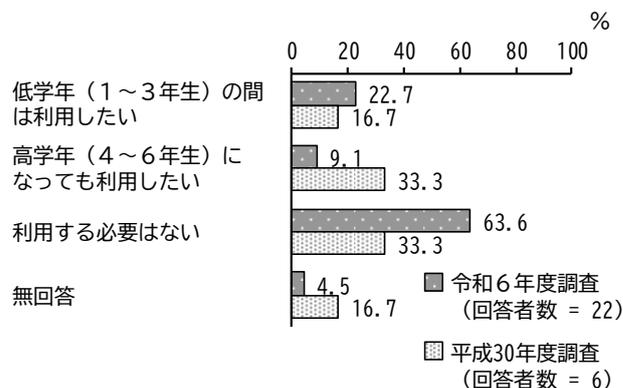
「17時台」の割合が41.7%と最も高く、次いで「18時台」の割合が33.3%となっています。



問 34 問 32 または問 33 で「学童保育〔児童コミュニティクラブ〕」に○をつけた方にかがいます。
宛名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、学童保育の利用希望はありますか。事業の利用には、一定の利用料がかかります。
次の（１）、（２）のそれぞれについて、当てはまる番号１つに○をつけてください。また利用したい時間帯を、（ ）内に（例）９時～１８時のように２４時間制でご記入ください。

（１）土曜日

「利用する必要はない」の割合が 63.6% と最も高く、次いで「低学年（１～３年生）の間は利用したい」の割合が 22.7% となっています。



利用したい時間帯

開始時刻

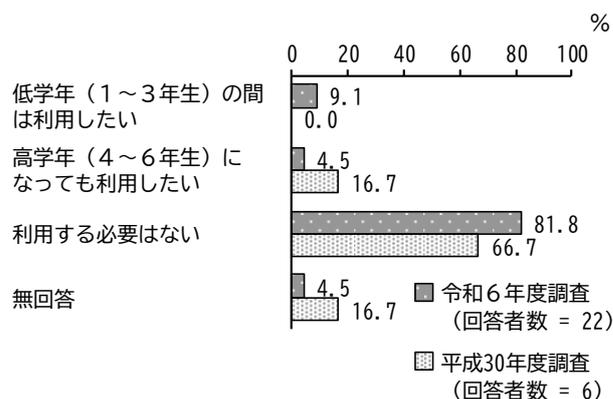
「８時台」が４件、「９時台」が２件、「１０時台」が１件となっています。

終了時刻

「１６時台」、「１７時台」、「１８時台」が２件となっています。

（２）日曜・祝日

「利用する必要はない」の割合が 81.8% と最も高くなっています。



利用したい時間帯

開始時刻

「９時台」が２件となっています。「１０時台」が１件となっています。

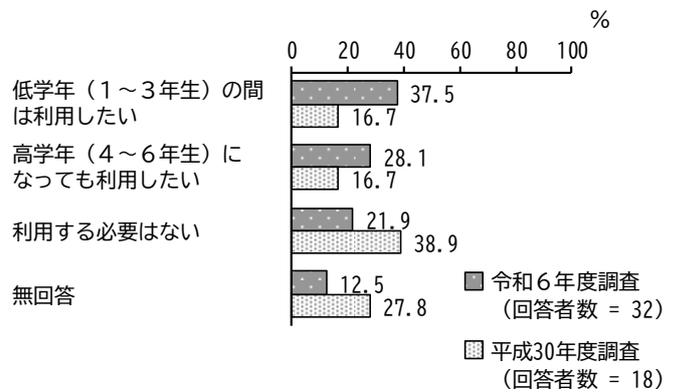
終了時刻

「１３時台」、「１６時台」、「１７時台」が１件となっています。

問 35 宛名のお子さんについて、お子さんの夏休み・冬休みなどの長期の休暇期間中の児童保育の利用希望はありますか。事業の利用には、一定の利用料がかかります。当てはまる番号1つに○をつけてください。また利用したい時間帯を、()内に(例)9時～18時のように24時間制でご記入ください。

「低学年（1～3年生）の間は利用したい」の割合が37.5%と最も高く、次いで「高学年（4～6年生）になっても利用したい」の割合が28.1%、「利用する必要はない」の割合が21.9%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「低学年（1～3年生）の間は利用したい」「高学年（4～6年生）になっても利用したい」の割合が増加しています。一方、「利用する必要はない」の割合が減少しています。



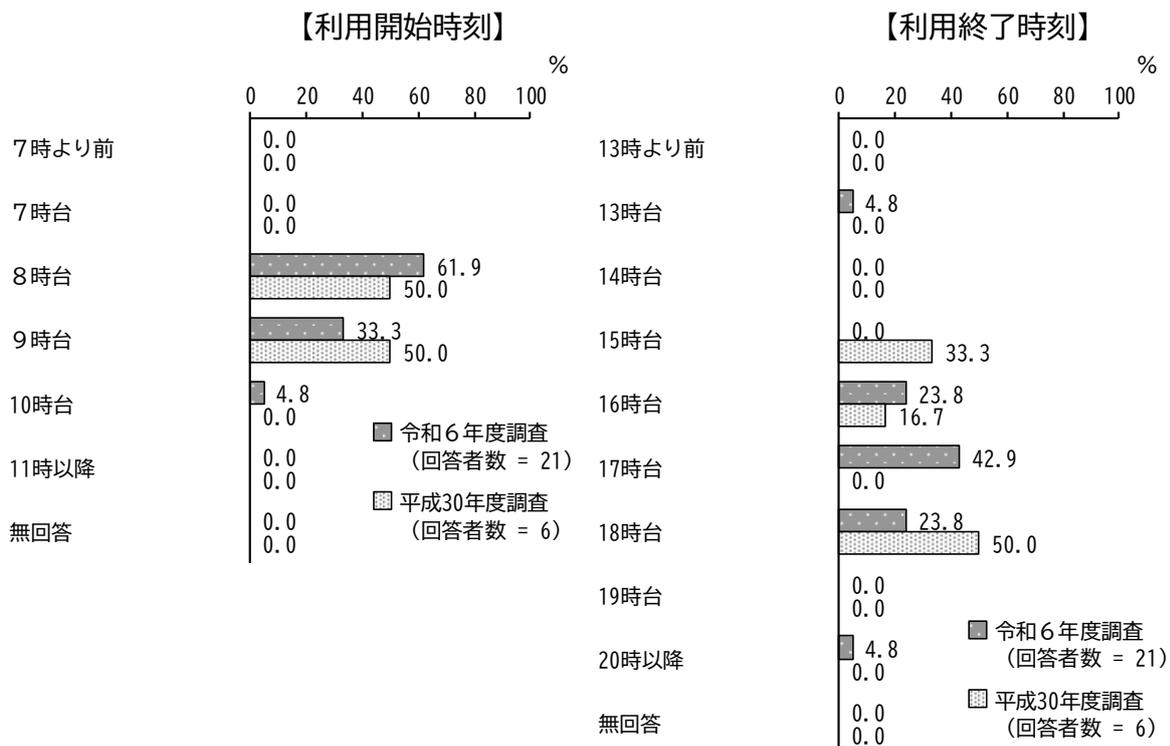
利用したい時間帯

開始時刻

「8時台」の割合が61.9%と最も高く、次いで「9時台」の割合が33.3%となっています。

終了時刻

「17時台」の割合が42.9%と最も高く、次いで「16時台」、「18時台」の割合が23.8%となっています。



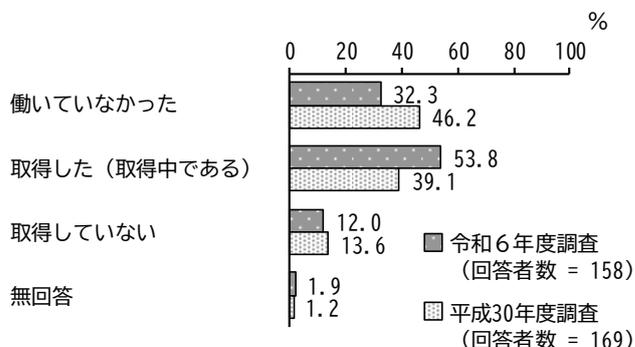
(12) 育児休業や短時間勤務制度など職場の両立支援制度について

問 36 宛名のお子さんが生まれた時、父母のいずれかもしくは双方が育児休業を取得しましたか。母親、父親それぞれについて、当てはまる番号1つに○をつけ、該当する()内には数字でご記入ください。また、取得していない方はその理由をご記入ください。

(1) 母親 (いずれかに○)

「取得した(取得中である)」の割合が53.8%と最も高く、次いで「働いていなかった」の割合が32.3%、「取得していない」の割合が12.0%となっています。

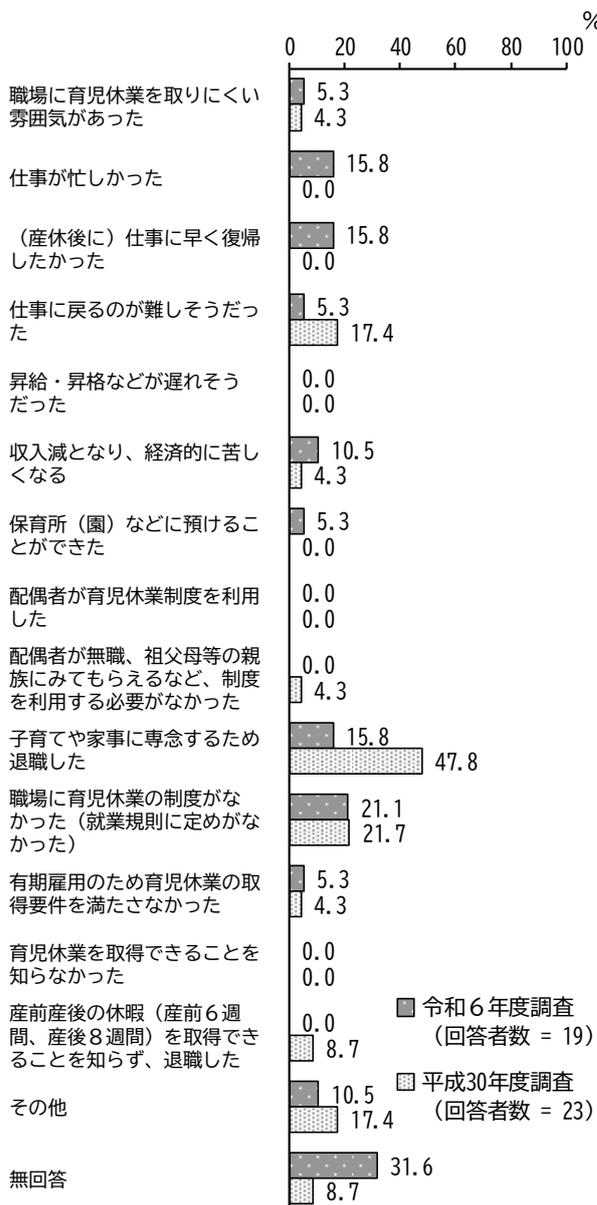
平成30年度調査と比較すると、「取得した(取得中である)」の割合が増加しています。一方、「働いていなかった」の割合が減少しています。



取得していない理由

「職場に育児休業の制度がなかった(就業規則に定めがなかった)」の割合が21.1%と最も高く、次いで「仕事が忙しかった」、「(産休後に)仕事に早く復帰したかった」、「子育てや家事に専念するため退職した」の割合が15.8%となっています。

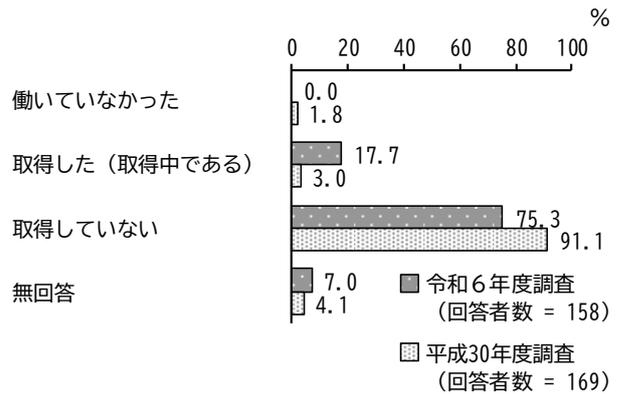
平成30年度調査と比較すると、「仕事が忙しかった」「(産休後に)仕事に早く復帰したかった」「収入減となり、経済的に苦しくなる」「保育所(園)などに預けることができた」の割合が増加しています。一方、「仕事に戻るのが難しそうだった」「子育てや家事に専念するため退職した」「産前産後の休暇(産前6週間、産後8週間)を取得できることを知らず、退職した」の割合が減少しています。



(2) 父親 (いずれかに○)

「取得していない」の割合が 75.3%と最も高く、次いで「取得した (取得中である)」の割合が 17.7%となっています。

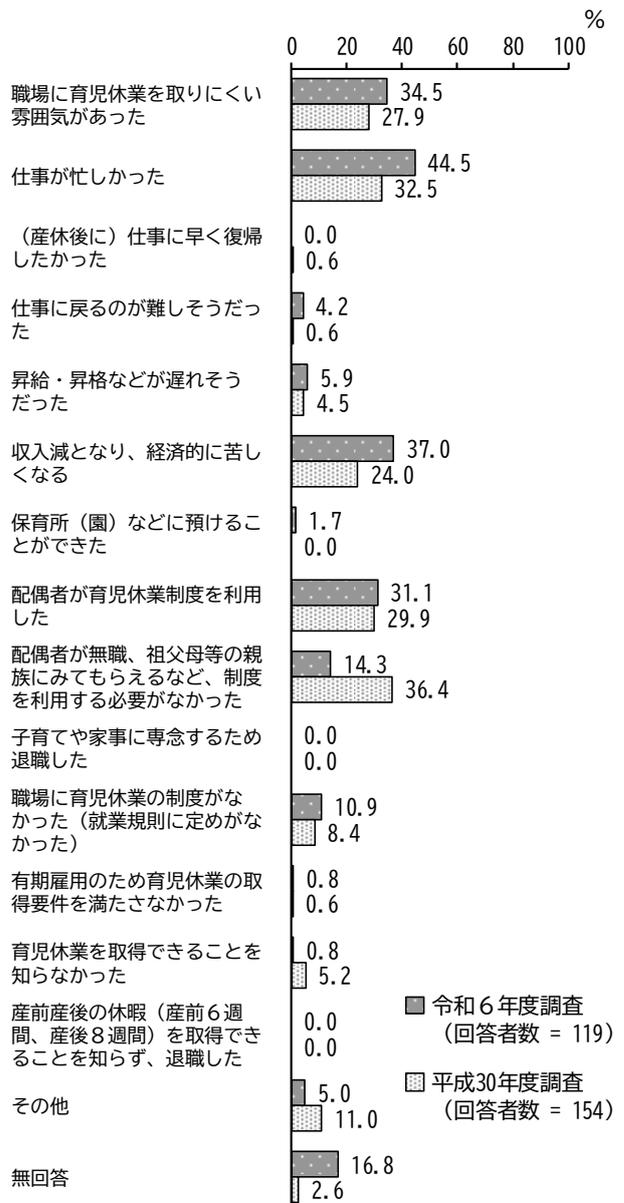
平成 30 年度調査と比較すると、「取得した (取得中である)」の割合が増加しています。一方、「取得していない」の割合が減少しています。



取得していない理由

「仕事が忙しかった」の割合が 44.5%と最も高く、次いで「収入減となり、経済的に苦しくなる」の割合が 37.0%、「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」の割合が 34.5%となっています。

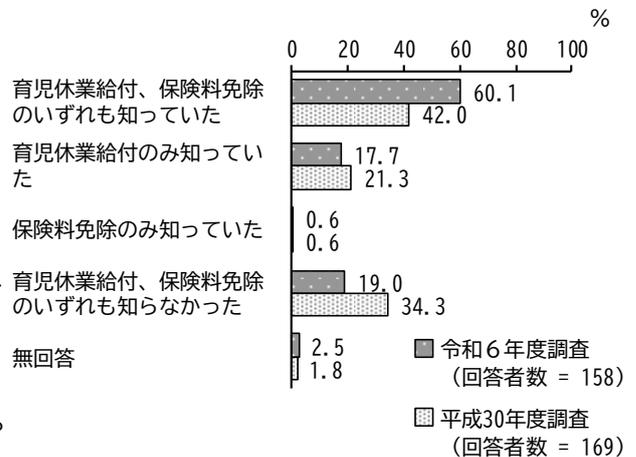
平成 30 年度調査と比較すると、「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」「仕事が忙しかった」「収入減となり、経済的に苦しくなる」の割合が増加しています。一方、「配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった」の割合が減少しています。



問 36-1 子どもが原則1歳（保育所における保育の実施が行われないなど一定の要件を満たす場合は1歳6か月）になるまで育児休業給付が支給される仕組み、子どもが満3歳になるまでの育児休業等（法定の育児休業及び企業が法定を上回る期間設けた育児休業に準ずる措置）の期間について健康保険及び厚生年金保険の保険料が免除になる仕組みがありますが、そのことをご存じでしたか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

「育児休業給付、保険料免除のいずれも知っていた」の割合が60.1%と最も高く、次いで「育児休業給付、保険料免除のいずれも知らなかった」の割合が19.0%、「育児休業給付のみ知っていた」の割合が17.7%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「育児休業給付、保険料免除のいずれも知っていた」の割合が増加しています。一方、「育児休業給付、保険料免除のいずれも知らなかった」の割合が減少しています。



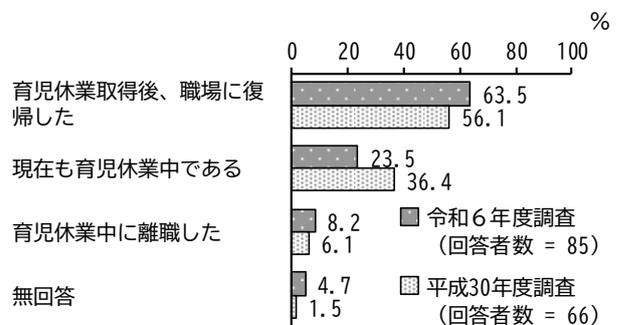
問 36-2 問 36 で母親・父親が「取得した（取得中である）」に○をつけた方にうかがいます。該当しない方は、問 37 へお進みください。

育児休業取得後、職場に復帰しましたか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

(1) 母親

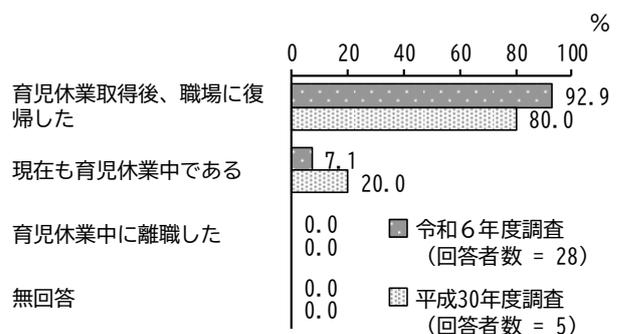
「育児休業取得後、職場に復帰した」の割合が63.5%と最も高く、次いで「現在も育児休業中である」の割合が23.5%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「育児休業取得後、職場に復帰した」の割合が増加しています。一方、「現在も育児休業中である」の割合が減少しています。



(2) 父親

「育児休業取得後、職場に復帰した」の割合が92.9%と最も高くなっています。



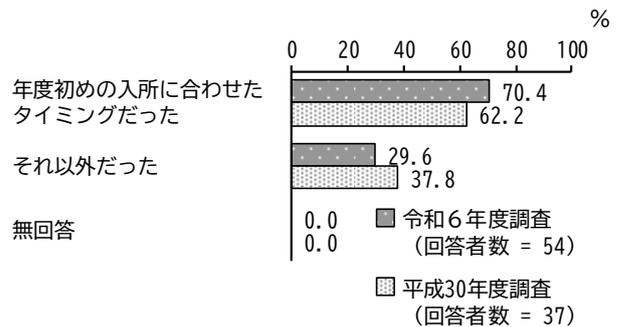
問 36-3 問 36-2 で「育児休業取得後、職場に復帰した」に○をつけた方にうかがいます。

育児休業から職場に復帰したのは、年度初めの保育所入所に合わせたタイミングでしたか。あるいはそれ以外でしたか。どちらか1つに○をつけてください。※年度初めでの認可保育所入所を希望して、1月～2月頃復帰して一時的に認可外保育所に入所した場合なども「年度初めの入所に合わせたタイミングだった」に当てはまります。また、年度初めでの入所を希望して復帰したが、実際には希望する保育所に入所できなかったという場合も「年度初めの入所に合わせたタイミングだった」を選択してください。

(1) 母親

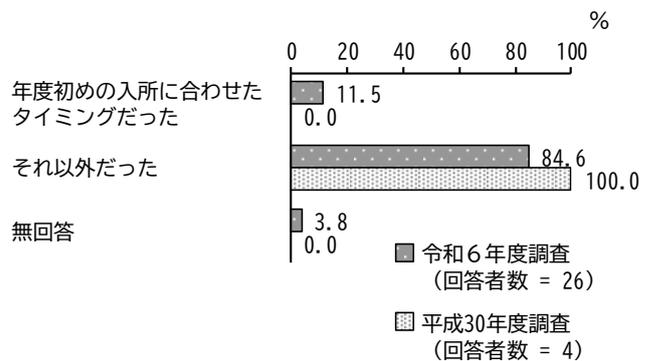
「年度初めの入所に合わせたタイミングだった」の割合が70.4%、「それ以外だった」の割合が29.6%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「年度初めの入所に合わせたタイミングだった」の割合が増加しています。



(2) 父親

「年度初めの入所に合わせたタイミングだった」の割合が11.5%、「それ以外だった」の割合が84.6%となっています。



問 36-4 育児休業からは、「実際」にお子さんが何歳何か月のときに職場復帰しましたか。また、お勤め先の育児休業の制度の期間内で、何歳何か月のときまで取りたかったですか。() 内に数字でご記入ください。

(1) 母親

実際の取得期間

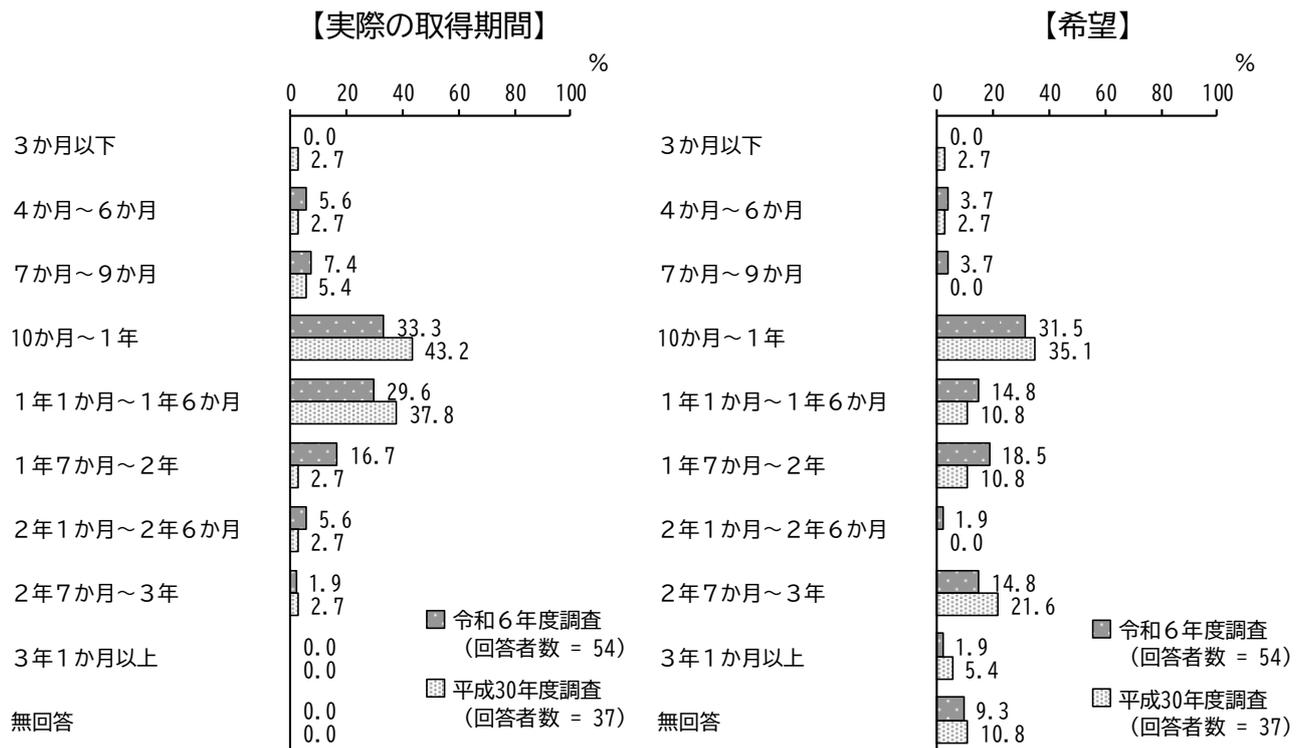
「10 か月～1年」の割合が 33.3%と最も高く、次いで「1年1か月～1年6か月」の割合が 29.6%、「1年7か月～2年」の割合が 16.7%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「1年7か月～2年」の割合が増加しています。一方、「10 か月～1年」「1年1か月～1年6か月」の割合が減少しています。

希望

「10 か月～1年」の割合が 31.5%と最も高く、次いで「1年7か月～2年」の割合が 18.5%、「1年1か月～1年6か月」「2年7か月～3年」の割合が 14.8%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「1年7か月～2年」の割合が増加しています。一方、「2年7か月～3年」の割合が減少しています。



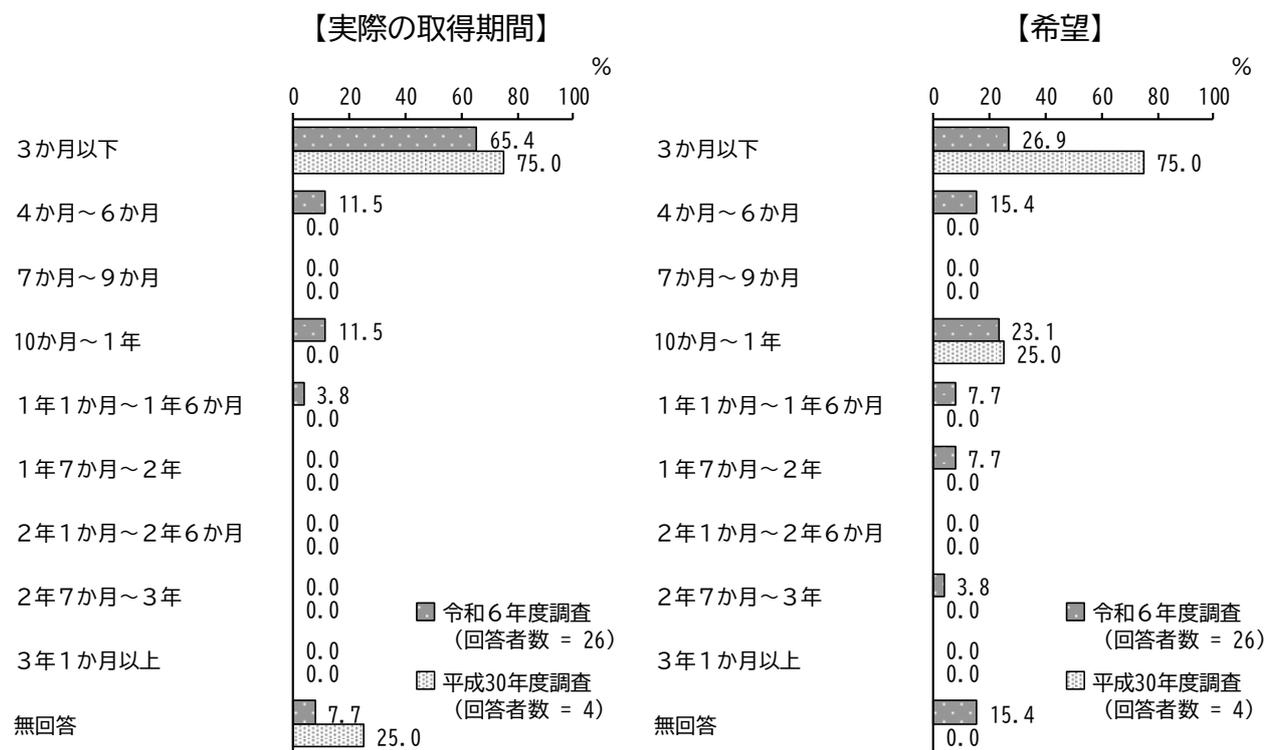
(2) 父親

実際の取得期間

「3か月以下」の割合が65.4%と最も高く、次いで「4か月～6か月」、「10か月～1年」の割合が11.5%となっています。

希望

「3か月以下」の割合が26.9%と最も高く、次いで「10か月～1年」の割合が23.1%、「4か月～6か月」の割合が15.4%となっています。

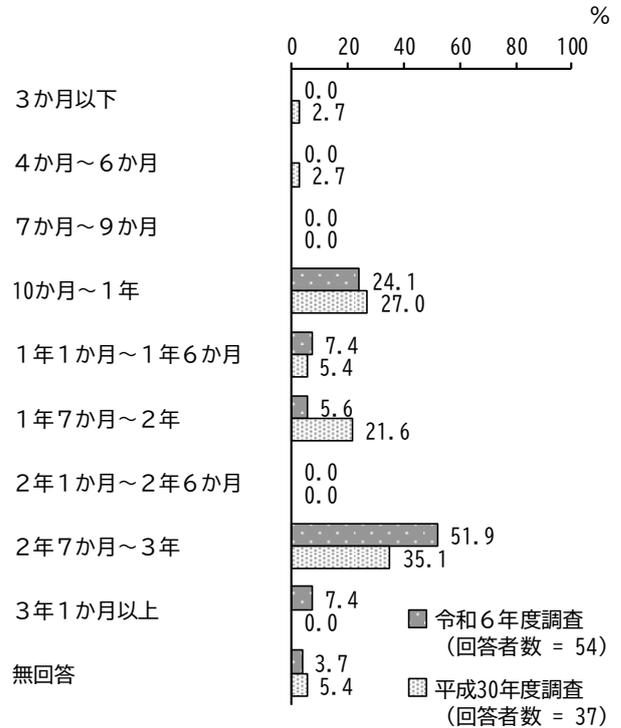


問 36-5 お勤め先に、育児のために3歳まで休暇を取得できる制度があった場合、「希望」としてはお子さんが何歳何か月のときまで取りたかったですか。() 内に数字でご記入ください。

(1) 母親

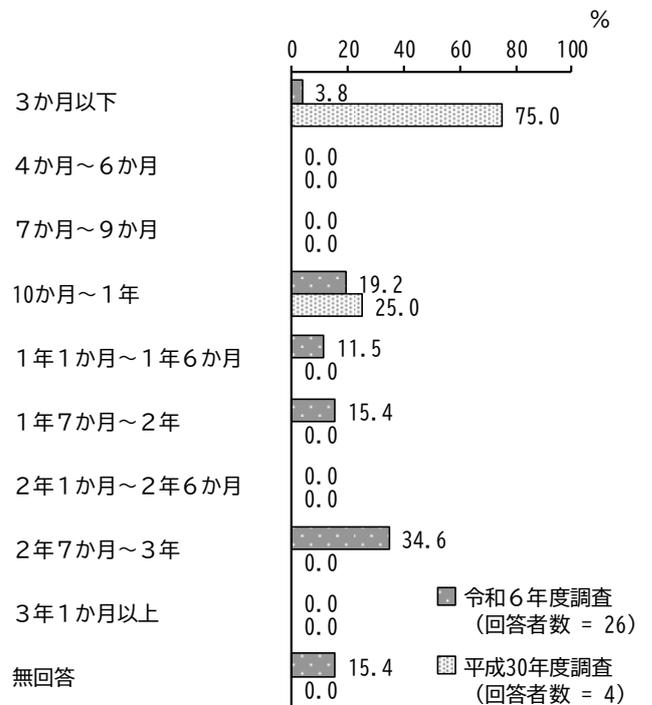
「2年7か月～3年」の割合が51.9%と最も高く、次いで「10か月～1年」の割合が24.1%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「2年7か月～3年」「3年1か月以上」の割合が増加しています。一方、「1年7か月～2年」の割合が減少しています。



(2) 父親

「2年7か月～3年」の割合が34.6%と最も高く、次いで「10か月～1年」の割合が19.2%、「1年7か月～2年」の割合が15.4%となっています。



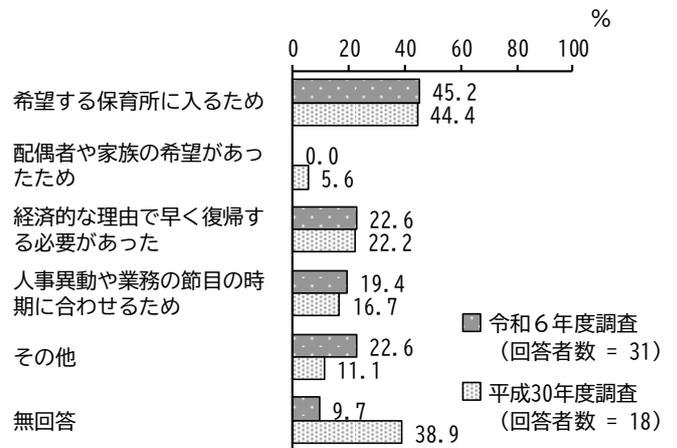
問 36-6 問 36-4 で実際の復帰と希望が異なる方にうかがいます。
希望の時期に職場復帰しなかった理由についてうかがいます。

(1) 「希望」より早く復帰した方 ※当てはまる番号すべてに○をつけてください。

①母親

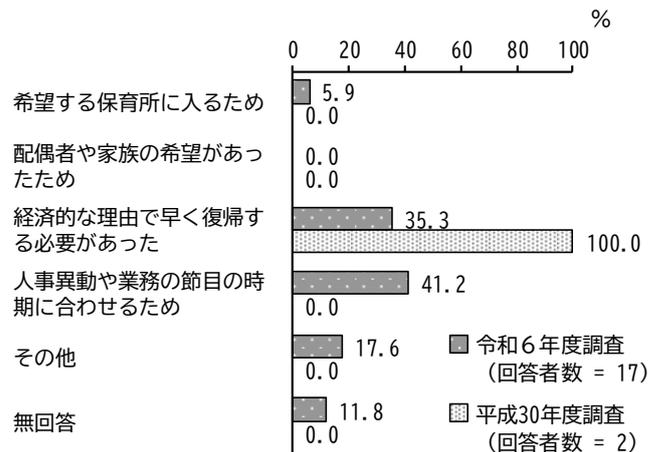
「希望する保育所に入るため」の割合が 45.2%と最も高く、次いで「経済的な理由で早く復帰する必要があった」の割合が 22.6%、「人事異動や業務の節目の時期に合わせるため」の割合が 19.4%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「配偶者や家族の希望があったため」の割合が減少しています。



②父親

「人事異動や業務の節目の時期に合わせるため」の割合が 41.2%と最も高く、次いで「経済的な理由で早く復帰する必要があった」の割合が 35.3%となっています。



(2) 「希望」より遅く復帰した方 ※当てはまる番号すべてに○をつけてください。

①母親

「希望する保育所に入れなかったため」が 4 件となっています。

②父親

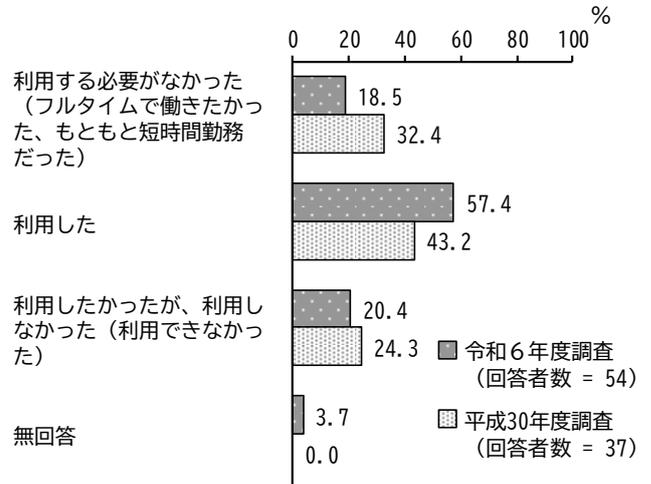
有効回答がありませんでした。

問 36-7 問 36-2 で「育児休業取得後、職場に復帰した」に○をつけた方にかがいます。
 育児休業からの職場復帰時には、短時間勤務制度を利用しましたか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

(1) 母親

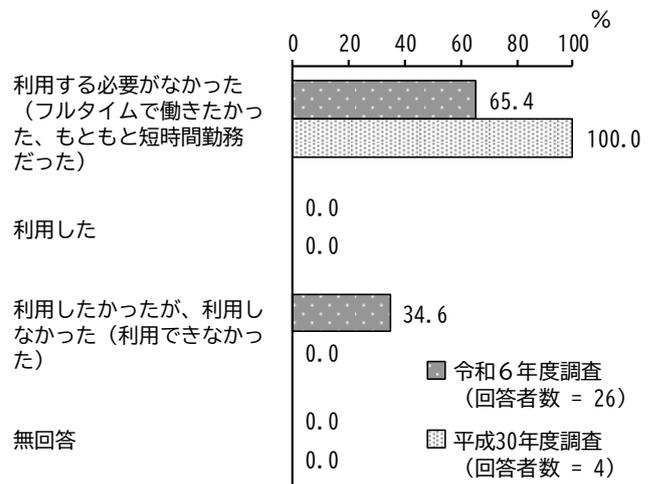
「利用した」の割合が 57.4%と最も高く、次いで「利用したかったが、利用しなかった（利用できなかった）」の割合が 20.4%、「利用する必要がなかった（フルタイムで働きたかった、もともと短時間勤務だった）」の割合が 18.5%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「利用した」の割合が増加しています。一方、「利用する必要がなかった（フルタイムで働きたかった、もともと短時間勤務だった）」の割合が減少しています。



(2) 父親

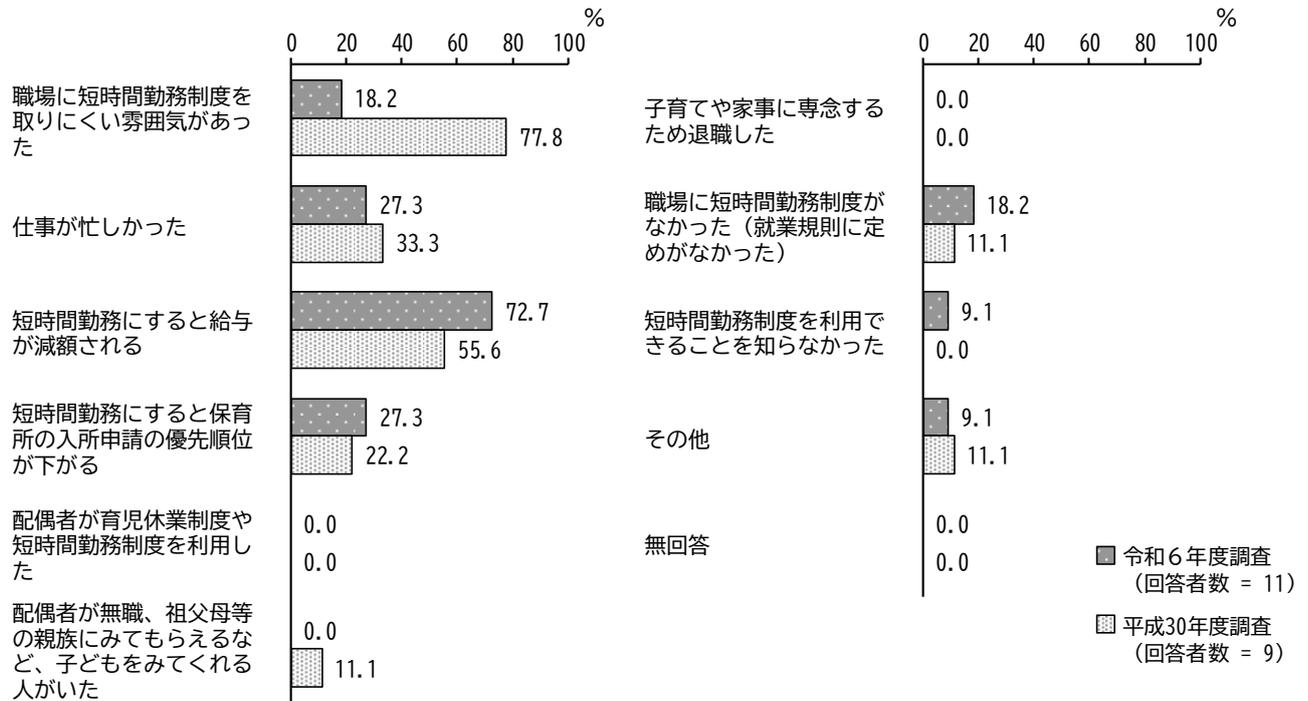
「利用する必要がなかった（フルタイムで働きたかった、もともと短時間勤務だった）」の割合が 65.4%と最も高く、次いで「利用したかったが、利用しなかった（利用できなかった）」の割合が 34.6%となっています。



問 36-8 問 36-7 で「利用したかったが、利用しなかった（利用できなかった）」に○をつけた方にうかがいます。
 短時間勤務制度を利用しなかった（利用できなかった）理由は何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

(1) 母親

「短時間勤務にすると給与が減額される」の割合が72.7%と最も高く、次いで「仕事が忙しかった」、「短時間勤務にすると保育所の入所申請の優先順位が下がる」の割合が 27.3%となっています。



(2) 父親

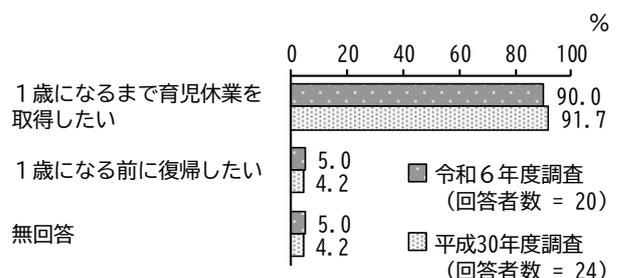
「短時間勤務にすると給与が減額される」が5件、「仕事が忙しかった」が4件、「職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった」が3件となっています。

問 36-9 問 36-2 で「現在も育児休業中である」に○をつけた方にうかがいます。
 宛名のお子さんが1歳になったときに必ず利用できる事業があれば、1歳になるまで育児休業を取得しますか。または、預けられる事業があっても1歳になる前に復帰しますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

(1) 母親

「1歳になるまで育児休業を取得したい」の割合が90.0%、「1歳になる前に復帰したい」の割合が5.0%となっています。

平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



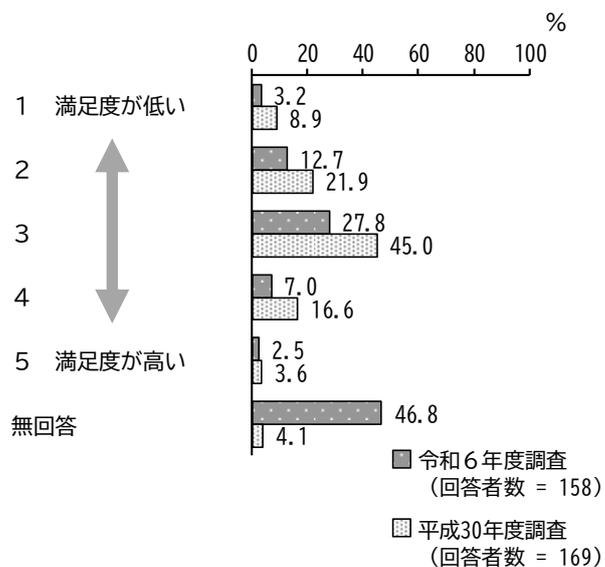
(2) 父親

「1歳になるまで育児休業を取得したい」、「1歳になる前に復帰したい」が1件となっています。

問 37 お住まいの地域における子育ての環境や支援への満足度について、当てはまる番号1つに○をつけてください。

「3」の割合が27.8%と最も高く、次いで「2」の割合が12.7%となっています。

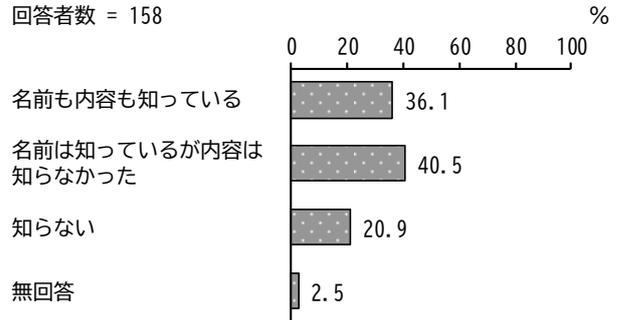
平成30年度調査と比較すると、「1 満足度が低い」「2」「3」「4」の割合が減少しています。



(13) 子どもの権利について

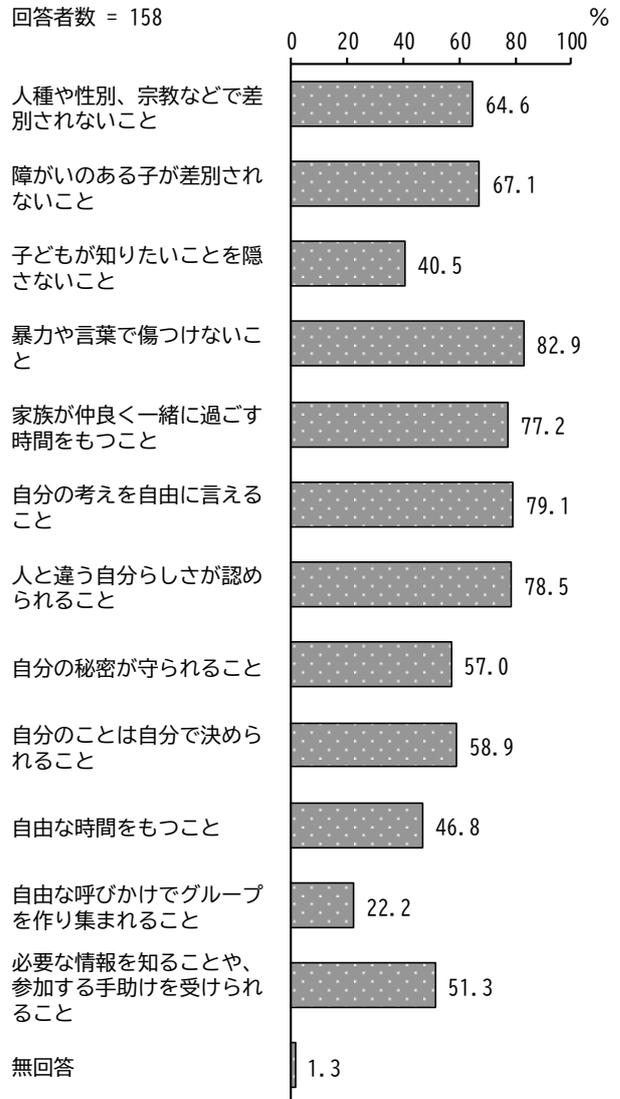
問 38 あなたは、「子どもの権利」という言葉を知っていますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

「名前は知っているが内容は知らなかった」の割合が40.5%と最も高く、次いで「名前も内容も知っている」の割合が36.1%、「知らない」の割合が20.9%となっています。



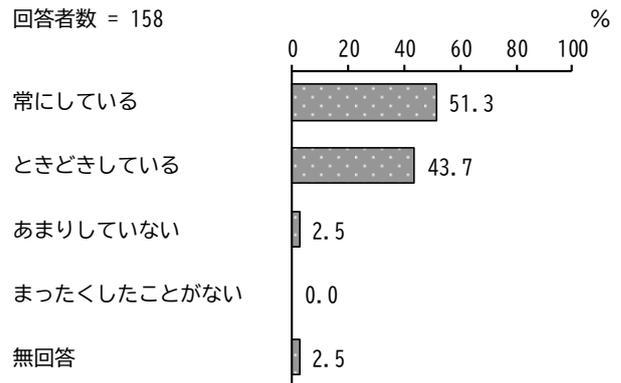
問 39 子どもの権利の中で特に大切だと思うことはどれですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「暴力や言葉で傷つけないこと」の割合が82.9%と最も高く、次いで「自分の考えを自由に言えること」の割合が79.1%、「人と違う自分らしさが認められること」の割合が78.5%となっています。



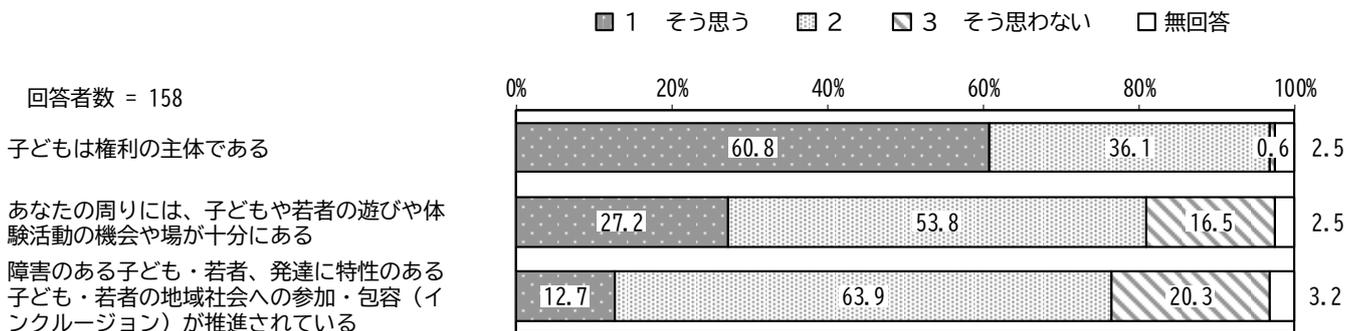
問 40 あなたは、子育てをしていて、子どもからの意見や要望を聞き、それらを取り入れるように意識をしたことはありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

「常にしている」の割合が51.3%と最も高く、次いで「ときどきしている」の割合が43.7%となっています。



問 41 あなたは、以下のことについてどのように思いますか。それぞれ当てはまる番号1つに○をつけてください。

『子どもは権利の主体である』で「1 そう思う」の割合が高く、60.8%となっています。一方、『障害のある子ども・若者、発達に特性のある子ども・若者の地域社会への参加・包容（インクルージョン）が推進されている』で「3 そう思わない」の割合が高く、20.3%となっています。



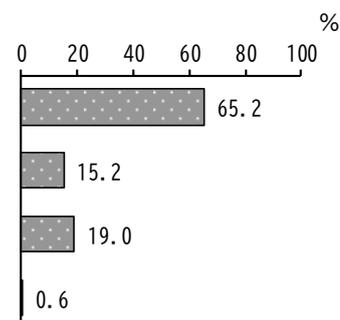
(14) ヤングケアラーについて

問 42 あなたは、「ヤングケアラー」という言葉をこれまでに聞いたことがありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

「聞いたことがあり、内容も知っている」の割合が 65.2%と最も高く、次いで「聞いたことは無い」の割合が 19.0%、「聞いたことはあるが、よく知らない」の割合が 15.2%となっています。

回答者数 = 158

聞いたことがあり、内容も知っている
聞いたことはあるが、よく知らない
聞いたことはない
無回答

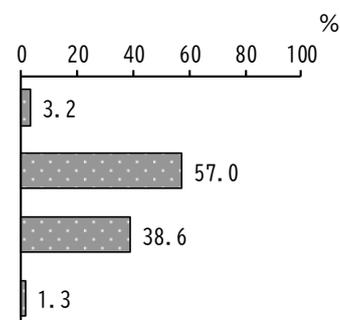


問 43 あなたの身近に、ヤングケアラーと思われる子どもがいる家庭はありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

「ない」の割合が 57.0%と最も高く、次いで「わからない」の割合が 38.6%となっています。

回答者数 = 158

ある
ない
わからない
無回答



問 43-1 問 43 で「ある」に○をつけた方にうかがいます。

あなたはその家庭に対し、どのようなことをしましたか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

「相談にのった」、「何もしなかった」が2件、「町の窓口や相談機関等に相談した」が1件となっています。

問 43-2 問 43-1 で「町の窓口や相談機関等に相談した」に○をつけた方にうかがいます。

その相談先はどこですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「その他」が1件となっています。

(15) 大井町の子育て関連の取り組み全般について

問 44 大井町における子育ての環境や支援への満足度・楽しさ・大変さ・子育てしやすさについて、それぞれ当てはまる番号1つに○をつけてください。

満足度

「3」の割合が42.4%と最も高く、次いで「4」の割合が24.1%、「2」の割合が22.8%となっています。

回答者数 = 158

1 満足度が低い

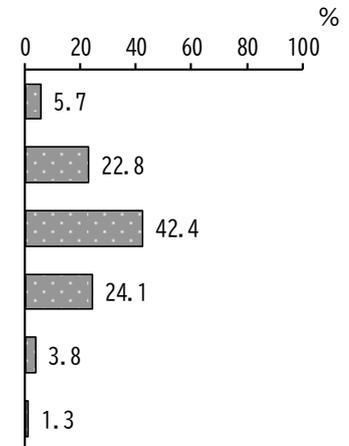
2

3

4

5 満足度が高い

無回答



楽しさ

「4」の割合が43.0%と最も高く、次いで「3」の割合が30.4%、「5 子育てが楽しい」の割合が22.2%となっています。

回答者数 = 158

1 子育てが楽しくない

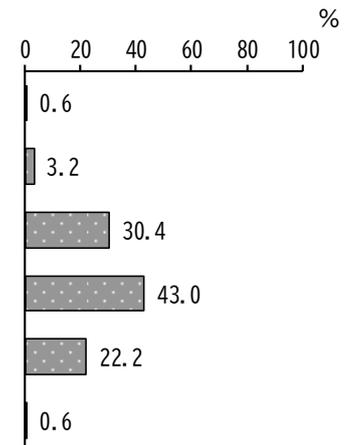
2

3

4

5 子育てが楽しい

無回答



大変さ

「3」の割合が43.0%と最も高く、次いで「2」の割合が25.9%、「4」の割合が17.7%となっています。

回答者数 = 158

1 子育てが大変と感じる

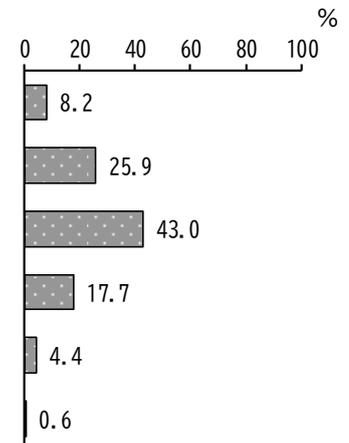
2

3

4

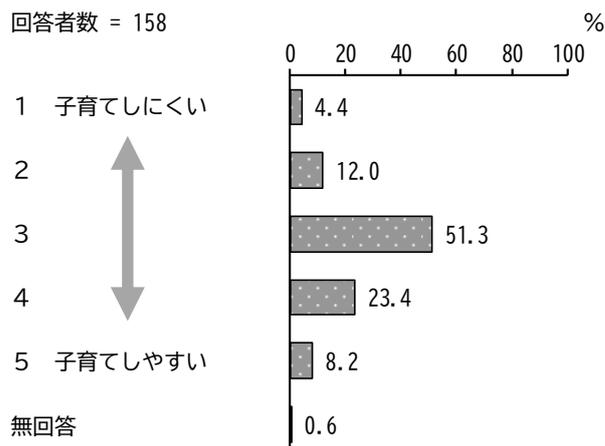
5 子育てが大変と感じない

無回答



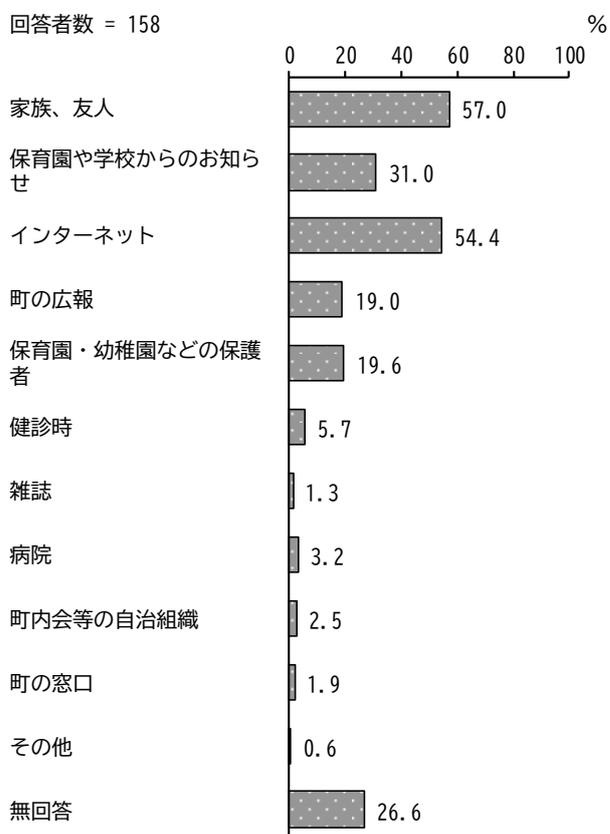
子育てのしやすさ

「3」の割合が51.3%と最も高く、次いで「4」の割合が23.4%、「2」の割合が12.0%となっています。



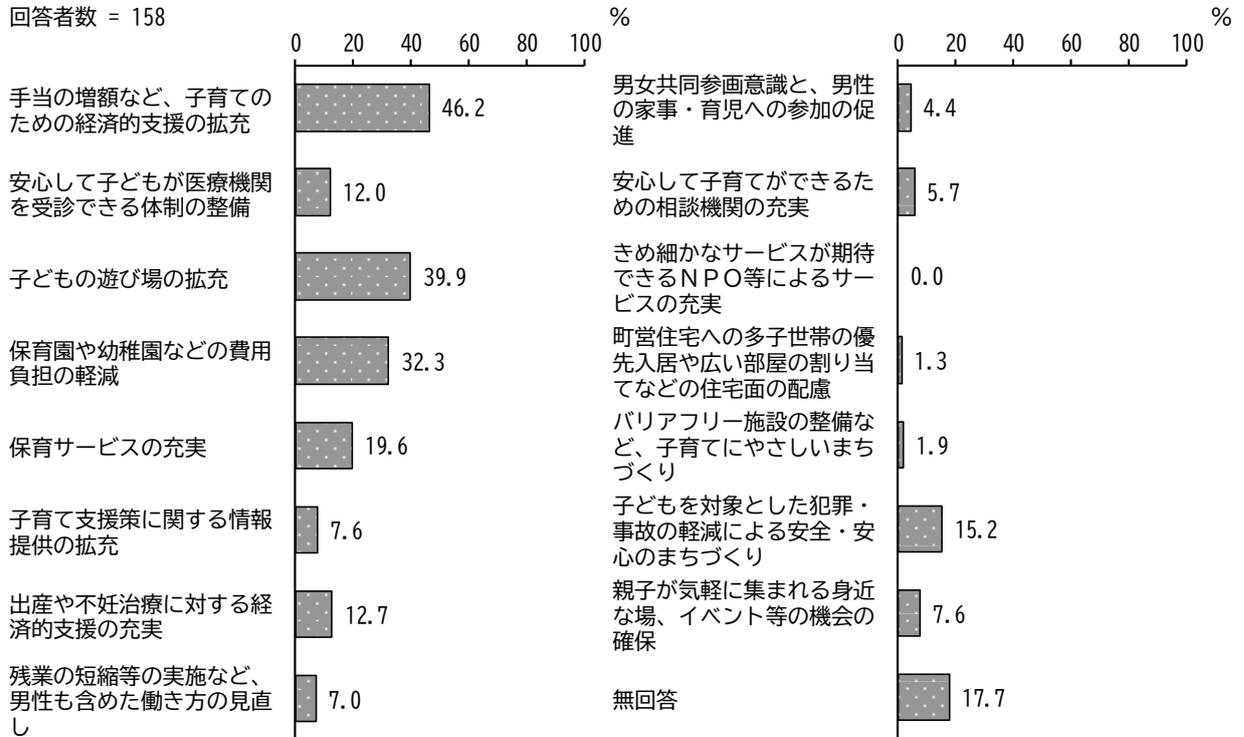
問 45 あなたは子育てに関する情報を主にどのように入手していますか。当てはまる番号3つまでに○をつけてください。

「家族、友人」の割合が57.0%と最も高く、次いで「インターネット」の割合が54.4%、「保育園や学校からのお知らせ」の割合が31.0%となっています。



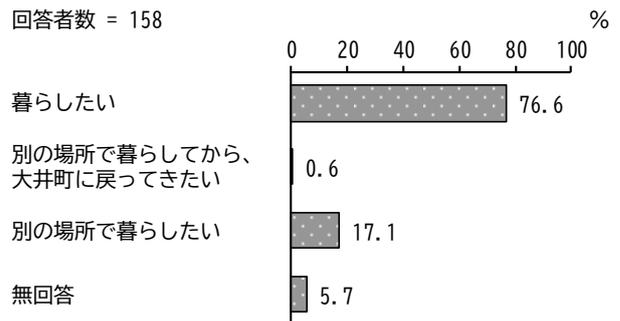
問 46 町に対して、どのような子育て支援の充実を図ってほしいと期待していますか。当てはまる番号3つまでに○をつけてください。

「手当の増額など、子育てのための経済的支援の拡充」の割合が46.2%と最も高く、次いで「子どもの遊び場の拡充」の割合が39.9%、「保育園や幼稚園などの費用負担の軽減」の割合が32.3%となっています。



問 47 あなたは、これからも大井町で暮らしたいですか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

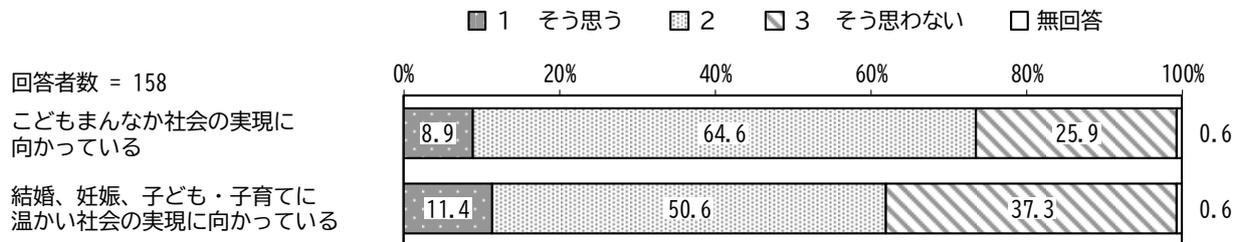
「暮らしたい」の割合が76.6%と最も高く、次いで「別の場所で暮らしたい」の割合が17.1%となっています。



問 48 あなたは、以下のことについてどのように思いますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

『こどもまんなか社会の実現に向かっている』、『結婚、妊娠、子ども・子育てに温かい社会の実現に向かっている』ともに「1 そう思う」の割合が約1割となっています。

また、『結婚、妊娠、子ども・子育てに温かい社会の実現に向かっている』で「3 そう思わない」の割合が高く、37.3%となっています。

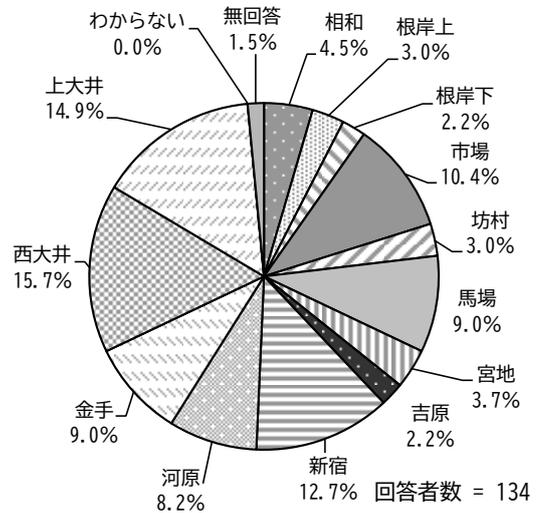


2 小学生保護者

(1) お住まいの地域について

問1 お住まいの地区（自治会）として当てはまる番号1つに○をつけてください。

「西大井」の割合が15.7%と最も高く、次いで「上大井」の割合が14.9%、「新宿」の割合が12.7%となっています。

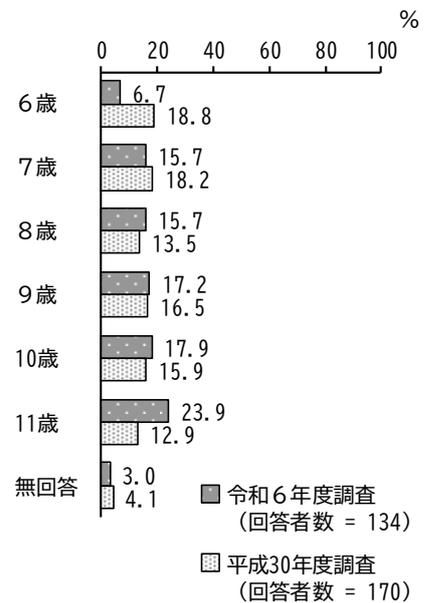


(2) 封筒の宛名のお子さんのご家族の状況について

問2 宛名のお子さんの生年月月をご記入ください。（ ）内に数字でご記入ください。

「11歳」の割合が23.9%と最も高く、次いで「10歳」の割合が17.9%、「9歳」の割合が17.2%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「11歳」の割合が増加しています。一方、「6歳」の割合が減少しています。

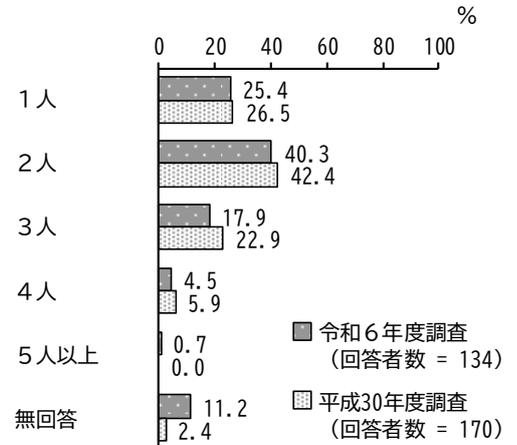


問3 宛名のお子さんのきょうだいは何人いらっしゃいますか。宛名のお子さんを含めた人数を（ ）内に数字でご記入ください。お2人以上のお子さんがいらっしゃる場合は、末子の方の生年月月をご記入ください。

きょうだい数

「2人」の割合が40.3%と最も高く、次いで「1人」の割合が25.4%、「3人」の割合が17.9%となっています。

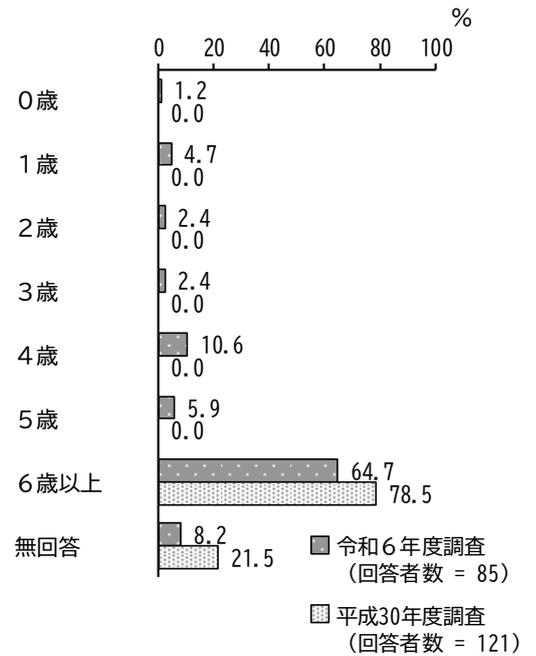
平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



末子の年齢

「6歳以上」の割合が64.7%と最も高く、次いで「4歳」の割合が10.6%となっています。

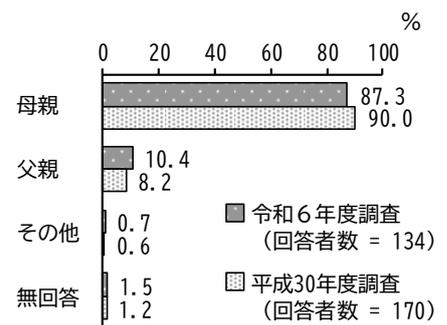
平成30年度調査と比較すると、「4歳」「5歳」の割合が増加し、「6歳以上」の割合が減少しています。



問4 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。宛名のお子さんからみた関係でお答えください。当てはまる番号1つに○をつけてください。

「母親」の割合が 87.3%、「父親」の割合が 10.4%となっています。

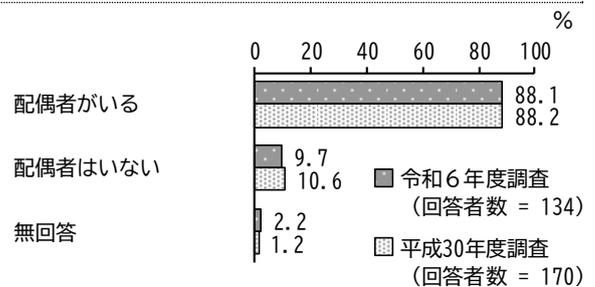
平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



問5 この調査票にご回答いただいている方の配偶関係についてお答えください。当てはまる番号1つに○をつけてください。

「配偶者がいる」の割合が 88.1%、「配偶者がいない」の割合が 9.7%となっています。

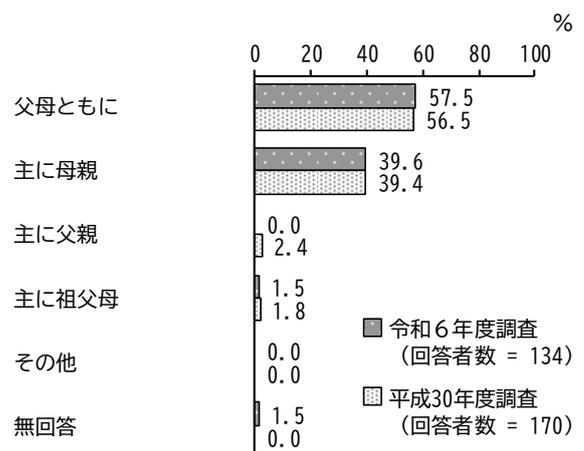
平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



問6 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）を主に行っているのはどなたですか。お子さんからみた関係で当てはまる番号1つに○をつけてください。

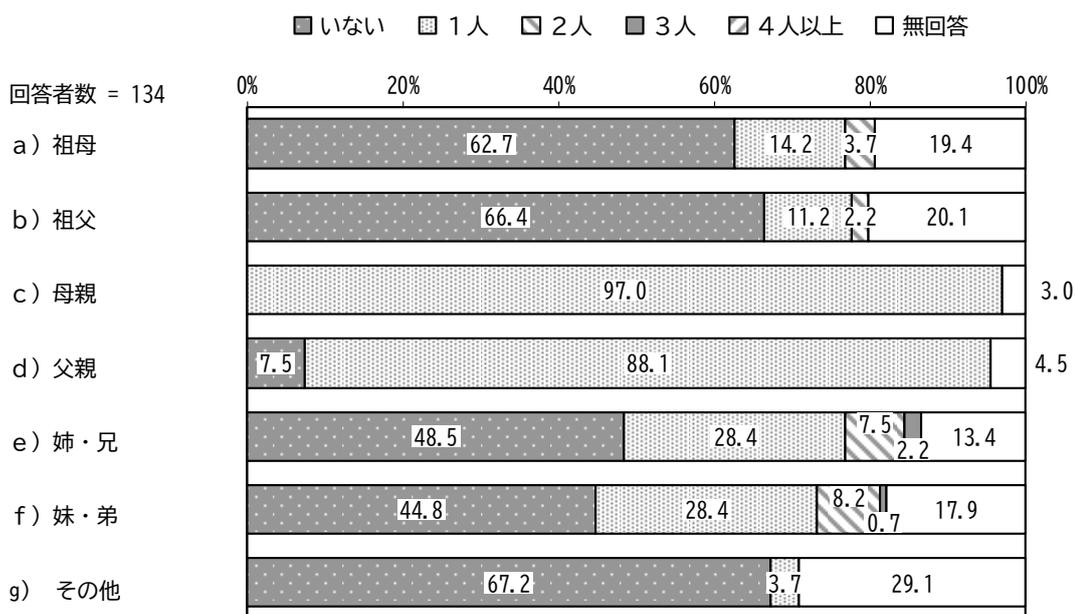
「父母ともに」の割合が 57.5%と最も高く、次いで「主に母親」の割合が 39.6%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



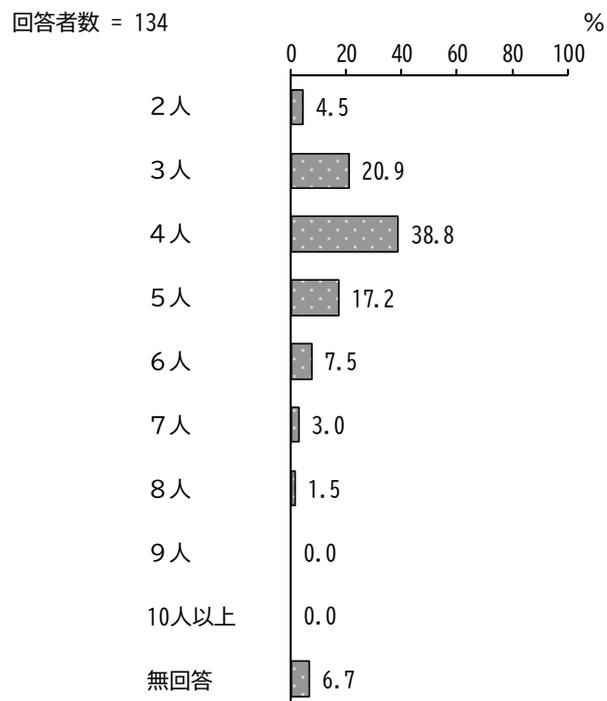
問7 お子さんと同居し、生計を同一にしているご家族の構成と人数をお答えください。単身赴任中の方や学業のために世帯を離れているお子さんがいる場合には、ご家族の人数に含めて教えてください。(a～hは、お子さんから見た続柄です。それぞれについて、当てはまる番号1つに○をしてください。)

『a) 祖母』、『b) 祖父』で「いない」の割合が高く、60%を超えています。
また、『c) 母親』、『d) 父親』では「1人」の割合が、それぞれ 97.0%、88.1%となっています。



h) 合計（あなたや対象のお子さんを含む）

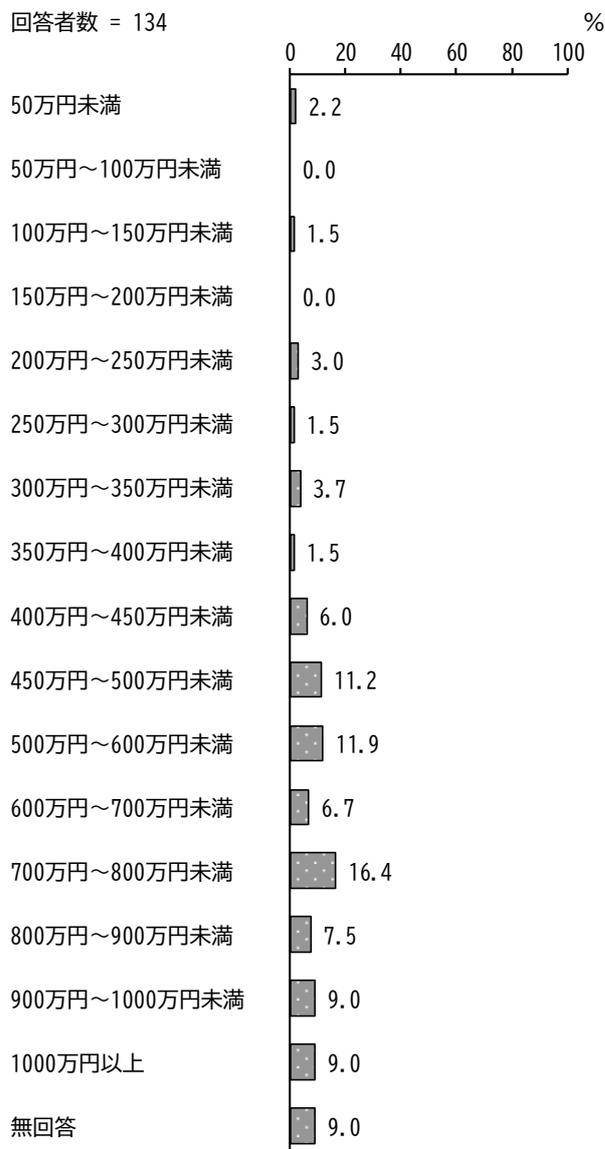
「4人」の割合が 38.8%と最も高く、次いで「3人」の割合が 20.9%、「5人」の割合が 17.2%となっています。



問8 世帯全体のおおよその年間収入(税込)はいくらですか。当てはまる番号1つに○をつけてください。※令和5年の年間収入(生計を同一にしている家族全員の収入)についてお答えください。

「700万円～800万円未満」の割合が16.4%と最も高く、次いで「500万円～600万円未満」の割合が11.9%、「450万円～500万円未満」の割合が11.2%となっています。

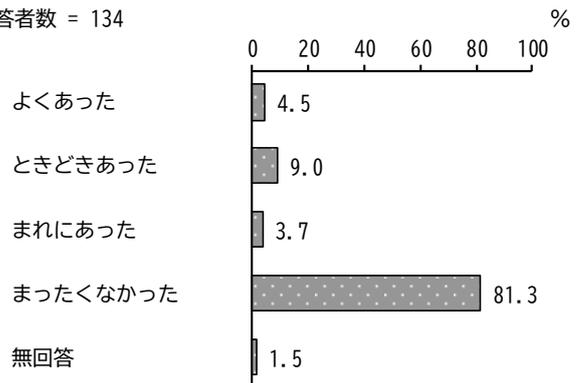
回答者数 = 134



問9 あなたの世帯では、過去1年の間に、お金が足りなくて、家族が必要とする食料が買えないことがありましたか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

「まったくなかった」の割合が81.3%と最も高くなっています。

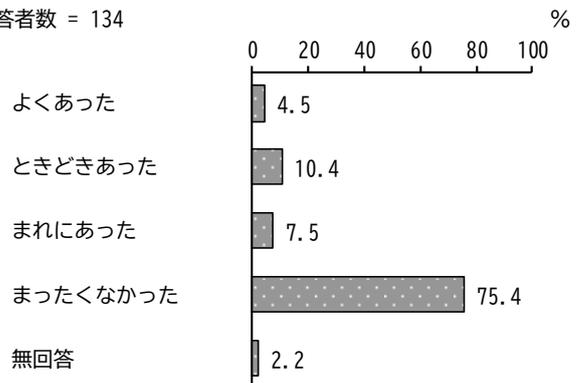
回答者数 = 134



問10 あなたの世帯では、過去1年の間に、お金が足りなくて、家族が必要とする衣服が買えないことがありましたか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

「まったくなかった」の割合が75.4%と最も高く、次いで「ときどきあった」の割合が10.4%となっています。

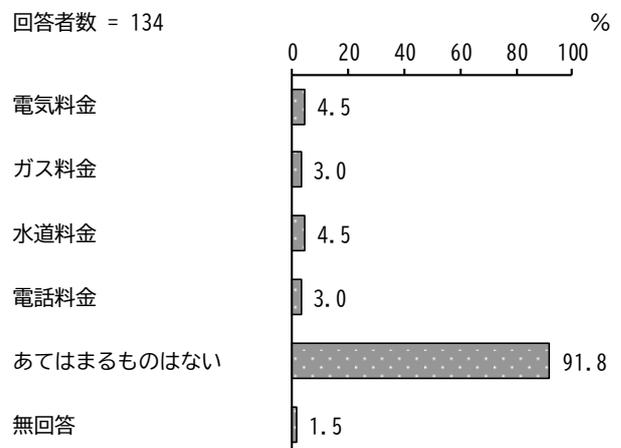
回答者数 = 134



問11 あなたの世帯では、過去1年の間に、以下の料金について、経済的な理由で支払えなかったことがありましたか。電気料金～電話料金については、当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「あてはまるものはない」の割合が91.8%と最も高くなっています。

回答者数 = 134

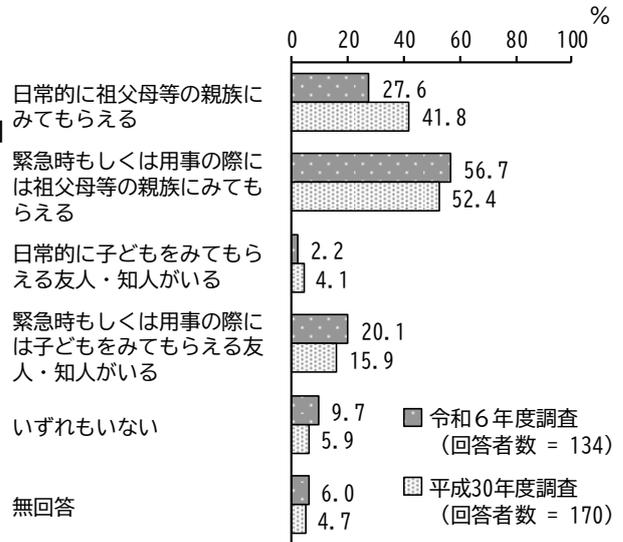


(3) 子どもの育ちをめぐる環境について

問 12 日頃、宛名のお子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」の割合が 56.7%と最も高く、次いで「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」の割合が 27.6%、「緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる」の割合が 20.1%となっています。

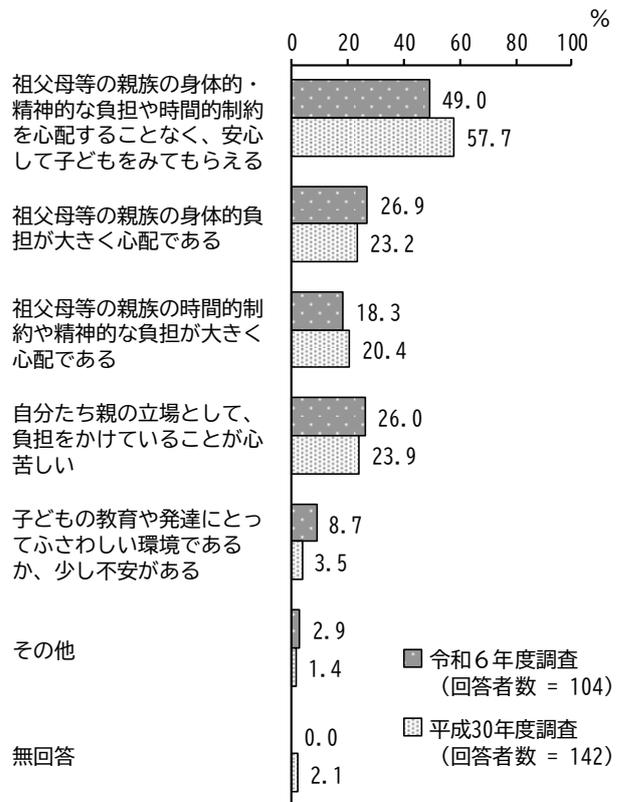
平成 30 年度調査と比較すると、「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」の割合が減少しています。



問 12-1 問 12 で「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」または「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」に○をつけた方にうかがいます。祖父母等の親族にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「祖父母等の親族の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる」の割合が 49.0%と最も高く、次いで「祖父母等の親族の身体的負担が大きく心配である」の割合が 26.9%、「自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい」の割合が 26.0%となっています。

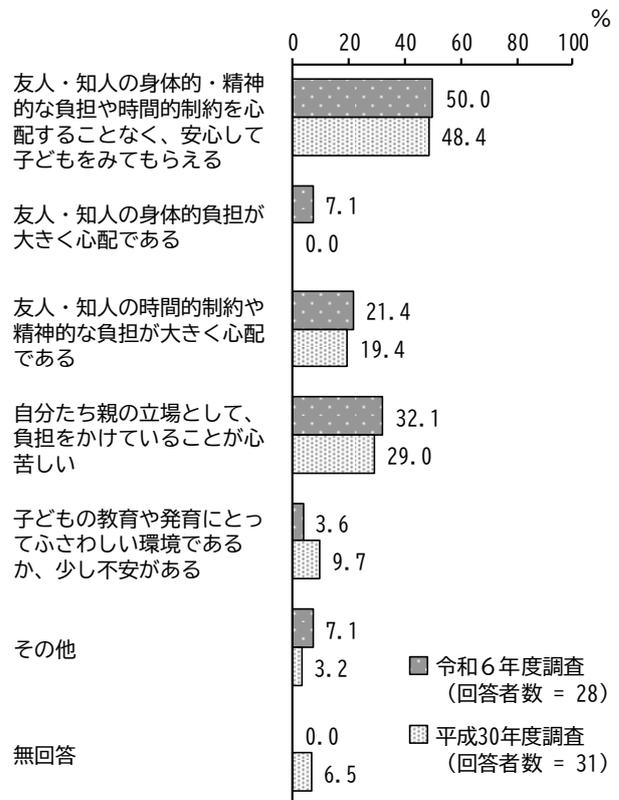
平成 30 年度調査と比較すると、「子どもの教育や発達にとってふさわしい環境であるか、少し不安がある」の割合が増加しています。一方、「祖父母等の親族の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる」の割合が減少しています。



問 12-2 問 12 で「日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる」または「緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる」に○をつけた方
 にかがいます。
 友人・知人にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。当てはまる
 番号すべてに○をつけてください。

「友人・知人の身体的・精神的な負担や時間的
 制約を心配することなく、安心して子どもをみて
 もらえる」の割合が 50.0%と最も高く、次いで
 「自分たち親の立場として、負担をかけているこ
 とが心苦しい」の割合が 32.1%、「友人・知人の
 時間的制約や精神的な負担が大きく心配である」
 の割合が 21.4%となっています。

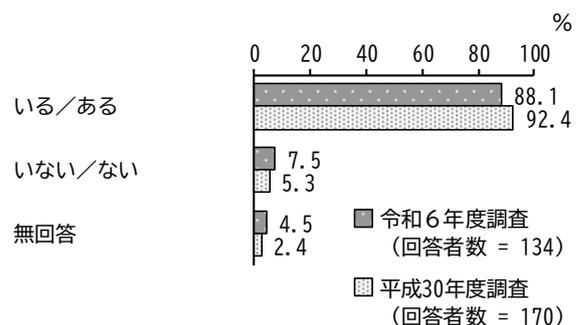
平成 30 年度調査と比較すると、「友人・知人の
 身体的負担が大きく心配である」の割合が増加し
 ています。一方、「子どもの教育や発育にとって
 ふさわしい環境であるか、少し不安がある」の割
 合が減少しています。



問 13 すべての方にかがいます。宛名のお子さんの子育て（教育を含む）をする上
 で、気軽に相談できる人はいますか。また、相談できる場所がありますか。当ては
 まる番号1つに○をつけてください。

「いる／ある」の割合が 88.1%、「いない／な
 い」の割合が 7.5%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化は
 みられません。

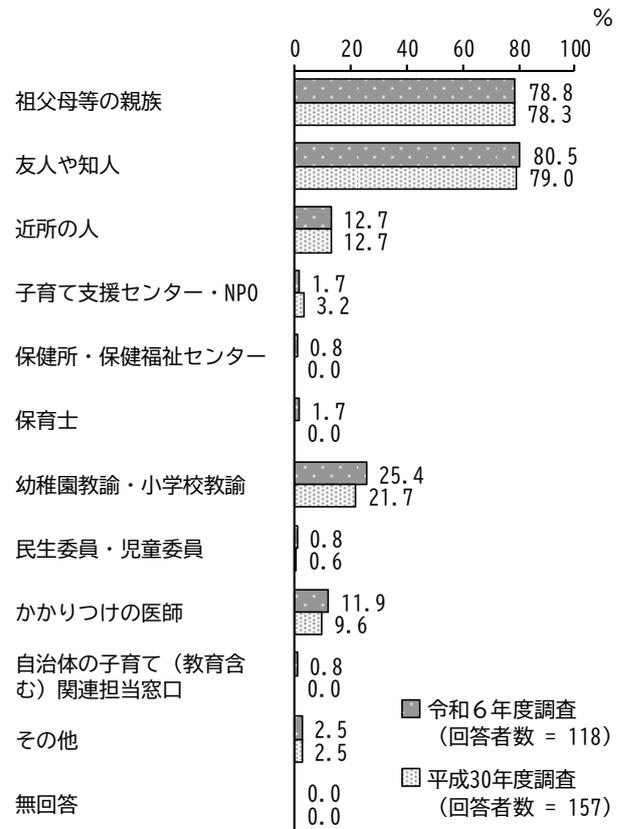


問 13-1 問 13 で「いる／ある」に○をつけた方にうかがいます。

お子さんの子育て（教育を含む）に関して、気軽に相談できる先は、誰（どこ）ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「友人や知人」の割合が 80.5%と最も高く、次いで「祖父母等の親族」の割合が 78.8%、「幼稚園教諭・小学校教諭」の割合が 25.4%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



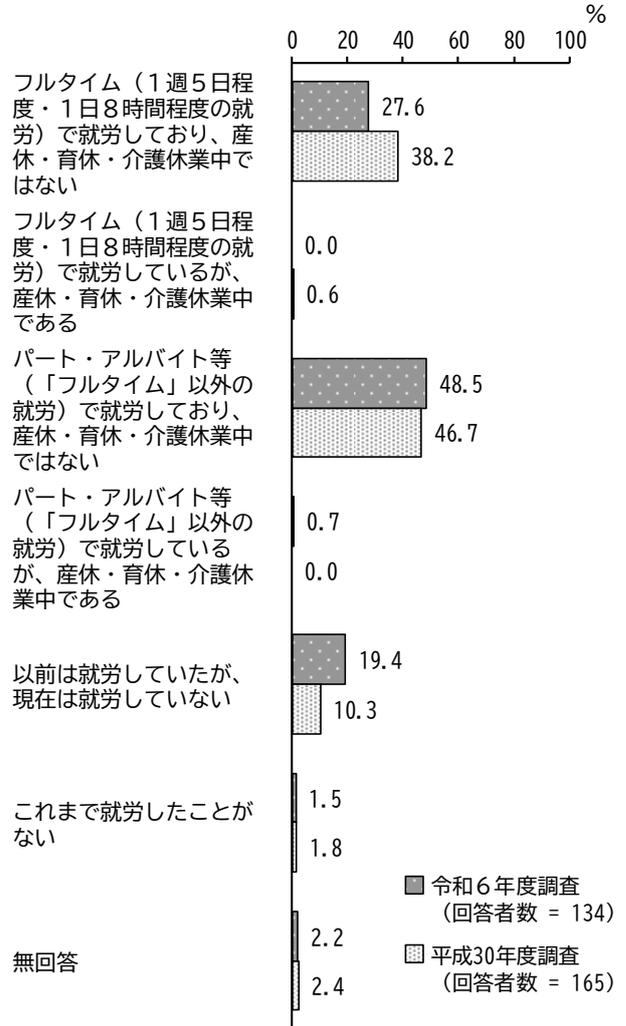
(4) 宛名のお子さんの保護者の就労状況について

問 15 宛名のお子さんの保護者の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）をうかがいます。

(1) 母親【父子家庭の場合は記入は不要です】当てはまる番号1つに○をつけてください。

「パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」の割合が48.5%と最も高く、次いで「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」の割合が27.6%、「以前は就労していたが、現在は就労していない」の割合が19.4%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「以前は就労していたが、現在は就労していない」の割合が増加しています。一方、「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」の割合が減少しています。



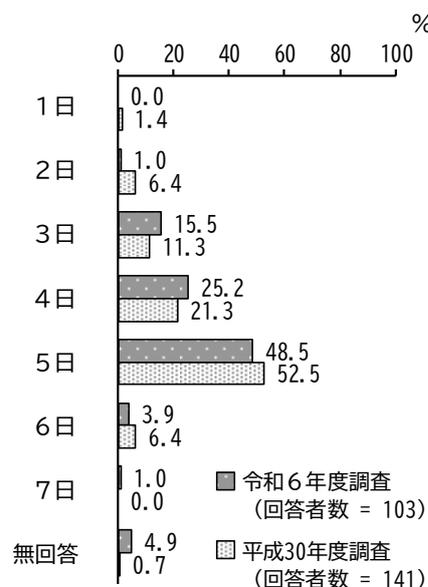
(1) - 1 (1) で「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない～パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しているが、産休・育休・介護休業中である」に○をつけた方にかかっています。

1週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間（残業時間を含む）」をお答えください。就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。（ ）内に数字でご記入ください。

1週当たり就労日数

「5日」の割合が48.5%と最も高く、次いで「4日」の割合が25.2%、「3日」の割合が15.5%となっています。

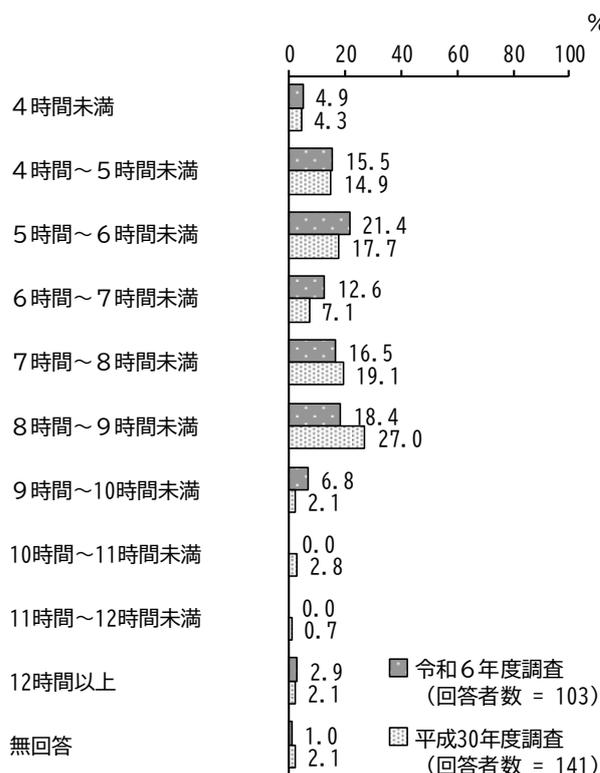
平成30年度調査と比較すると、「2日」の割合が減少しています。



1日当たり就労時間

「5時間～6時間未満」の割合が21.4%と最も高く、次いで「8時間～9時間未満」の割合が18.4%、「7時間～8時間未満」の割合が16.5%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「6時間～7時間未満」の割合が増加しています。一方、「8時間～9時間未満」の割合が減少しています。



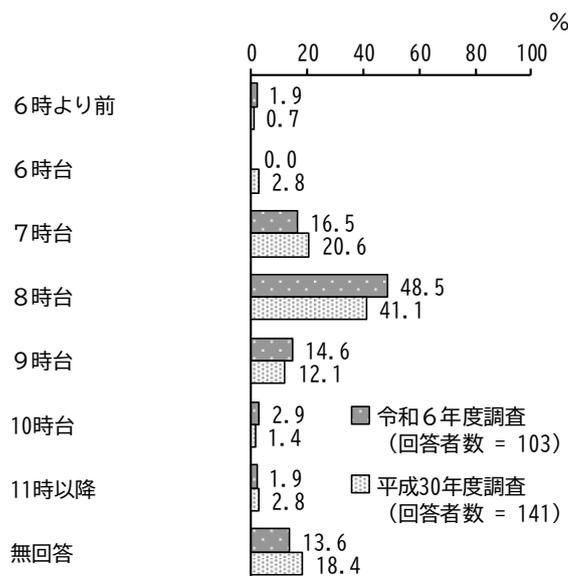
(1) - 2 (1) で「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない～パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しているが、産休・育休・介護休業中である」に○をつけた方にかがいます。

家を出る時刻と帰宅時刻をお答えください。時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。時間は、必ず（例）8時～18時のように、24時間制でお答えください。（ ）内に数字でご記入ください。

家を出る時刻

「8時台」の割合が48.5%と最も高く、次いで「7時台」の割合が16.5%、「9時台」の割合が14.6%となっています。

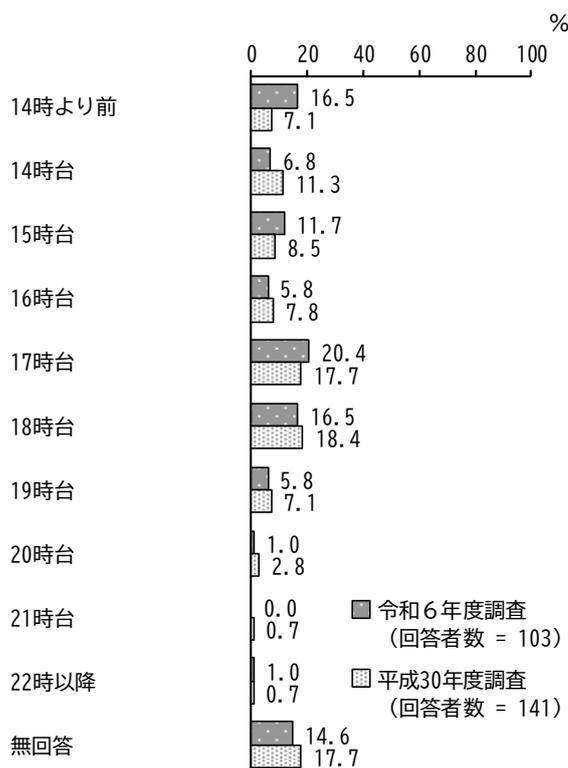
平成30年度調査と比較すると、「8時台」の割合が増加しています。



帰宅時刻

「17時台」の割合が20.4%と最も高く、次いで「14時より前」、「18時台」の割合が16.5%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「14時より前」の割合が増加しています。



(2) 父親【母子家庭の場合は記入は不要です】当てはまる番号1つに○をつけてください。

「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しており、育休・介護休業中ではない」の割合が90.9%と最も高くなっています。

平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しており、育休・介護休業中ではない

フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しているが、育休・介護休業中である

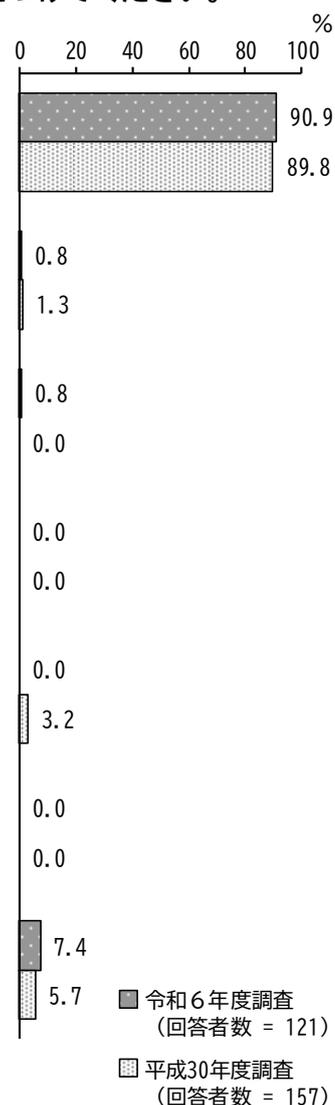
パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しており、育休・介護休業中ではない

パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しているが、育休・介護休業中である

以前は就労していたが、現在は就労していない

これまで就労したことがない

無回答

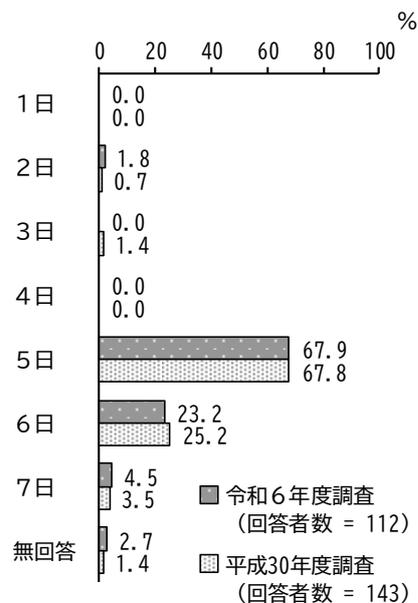


(2) - 1 (2) で「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しており、育休・介護休業中ではない～パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しているが育休・介護休業中である」に○をつけた方にうかがいます。1週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間（残業時間を含む）」をお答えください。就労日数や就労時間が、一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。（ ）内に数字でご記入ください。

1週当たり就労日数

「5日」の割合が67.9%と最も高く、次いで「6日」の割合が23.2%となっています。

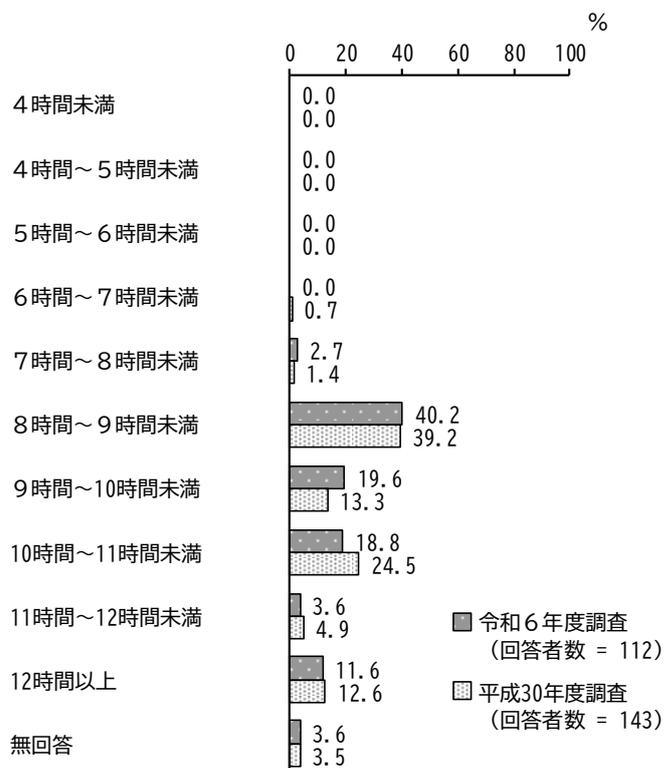
平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



1日当たり就労時間

「8時間～9時間未満」の割合が40.2%と最も高く、次いで「9時間～10時間未満」の割合が19.6%、「10時間～11時間未満」の割合が18.8%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「9時間～10時間未満」の割合が増加しています。一方、「10時間～11時間未満」の割合が減少しています。

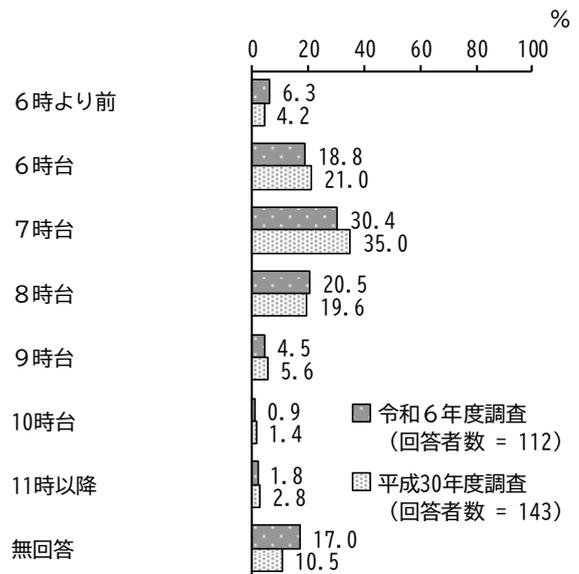


(2) - 2 (2) で「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しており、育休・介護休業中ではない～パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しているが、育休・介護休業中である」に○をつけた方にうかがいます。家を出る時刻と帰宅時刻をお答えください。時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。時間は、必ず（例）8時～18時のように、24時間制でお答えください。（ ）内に数字でご記入ください。

家を出る時刻

「7時台」の割合が30.4%と最も高く、次いで「8時台」の割合が20.5%、「6時台」の割合が18.8%となっています。

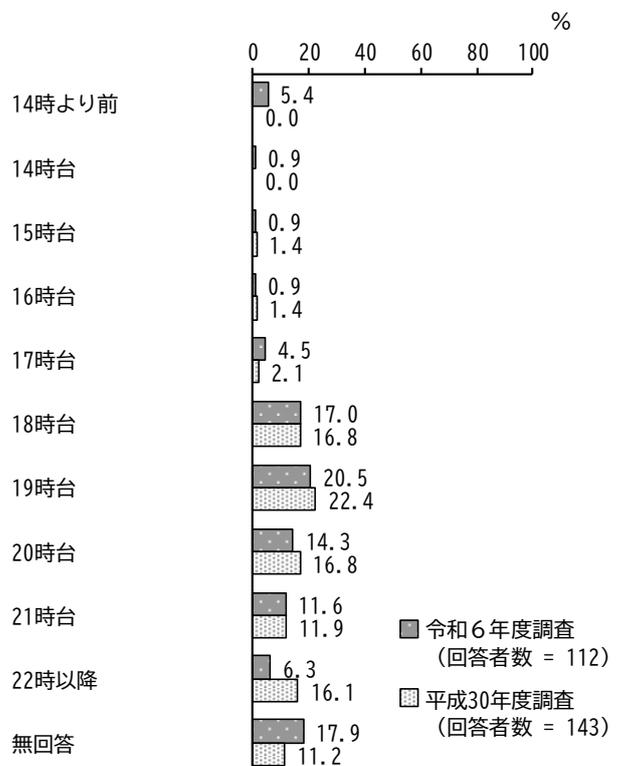
平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



帰宅時刻

「19時台」の割合が20.5%と最も高く、次いで「18時台」の割合が17.0%、「20時台」の割合が14.3%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「14時より前」の割合が増加しています。一方、「22時以降」の割合が減少しています。



問16 問15の(1)または(2)で「パート・アルバイト等(「フルタイム」以外の就労)で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」、「パート・アルバイト等(「フルタイム」以外の就労)で就労しているが、産休・育休・介護休業中である」に○をつけた方にうかがいます。該当しない方は、問17へお進みください。フルタイムへの転換希望はありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

(1) 母親

「パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)

の就労を続けることを希望」の割合が48.5%と最も高く、次いで「フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)への転換希望はあるが、実現できる見込みはない」の割合が27.3%、「フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)への転換希望があり、実現できる見込みがある」の割合が10.6%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)への転換希望はあるが、実現できる見込みはない」の割合が増加しています。一方、「パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)の就労を続けることを希望」の割合が減少しています。

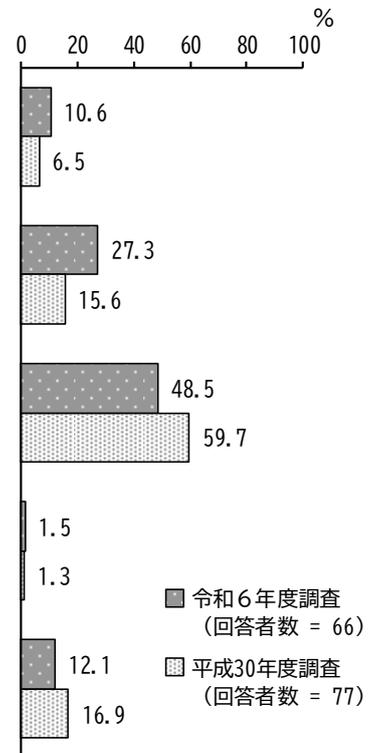
フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)への転換希望があり、実現できる見込みがある

フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)への転換希望はあるが、実現できる見込みはない

パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)の就労を続けることを希望

パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)をやめて子育てや家事に専念したい

無回答



(2) 父親

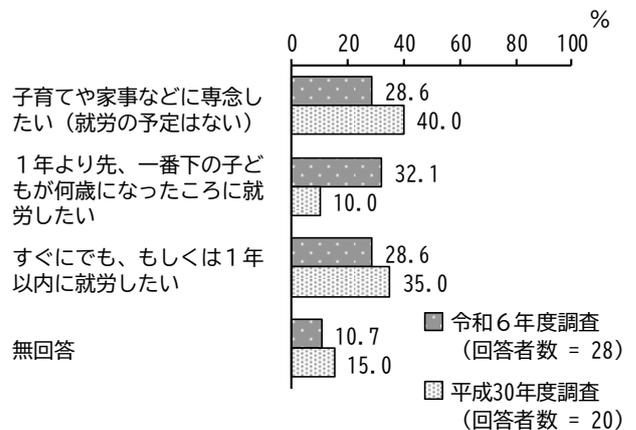
有効回答がありませんでした。

問17 問15の(1)または(2)で「以前は就労していたが、現在は就労していない」または「これまで就労したことがない」に○をつけた方にかがいます。該当しない方は、問18へお進みください。
就労したいという希望はありますか。当てはまる番号・記号それぞれ1つに○をつけ、該当する()内には数字でご記入ください。

(1) 母親

「1年より先、一番下の子どもが何歳になったころに就労したい」の割合が32.1%と最も高く、次いで「子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)」、「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」の割合が28.6%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「1年より先、一番下の子どもが何歳になったころに就労したい」の割合が増加しています。一方、「子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)」「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」の割合が減少しています。



就労希望時期

一番下の子どもが何歳になったころ

「7歳」が4件となっています。「3歳」が2件、「8歳」、「9歳以上」が1件となっています。

希望する就労形態

「パートタイム、アルバイト等(「ア」以外)」が8件となっています。

パートタイム、アルバイト等

1週当たり希望就労日数

「3日」が5件となっています。「5日」が3件となっています。

1日当たり希望就労時間

「4時間未満」が4件となっています。「4時間～5時間未満」が3件、「5時間～6時間未満」が1件となっています。

(2) 父親

有効回答がありませんでした。

就労希望時期

一番下の子どもが何歳になったころ

有効回答がありませんでした。

希望する就労形態

有効回答がありませんでした。

パートタイム、アルバイト等

1週当たり希望就労日数

有効回答がありませんでした。

1日当たり希望就労時間

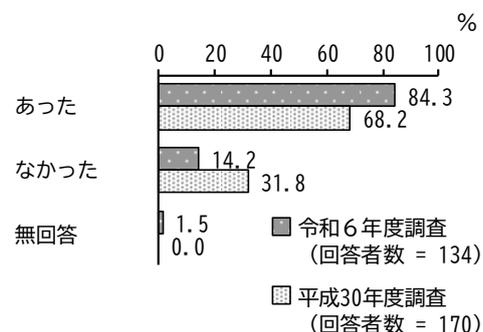
有効回答がありませんでした。

(5) 宛名のお子さんの病気の際の対応について

問 18 この1年間に、宛名のお子さんが病気やけがで小学校を休まなければならなかったことはありますか。

「あった」の割合が84.3%、「なかった」の割合が14.2%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「あった」の割合が増加しています。



【子どもの年齢別】

子どもの年齢別にみると、11歳で「なかった」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	あった	なかった	無回答
全 体	134	84.3	14.2	1.5
6 歳	9	77.8	11.1	11.1
7 歳	21	81.0	19.0	-
8 歳	21	95.2	4.8	-
9 歳	23	95.7	4.3	-
10歳	24	95.8	4.2	-
11歳	32	68.8	31.3	-

【母親の就労状況別】

母親の就労状況別にみると、大きな差はみられません。

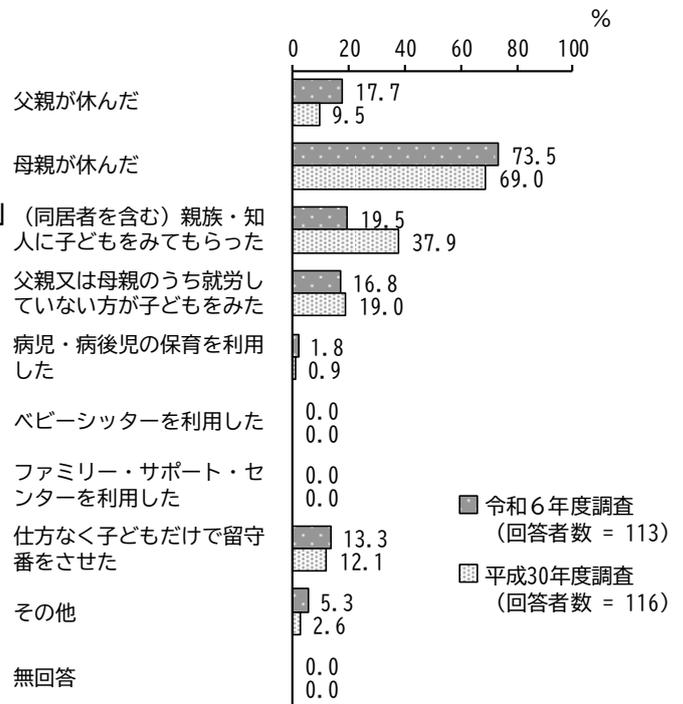
単位：%

区分	回答者数 (件)	あった	なかった	無回答
全 体	134	84.3	14.2	1.5
フルタイム (1週5日程度・1日8時間程度の就労) で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	37	86.5	13.5	-
フルタイム (1週5日程度・1日8時間程度の就労) で就労しているが、産休・育休・介護休業中である	-	-	-	-
パート・アルバイト等 (「フルタイム」以外の就労) で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	65	83.1	16.9	-
パート・アルバイト等 (「フルタイム」以外の就労) で就労しているが、産休・育休・介護休業中である	1	100.0	-	-
以前は就労していたが、現在は就労していない	26	88.5	11.5	-
これまで就労したことがない	2	50.0	-	50.0

問 18-1 宛名のお子さんが病気やけがで小学校を休まなければならなかった場合に、この1年間に行った対処方法として当てはまる記号すべてに○をつけ、それぞれの日数も()内に数字でご記入ください。(半日程度の対応の場合も1日とカウントしてください。)

「母親が休んだ」の割合が73.5%と最も高く、次いで「(同居者を含む)親族・知人に子どもをみてもらった」の割合が19.5%、「父親が休んだ」の割合が17.7%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「父親が休んだ」(同居者を含む)親族・知人に子どもをみてもらったの割合が増加しています。一方、「(同居者を含む)親族・知人に子どもをみてもらった」の割合が減少しています。



【子どもの年齢別】

子どもの年齢別にみると、8歳で「母親が休んだ」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数(件)	父親が休んだ	母親が休んだ	(同居者を含む)親族・知人に子どもをみてもらった	父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた	病児・病後児の保育を利用した	ベビーシッターを利用した	ファミリー・サポート・センターを利用した	仕方なく子どもだけで留守番をさせた	その他	無回答
全体	113	17.7	73.5	19.5	16.8	1.8	—	—	13.3	5.3	—
6歳	7	—	57.1	—	42.9	—	—	—	—	—	—
7歳	17	17.6	64.7	23.5	23.5	5.9	—	—	—	11.8	—
8歳	20	25.0	85.0	25.0	10.0	5.0	—	—	15.0	—	—
9歳	22	27.3	72.7	22.7	18.2	—	—	—	27.3	9.1	—
10歳	23	17.4	73.9	21.7	17.4	—	—	—	13.0	—	—
11歳	22	9.1	77.3	13.6	4.5	—	—	—	13.6	9.1	—

【母親の就労状況別】

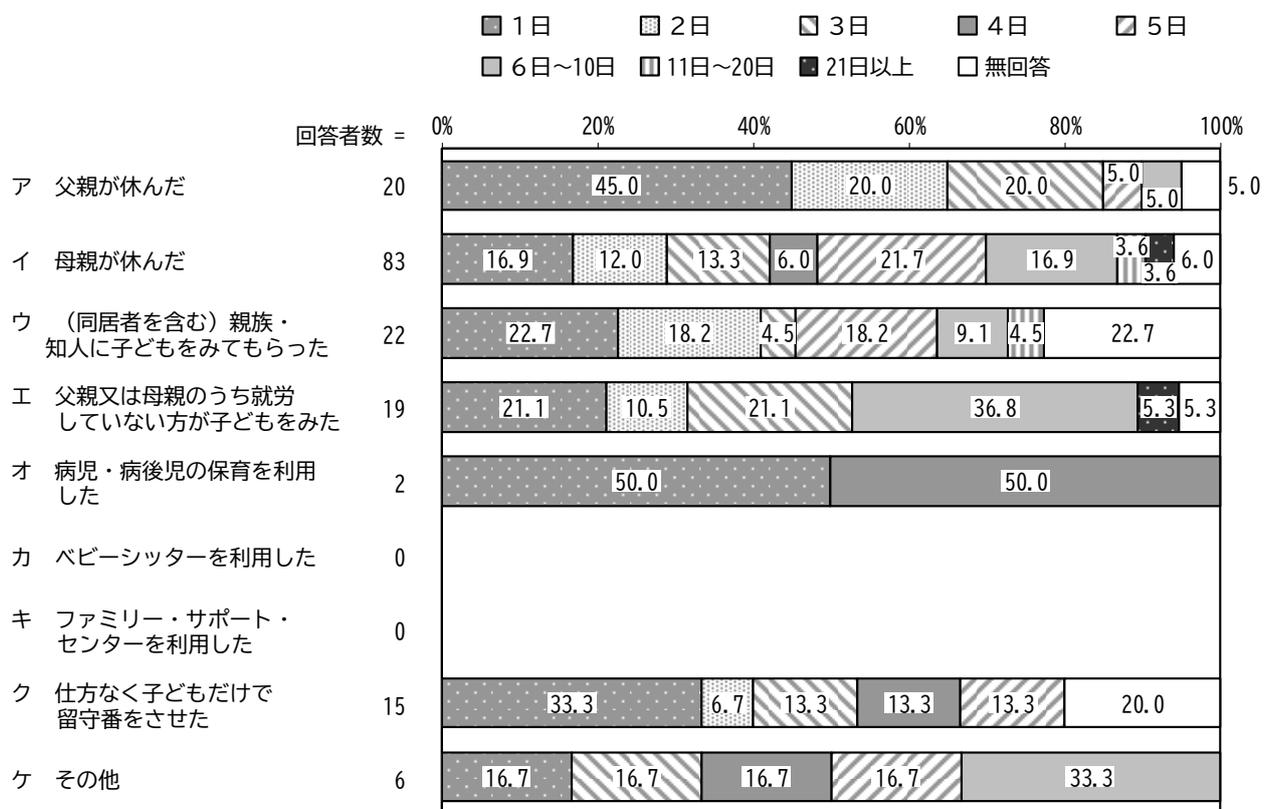
母親の就労状況別にみると、以前は就労していたが、現在は就労していないで「父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数(件)	父親が休んだ	母親が休んだ	(同居者を含む)親族・知人に子どもをみてもらった	父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた	病児・病後児の保育を利用した	ベビーシッターを利用した	ファミリー・サポート・センターを利用した	仕方なく子どもだけで留守番をさせた	その他	無回答
全体	113	17.7	73.5	19.5	16.8	1.8	-	-	13.3	5.3	-
フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	32	25.0	87.5	28.1	3.1	3.1	-	-	12.5	9.4	-
フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)で就労しているが、産休・育休・介護休業中である	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
パート・アルバイト等(「フルタイム」以外の就労)で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	54	18.5	85.2	22.2	5.6	-	-	-	18.5	1.9	-
パート・アルバイト等(「フルタイム」以外の就労)で就労しているが、産休・育休・介護休業中である	1	-	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-
以前は就労していたが、現在は就労していない	23	4.3	26.1	-	60.9	4.3	-	-	-	8.7	-
これまで就労したことがない	1	100.0	-	100.0	100.0	-	-	-	100.0	-	-

1年間の対処日数

『イ 母親が休んだ』で「5日」の割合が、『エ 父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた』で「6日～10日」の割合が高くなっています。

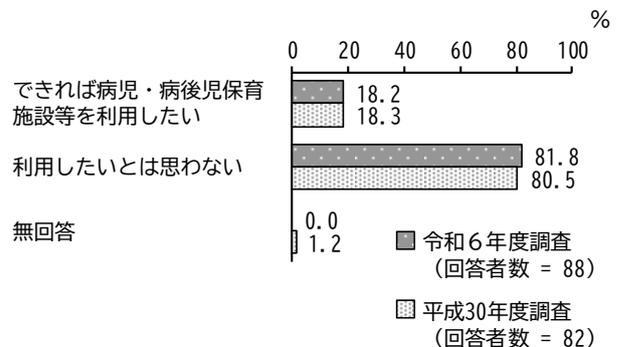


問 18-2 問 18-1 で「父親が休んだ」「母親が休んだ」のいずれかに○をつけた方にかがいます。

その際、「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思われましたか。当てはまる番号1つに○をつけ、日数についても（ ）内に数字でご記入ください。

「できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」の割合が 18.2%、「利用したいとは思わない」の割合が 81.8%となっています。

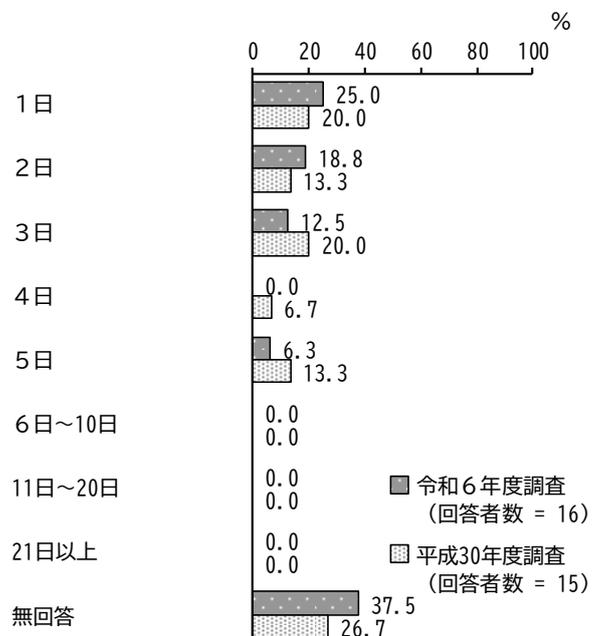
平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



病児・病後児保育施設等を利用したい日数

「1日」の割合が 25.0%と最も高く、次いで「2日」の割合が 18.8%、「3日」の割合が 12.5%となっています。

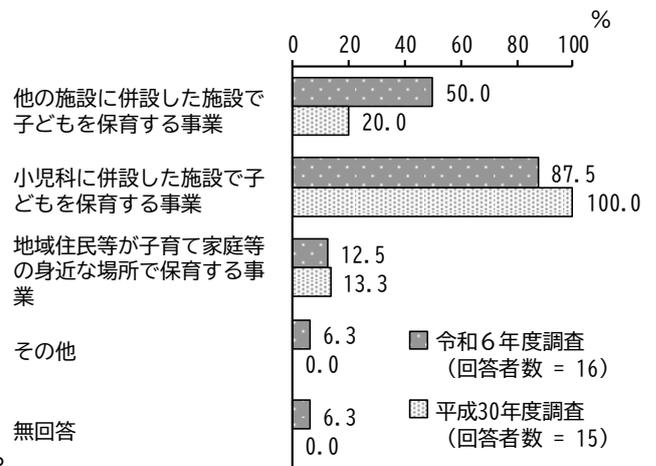
平成 30 年度調査と比較すると、「2日」の割合が増加しています。一方、「3日」「4日」「5日」の割合が減少しています。



問 18-3 問 18-2 で「できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」に○をつけた方にうかがいます。
 上記の目的で子どもを預ける場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思われるか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「小児科に併設した施設で子どもを保育する事業」の割合が 87.5% と最も高く、次いで「他の施設に併設した施設で子どもを保育する事業」の割合が 50.0%、「地域住民等が子育て家庭等の身近な場所で保育する事業」の割合が 12.5% となっています。

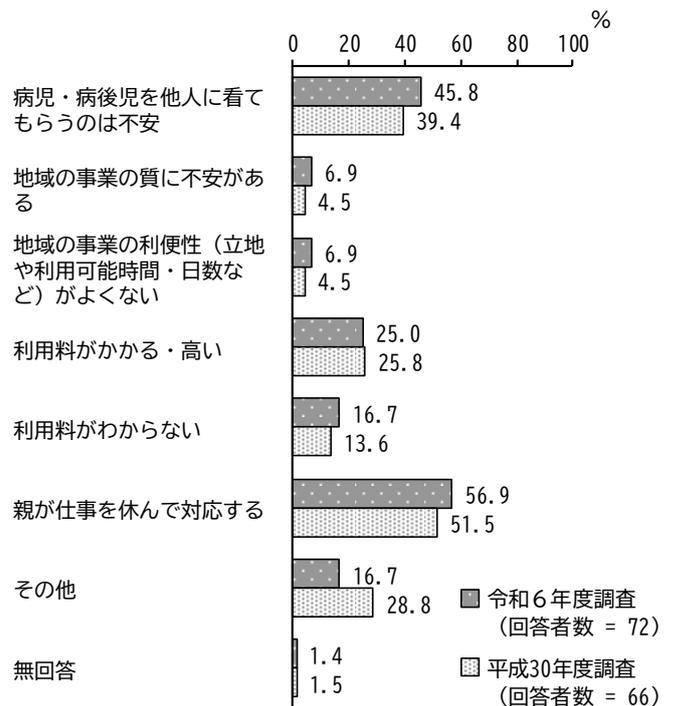
平成 30 年度調査と比較すると、「他の施設に併設した施設で子どもを保育する事業」の割合が増加しています。一方、「小児科に併設した施設で子どもを保育する事業」の割合が減少しています。



問 18-4 問 18-2 で「利用したいとは思わない」に○をつけた方にうかがいます。
 そう思われる理由について当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「親が仕事を休んで対応する」の割合が 56.9% と最も高く、次いで「病児・病後児を他人に看てもらおうのは不安」の割合が 45.8%、「利用料がかかる・高い」の割合が 25.0% となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「病児・病後児を他人に看てもらおうのは不安」「親が仕事を休んで対応する」の割合が増加しています。

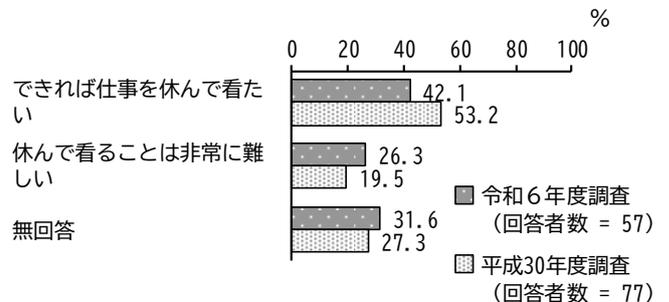


問 18-5 問 18-1 で「(同居者を含む) 親族・知人に子どもをみてもらった」から「その他」のいずれかに○をつけた方にかがいます。

その際、「できれば父母のいずれかが仕事を休んで看たい」と思われましたか。当てはまる番号1つに○をつけ、「(同居者を含む) 親族・知人に子どもをみてもらった」から「その他」の日数のうち仕事を休んで看たかった日数についても () 内に数字でご記入ください。

「できれば仕事を休んで看たい」の割合が 42.1%、「休んで看することは非常に難しい」の割合が 26.3%となっています。

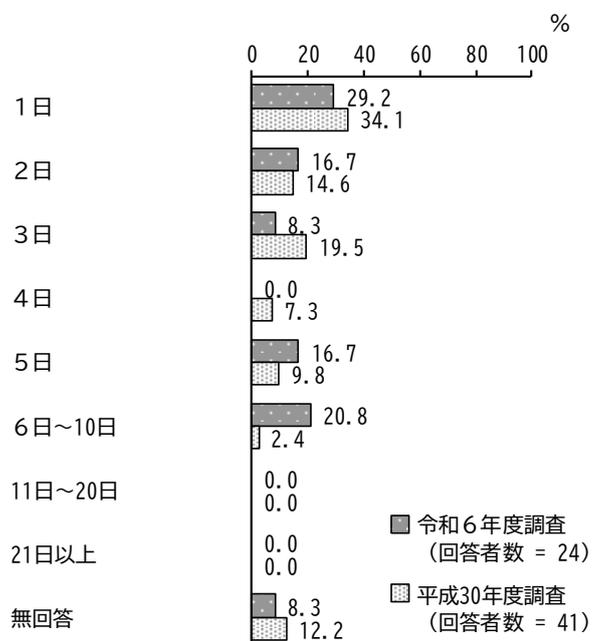
平成 30 年度調査と比較すると、「休んで看くことは非常に難しい」の割合が増加しています。



できれば仕事を休んで看たい日数

「1日」の割合が 29.2%と最も高く、次いで「6日~10日」の割合が 20.8%、「2日」、「5日」の割合が 16.7%となっています。

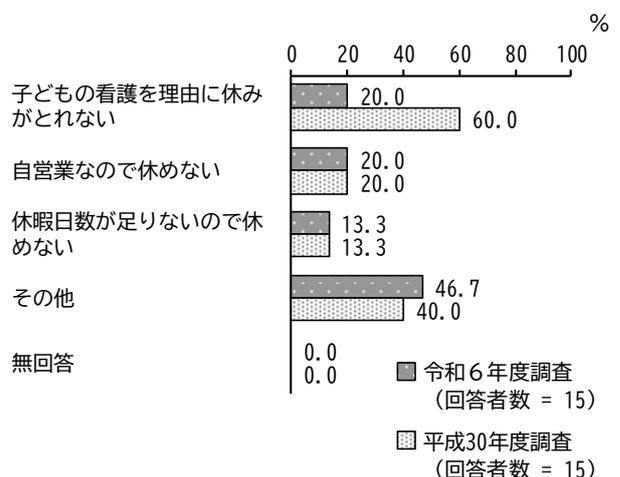
平成 30 年度調査と比較すると、「5日」「6日~10日」の割合が増加しています。一方、「3日」「4日」の割合が減少しています。



問 18-6 問 18-5 で「休んで看くことは非常に難しい」に○をつけた方にかがいます。そう思われる理由について当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「子どもの看護を理由に休みがとれない」、「自営業なので休めない」の割合が 20.0%と最も高く、次いで「休假日数が足りないので休めない」の割合が 13.3%となっています。

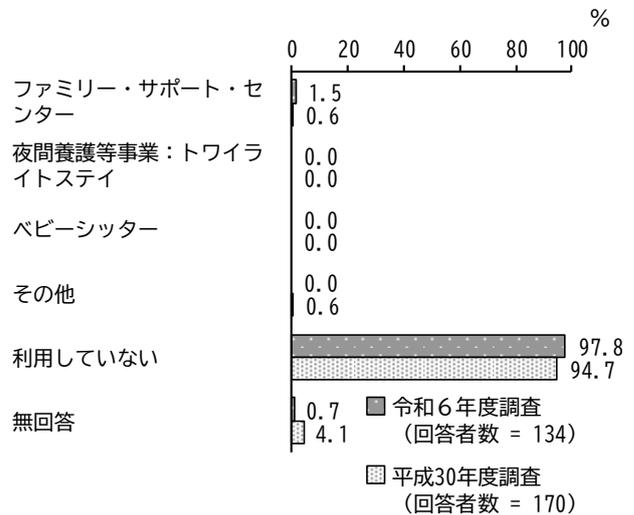
平成 30 年度調査と比較すると、「子どもの看護を理由に休みがとれない」の割合が減少しています。



(6) 宛名のお子さんの不特定の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用について

問 19 宛名のお子さんについて、日中の定期的な保育や病気のため以外に、私用、親の通院、不特定の就労等の目的で不定期に利用している事業はありますか。ある場合は、当てはまる番号すべてに○をつけ、1年間の利用日数（おおよそ）を（ ）内に数字でご記入ください。

「利用していない」の割合が97.8%と最も高くなっています。
平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



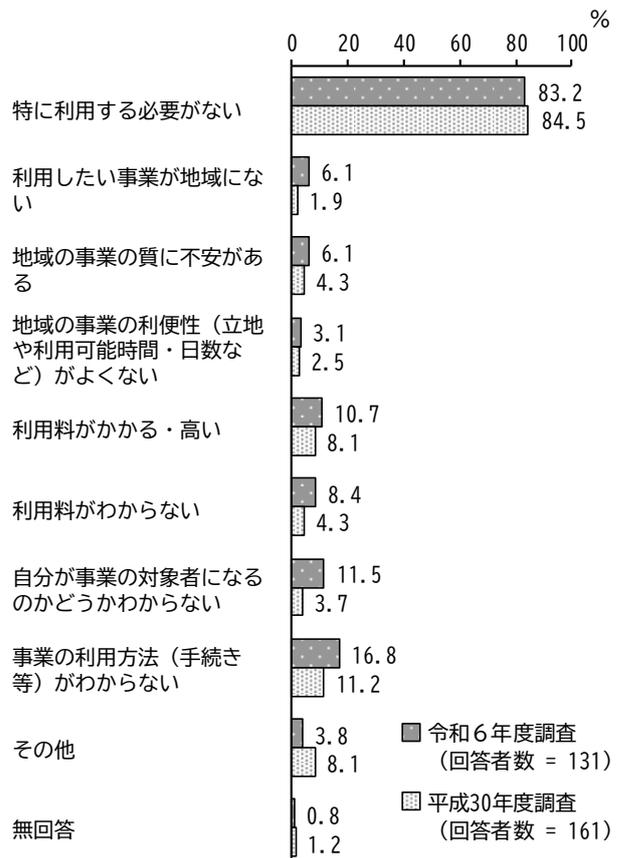
年間利用日数

ファミリー・サポート・センターの利用日数が「6日～10日」、「21日以上」が1件となっています。

問 19-1 問 19 で「利用していない」に○をつけた方にうかがいます。
現在利用していない理由は何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「特に利用する必要がない」の割合が83.2%と最も高く、次いで「事業の利用方法（手続き等）がわからない」の割合が16.8%、「自分が事業の対象者になるのかどうかかわからない」の割合が11.5%となっています。

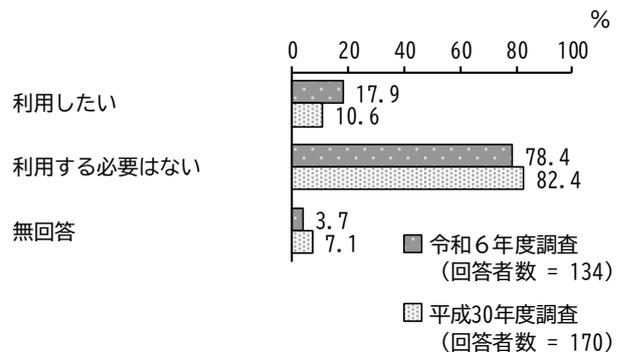
平成30年度調査と比較すると、「自分が事業の対象者になるのかどうかかわからない」「事業の利用方法（手続き等）がわからない」の割合が増加しています。



問 20 宛名のお子さんについて、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で、年間何日くらい事業を利用する必要があると思いますか。利用希望の有無について当てはまる番号・記号すべてに○をつけ、必要な日数をご記入ください。(利用したい日数の合計と、目的別の内訳の日数を()内に数字でご記入ください。)なお、これらの事業の利用にあたっては、一定の利用料がかかります。

「利用したい」の割合が17.9%、「利用する必要はない」の割合が78.4%となっています。

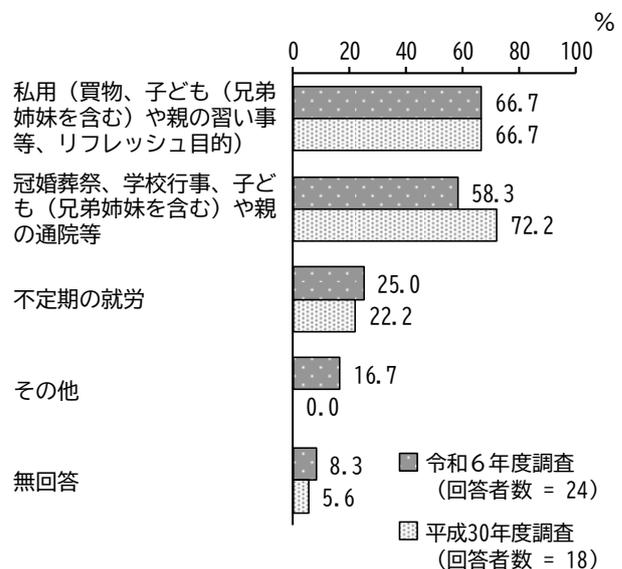
平成30年度調査と比較すると、「利用したい」の割合が増加しています。



利用目的

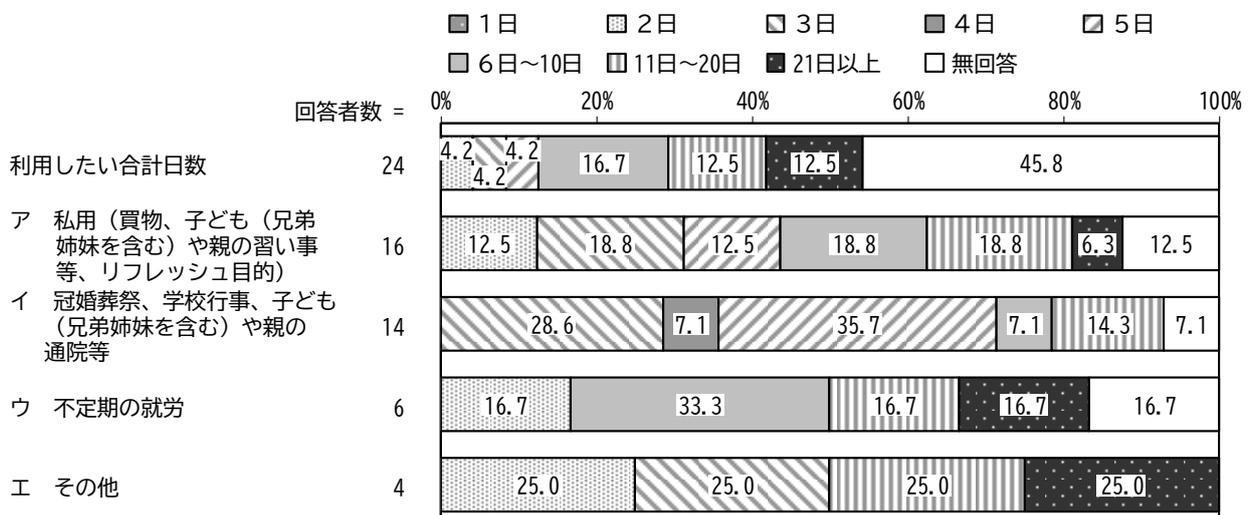
「私用（買物、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の習い事等、リフレッシュ目的）」の割合が66.7%と最も高く、次いで「冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の通院等」の割合が58.3%、「不定期の就労」の割合が25.0%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の通院等」の割合が減少しています。



利用日数

利用したい合計日数では、「6日～10日」の割合が16.7%と最も高く、次いで「11日～20日」、「21日以上」の割合が12.5%となっています。

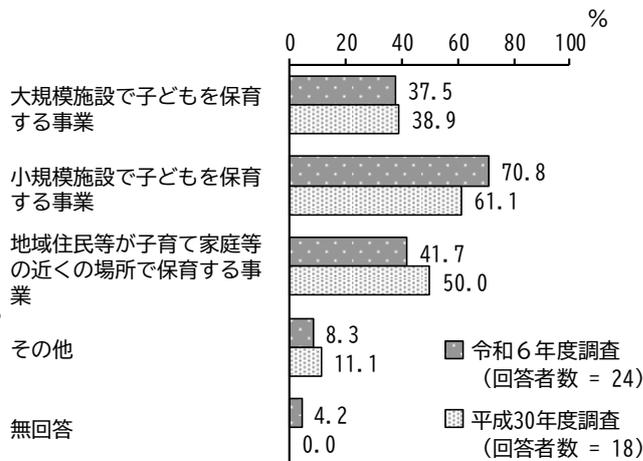


問 20-1 問 20 で「利用したい」に○をつけた方にうかがいます。

問 20 の目的でお子さんを預ける場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思われる
ますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

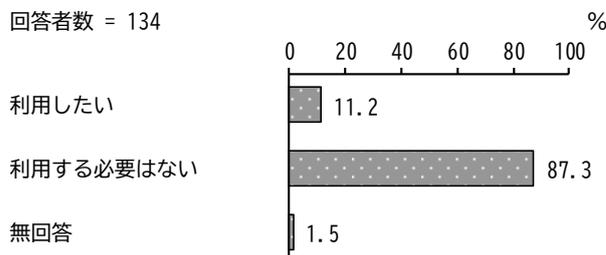
「小規模施設で子どもを保育する事業」の割合
が 70.8%と最も高く、次いで「地域住民等が子育て
で家庭等の近くの場所で保育する事業」の割合が
41.7%、「大規模施設で子どもを保育する事業」
の割合が 37.5%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「小規模施設で
子どもを保育する事業」の割合が増加しています。
一方、「地域住民等が子育てで家庭等の近くの場所
で保育する事業」の割合が減少しています。



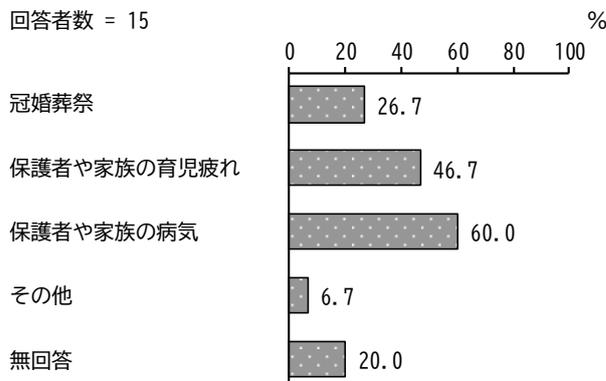
問 21 宛名のお子さんについて、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族（兄弟姉妹を含む）の育児疲れや育児不安、病気など）により、泊りがけで年間何日くらい家族以外に預ける必要があると思いますか。利用希望の有無について当てはまる番号・記号すべてに○をつけ、必要な泊数をご記入ください。（利用したい泊数の合計と、目的別の内訳の泊数を（ ）内に数字でご記入ください。）

「利用したい」の割合が 11.2%、「利用する必要はない」の割合が 87.3%となっています。



利用目的

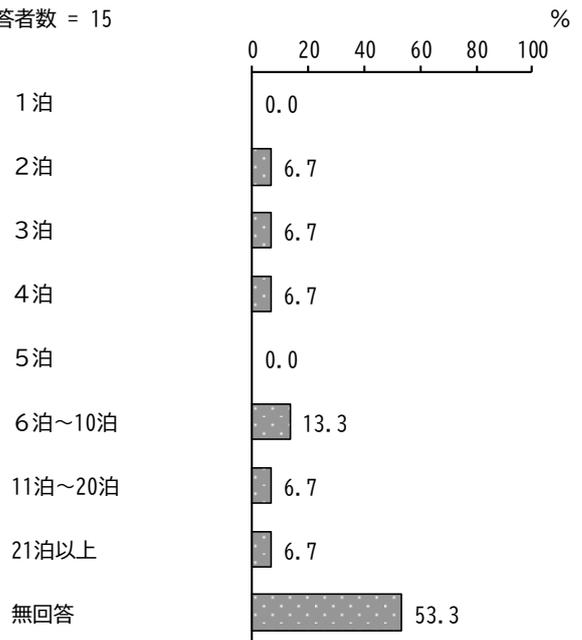
「保護者や家族の病気」の割合が 60.0%と最も
高く、次いで「保護者や家族の育児疲れ」の割合
が 46.7%、「冠婚葬祭」の割合が 26.7%となっ
ています。



利用合計泊数

「6泊～10泊」の割合が13.3%と最も高くなっています。

回答者数 = 15



年間泊数

ア 冠婚葬祭

「1泊」が2件となっています。「2泊」、「6泊～10泊」が1件となっています。

イ 保護者や家族の育児疲れ

「2泊」が3件となっています。「3泊」が2件、「6泊～10泊」が1件となっています。

ウ 保護者や家族の病気

「2泊」が3件となっています。「1泊」、「3泊」が2件となっています。

エ その他

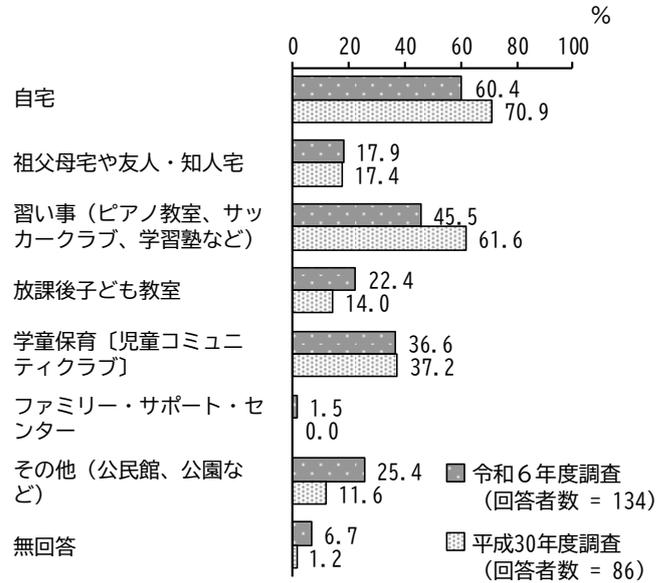
「2泊」が1件となっています。

(7) 宛名のお子さんの放課後の過ごし方について

問 22 宛名のお子さんについて、小学校低学年（1～3年生）のうちは、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれ希望する週あたり日数を数字でご記入ください。また、「学童保育」の場合には、利用を希望する時間も（ ）内に数字でご記入ください。時間は必ず（例）18時のように24時間制でご記入ください。

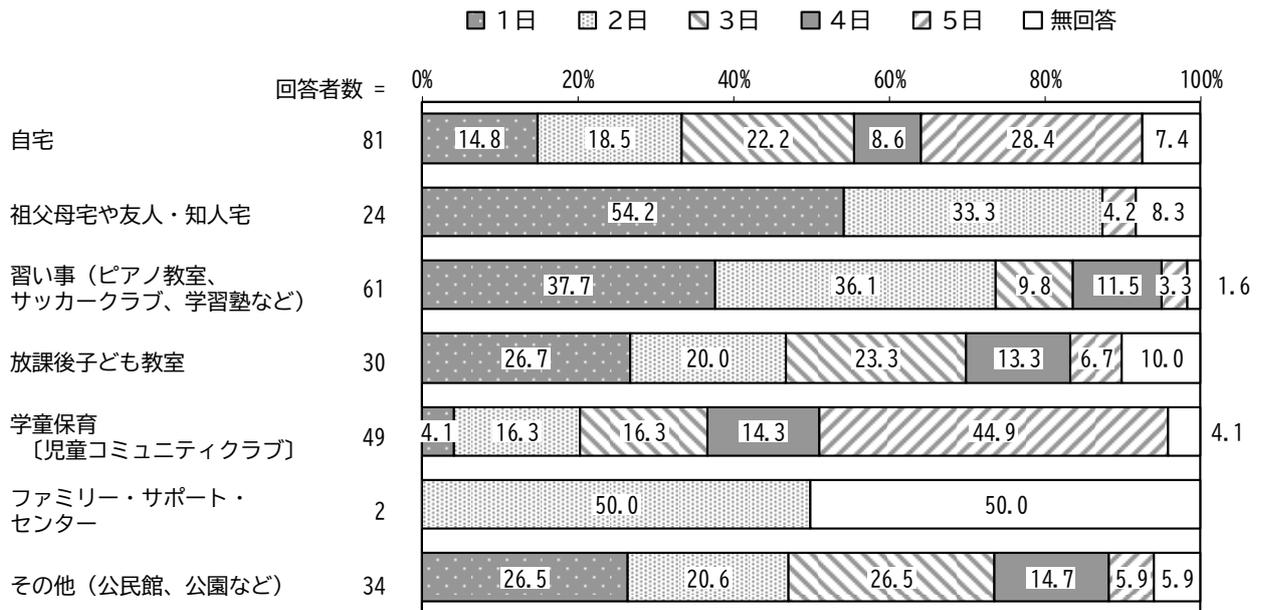
「自宅」の割合が60.4%と最も高く、次いで「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」の割合が45.5%、「学童保育〔児童コミュニティクラブ〕」の割合が36.6%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「放課後子ども教室」「その他（公民館、公園など）」の割合が増加しています。一方、「自宅」「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」の割合が減少しています。



週当たりの利用日数

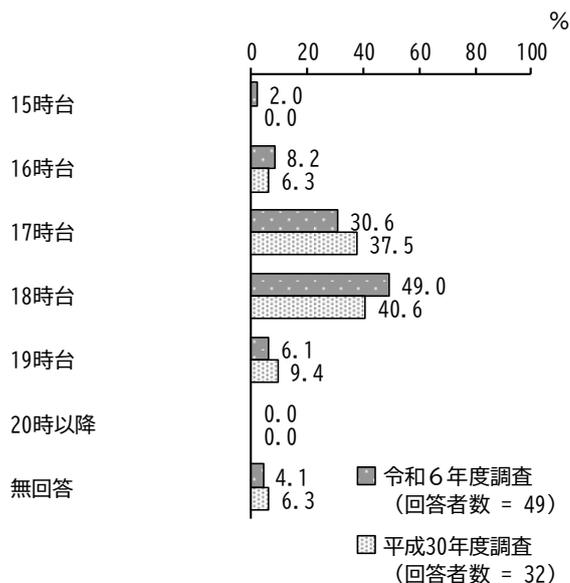
『祖父母宅や友人・知人宅』で「1日」の割合が高くなっています。また、『学童保育〔児童コミュニティクラブ〕』で「5日」の割合が高くなっています。



学童保育〔児童コミュニティークラブ〕の利用終了時刻

「18 時台」の割合が 49.0%と最も高く、次いで「17 時台」の割合が 30.6%となっています。

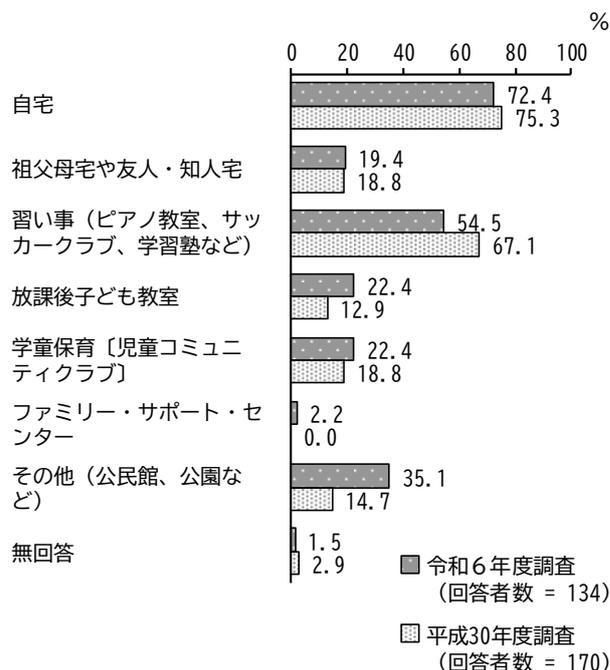
平成 30 年度調査と比較すると、「18 時台」の割合が増加しています。一方、「17 時台」の割合が減少しています。



問 23 宛名のお子さんについて、小学校高学年（4～6年生）になったら、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれの週あたり日数を数字でご記入ください。また、「学童保育」の場合には、利用を希望する時間も（ ）内に数字でご記入ください。時間は必ず（例）18時のように24時間制でご記入ください。

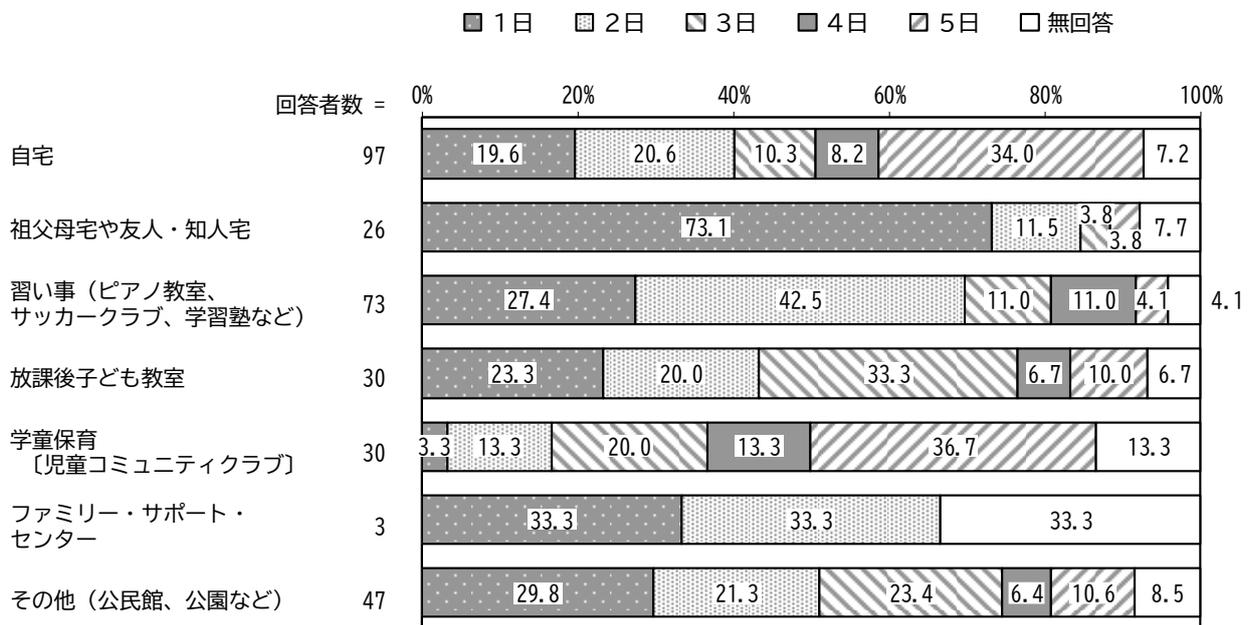
「自宅」の割合が 72.4%と最も高く、次いで「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」の割合が 54.5%、「その他（公民館、公園など）」の割合が 35.1%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「放課後子ども教室」「その他（公民館、公園など）」の割合が増加しています。一方、「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」の割合が減少しています。



週当たりの利用日数

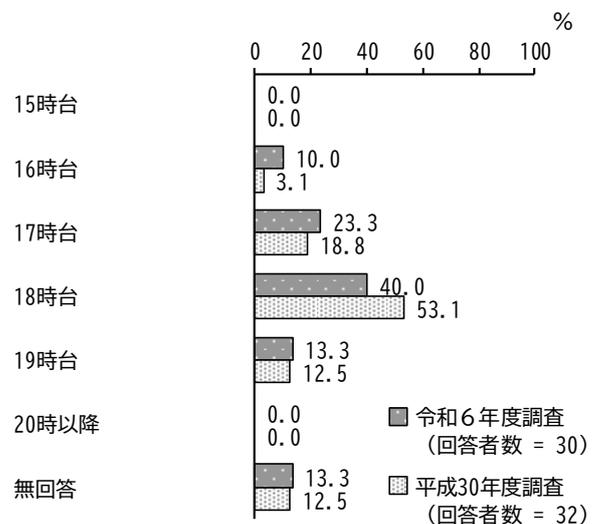
『祖父母宅や友人・知人宅』で「1日」の割合が高くなっています。また、『自宅』、『学童保育〔児童コミュニティクラブ〕』で「5日」の割合が高くなっています。



学童保育〔児童コミュニティクラブ〕の利用終了時刻

「18 時台」の割合が 40.0%と最も高く、次いで「17 時台」の割合が 23.3%、「19 時台」の割合が 13.3%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「16 時台」の割合が増加しています。一方、「18 時台」の割合が減少しています。



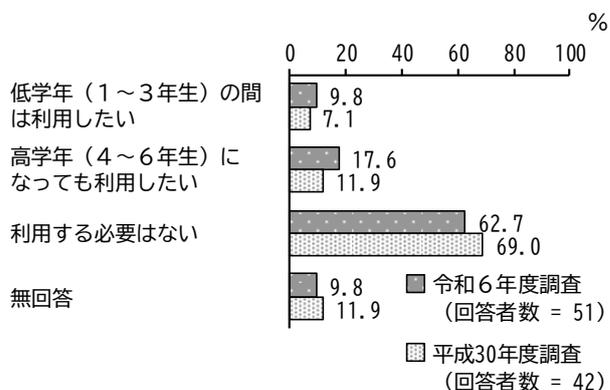
問24 問22または問23で「学童保育〔児童コミュニティクラブ〕」に○をつけた方にかがいます。

宛名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、学童保育の利用希望はありますか。次の(1)、(2)のそれぞれについて、当てはまる番号1つに○をつけてください。また利用したい時間帯を、()内に(例)9時～18時のように24時間制でご記入ください。

(1) 土曜日

「利用する必要はない」の割合が62.7%と最も高く、次いで「高学年(4～6年生)になっても利用したい」の割合が17.6%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「高学年(4～6年生)になっても利用したい」の割合が増加しています。一方、「利用する必要はない」の割合が減少しています。



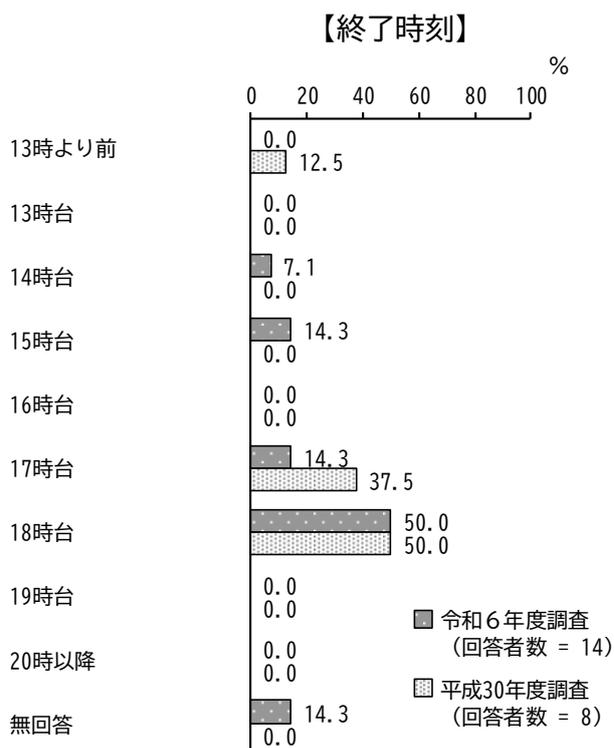
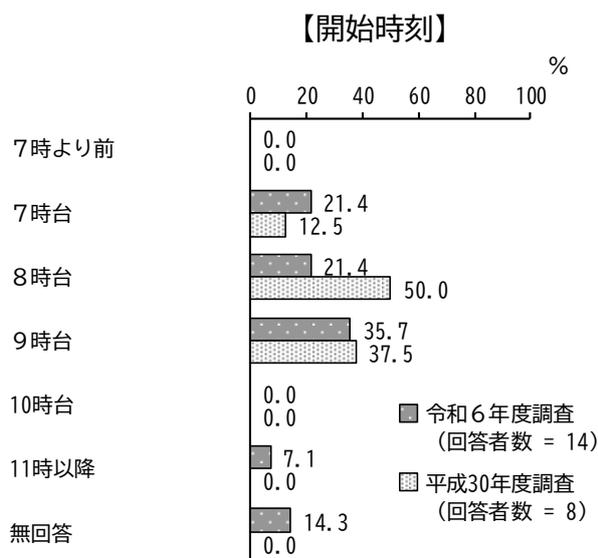
利用したい時間帯

開始時刻

「9時台」の割合が35.7%と最も高く、次いで「7時台」、「8時台」の割合が21.4%となっています。

終了時刻

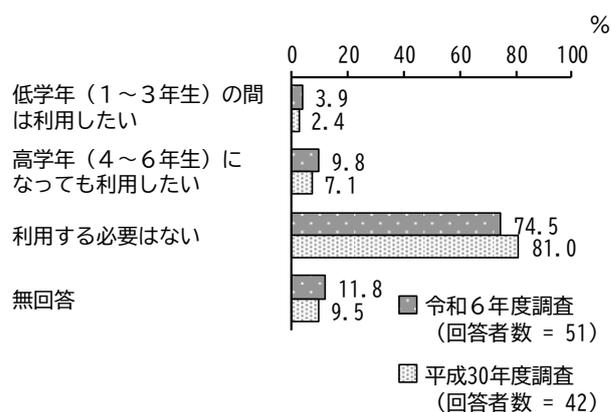
「18時台」の割合が50.0%と最も高く、次いで「15時台」、「17時台」の割合が14.3%となっています。



(2) 日曜・祝日

「利用する必要はない」の割合が74.5%と最も高くなっています。

平成30年度調査と比較すると、「利用する必要はない」の割合が減少しています。



利用したい時間帯

開始時刻

「9時台」が4件となっています。「7時台」が2件、「8時台」が1件となっています。

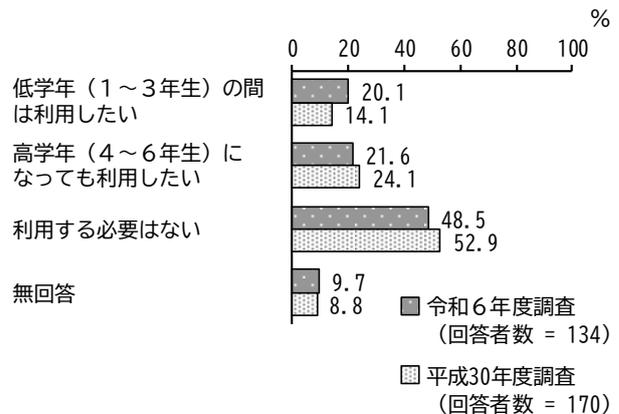
終了時刻

「18時台」が5件となっています。「17時台」が2件となっています。

問 25 宛名のお子さんについて、お子さんの夏休み・冬休みなどの長期の休暇期間中の学童保育の利用希望はありますか。事業の利用には、一定の利用料がかかります。当てはまる番号1つに○をつけてください。また利用したい時間帯を、()内に(例) 9時～18時のように24時間制でご記入ください。

「利用する必要はない」の割合が48.5%と最も高く、次いで「高学年(4～6年生)になっても利用したい」の割合が21.6%、「低学年(1～3年生)の間は利用したい」の割合が20.1%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「低学年(1～3年生)の間は利用したい」の割合が増加しています。



利用したい時間帯

開始時刻

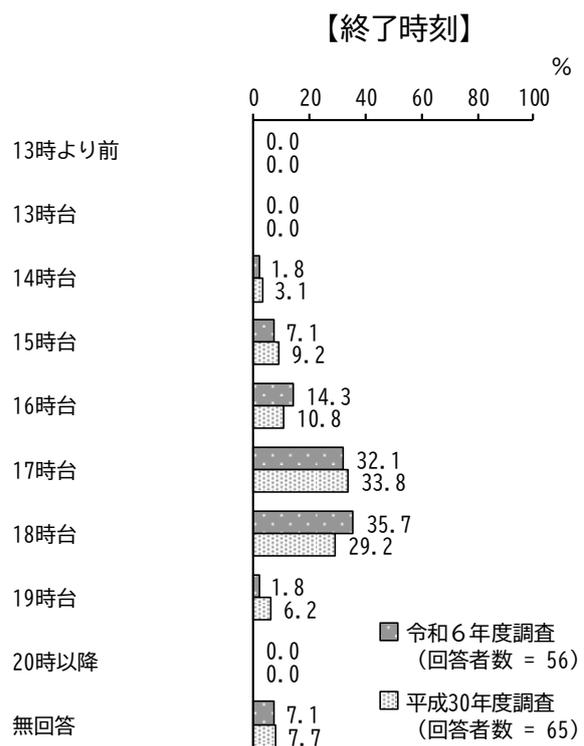
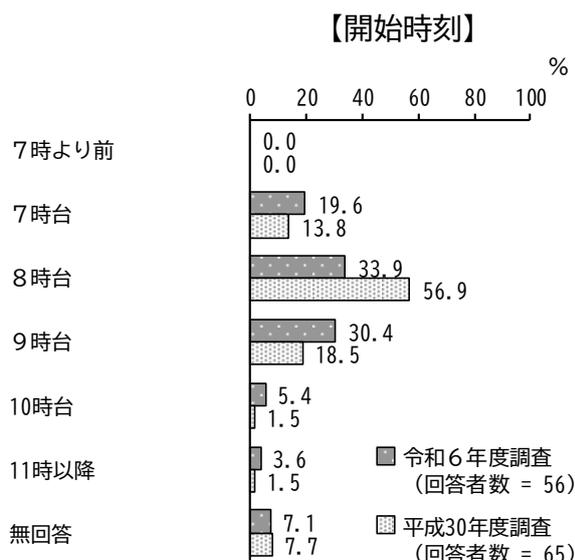
「8時台」の割合が33.9%と最も高く、次いで「9時台」の割合が30.4%、「7時台」の割合が19.6%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「7時台」「9時台」の割合が増加しています。一方、「8時台」の割合が減少しています。

終了時刻

「18時台」の割合が35.7%と最も高く、次いで「17時台」の割合が32.1%、「16時台」の割合が14.3%となっています。

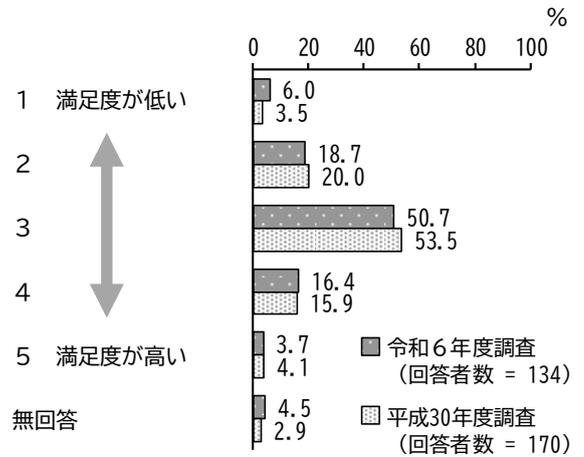
平成30年度調査と比較すると、「18時台」の割合が増加しています。



問 26 お住まいの地域における子育ての環境や支援への満足度について、当てはまる番号1つに○をつけてください。

「3」の割合が50.7%と最も高く、次いで「2」の割合が18.7%、「4」の割合が16.4%となっています。

平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



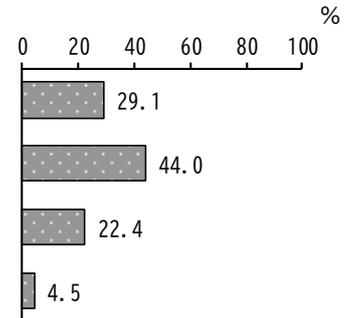
(8) 子どもの権利について

問 27 あなたは、「子どもの権利」という言葉を知っていますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

「名前は知っているが内容は知らなかった」の割合が44.0%と最も高く、次いで「名前も内容も知っている」の割合が29.1%、「知らない」の割合が22.4%となっています。

回答者数 = 134

名前も内容も知っている
名前は知っているが内容は知らなかった
知らない
無回答

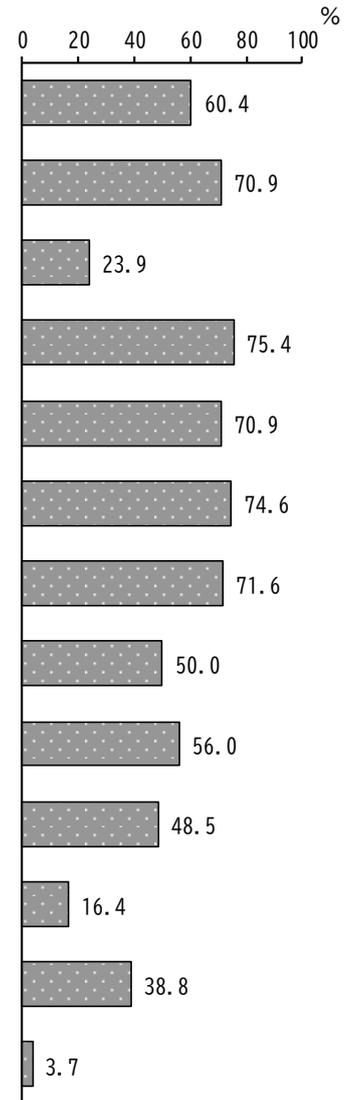


問 28 子どもの権利の中で特に大切だと思うことはどれですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「暴力や言葉で傷つけないこと」の割合が75.4%と最も高く、次いで「自分の考えを自由に言えること」の割合が74.6%、「人と違う自分らしさが認められること」の割合が71.6%となっています。

回答者数 = 134

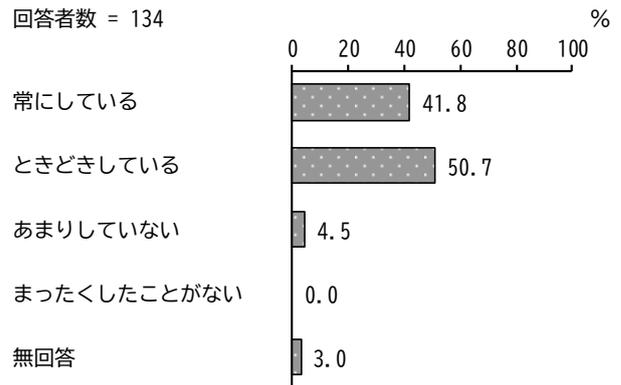
人種や性別、宗教などで差別されないこと
障がいのある子が差別されないこと
子どもが知りたいことを隠さないこと
暴力や言葉で傷つけないこと
家族が仲良く一緒に過ごす時間をもつこと
自分の考えを自由に言えること
人と違う自分らしさが認められること
自分の秘密が守られること
自分のことは自分で決められること
自由な時間をもつこと
自由な呼びかけでグループを作り集まれること
必要な情報を知ることや、参加する手助けを受けられること
無回答



問 29 あなたは、子育てをしていて、子どもからの意見や要望を聞き、それらを取り入れるように意識をしたことはありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

「ときどきしている」の割合が50.7%と最も高く、次いで「常にしている」の割合が41.8%となっています。

回答者数 = 134



問 30 あなたは、以下のことについてどのように思いますか。それぞれ当てはまる番号1つに○をつけてください。

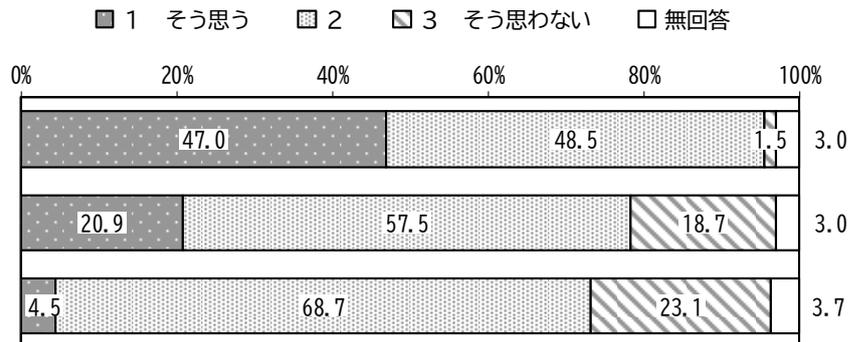
『子どもは権利の主体である』で「1 そう思う」の割合が高く、47.0%となっています。一方、『障害のある子ども・若者、発達に特性のある子ども・若者の地域社会への参加・包容（インクルージョン）が推進されている』で「1 そう思う」の割合が低く、4.5%となっています。

回答者数 = 134

子どもは権利の主体である

あなたの周りには、子どもや若者の遊びや体験活動の機会や場が十分にある

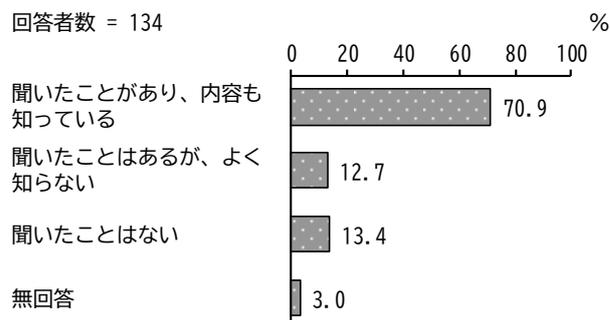
障害のある子ども・若者、発達に特性のある子ども・若者の地域社会への参加・包容（インクルージョン）が推進されている



(9) ヤングケアラーについて

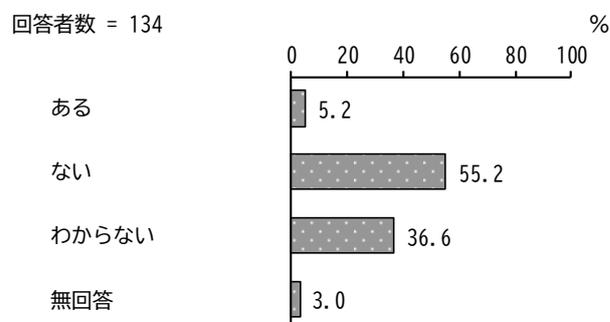
問31 あなたは、「ヤングケアラー」という言葉をこれまでに聞いたことがありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

「聞いたことがあり、内容も知っている」の割合が70.9%と最も高く、次いで「聞いたことは無い」の割合が13.4%、「聞いたことはあるが、よく知らない」の割合が12.7%となっています。



問32 あなたの身近に、ヤングケアラーと思われる子どもがいる家庭はありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

「ない」の割合が55.2%と最も高く、次いで「わからない」の割合が36.6%となっています。



問32-1 問32で「ある」に○をつけた方にうかがいます。あなたはその家庭に対し、どのようなことをしましたか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

「何もしなかった」が7件となっています。

問32-2 問32-1で「町の窓口や相談機関等に相談した」に○をつけた方にうかがいます。その相談先はどこですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

有効回答がありませんでした。

(10) 大井町の子育て関連の取り組み全般について

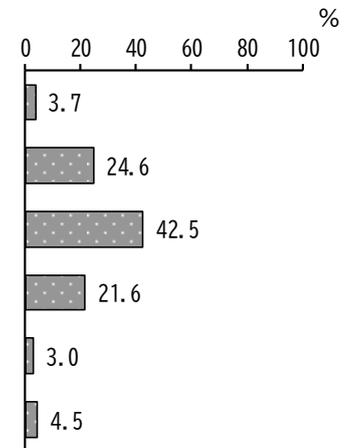
問 33 大井町における子育ての環境や支援への満足度・楽しさ・大変さ・子育てしやすさについて、それぞれ当てはまる番号1つに○をつけてください。

満足度

「3」の割合が42.5%と最も高く、次いで「2」の割合が24.6%、「4」の割合が21.6%となっています。

回答者数 = 134

- 1 満足度が低い
- 2
- 3
- 4
- 5 満足度が高い
- 無回答

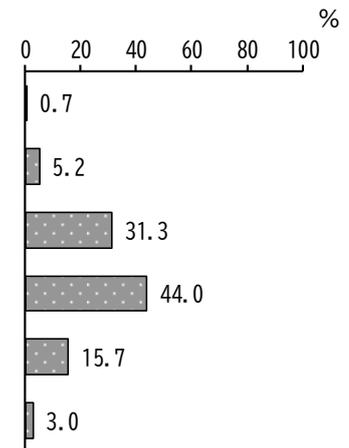


楽しさ

「4」の割合が44.0%と最も高く、次いで「3」の割合が31.3%、「5 子育てが楽しい」の割合が15.7%となっています。

回答者数 = 134

- 1 子育てが楽しくない
- 2
- 3
- 4
- 5 子育てが楽しい
- 無回答

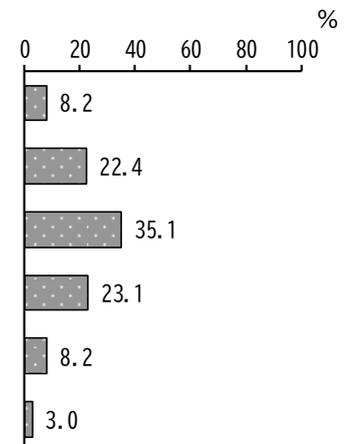


大変さ

「3」の割合が35.1%と最も高く、次いで「4」の割合が23.1%、「2」の割合が22.4%となっています。

回答者数 = 134

- 1 子育てが大変と感じる
- 2
- 3
- 4
- 5 子育てが大変と感じない
- 無回答

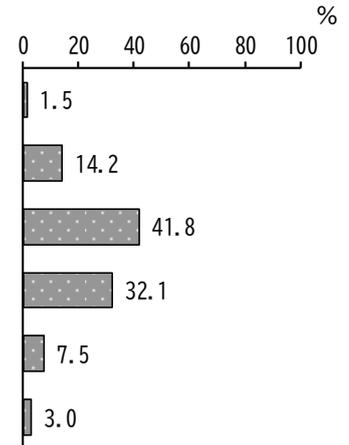


子育てしやすさ

「3」の割合が41.8%と最も高く、次いで「4」の割合が32.1%、「2」の割合が14.2%となっています。

回答者数 = 134

- 1 子育てしにくい
- 2
- 3
- 4
- 5 子育てしやすい
- 無回答

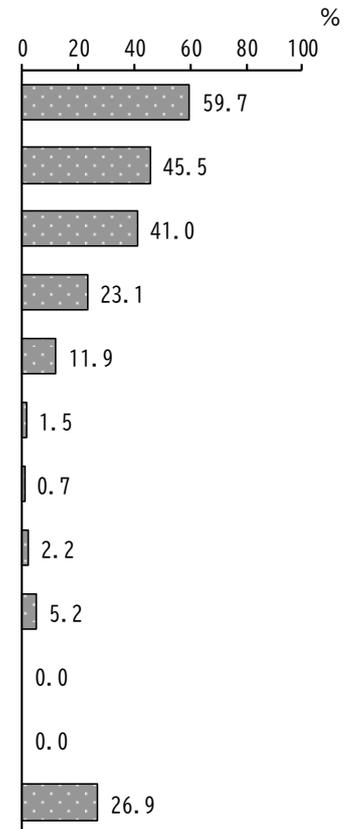


問 34 あなたは子育てに関する情報を主にどのように入手していますか。当てはまる番号3つまでに○をつけてください。

「家族、友人」の割合が59.7%と最も高く、次いで「保育園や学校からのお知らせ」の割合が45.5%、「インターネット」の割合が41.0%となっています。

回答者数 = 134

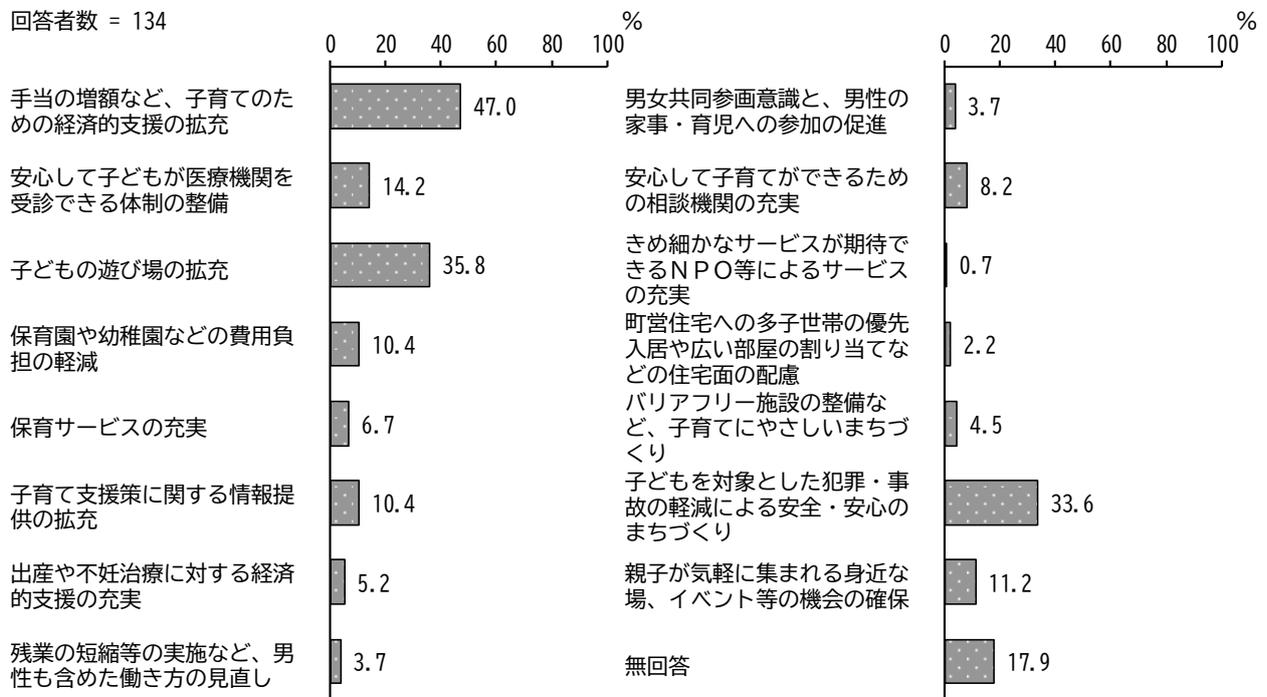
- 家族、友人
- 保育園や学校からのお知らせ
- インターネット
- 町の広報
- 保育園・幼稚園などの保護者
- 健診時
- 雑誌
- 病院
- 町内会等の自治組織
- 町の窓口
- その他
- 無回答



問 35 町に対して、どのような子育て支援の充実を図ってほしいと期待していますか。当てはまる番号3つまでに○をつけてください。

「手当の増額など、子育てのための経済的支援の拡充」の割合が47.0%と最も高く、次いで「子どもの遊び場の拡充」の割合が35.8%、「子どもを対象とした犯罪・事故の軽減による安全・安心のまちづくり」の割合が33.6%となっています。

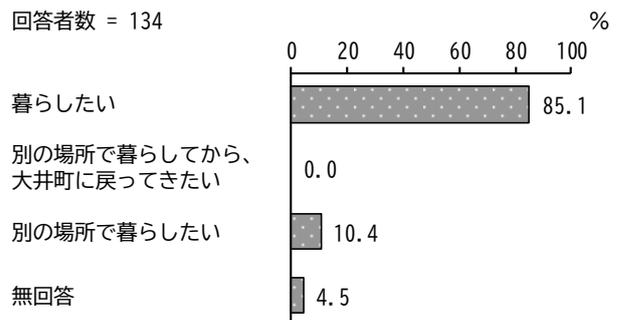
回答者数 = 134



問 36 あなたは、これからも大井町で暮らしたいですか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

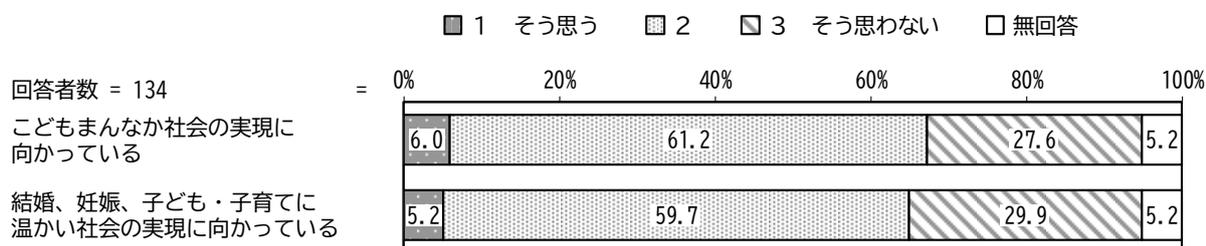
「暮らしたい」の割合が85.1%と最も高く、次いで「別の場所で暮らしたい」の割合が10.4%となっています。

回答者数 = 134



問 37 あなたは、以下のことについてどのように思いますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

『こどもまんなか社会の実現に向かっている』、『結婚、妊娠、子ども・子育てに温かい社会の実現に向かっている』ともに「1 そう思う」の割合が低く、10%未満となっています。



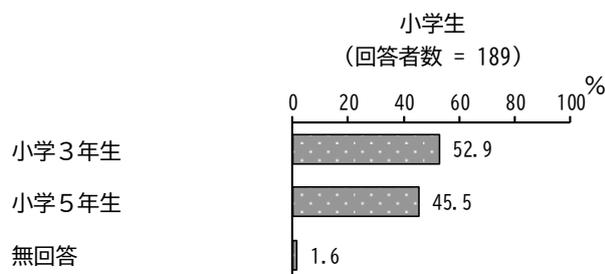
3 小学生・中学生・高校生

(1) あなた自身のことについて

あなたは次のうちどれにあてはまりますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

【小学生：問1】

小学生では、「小学3年生」の割合が52.9%、「小学5年生」の割合が45.5%となっています。



(2) 「あなたの気持ち」について

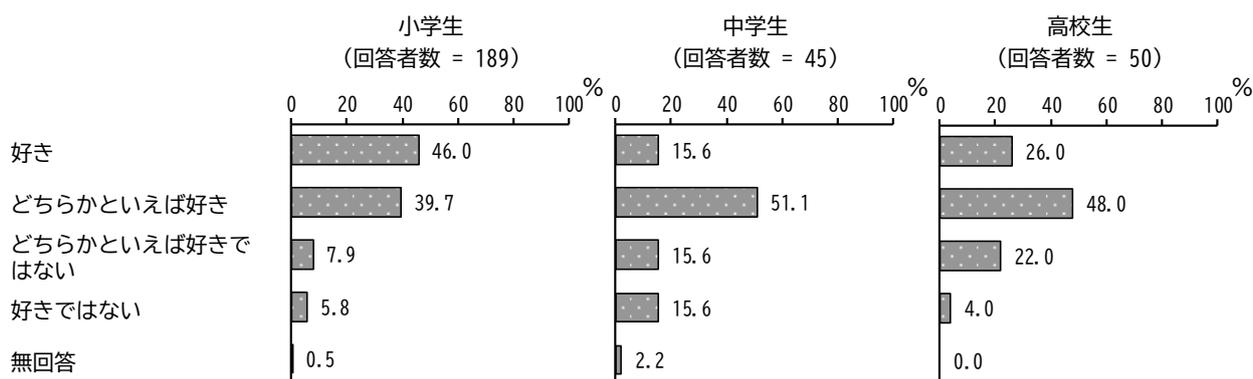
あなたは、自分のことが好きですか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

【小学生：問2、中学生：問1、高校生：問1】

小学生では、「好き」の割合が46.0%と最も高く、次いで「どちらかといえば好き」の割合が39.7%となっています。

中学生では、「どちらかといえば好き」の割合が51.1%と最も高く、次いで「好き」、「どちらかといえば好きではない」、「好きではない」の割合が15.6%となっています。

高校生では、「どちらかといえば好き」の割合が48.0%と最も高く、次いで「好き」の割合が26.0%、「どちらかといえば好きではない」の割合が22.0%となっています。



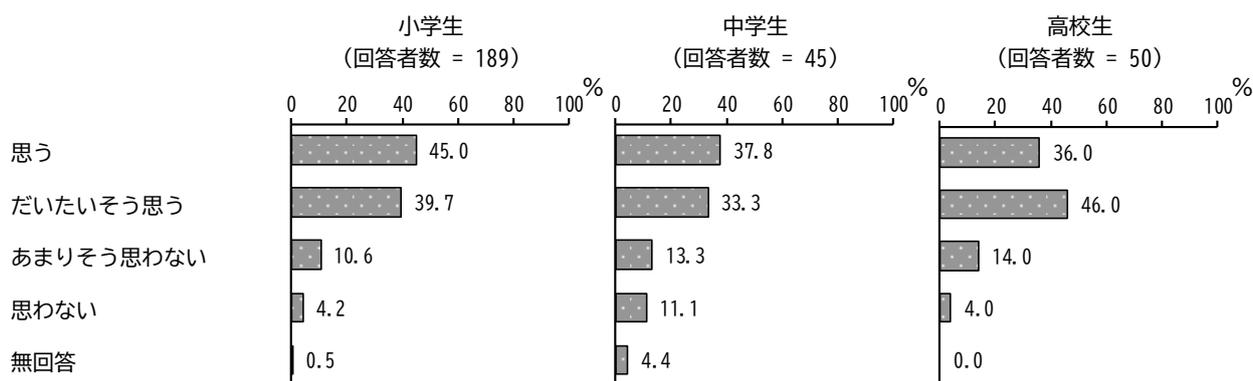
あなたは、自分には良いところがあると思いますか。
 あてはまるもの1つに○をつけてください。

【小学生：問3、中学生：問2、高校生：問2】

小学生では、「思う」の割合が45.0%と最も高く、次いで「だいたいそう思う」の割合が39.7%、「あまりそう思わない」の割合が10.6%となっています。

中学生では、「思う」の割合が37.8%と最も高く、次いで「だいたいそう思う」の割合が33.3%、「あまりそう思わない」の割合が13.3%となっています。

高校生では、「だいたいそう思う」の割合が46.0%と最も高く、次いで「思う」の割合が36.0%、「あまりそう思わない」の割合が14.0%となっています。



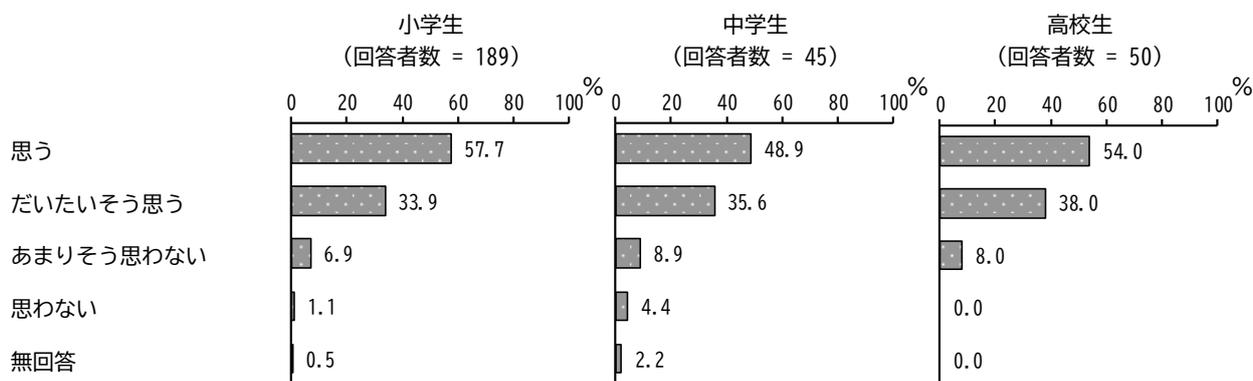
あなたは、まわりの人から大切にされていると思いますか。
 あてはまるもの1つに○をつけてください。

【小学生：問4、中学生：問3、高校生：問3】

小学生では、「思う」の割合が57.7%と最も高く、次いで「だいたいそう思う」の割合が33.9%となっています。

中学生では、「思う」の割合が48.9%と最も高く、次いで「だいたいそう思う」の割合が35.6%となっています。

高校生では、「思う」の割合が54.0%と最も高く、次いで「だいたいそう思う」の割合が38.0%となっています。



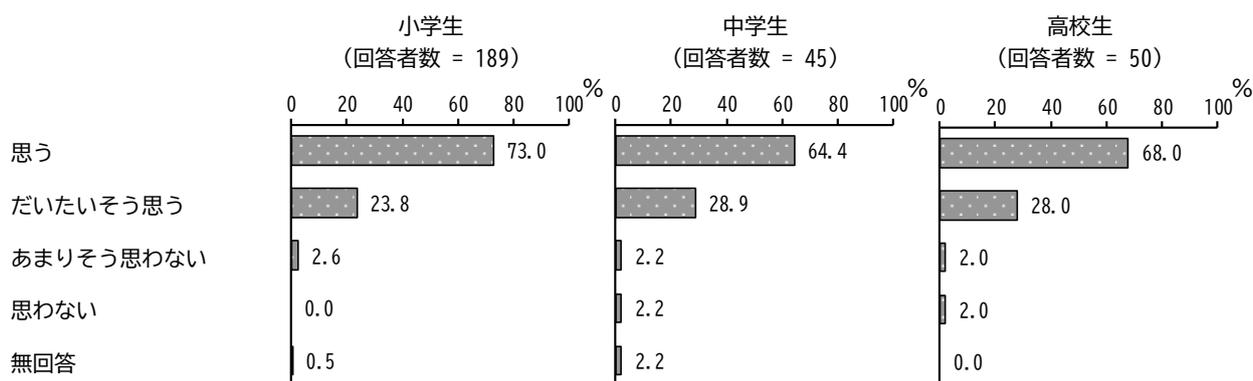
あなたは、自分の命が守られ安心して暮らしていると思いますか。
あてはまるもの1つに○をつけてください。

【小学生：問5、中学生：問4、高校生：問4】

小学生では、「思う」の割合が73.0%と最も高く、次いで「だいたいそう思う」の割合が23.8%となっています。

中学生では、「思う」の割合が64.4%と最も高く、次いで「だいたいそう思う」の割合が28.9%となっています。

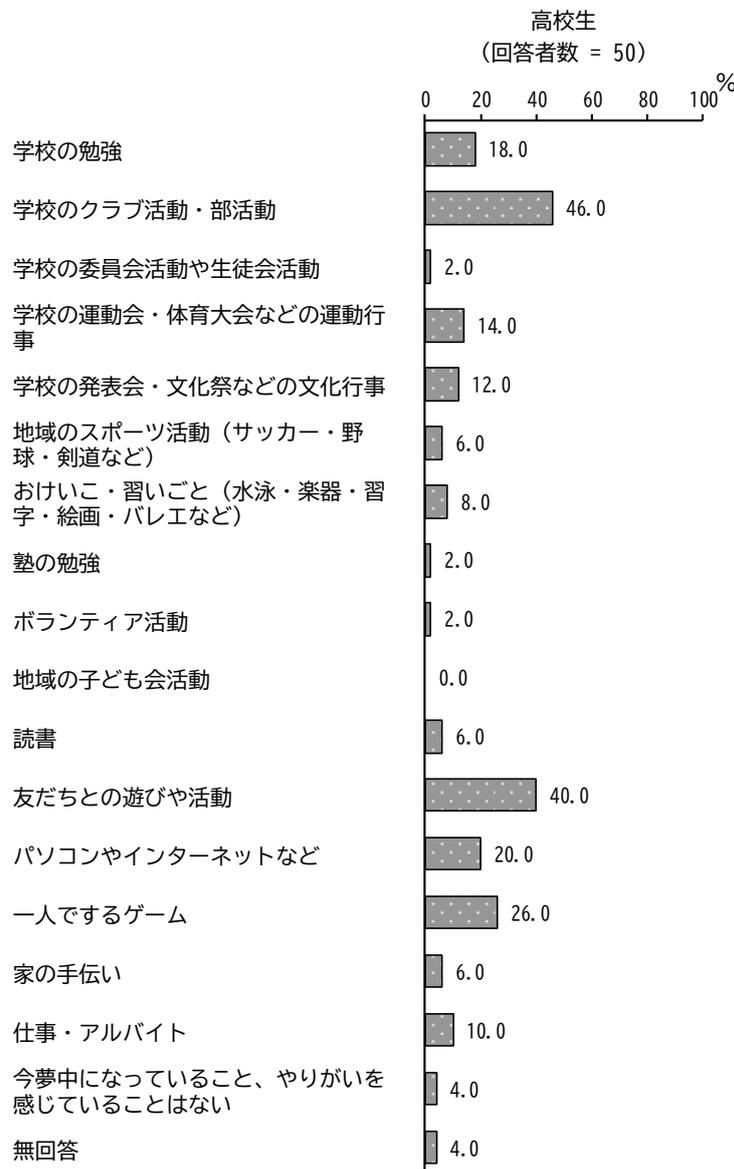
高校生では、「思う」の割合が68.0%と最も高く、次いで「だいたいそう思う」の割合が28.0%となっています。



あなたが、「今夢中になっていること」や「やりがいを感じていること」は何ですか。あてはまるものに3つまで○をつけてください。「今夢中になっていること」や「やりがいを感じていること」がない場合は17に○をつけてください。

【高校生：問5】

高校生では、「学校のクラブ活動・部活動」の割合が46.0%と最も高く、次いで「友だちとの遊びや活動」の割合が40.0%、「一人でするゲーム」の割合が26.0%となっています。



前問で、「今夢中になっていること、やりがいを感じていることはない」に○をつけた人にお聞きします。

その理由はなんですか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

【高校生：問6】

高校生では、「特に理由はない」、「わからない」が1件となっています。

(3) 困っていること、つらいことの相談について

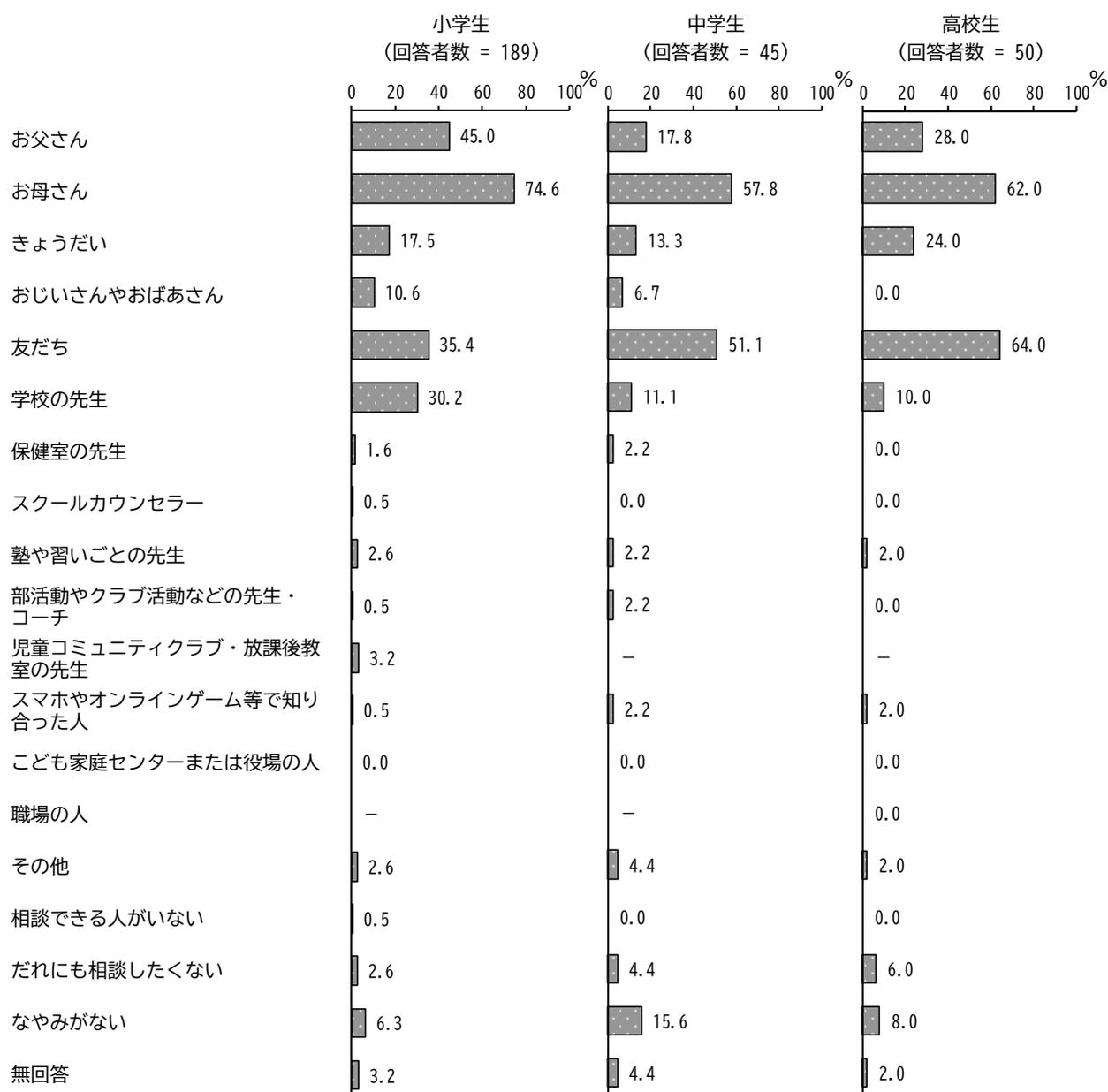
困ったとき、つらいとき、あなたはだれに相談しますか。
あてはまるものに3つまで○をつけてください。

【小学生：問6、中学生：問5、高校生：問7】

小学生では、「お母さん」の割合が74.6%と最も高く、次いで「お父さん」の割合が45.0%、「友だち」の割合が35.4%となっています。

中学生では、「お母さん」の割合が57.8%と最も高く、次いで「友だち」の割合が51.1%、「お父さん」の割合が17.8%となっています。

高校生では、「友だち」の割合が64.0%と最も高く、次いで「お母さん」の割合が62.0%、「お父さん」の割合が28.0%となっています。



※小学生調査では、「部活動やクラブ活動などの先生・コーチ」の選択肢は「クラブ活動の先生やコーチ」となっていました。

※小学生調査、中学生調査では、「職場の人」の選択肢はありませんでした。

※中学生調査では、「部活動やクラブ活動などの先生・コーチ」の選択肢は「部活動の先生・コーチ」、「塾や習いごとの先生」の選択肢は「塾やピアノ・スポーツなどの習いごとの先生・コーチ」となっていました。

※中学生調査、高校生調査では、「児童コミュニティクラブ・放課後教室の先生」の選択肢はありませんでした。

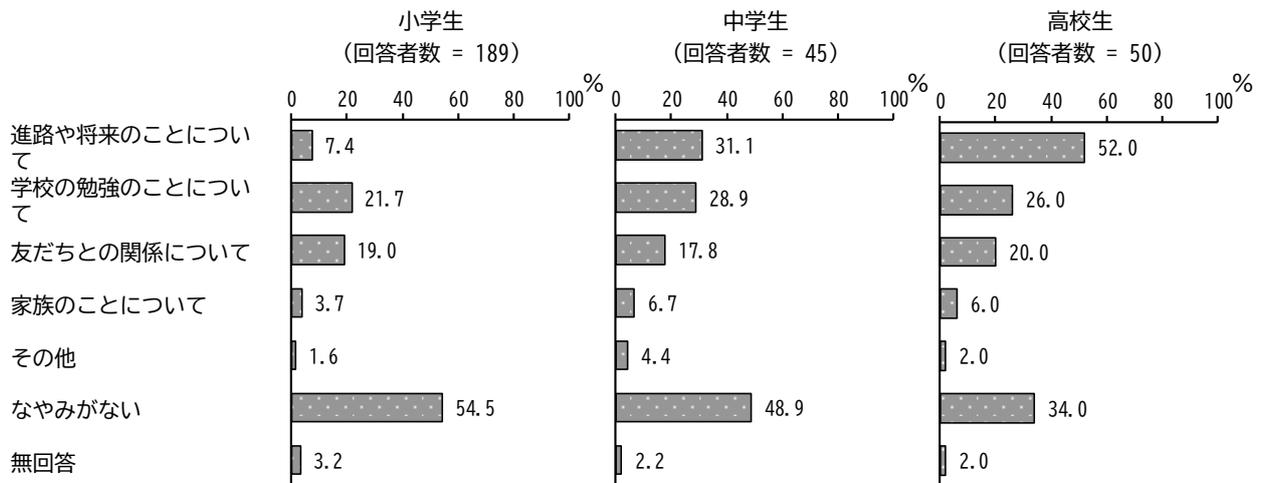
あなたが今、「困っていること」や「悩んでいること」はどんなことですか。
あてはまるものすべてに○をつけてください。

【小学生：問7、中学生：問6、高校生：問8】

小学生では、「なやみがない」の割合が54.5%と最も高く、次いで「学校の勉強のことについて」の割合が21.7%、「友だちとの関係について」の割合が19.0%となっています。

中学生では、「なやみがない」の割合が48.9%と最も高く、次いで「進路や将来のことについて」の割合が31.1%、「学校の勉強のことについて」の割合が28.9%となっています。

高校生では、「進路や将来のことについて」の割合が52.0%と最も高く、次いで「なやみがない」の割合が34.0%、「学校の勉強のことについて」の割合が26.0%となっています。



(4) 「あなたの意見を言う機会」について

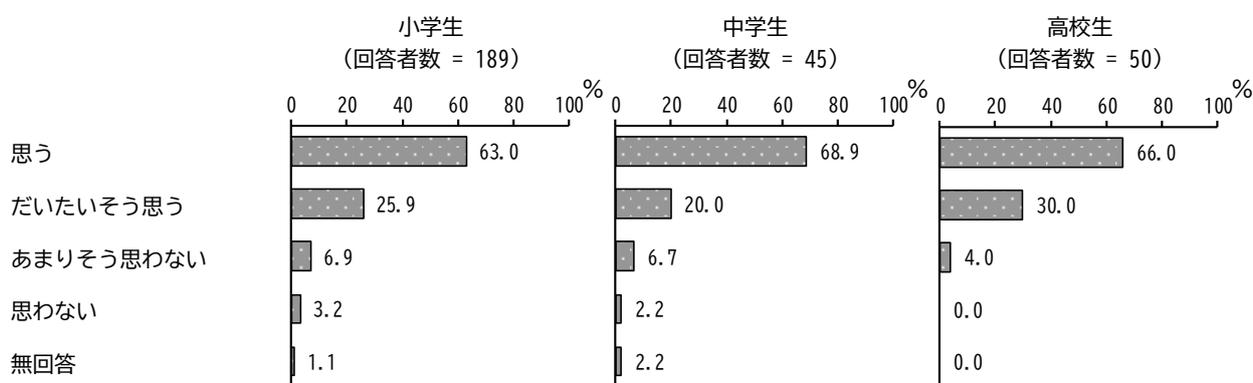
家庭で、あなたの考えや思っていることを聞いてもらっていると思いますか。
あてはまるもの1つに○をつけてください。

【小学生：問8、中学生：問7、高校生：問9】

小学生では、「思う」の割合が63.0%と最も高く、次いで「だいたいそう思う」の割合が25.9%となっています。

中学生では、「思う」の割合が68.9%と最も高く、次いで「だいたいそう思う」の割合が20.0%となっています。

高校生では、「思う」の割合が66.0%と最も高く、次いで「だいたいそう思う」の割合が30.0%となっています。



前問で、「思う」、「だいたいそう思う」に○をつけた人にお聞きします。

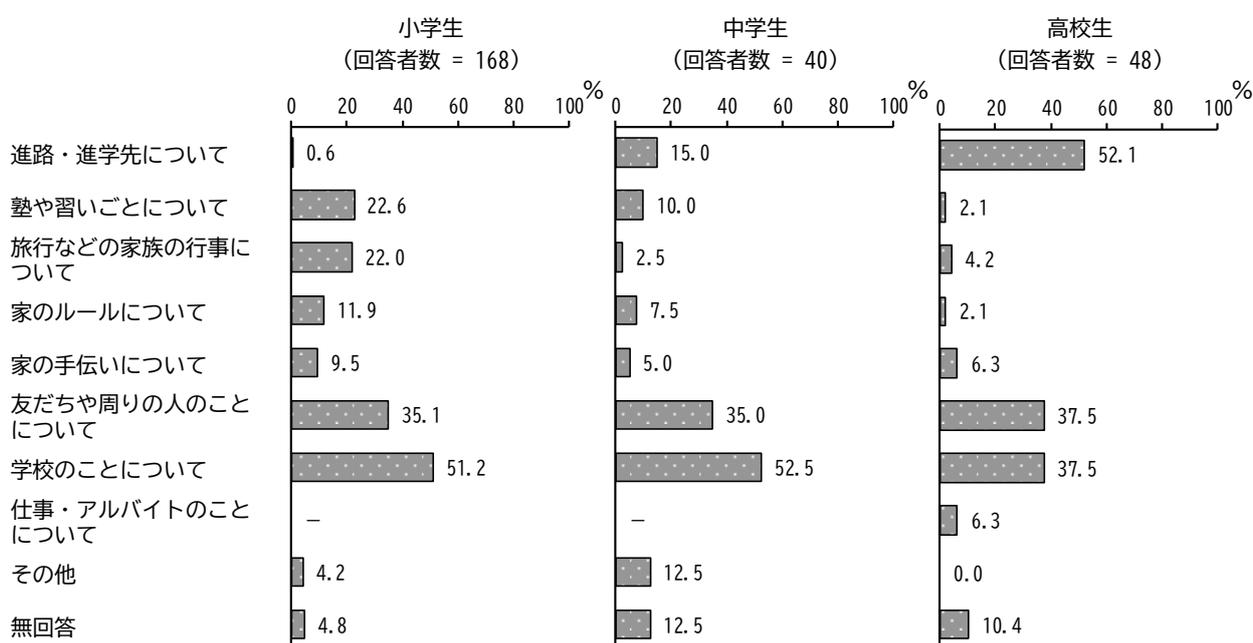
聞いてもらった内容は何ですか。あてはまるものに2つまで○をつけてください。

【小学生：問9、中学生：問8、高校生：問10】

小学生では、「学校のことについて」の割合が51.2%と最も高く、次いで「友だちや周りの人
のことについて」の割合が35.1%、「塾や習いごとについて」の割合が22.6%となっています。

中学生では、「学校のことについて」の割合が52.5%と最も高く、次いで「友だちや周りの人
のことについて」の割合が35.0%、「進路・進学先について」の割合が15.0%となっています。

高校生では、「進路・進学先について」の割合が52.1%と最も高く、次いで「友だちや周りの人
のことについて」、「学校のことについて」の割合が37.5%となっています。



※小学生調査、中学生調査では、「仕事・アルバイトのことについて」の選択肢はありませんでした。

※中学生調査では、「塾や習いごとについて」の選択肢は「塾・ピアノ・スポーツなどの習いごとについて」となっていました。

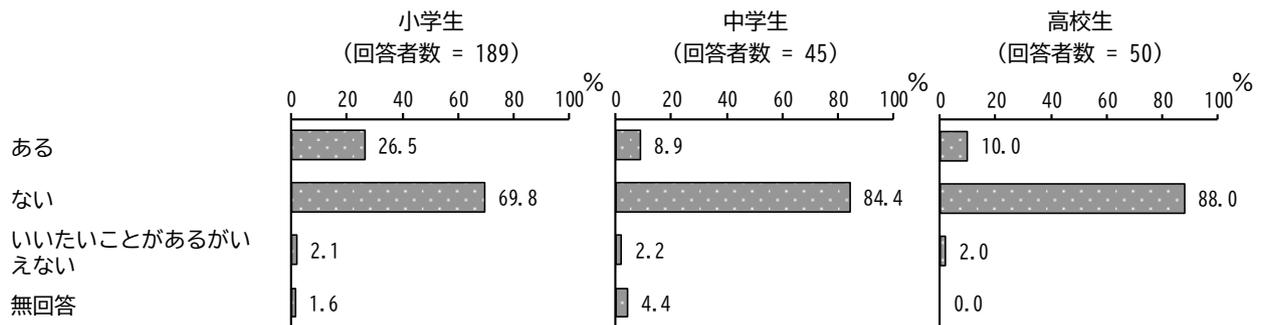
あなたは、親や家族の人にもっとあなたの意見を聞いてほしいと思うことはありますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

【小学生：問10、中学生：問9、高校生：問11】

小学生では、「ない」の割合が69.8%と最も高く、次いで「ある」の割合が26.5%となっています。

中学生では、「ない」の割合が84.4%と最も高くなっています。

高校生では、「ない」の割合が88.0%と最も高く、次いで「ある」の割合が10.0%となっています。



前問で、「ある」に○をつけた人にお聞きします。

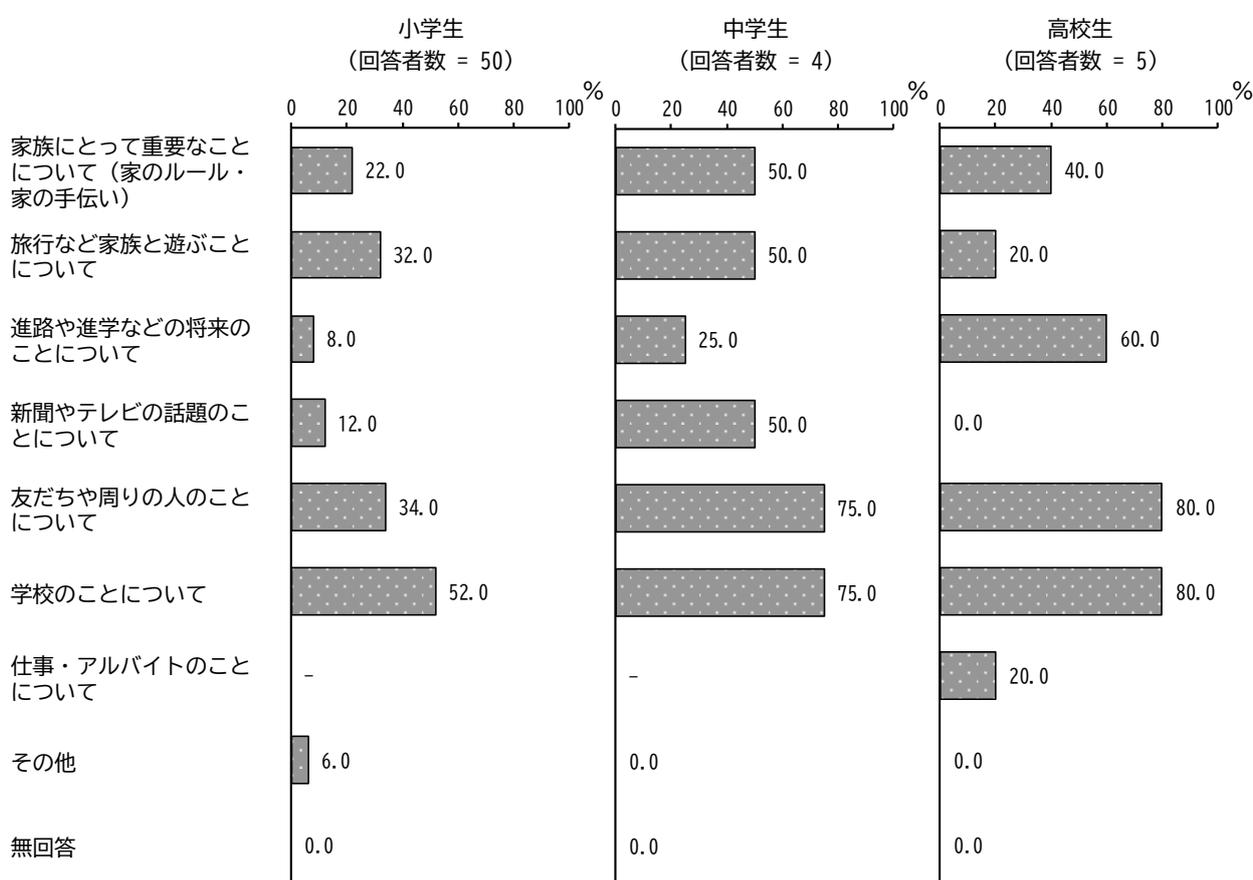
それはどんなことですか。
下の中からあてはまるものがあればすべてに○をしてください。

【小学生：問 11、中学生：問 10、高校生：問 12】

小学生では、「学校のことについて」の割合が 52.0%と最も高く、次いで「友だちや周りの人のことについて」の割合が 34.0%、「旅行など家族と遊ぶことについて」の割合が 32.0%となっています。

中学生では、「友だちや周りの人のことについて」、「学校のことについて」が3件となっています。「家族にとって重要なことについて（家のルール・家の手伝い）」、「旅行など家族と遊ぶことについて」が2件となっています。

高校生では、「友だちや周りの人のことについて」、「学校のことについて」が4件となっています。「進路や進学などの将来のことについて」が3件となっています。



※小学生調査、中学生調査では、「仕事・アルバイトのことについて」の選択肢はありませんでした。

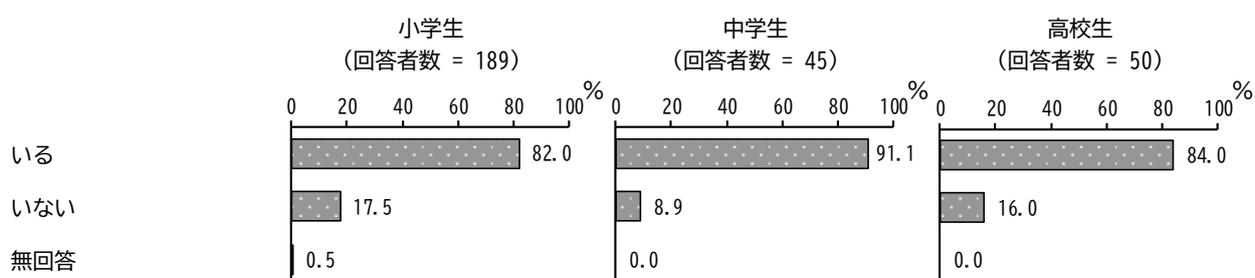
学校の中で、あなたの考えや思っていることを話せる人はいますか。
あてはまるもの1つに○をつけてください。

【小学生：問12、中学生：問11、高校生：問13】

小学生では、「いる」の割合が82.0%、「いない」の割合が17.5%となっています。

中学生では、「いる」の割合が91.1%、「いない」の割合が8.9%となっています。

高校生では、「いる」の割合が84.0%、「いない」の割合が16.0%となっています。



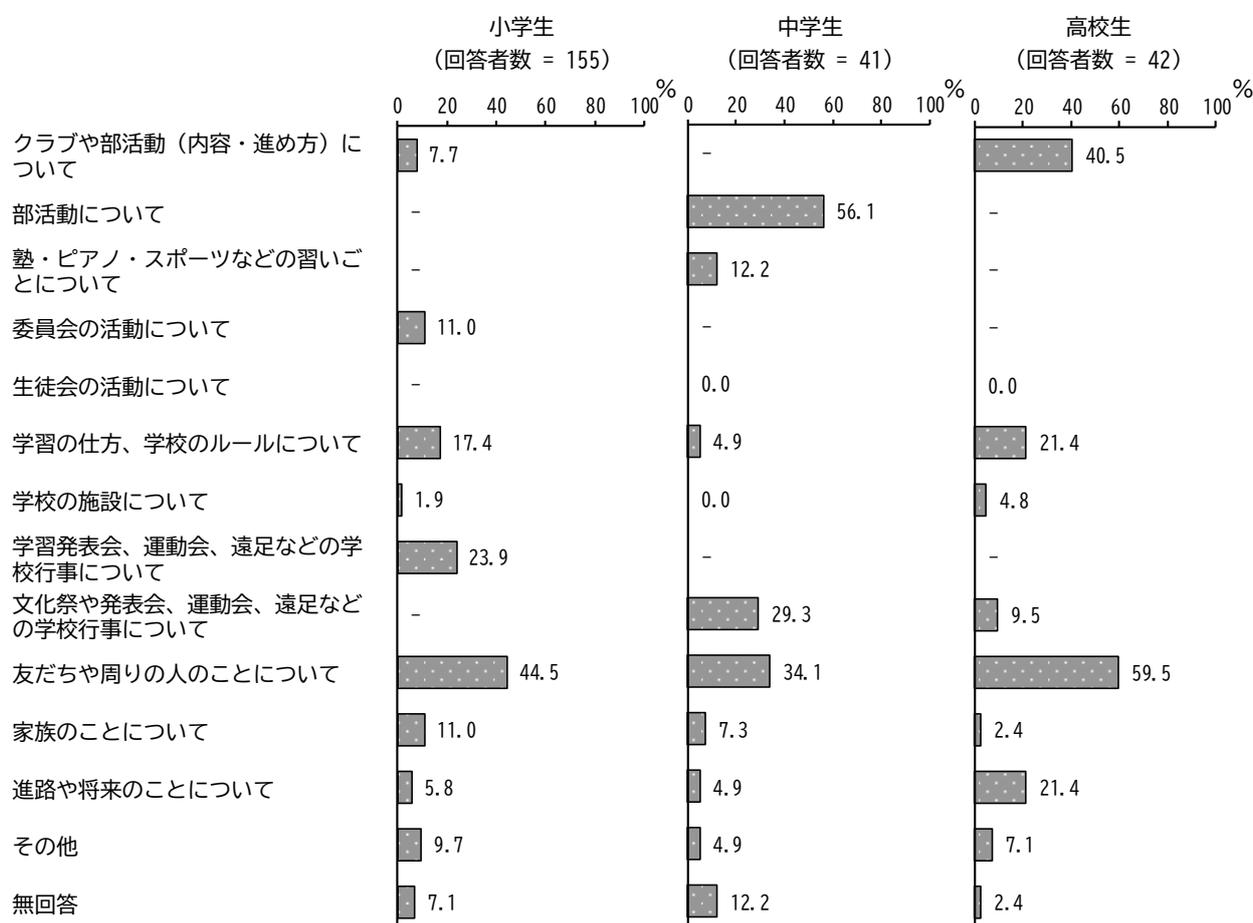
前問で、「いる」に○をつけた人にお聞きします。

伝えている内容は何か。あてはまるものに2つまで○をつけてください。
【小学生：問 13、中学生：問 12、高校生：問 14】

小学生では、「友だちや周りの人のことについて」の割合が 44.5%と最も高く、次いで「学習発表会、運動会、遠足などの学校行事について」の割合が 23.9%、「学習の仕方、学校のルールについて」の割合が 17.4%となっています。

中学生では、「部活動について」の割合が 56.1%と最も高く、次いで「友だちや周りの人のことについて」の割合が 34.1%、「文化祭や活動発表会、体育祭、遠足などの学校行事について」の割合が 29.3%となっています。

高校生では、「友だちや周りの人のことについて」の割合が 59.5%と最も高く、次いで「クラブや部活動（内容・進め方）について」の割合が 40.5%、「学習の仕方、学校のルールについて」、「進路や将来のことについて」の割合が 21.4%となっています。



※小学生調査では、「クラブや部活動（内容・進め方）について」の選択肢は「クラブ活動（内容・進め方）について」となっていました。

※小学生調査では、「部活動について」、「塾・ピアノ・スポーツなどの習いごとについて」、「生徒会の活動について」、「文化祭や発表会、運動会、遠足などの学校行事について」の選択肢はありませんでした。

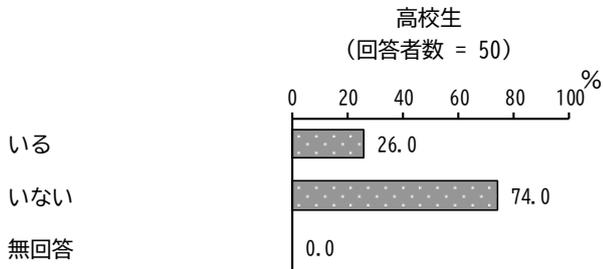
※中学生調査では、「クラブや部活動（内容・進め方）について」、「委員会の活動について」、「学習発表会、運動会、遠足などの学校行事について」の選択肢はありませんでした。

※高校生調査では、「部活動について」、「塾・ピアノ・スポーツなどの習いごとについて」、「委員会の活動について」、「学習発表会、運動会、遠足などの学校行事について」の選択肢はありませんでした。

地域で、あなたの考えや思っていることを話せる人（家庭や学校以外の人）はいますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

【高校生：問 15】

高校生では、「いる」の割合が 26.0%、「いない」の割合が 74.0%となっています。

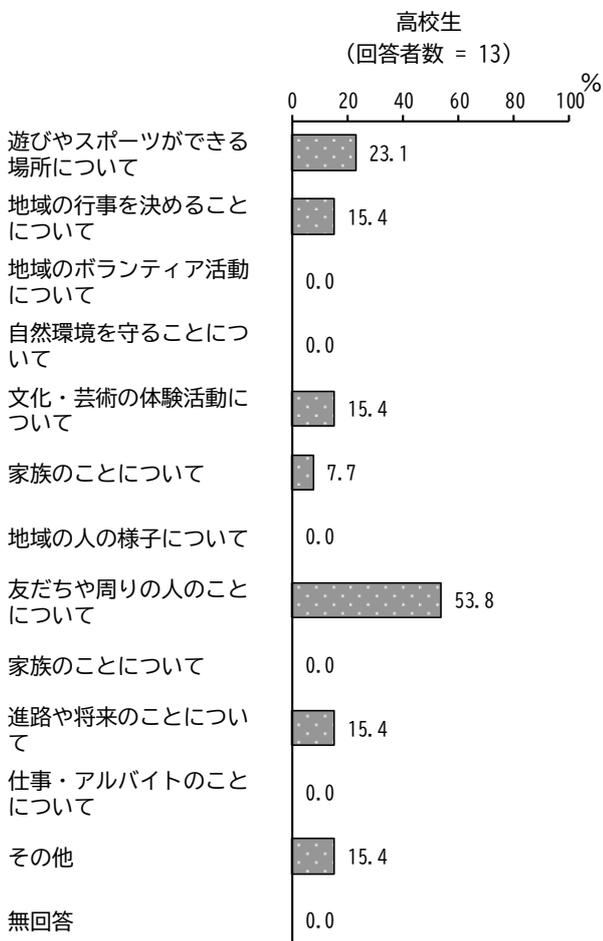


前問で、「いる」に○をつけた人にお聞きします。

話している内容は何ですか。あてはまるものに2つまで○をつけてください。

【高校生：問 16】

高校生では、「友だちや周りの人のことについて」の割合が 53.8%と最も高く、次いで「遊びやスポーツができる場所について」の割合が 23.1%、「地域の行事を決めることについて」、「文化・芸術の体験活動について」の割合が 15.4%となっています。



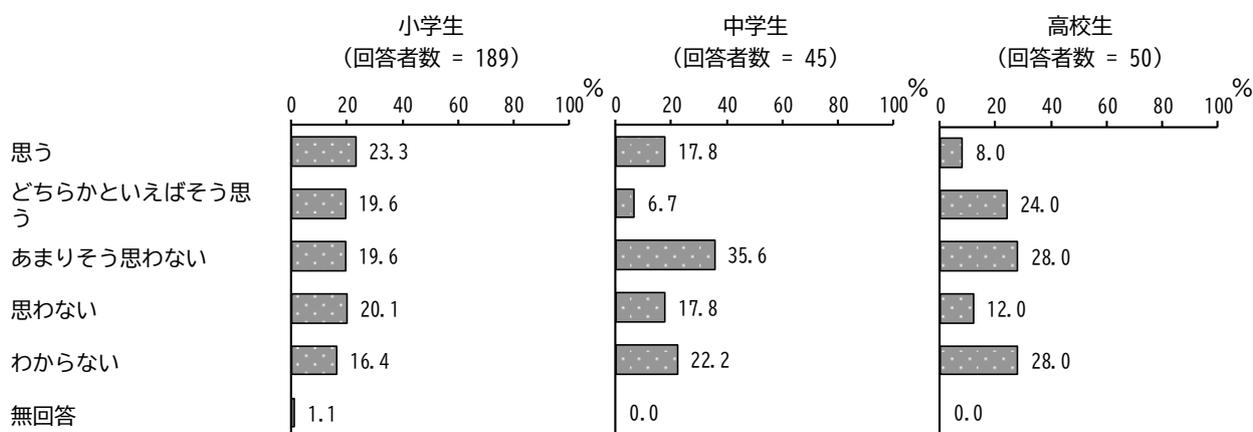
大井町では、大井のまちを良くするために、みなさんが利用する施設やサービスについて、みなさんの意見を反映させる取り組みを行っています。あなたは、大井町に対して、自分の意見や思いを伝えたいと思いますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

【小学生：問14、中学生：問13、高校生：問17】

小学生では、「思う」の割合が23.3%と最も高く、次いで「思わない」の割合が20.1%、「どちらかといえばそう思う」、「あまりそう思わない」の割合が19.6%となっています。

中学生では、「あまりそう思わない」の割合が35.6%と最も高く、次いで「わからない」の割合が22.2%、「思う」、「思わない」の割合が17.8%となっています。

高校生では、「あまりそう思わない」、「わからない」の割合が28.0%と最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」の割合が24.0%となっています。



前問で、「思う」と「どちらかといえばそう思う」に○をつけた方にお聞きします。

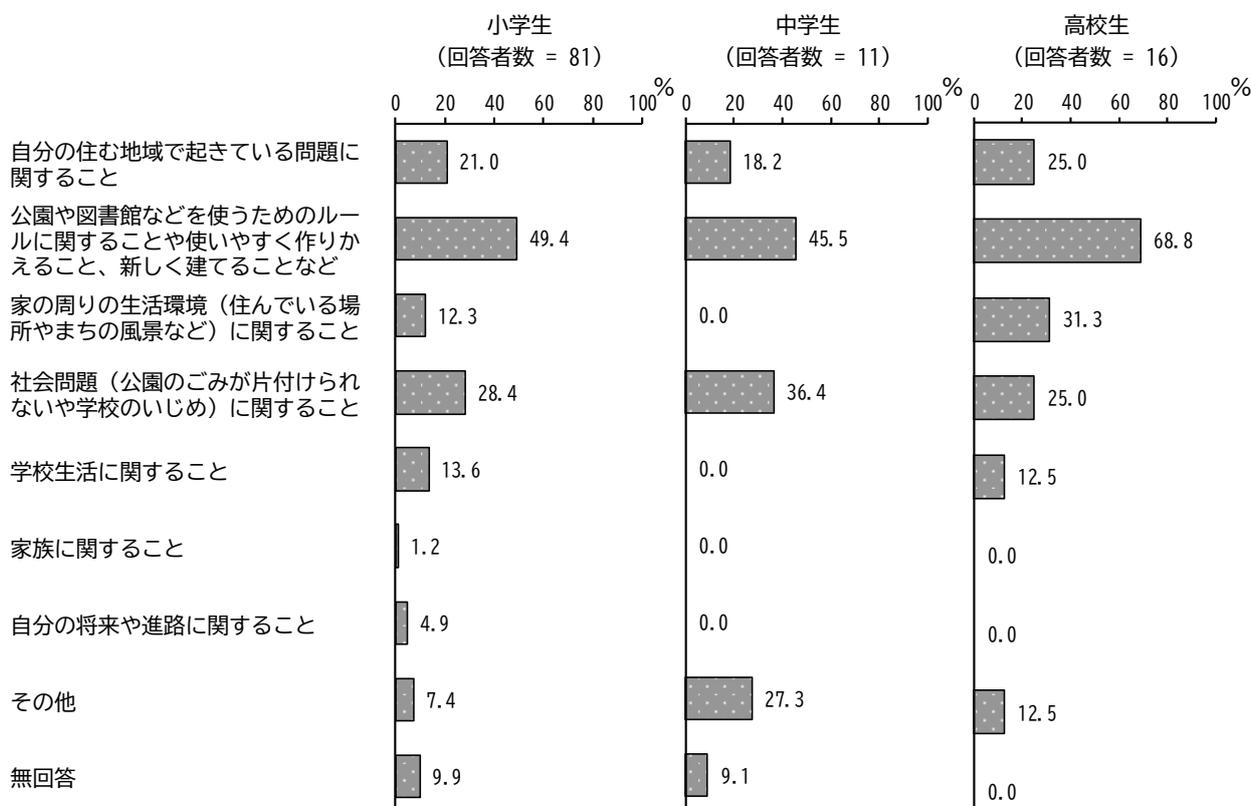
大井町に対して、どんなことを伝えたいですか。次の中から、あてはまるもの3つに○をつけてください。(あてはまるものが、1つまたは2つだけでもかまいません。)

【小学生：問 15、中学生：問 14、高校生：問 18】

小学生では、「公園や図書館などを使うためのルールに関することや使いやすく作りかえること、新しく建てることなど」の割合が49.4%と最も高く、次いで「社会問題（公園のごみが片付けられないことや学校のいじめ）に関すること」の割合が28.4%、「自分の住む地域で起きている問題に関すること」の割合が21.0%となっています。

中学生では、「公園や図書館などを使うためのルールに関することや使いやすく作りかえること、新しく建てることなど」の割合が45.5%と最も高く、次いで「社会問題（公園のごみが片付けられないことや学校のいじめ）に関すること」の割合が36.4%、「自分の住む地域で起きている問題に関すること」の割合が18.2%となっています。

高校生では、「公園や図書館などを使うためのルールに関することや使いやすく作りかえること、新しく建てることなど」の割合が68.8%と最も高く、次いで「家の周りの生活環境（住んでいる場所やまちの風景など）に関すること」の割合が31.3%、「自分の住む地域で起きている問題に関すること」、「社会問題（公園のごみが片付けられないや学校のいじめ）に関すること」の割合が25.0%となっています。



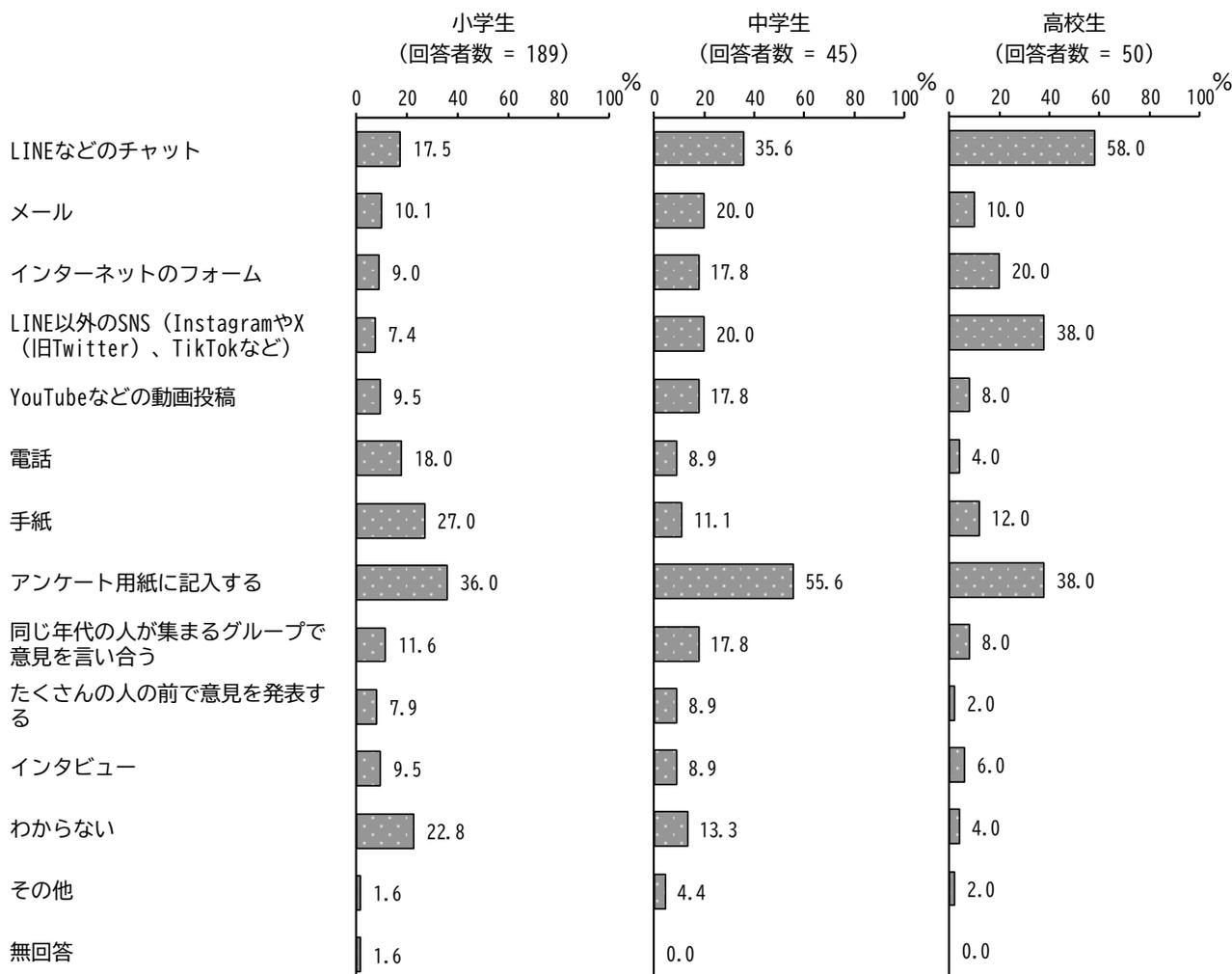
どのような方法や手段があれば、大井町に意見を伝えやすいと思いますか。
 あてはまるものすべてに○をつけてください。

【小学生：問 16、中学生：問 15、高校生：問 19】

小学生では、「アンケート用紙に記入する」の割合が 36.0%と最も高く、次いで「手紙」の割合が 27.0%、「わからない」の割合が 22.8%となっています。

中学生では、「アンケート用紙に記入する」の割合が 55.6%と最も高く、次いで「ライン (LINE) などのチャット」の割合が 35.6%、「メール」、「インスタグラム (Instagram) やエックス (X)、ティックトック (TikTok) などのソーシャル・ネットワーク・サービス」の割合が 20.0%となっています。

高校生では、「LINE などのチャット」の割合が 58.0%と最も高く、次いで「LINE 以外の SNS (Instagram や X (旧 Twitter)、TikTok など)」、「アンケート用紙に記入する」の割合が 38.0%となっています。



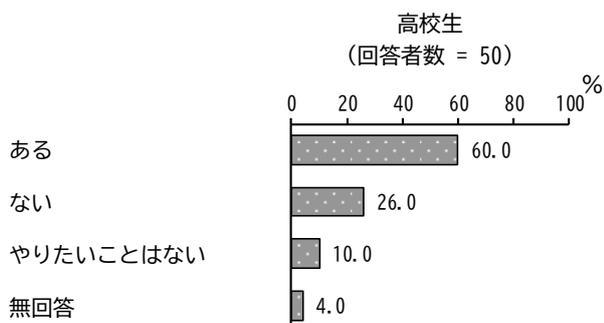
※高校生では、「インスタグラム (Instagram) やエックス (X)、ティックトック (TikTok) などのソーシャル・ネットワーク・サービス」の選択肢は「LINE 以外の SNS (Instagram や X (旧 Twitter)、TikTok など)」となっていました。

(5) あなたの生活のことについて

地域の中に、遊んだりスポーツをしたり、やりたいことができる場所がありますか。
あてはまるもの1つに○をつけてください。

【高校生：問 20】

高校生では、「ある」の割合が 60.0%と最も高く、次いで「ない」の割合が 26.0%、「やりたいことはない」の割合が 10.0%となっています。



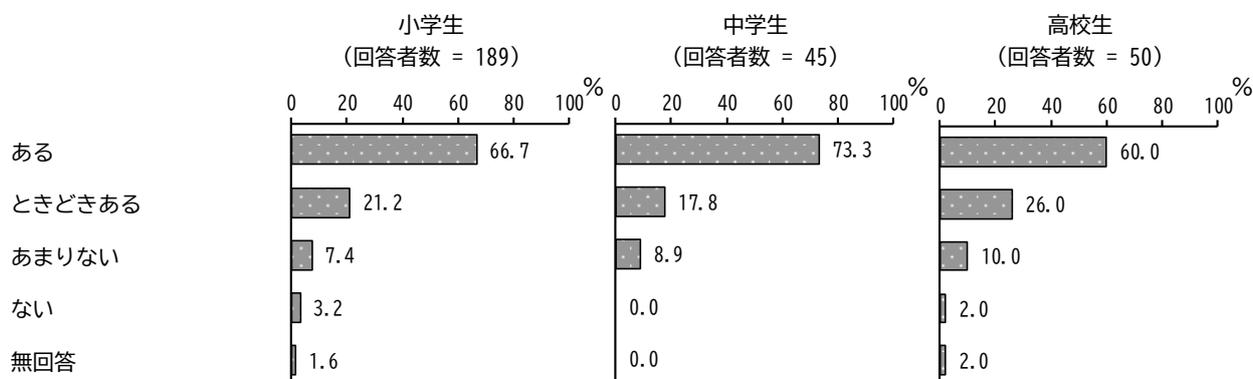
あなたには、遊んだり休んだり、自分の好きなことをする時間は十分にありますか。
あてはまるもの1つに○をつけてください。

【小学生：問 17、中学生：問 16、高校生：問 21】

小学生では、「ある」の割合が 66.7%と最も高く、次いで「ときどきある」の割合が 21.2%となっています。

中学生では、「ある」の割合が 73.3%と最も高く、次いで「ときどきある」の割合が 17.8%となっています。

高校生では、「ある」の割合が 60.0%と最も高く、次いで「ときどきある」の割合が 26.0%、「あまりない」の割合が 10.0%となっています。



前問で、「あまりない」、「ない」に○をつけた人にお聞きします。

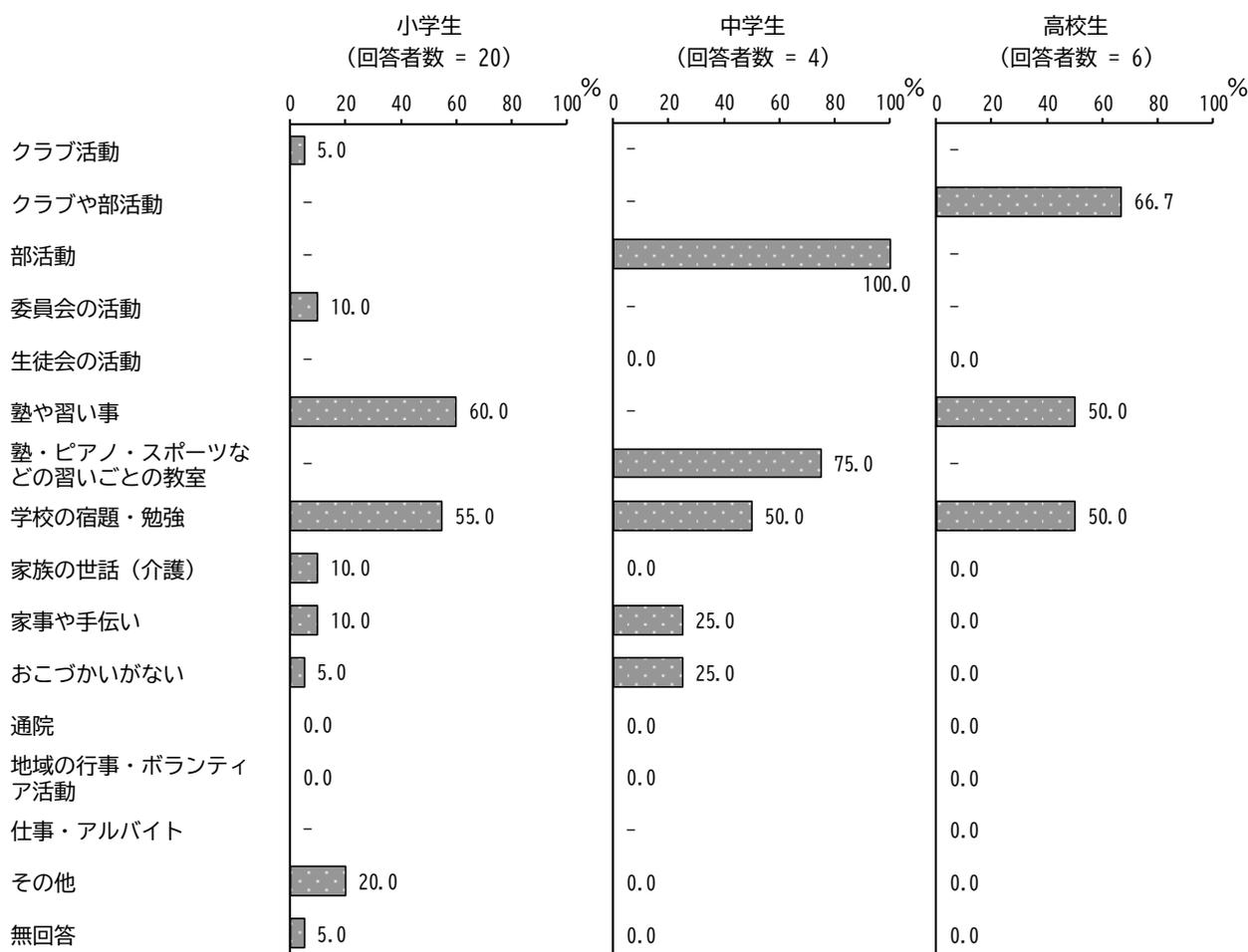
遊んだり休んだり、自分の好きなことをする時間が十分ない理由は何ですか。
あてはまるものすべてに○をつけてください。

【小学生：問 18、中学生：問 17、高校生：問 22】

小学生では、「塾や習いごと」の割合が 60.0%と最も高く、次いで「学校の宿題・勉強」の割合が 55.0%、「委員会の活動」、「家族の世話（介護）」、「家事や手伝い」の割合が 10.0%となっています。

中学生では、「部活動」が 4 件となっています。「塾・ピアノ・スポーツなどの習いごとの教室」が 3 件、「学校の宿題・勉強」が 2 件となっています。

高校生では、「クラブや部活動」が 4 件となっています。「塾や習い事」、「学校の宿題・勉強」が 3 件となっています。



※小学生調査では、「クラブや部活動」、「部活動」、「生徒会の活動」、「塾・ピアノ・スポーツなどの習いごとの教室」、「仕事・アルバイト」の選択肢はありませんでした。

※中学生調査では、「クラブ活動」、「クラブや部活動」、「委員会の活動」、「塾や習い事」、「仕事・アルバイト」の選択肢はありませんでした。

※高校生調査では、「クラブ活動」、「部活動」、「委員会の活動」、「塾・ピアノ・スポーツなどの習いごとの教室」の選択肢はありませんでした。

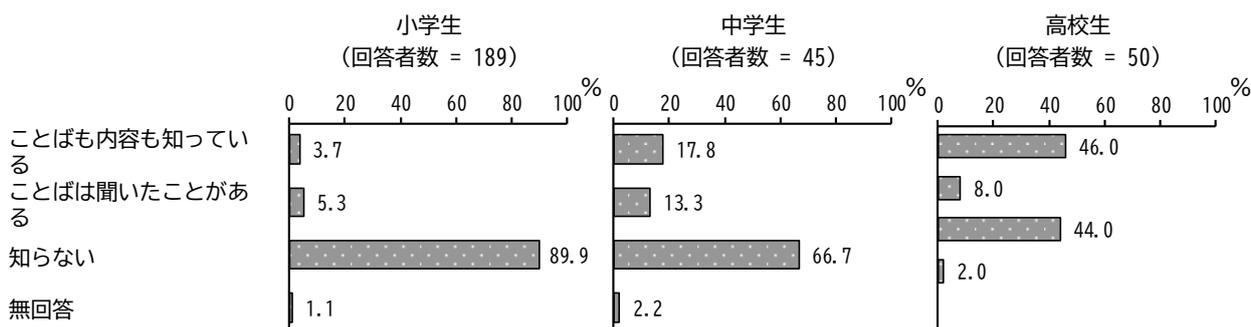
あなたは「ヤングケアラー」ということばを知っていますか。
あてはまるもの1つに○をつけてください。

【小学生：問 19、中学生：問 18、高校生：問 23】

小学生では、「知らない」の割合が 89.9%と最も高くなっています。

中学生では、「知らない」の割合が 66.7%と最も高く、次いで「ことばも内容も知っている」の割合が 17.8%、「ことばは聞いたことがある」の割合が 13.3%となっています。

高校生では、「ことばも内容も知っている」の割合が 46.0%と最も高く、次いで「知らない」の割合が 44.0%となっています。



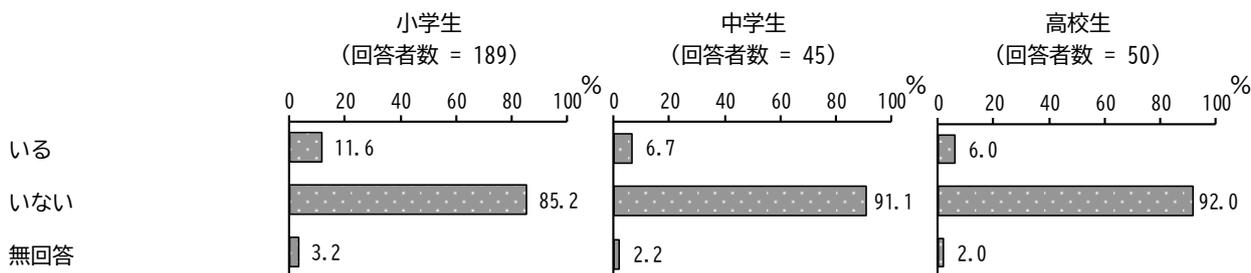
家族の中にあなたがお世話をしている人はいますか。(ここでいう「お世話」とは、大人が行うような家事や家族のお世話を指します。) あてはまるもの1つに○をつけてください。

【小学生：問 20、中学生：問 19、高校生：問 24】

小学生では、「いる」の割合が 11.6%、「いない」の割合が 85.2%となっています。

中学生では、「いる」の割合が 6.7%、「いない」の割合が 91.1%となっています。

高校生では、「いる」の割合が 6.0%、「いない」の割合が 92.0%となっています。



前問で、「いる」に○をつけた方にお聞きします。

あなたがお世話をしている人は誰ですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

【高校生：問 25】

高校生では、「母親」、「兄弟・姉妹」が2件となっています。「父親」、「祖父母」が1件となっています。

小学生：問 20、中学生：問 19、高校生：問 24 で、「いる」に○をつけた方にお聞きします。

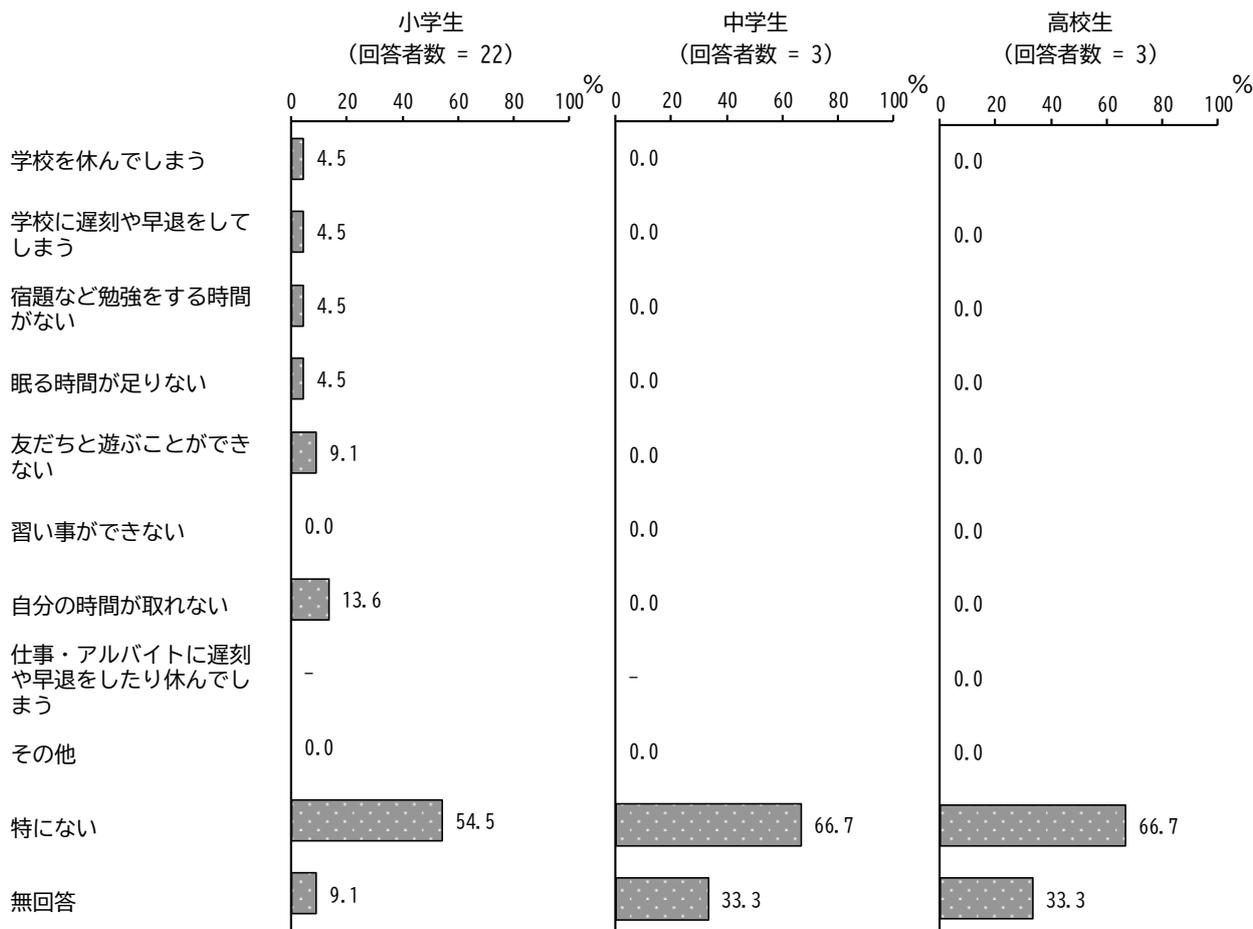
お世話をしていることで、以下のような経験をしたことはありますか。
 あてはまるものすべてに○をつけてください。

【小学生：問 21、中学生：問 20、高校生：問 26】

小学生では、「特にない」の割合が 54.5%と最も高く、次いで「自分の時間が取れない」の割合が 13.6%となっています。

中学生では、「特にない」が 2件となっています。

高校生では、「特にない」が 2件となっています。



※小学生調査、中学生調査では、「仕事・アルバイトに遅刻や早退をしたり休んでしまう」の選択肢はありませんでした。

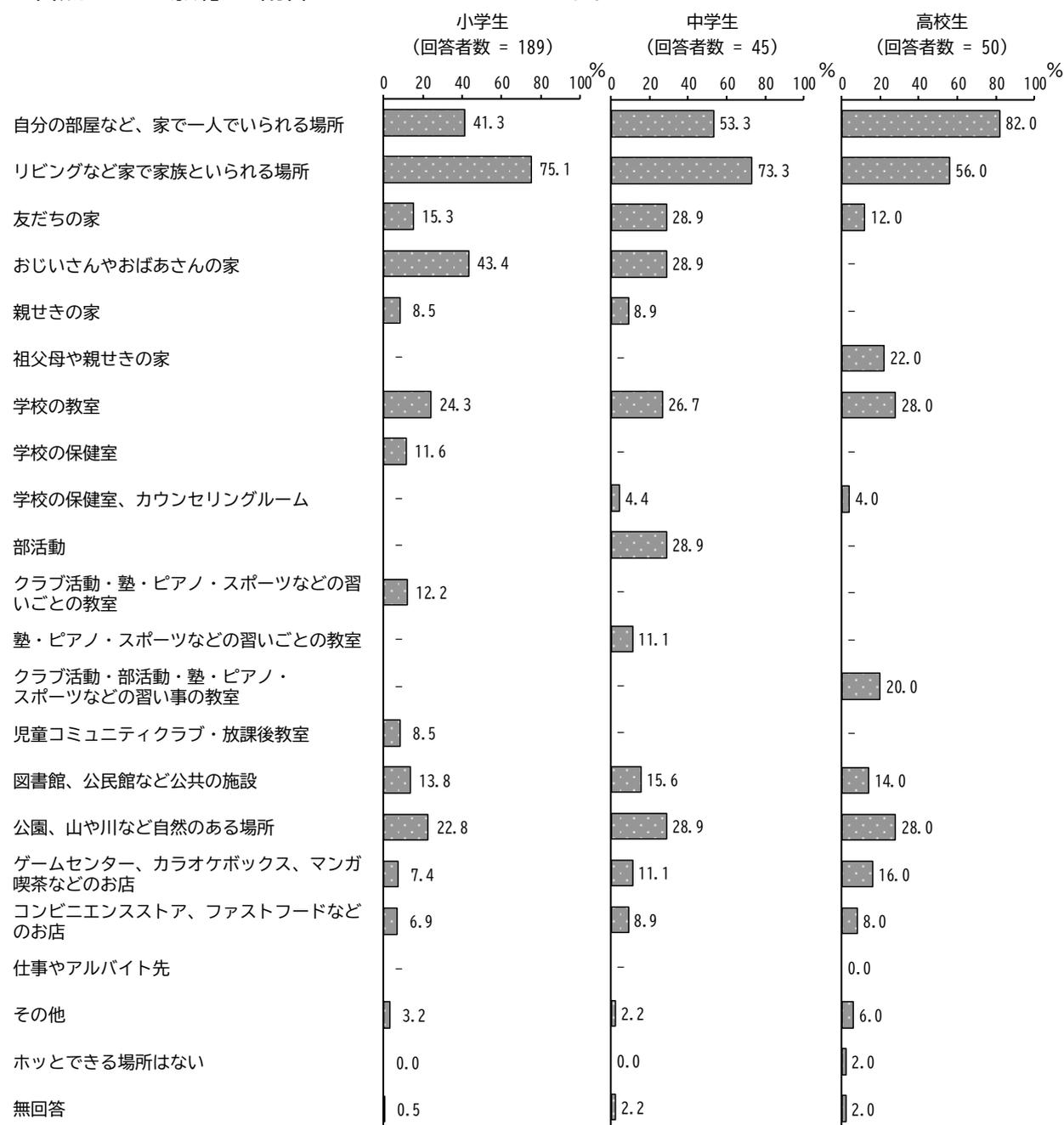
あなたにとって、ホッとできる場所はどこですか。
 あてはまるものすべてに○をつけてください。

【小学生：問 22、中学生：問 21、高校生：問 27】

小学生では、「リビングなど家で家族といられる場所」の割合が 75.1%と最も高く、次いで「おじいさんやおばあさんの家」の割合が 43.4%、「自分の部屋など、家で一人でいられる場所」の割合が 41.3%となっています。

中学生では、「リビングなど家で家族といられる場所」の割合が 73.3%と最も高く、次いで「自分の部屋など、家で一人でいられる場所」の割合が 53.3%、「友だちの家」、「おじいさんやおばあさんの家」、「部活動」、「公園、山や川など自然のある場所」の割合が 28.9%となっています。

高校生では、「自分の部屋など、家で一人でいられる場所」の割合が 82.0%と最も高く、次いで「リビングなど家で家族といられる場所」の割合が 56.0%、「学校の教室」、「公園、山や川など自然のある場所」の割合が 28.0%となっています。



- ※小学生調査では、「ゲームセンター、カラオケボックス、マンガ喫茶などのお店」の選択肢は「ゲームセンター、カラオケボックスなどのお店」となっていました。
- ※小学生調査では、「祖父母や親せきの家」、「学校の保健室、カウンセリングルーム」、「部活動」、「塾・ピアノ・スポーツなどの習いごとの教室」、「クラブ活動・部活動・塾・ピアノ・スポーツなどの習いごとの教室」、「仕事やアルバイト先」の選択肢はありませんでした。
- ※中学生調査では、「学校の保健室、カウンセリングルーム」の選択肢は「学校の保健室、相談室（SC室）」、「ゲームセンター、カラオケボックス、マンガ喫茶などのお店」の選択肢は「ゲームセンター、カラオケボックスなどのお店」となっていました。
- ※中学生調査では、「祖父母や親せきの家」、「学校の保健室」、「クラブ活動・塾・ピアノ・スポーツなどの習いごとの教室」、「クラブ活動・部活動・塾・ピアノ・スポーツなどの習いごとの教室」、「仕事やアルバイト先」の選択肢はありませんでした。
- ※高校生調査では、「おじいさんやおばあさんの家」、「親せきの家」、「学校の保健室」、「部活動」、「クラブ活動・塾・ピアノ・スポーツなどの習いごとの教室」、「塾・ピアノ・スポーツなどの習いごとの教室」、「児童コミュニティクラブ・放課後教室」の選択肢はありませんでした。

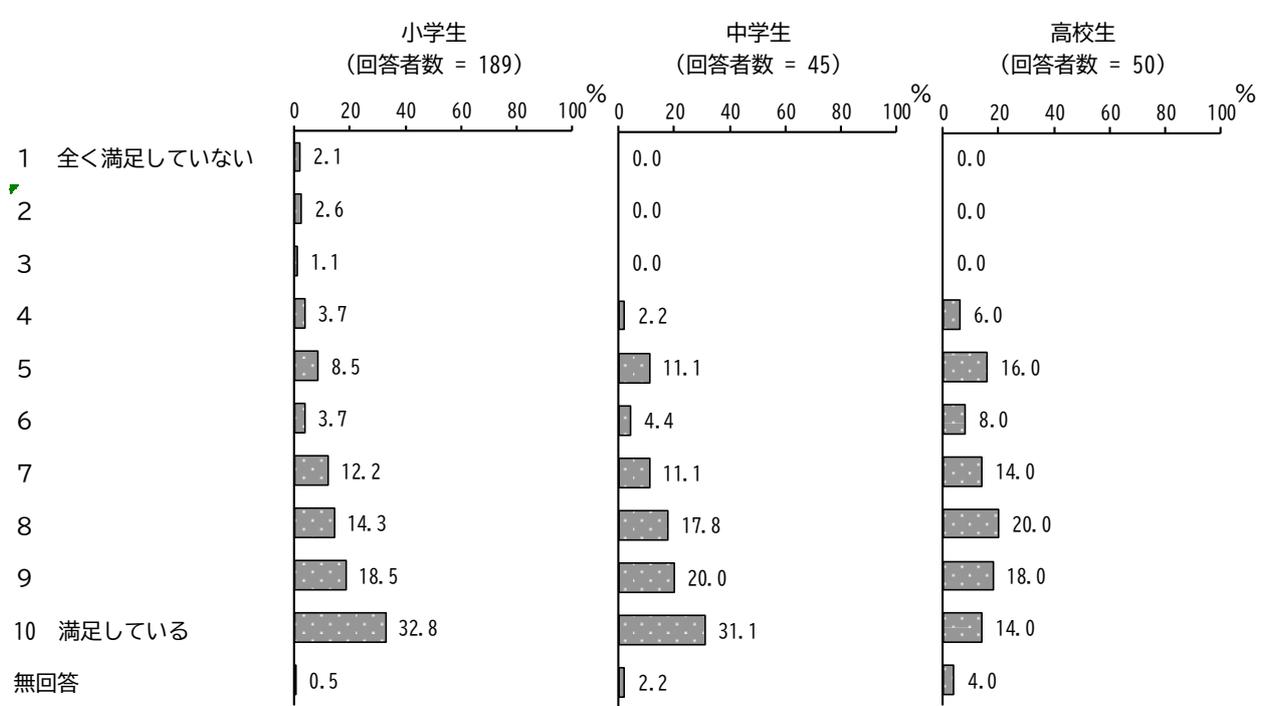
あなたは、あなたの生活に満足していますか。10段階の中でお答えください。
 あてはまるもの1つに○をつけてください。

【小学生：問 23、中学生：問 22、高校生：問 28】

小学生では、「10 満足している」の割合が 32.8%と最も高く、次いで「9」の割合が 18.5%、「8」の割合が 14.3%となっています。

中学生では、「10 満足している」の割合が 31.1%と最も高く、次いで「9」の割合が 20.0%、「8」の割合が 17.8%となっています。

高校生では、「8」の割合が 20.0%と最も高く、次いで「9」の割合が 18.0%、「5」の割合が 16.0%となっています。



※小学生調査では、「1 全く満足していない」の選択肢は「1 満足していない」となっていました。
 ※中学生調査では、「1 全く満足していない」の選択肢は「1 満足していない」となっていました。

(6) あなたの将来について

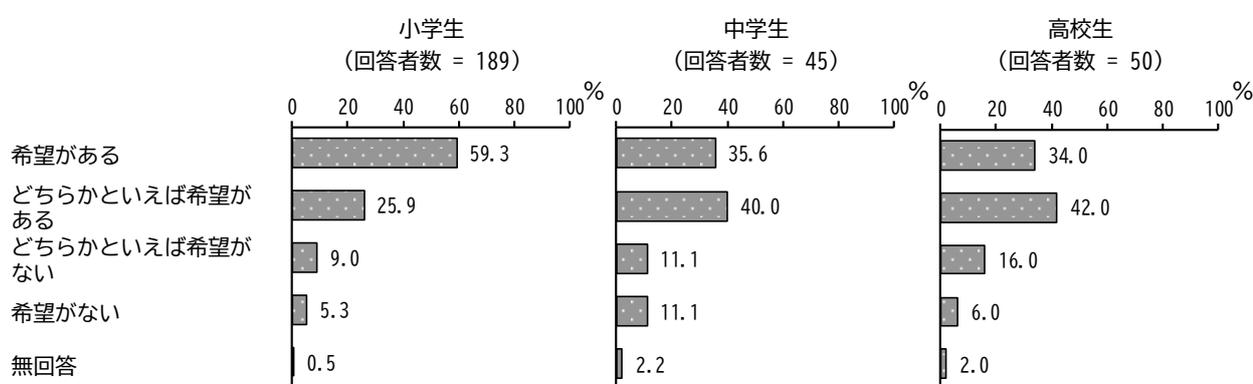
あなたは、自分の将来について希望を持っていますか。
あてはまるもの1つに○をつけてください。

【小学生：問 24、中学生：問 23、高校生：問 29】

小学生では、「希望がある」の割合が 59.3%と最も高く、次いで「どちらかといえば希望がある」の割合が 25.9%となっています。

中学生では、「どちらかといえば希望がある」の割合が 40.0%と最も高く、次いで「希望がある」の割合が 35.6%、「どちらかといえば希望がない」、「希望がない」の割合が 11.1%となっています。

高校生では、「どちらかといえば希望がある」の割合が 42.0%と最も高く、次いで「希望がある」の割合が 34.0%、「どちらかといえば希望がない」の割合が 16.0%となっています。



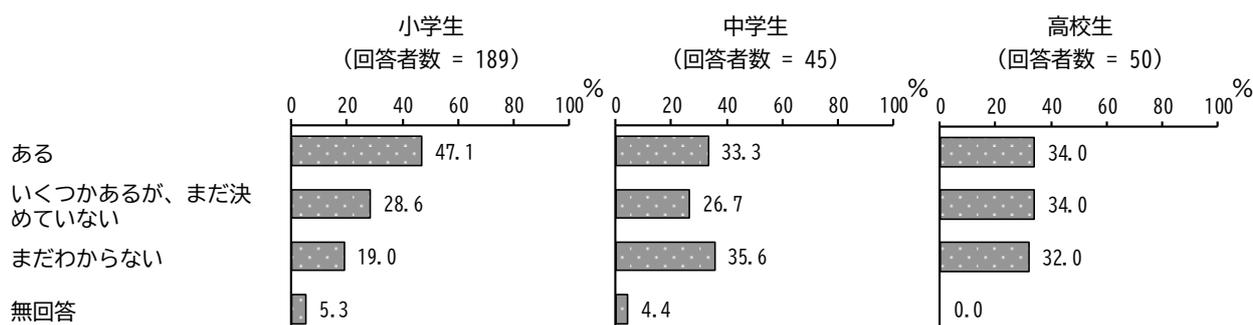
あなたは、将来、つきたい仕事はありますか。
あてはまるもの1つに○をつけてください。

【小学生：問 25、中学生：問 24、高校生：問 30】

小学生では、「ある」の割合が 47.1%と最も高く、次いで「いくつかあるが、まだ決めていない」の割合が 28.6%、「まだわからない」の割合が 19.0%となっています。

中学生では、「まだわからない」の割合が 35.6%と最も高く、次いで「ある」の割合が 33.3%、「いくつかあるが、まだ決めていない」の割合が 26.7%となっています。

高校生では、「ある」、「いくつかあるが、まだ決めていない」の割合が 34.0%と最も高く、次いで「まだわからない」の割合が 32.0%となっています。



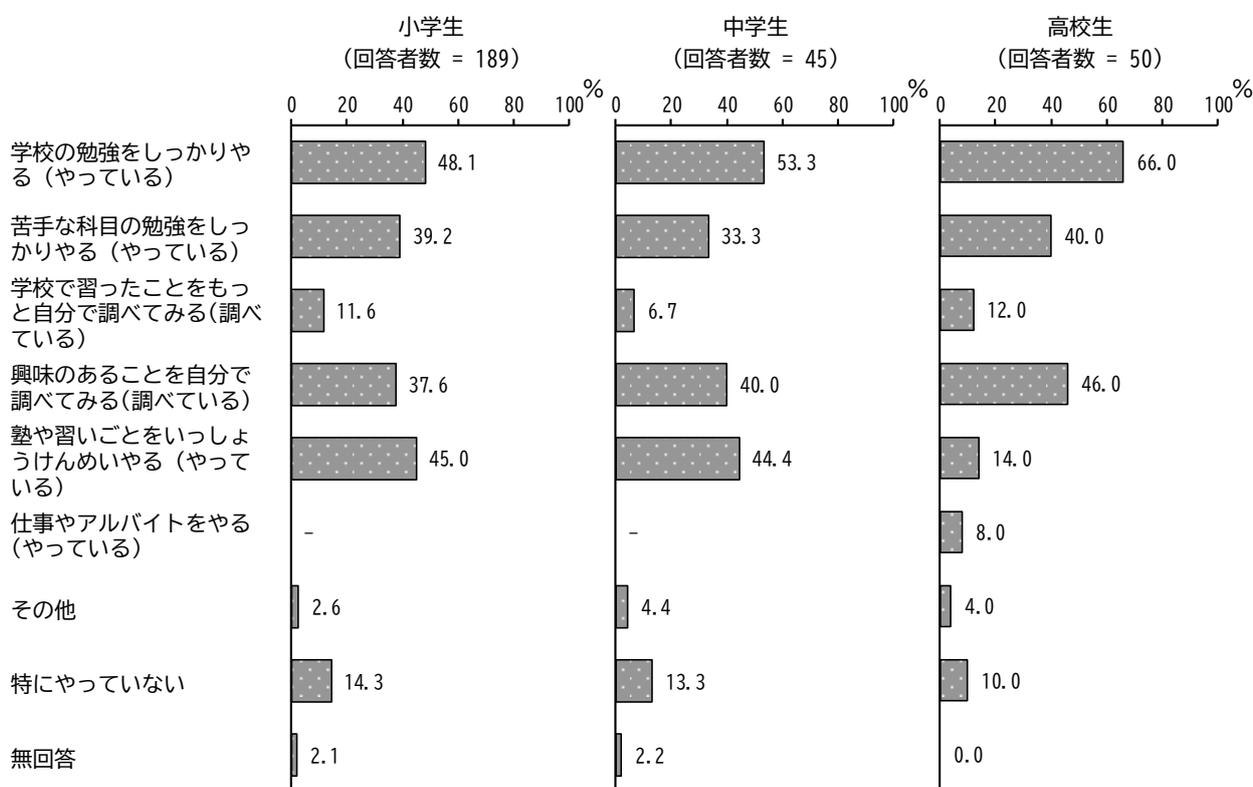
将来のために今やっている（やろうと思う）ことはありますか。
あてはまるものすべてに○をつけてください。

【小学生：問 26、中学生：問 25、高校生：問 31】

小学生では、「学校の勉強をしっかりとやる（やっている）」の割合が 48.1%と最も高く、次いで「塾や習いごとをいっしょけんめいやる（やっている）」の割合が 45.0%、「苦手な科目の勉強をしっかりとやる（やっている）」の割合が 39.2%となっています。

中学生では、「学校の勉強をしっかりとやる（やっている）」の割合が 53.3%と最も高く、次いで「塾や習いごとをいっしょけんめいやる（やっている）」の割合が 44.4%、「興味のあることを自分で調べてみる（調べている）」の割合が 40.0%となっています。

高校生では、「学校の勉強をしっかりとやる（やっている）」の割合が 66.0%と最も高く、次いで「興味のあることを自分で調べてみる（調べている）」の割合が 46.0%、「苦手な科目の勉強をしっかりとやる（やっている）」の割合が 40.0%となっています。



※小学生調査、中学生調査では、「仕事やアルバイトをやる（やっている）」の選択肢はありませんでした。

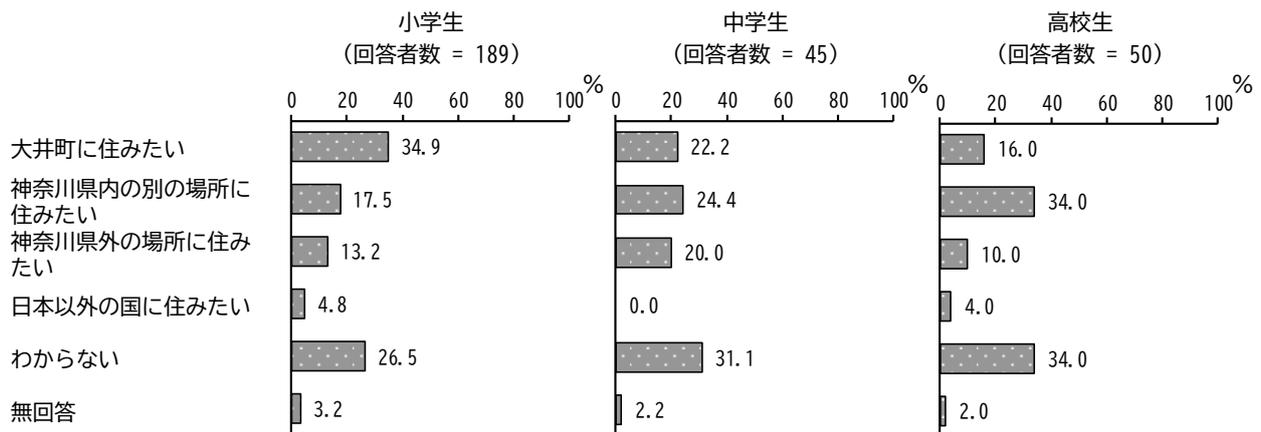
おとなになって住みたいまちはどこですか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

【小学生：問 27、中学生：問 26、高校生：問 32】

小学生では、「大井町に住みたい」の割合が 34.9%と最も高く、次いで「わからない」の割合が 26.5%、「神奈川県内の別の場所に住みたい」の割合が 17.5%となっています。

中学生では、「わからない」の割合が 31.1%と最も高く、次いで「神奈川県内の別の場所に住みたい」の割合が 24.4%、「大井町に住みたい」の割合が 22.2%となっています。

高校生では、「神奈川県内の別の場所に住みたい」、「わからない」の割合が 34.0%と最も高く、次いで「大井町に住みたい」の割合が 16.0%となっています。



(7) その他について

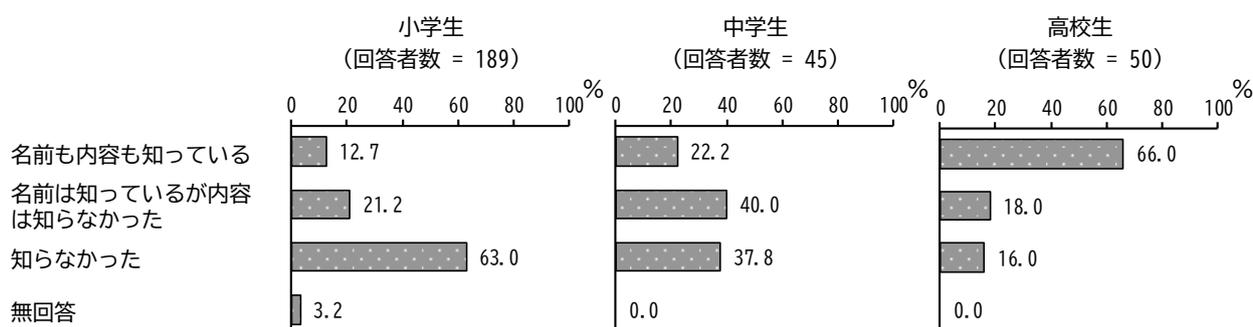
あなたは、「子どもの権利」を知っていますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

【小学生：問 28、中学生：問 27、高校生：問 33】

小学生では、「知らなかった」の割合が 63.0%と最も高く、次いで「名前は知っているが内容は知らなかった」の割合が 21.2%、「名前も内容も知っている」の割合が 12.7%となっています。

中学生では、「名前は知っているが内容は知らなかった」の割合が 40.0%と最も高く、次いで「知らなかった」の割合が 37.8%、「名前も内容も知っている」の割合が 22.2%となっています。

高校生では、「名前も内容も知っている」の割合が 66.0%と最も高く、次いで「名前は知っているが内容は知らなかった」の割合が 18.0%、「知らなかった」の割合が 16.0%となっています。



Ⅲ 記述意見

(1) 制度・事業・町の取組・費用

【就学前保護者】

- ・ 一時預かりの料金が高いと思う。一才以下も預けられるようにして欲しい。大井中央公園以外の公園の遊具が少ない。幼稚園の延長預かりが利用しづらい雰囲気がある。気軽に利用できるように、具体的に説明を全体にして欲しい。保育所に預ける条件となっている就労時間をゆめめて、預けやすくして欲しい。【5歳】
- ・ 物価高で家計が苦しい子育て家庭は多くいます。両親がいても片親しか働いていない家庭にも給付をしてほしかった。ひとり親ばかり優遇していると思う。給付をするのなら、すべての子育て家庭に平等にしてほしい。コロナ禍で子供が生まれ、支援事業を受けられなかったのにアンケートを出されても困る。【3歳】
- ・ 幼稚園卒園後の小学校給食費や医療補助など、子どもの学齢とともに掛かる費用が変わってくるので、それぞれの学齢において絶え間のないサポートを期待しています。【4歳】
- ・ 色々な自治体や地域等を参考に本当に必要な取り組みは何なのか？本当に困っている家庭が求めている事は何なのかをもっと知った方がいい。【5歳】
- ・ 自分が子供だった頃の暮らしと今の世の中が変わりすぎてて理解もあまり出来てない。今の流れに追いついていけないので良し悪しが分かりません。ただ、今、自分が思う様に動けなくなった時、私だけでなく夫も巻き込まれる事になり結局は家族が食べていけるか。位な所までいきました・・・その時にもっと色んな面で支援があったなら夫に負担をかけるだけでなく家族が笑って過ごせたのにな・・・とは思いました。【4歳】
- ・ 結婚に伴う自宅の手当てや、妊娠中の費用負担など、隣接する市町にあるものが大井町になく、また費用（出産）が高かったです。保育園などは入りやすいものの、妊婦健診の費用や、子育てを考えると隣接する市町の方がよほどよいと感じました。【1歳】
- ・ こちらのアンケートにも記載されている「子育て」とは「教育・保育その他の・・・支援」と定義されている通り、大井町の行政では、教育が教育総務課が担われ、保育は、子育て健康課が担っていると思います。これから「こども・子育て支援新制度」に向けて、スピード感をもって真摯に私たちの意見を反映していただける機会であるのでしたら、各担当課の配置を見直すことや、垣根を越える工夫や、新たな発想で導く新たなリーダーシップが必要とも考えます。
- ・ 親や子どものことを気にかけて、手厚い支援をしていくことも重要かとは思いますが、それが苦手な方もいます。そういう方は子育ての集まりに参加することができず、家にこもりがちになる気がします。子どもが遊べ、親はリラックスできる（実家のような）場所の提供も支援の一つではないでしょうか。【2歳】
- ・ 子育てに関してたくさん不安はありますが、経済面に対する不安が大きいです。他市町村でオムツが届くような支援があるときいたこともあるので、そのような経済支援があるとうれしいです。全家庭には難しいと思うので、支援センターにオムツやミルクが置いてあって自由に使える（手ブラで行ける）なんてのもうれしいなと思いました。【0歳】
- ・ 出産祝いのギフトは、必要ないものばかり。産まれるまでにほとんどの人がそろえてるし、すいっぴーのオリジナルギフトは、ほしがる人はいるの？一番現実的なおむつBOXにしたけど商品券をつけるなら、現金かもっとおむつがほしかった。【4歳】
- ・ 「子育ての支援をしていますよ」というアピールを全面に出すといい、町役場の子育て課はしらっと冷たい人（雰囲気も対応も）が多い印象をうける、そういう所から迎え入れるあたたかい場であってほしい。【3歳】

- ・ 子どもを育てるだけでお金が本当にかかるので、紙おむつ購入に対する補助がほしいです。町内のお店で購入に限る等、制限があってもよいので・・・【2歳】
- ・ 近隣の自治体では、第2子の保育料を無償化しているので、大井町でもぜひ実施してほしい。給食費の無償化・ランリュックの支給。小中学校の体育館にクーラーをつけてほしい。町の街灯が少ないので、危険だと思う。【3歳】
- ・ 産後のお弁当を2人目の時もあってほしい。(無料じゃなく割引で)【1歳】

【小学生保護者】

- ・ 子育てに関する費用の減額、負担をしてほしい。塾、給食費、PTA会費などお金をくばるといふより負担してほしいです。【9歳】
- ・ 子育て・・・手当→小さい子に手当てがいく様に、行政も頑張っているが、実際、お金がかかるのは、10代。兄弟が多くても、小さいうちより、10代になってからの手当も見直してほしい。少子化・・・お金がかかって大変・・・は、10代だと思います。【11歳】
- ・ 大井小では今年から、給食費が半額になりましたが、大井町はきょうだいが多い家庭も多くあるので全額無償化していただきたいです。又、高校生まで医りょう費無料も神奈川県内で行われている所もありますのでご検討していただきたいです。それから、踏切り(御殿場線)の多い地区なので、交通安全の他に線路や踏切りのルールなどを教えていただける場を、JRの方をお願いして、学校などで、できたらありがたいです。(最近子供がボタンを押してしまって、電車をとめてしまったなど聞いたので・・・)【8歳】
- ・ 一人親家庭に対する補助で、他市町村では、家賃補助、水道料金減免等があったり、ひとり親家庭日常生活支援事業で子供の世話や家事を手伝ってもらったりできるようだが、大井町にはその制度がないので、ぜひやってもらいたい。仕事と家事と育児をすべて一人でこなすのは時間的にも金銭的にも無理でどうしても子供にしわよせが行く。なんとか他の家庭と同じような水準でとがんばった結果、精神疾患を患い辛い。一人親が一人でがんばらなくても良い環境作りをお願いしたい。【9歳】
- ・ 幼稚園、小学校も支援は必要だが、中学校進学の際は10万円以上も出費がある。制服やジャージ、必要なものをそろえられる準備金を支援してほしい。実際必要なときに支援がなく、後払いだと家庭の負担が大きい。義務教育ではないが、高校も同じような支援があると嬉しい。たいたいは高校へ進学するので、医療費だけでなく、入学時の支援もあれば本当にありがたい。高校の無償化などあるが、実際は先出しなので負担がある。申請でも良いので、入学時の最低限(入学費、制服など)の支援があると負担が少なくなるので。町でそこまでの支援をするのは、大げさと思うけど、そこまでの支援があれば負担も少なく、その分、その他に使用できる。(食費、電気代などの生活費)部活が始まると、運動部はユニフォーム代や大会への登録など3万円～5万円が必要。子どもが好きな部活を選べるよう家庭の負担を感じないようにしてほしい。お金がない(ユニフォーム代や必要なセット)ために、入りたかった部活を断念して、別の部活に入る子もいたようです。まだ小学4年生ですが、遠からず、再び直面するので、準備はするけど、結局別のこと(税金)でお金をとられてしまう。【9歳】
- ・ 他の市町村に比べて、大井町は発展していない。もっと町長が動くべきだと思う。【11歳】

(2) 預け先確保・待機児童

【就学前保護者】

- ・ 大井町に子供が増えているのに保育園が少ない（枠がない）。保育園をあと3つは作ってほしい。いつまでも入れなくて仕事をやめざるを得ないことになると町の税収も減って悪循環。【0歳】
- ・ 保育園に入る為の待機児童を減らして欲しい。公園の遊具を増やして欲しい。【3歳】
- ・ 他の市町に比べたら、充実していないように感じます。ファミサポは知っているけど、利用できるまでに時間がかかってしまいそうな印象です。【2歳】
- ・ 子育て支援に力を入れるなら、児童コミュニティクラブで待機児童や希望外の児童コミュニティクラブに行かざるをえない状態にしないでほしい。安心して働けない、ストレスがたまる（親の）生活をする、結局のところ子どもの生育環境が悪くなるし、大人の都合でふり回される子どもがかわいそうです。【4歳】
- ・ ・保育園の受け入れ人数を増やしてほしい。・1才児教室を健診みたいにするのではなく、集団で何かやってほしい。パンフレットには手あそびと書いてあったのに何もやらずに終わった。・平日働いている人でも土日に気軽に集まれる場所を作ってほしい。子育てカフェなど。【1歳】
- ・ 子育て支援センターは、現代に於いては、土日も、土日こそ開園していた方がいいと思います。【3歳】
- ・ 仕事が休みの時、保育園はお休みしないといけないとされています。もう少し休みの日でも預けやすくしてほしいです。保育園代もう少し安くなってくると良いです。【2歳】
- ・ 土日に預けられる場所がほしい。（年中以上）【4歳】
- ・ 相和幼稚園が閉園になったら、そこに支援センターを移転して欲しいです。相和幼稚園の環境の活用、よろしくお願いします。【3歳】
- ・ 移住やUターンなどを応援していて、実家のある大井町に戻ってきましたが、新しい子育て世代がふえすぎて保育園に入れません（3歳児、現在待機児童）。待機児童を減らしてから子育て支援を考えていくべきだと思います。仕事ができず、現在育休中（妹5ヶ月の子）ですが、辞めるしかなさそうです。10年働いたのにつらいです。【3歳】
- ・ 開発するだけで家がたくさん建っても保育園がまったく増えていないので、町内の保育園に入れたい。特にゼロ歳児さん。今後学童保育でも同じようなことが起こるだろうと思う。100人産まれたら100人入れるだけの保育施設がほしい。【0歳】
- ・ 保育園に入れたかったが落ちたので子供2人を町内の幼稚園に入れました。保育園をもっと増やしてほしい。それが大井第二幼稚園でも夏休みなどで一時預りがあれば助かる。【5歳】

【小学生保護者】

- ・ 学校の帰りが早い。夏休みなどでパートの時間を短くしないとならず、学童はパートタイムだと利用料を払ってまで利用すべきか悩みます。なので、学校で放課後クラブなどを作って好きな時に参加できるような環境があると助かると思います。【8歳】
- ・ 子どもが病気になった時、私（母親）は免許をもっていないのでバスなどを使って行くので料金が安い。割引があったらうれしい。放課後子ども教室はまったく知らない。自分の子供の学校でやっているのなら、入れさせたい。近くに習い事をやってるところが少ない、車がないので送迎できない。【6歳】

- ・ 昨今、公園でのボールあそびの禁止などで、子どもたちの居場所が少なく感じます。その為か、住宅街であそんでしまい、危ないことがあります。一昔と違い、車の交通量は増え、又、外気温も高い月が多くなってきています。習い事など、日々忙しい子ども達もいますが、そのようにいかない家庭もあり（自分自身）そうすると、放課後などを家で過ごすようになり、子どもの経験や環境に格差を感じずにはられません。（もちろん、各家庭の判断ではありますが）そのような時に、放課後教室など、地域、学校のご協力で居場所をつくっていただきたいです。昨年、学童コミュの利用もさせていただきましたが、フルタイムではない（母親、パートタイム）の収入では、利用料がきびしいです。（給料が利用料で消えます）今年も夏休みのみの利用を考えましたが、姉弟での利用料は、やはりきびしいので断念せざるを得ませんでした。又、大井学区での学童コミュの定員超過の事案があったことを、大井学区の親御さんから、お聞きし、行政、学童に対しての信頼がなくなっていました。（いきなり通えなくなってしまうのではと思う、心配）当事者以外の町民は知ることでもできなかったのも、事後だとしても、説明会や、広報などで周知すべきだと思います。なにより、来年度や、数年後に学童利用を考えている家庭もたくさんあり、同じ事のないようにしてほしいと思います。【9歳】
- ・ 私用やリフレッシュしたい時に、気軽に利用できれば、助かる。土・日・祝日に町施設等に利用ができる体制があれば、使いたい。ファミリー・サポートの様に事前予約ではなく、今、休みたい、今、リフレッシュしたいと思った時に、「あそこに行けば休める」と思える場所を、小学生でも預けられる条件で作って欲しい。【8歳】

（3）窓口・相談・情報・手続き

【就学前保護者】

- ・ 大井町は広すぎていまいち教育、子育て環境の相談や遊び場がわかりません。また、高齢の方がイベントや自治会を行っている様子ですが、情報がいまいち入ってきません。役場での畑、お米収穫体験等うれしいのですが、スマホがないと取れない。先着 30 名とかはもっと増やしてほしい。【5歳】
- ・ 子育てに関する情報等を探す上で、町のHPを見ても分からなかったり、分かりにくい事が多いので、もっと、利用し易いHPを作って欲しいです（検索しやすく見易いもの）。【0歳】
- ・ ふれあい館でバウンサー等の無料貸し出しがあるのをもっとはやく知りたかった。そういう情報をもっとわかりやすくしてほしい。子ども服やおもちゃのバザーをもっとやってほしい。情報をもっとしっかりわかりやすくしてほしい。インスタとかで発信してほしい！【0歳】

【小学生保護者】

- ・ 不登校の子どもへの受け皿や子どもの話をきいてくれる場所があるといいなと思います。【10歳】

(4) 子ども・子育て・教育

【就学前保護者】

- ・ 移住してきて一番ショックだったのが、子育て環境が時代遅れなところでした。多様性の経験が少なすぎる為か、外では“当たり前個性”がここではまだまだ“みんな一緒”が大きいように感じます。とにかく、現場の方のみならず、役場の方は特に、外を色んな地域の現状をみていただきたいです。【5歳】
- ・ ぜひ小学生の子育て支援の充実を図っていただきたいです。よろしくお願いします。【5歳】
- ・ 大井町は広いので、小中学生の登下校が遠い自宅の生徒は大変だなと感じています（特に夏場）。スクールバス等は難しいでしょうか？【4歳】
- ・ 教育の質を向上させてほしい。【4歳】
- ・ 自分が生まれ育った土地より、はるかに大井町の方が子育てしやすいと思う。今、子どもも増えているし（大井中央や西大井住宅街のおかげ）ぜひ、子育てしやすい町であってほしいと思う。【4歳】
- ・ 妊娠中に大井町に引越して来ましたが、以前住んでいた所よりも子育てに関して色々な支援があり、ありがたいです。公園もきれいだったり、子育て支援のイベントなども充実しているので、子どもがもう少し大きくなったら利用させていただきたいと思っています。
- ・ 子どもに習い事をさせたいのに、時間がない。小学校から学童の間に習い事をさせたい。保育園でも希望者になにかさせてほしい。【4歳】
- ・ 保育園も小・中学校も少なく選択肢がすくない。横わりでなく縦わりにしたり、インクルーシブな環境だったり、教育の環境が進化していないと感じ、子供がきゅう屈になってしまう気がして不安・心配です。大井は“のびのびルールに縛られない新しい教育をしている”と全国に評判がたつぐらい教育に変化を見出してくれたら嬉しいです。町民としてできることは協力するので。よろしくお願いします。【3歳】
- ・ 大井中央公園に平日、たまにで良いので、決まった曜日、月に1回とかでも駄菓子屋さんが来てくれたら子供達の勉強にもなる（お金の）。やさいの市、以外の平日にも来てくれるといいなあ。【2歳】
- ・ 小学校の先生にだいがあたりはずれがあります。子供の気持ちに寄り添える考えをもった人をもっと配置してほしいです。大井中央地区にお店がないので、カフェやコンビニなどがほしいです。大井第二幼稚園は遊具が古く、危険な場所がないかなどよく見てほしいです。【5歳】

【小学生保護者】

- ・ 世の中で多様性、個性を認めると、言葉はよいですが、教育の場では、子ども達は先生に言いたい放題、「嫌なことはやらない」「自分ファースト」の子が増えているような気がします。困難なこと、嫌なことがあった時にこそ、対処法（自分の身を守る）が身につけていきます。今は、「嫌ならやらなくていいよ」の風潮で、自身の子もそうなのかもしれませんが、これからの思春期の友人関係が心配です。学校になじめない子のフリースクールなどの整備も、整えていっていただくと安心です。【10歳】
- ・ 小さい子どもさうだけど、中学、高校などのほうがお金がかかると思うので、支援してほしいです。【11歳】

- ・ 小学校で不登校、登校しても自分のクラスへ行けない子が多いと聞いています。教師の方は大変だと思いますが、子供の事をもっと考えて自分のクラスで授業を受けられるようにしてほしいと思います。【11歳】
- ・ 幼稚園の頃は、送迎などで他の保護者との交流もあったが、小・中学生になると、あまり関わりもなくなる。このままで良いのかなあとは思ふ。全国の色々なニュースを見聞きしていると、大井町の子育て支援センターや保育園・幼稚園の方々、先生には感謝です。皆の名前を覚え、様子を伝えて頂き、数年経っても声をかけてくれて嬉しい。【9歳】
- ・ 子供が大きくなって子育てに楽しいと思える町にしてほしい。子供にはお金かかるから生まれないはさみしいです。【8歳】
- ・ 幼稚園、小学校の先生たちの意識をもう少し高めて欲しいです。子どもを預かるということの再確認。幼稚園、9:00開園じゃ遅いです。共働きなので。【11歳】
- ・ 療育施設が乏しい為、増やしてほしい。また、療育に関する情報を拡充してほしい。驚異的な暑さが続くため、小学校、中学校に通う為のスクールバス等検討していただきたいです。大井小、上大井小へ通う地区の割合も検討していただきたいです。人数の差がありすぎだと思います。【6歳】
- ・ 通学時間が長く、道具箱の持ち帰りの日は、炎天下の中帰宅まで一時間以上かかり、一年生である娘の登下校を心配している。長期休み前の荷物の持ち帰りは、しないといけないものなのか？水筒を飲みながらの為、両手がふさがり危ない。・世間的に自治体として暑さ対策が行われている中、町としてどのような考えなのか？（ランドセルの背中につけるバット用に学校で保冷剤を帰りに持たせる。ひんやりタオルの配布など）・荷物が重い事、多い事に子どもが辛いと言っている。なんの為の一人一台のタブレットなのか？・欠席の際の連絡帳も、お願いするのが申し訳ない。タブレットを活用できないのか？・なぜ学校で、パレットや、書道用具が洗えないのか？・学校の水道場や、トイレの数が少ない。（本人の意見）【6歳】
- ・ 上大井小で行っていることばの教室のようなものが、就学前の子供も通える所があったら良かった。大井町で行っているきらきら（今はないかも？）幼稚園に入る前に通えた事はとても助かりました。先生方も親身になって下さり子供もすんなり園生活に入れました。【8歳】
- ・ 小さい頃から大井町に住んでいます。友人は横浜、東京へ引越し同じように子育てをしています。同じ幼稚園でも、大井町の現状と横浜のふつうの幼稚園では、0と100の違いがあり、フルタイムの正社員の友人でも保育園ではなく幼稚園でした。夏休みも預けられるとのこと。うらやましかったです。もちろん子どものそばにいたい気持ちもありますが、物価上がっている、30代夫婦は働かないと生活できません。住みたい町ランキング、子育てしたい町ランキングにのるような、令和の町づくりをして下さい。他の町の人に大井は考えが古いからな、といわれるのはイヤです。学校のシステムも古い。もっとタブレットで宿題もほしいし、休んでも授業に参加できるくらいにしてほしい。大井町に住んでいて良かったと子どもに思ってもらえるような町にして下さい。若者の意見をダメもとで取り入れる町であってほしいです。【11歳】
- ・ 小・中学校の給食の量が少ないと聞いている。食べざかり、伸びざかりなのに、少ないのはどうなのか？充実させてほしい。【10歳】
- ・ 小学6年生の息子がいます。給食が少ないとのこと。物価が高いのもわかりませんが、どうにかありませんか？・保育園に通所している子も一人いますが、給食の値上がりもあり、体調を崩すと保育園に通えない日が続きます。給食費の日割りはできないのでしょうか？フルタイム勤務のため、仕事が終わって病院は間に合いません。地域の小児科等の診察時間をもう少し延ばして欲しいです。年々暑く、屋外ではなく屋内で子ども達が遊べる施設やプール施設などできたらありがたい。【11歳】

(5) 仕事と子育て・就労・育休

【就学前保護者】

- ・ 子どもを産み終えて、いざ働きたい！と思う女性がいても、子どもがいるという壁に阻まれ社会復帰が難しいのが現実。子育て中の女性の就労支援を行う窓口を設置してほしい。(ハローワーク厚木マザーズコーナーのような) 場所が遠すぎる。子どもがいたら自由に動けないので身近な場所にあると良い。【1歳】
- ・ 仕事復帰を希望しているためクリニック等(専門職のため)へ問い合わせしても保育園に子供が入っていないことを理由に断られることがあり、子供が成長するまで働くことができない。保育園が決まってから連絡して下さい。と言われてしまった。保育園に入れるために仕事を探していた。学童も高学年になるとやめなければいけないと聞き、不安しかないです。最近、空巣等物騒なことが大井町内で起きているので。【3歳】

【小学生保護者】

- ・ 問35にも書きましたが、学童保育を月払いではなく、週何日制度を使えたら助かります。下校時間が遅いとそのまま帰宅しても留守番する時間が短いので安心。習い事の有る日も有るので週3通っても週5通っても同料金なのも嬉しいので。【7歳】

(6) 健康・医療・障害

【小学生保護者】

- ・ ①学校給食で、なるべく地元の産地の食材や、無農薬の野菜などを取り入れて欲しいです。農薬が多く使われた野菜はビタミン、ミネラルなどが大幅に減ってしまっており、現代の栄養失調の原因の1つという話をききました。また、小麦よりも国産のお米(金芽米や雑穀米のように栄養価が高いもの)を日常的に給食でとれたら良いと思いました。泉大津市(大阪)の「ときめき給食」のように、発酵食品、オーガニック食材などをなるべくとり入れることで、免疫力アップ、アレルギーの改善、精神疾患や発達障がいの症状の改善につながるそうです。また、給食にとり入れること以外にも、子どもたち、保護者向けに食育セミナーなど(国際食学協会理事の国光美佳先生)で普及啓発をしたり、地元の農家さんと協力して無農薬ヤサイを育てて給食で頂くなど、子ども、親、地域の方、みんなで健康について考え、多世代がつながれる教育委員会があると良いと思います。②多世代がゆるくつながり、お互いを配慮し助け合えるような場があると良いと思いました。近隣の高齢者施設と子どもたちの交流(例えば、お祭りなどの行事、①のような畑でのヤサイ作りなど)ができると、同じ地域に住む人たちが、他の世代と接することで、理解や協力につながっていくし、災害時の助け合いなども自然とできるのでは?と思います。【11歳】
- ・ ADHDなどの障害の理解のある環境や教育。【10歳】
- ・ アンケートについて全体的に答えにくい質問が多い。一時預かり等の質問があるが、発達障害などがあり、集団の中が苦手な子どもは、そのような場所を利用することが難しい。どんな特性を持つ子どもも気軽に預けることができる、場所があるといいと思う。

(7) 施設・設備・サービス拡充

【就学前保護者】

- ・ 中でも書きましたが、中央公園に遊具をもっと増やして欲しいです。【3歳】
- ・ 子育てしている中で、支援が少ない。病児保育の拡大や、保育園の給食料も助成してほしい。小中学校は給食助成あるのに保育園はなぜないのか。【3歳】
- ・ 予防接種の用紙は病院へ取りに行かねばならず、都度同じ内容を書かせるのはやめてほしい。中央公園だけでなく、あちこちの空き地を活用した集まれる場が欲しいです。禁止事項だらけの公園ではなく、自由に遊べる場を作ってほしい。山北町の方が魅力的な公園が多いです。大井町も頑張してほしいです。【2歳】
- ・ 大井保育園の園庭にもうすこし楽しそうな遊具があるとよい。こども園の園児が公園で遊んでいる時に、一般の子が公園を使いにくい。支援センターの遊具にもうすこし予算をさいてほしい。【1歳】
- ・ おおい中央公園で水遊びができるのが嬉しいが、底に苔が生えていてすべりやすいので、綺麗にしていただけると、より安心して遊ばせることができます。【2歳】
- ・ 大井町の幼稚園がお弁当だと聞いたので給食にしてほしい。支援センターにとっても助けられています。もっと利用時間が長くなると嬉しいです(17時まで)。それと、施設が古いので新しくしてほしいし、おもちゃなど定期的に増やしてほしいです。予算が回ってない感じがします。【1歳】
- ・ パートタイムの人でも保育園に入りたいです。一時保育の料金が低いのと利用時間が短いです。子育てママが働ける場所を提供してほしいです。【1歳】
- ・ 広い図書館、学習スペース。子育て支援に関しての情報提供(こちらが動かないと情報が入ってこない。役場などに出向かないと分からない。気がついた時にはイベントが終わっている。)安心して遊ぶことのできる公園(最近、中学生(小学生)からの恐喝などを聞いたため)【5歳】

【小学生保護者】

- ・ 以前は、ビオトピアの中に自由に入ることができ、子どもが遊ぶことができていたが、今はペット中心になってしまったり、立入禁止部分が増えてしまい近くに公園もないため、外遊びをさせてあげられず、かわいそうな思いをさせてしまっています。相和地区にも外遊びができる所がほしいです。【11歳】
- ・ 医療費の補助を高校生まで受けられる事は大変ありがたいです。また、大井中央公園は使いやすい、非常に良い公園です。雨の日や暑い日に子ども達が集まり、わいわい出来るような広い空間があると良いです。【11歳】
- ・ 夏休み中などに学童でも給食の様なサービスがあったら助かります。【9歳】
- ・ 学童の長期休業中の弁当を外部へ注文できるようにしてほしい。5、6年生も学童に安心してあずけられるよう場所と人員の確保をしてほしい。夏休みなどに子どもが学べる教室などをもっと充実させてほしい。【10歳】
- ・ 公園施設が充実していないので他の町の公園へつれていく機会が多い。山の方に土地もあるしもう少し需要にあった遊び場をつくってほしい。子育てについての情報など、自分から取得しにいかなくてもわかるようなSNS等のシステムをつくってほしい。【6歳】

- ・ 大井コミュニティクラブ（学童）について、新5・6年児童が3月に急に待機になり、親も困惑し本人も急に辞めさせられる印象を受けショックを受けていました。議員さんなどの働きかけにより7月から戻れたことは心から感謝していますが、今後このようなことが起こらないようにしていただきたいです。また、今回の一件について未だに知らない学童利用者が多いので、情報発信する必要はあると思います。河原自治会には「こども部会」というものがあります。大井町の全ての自治会で「こども会」がなくなったのに、河原の「こども部会」では子ども会の時と同じことを役員4人がやらなければならない、大変負担です。「こども部会」の役員ができないからと、子どもが小6になる前に自治会をやめる家庭が多くあり、今後検討が必要だと思います。部活動地域移行に関わり、湘光中では特設部（4つ）が突然廃部にされ、学校より切り捨てられました。特設バドミントン部は今年度4月より完全にクラブチームとしての活動になりましたが、大井町生涯学習課の植松さんを中心に中学生への部活動支援として、町体の利用など配慮していただけていて本当にありがたく、感謝しています。今後他の部も同じようになっていくことも考えられますが、地域スポーツが衰退しないようご協力お願いいたします。【11歳】

（8）生活環境・地域環境・安全

【就学前保護者】

- ・ 通学時や通園時等、安心して徒歩通学、通園できるよう、主に新興住宅地の道路標識の設置を進めて頂きたいです。（スピード超過、事故等を見かける為。）【5歳】
- ・ 今の住居には子供が近くに居ないので、小学校に行きはじめる頃心配です。最近班登下校がないと聞いたので。【1歳】
- ・ 子供が交通事故等で命を落とさないよう、安全な街やルールづくり、地域の人々が優しく見守る社会であってほしいと思います。【4歳】
- ・ 国道255号の横断歩道を子どもだけで渡るのがとても不安、歩道橋等を設置してほしい。【5歳】
- ・ 新宿は公園が近くになく、近所の方に外であそぶ子どもの声がうるさい、次あそんだら警察に通報するぞ！とまで言われていました。道は車が怖く庭がない家庭などの為、小さくてもいいので作ってほしいです。何度も書いても通らないとは分かりますが、伝えなくては始まらないので。子育てしやすい町にするにはそこからではないでしょうか。【3歳】
- ・ 産婦配食サービスは第1子の産後3ヶ月までですが、その頃は子どもあまり動かなかったので必要性を感じませんでした。第2子の時の方が、上の子を見ながら下の子のケアも必要だったので、余裕がなくまともな食事はとれませんでした。2人以上の多子世帯への支援の充実を希望します。第2子が1歳をすぎるあたりまで本当に苦しい日々でした。毎日絶望的な気持ちですごしていました。【4歳】
- ・ 大井中央の住宅街にミラーを付けて下さい。かなりあぶなく、スピードも出してるので付けて下さい。公園前の家の塀が高すぎて左方向が見えなくて、かなり前でないと確認できないので、塀をどうにかさせてほしい。家のガイドライン（きめられたの）に違反してます。【4歳】
- ・ 湘光公園に水道があるとうれしいです。【4歳】
- ・ 見通しの悪い道などの見直し、整備をしてほしい。（相がみ金子駅、横のトンネルなど、子どもが集まる場所なのに見通しが悪くあぶない。）夜、暗い道が多い。【1歳】

- ・ 長期間の保育や病児、病後児の保育など、働く親としてはありがたいサービスではありますが、子どもの心身の負担を考えるとあまり望ましいものではないと思います。それに頼らずとも生活できるよう経済的支援、働き方改革を切に願っています。我が家は所得制限にあたりませんが、該当する世帯の現状を聞くたびに胸が痛みます。それだけの給与が得られる能力のある方々が働き損、税金の納め損にならぬよう、そして我が子のために自分の稼ぎが使えるよう、所得制限の撤廃を求めます（障害児の療育に関する手当を含め）我が子の養育に対する手当でもほぼないままの現状は、子どもの権利の観点からしても理解に苦しみます。・小学校におけるスクールバスの導入を検討いただけないでしょうか。高齢者ドライバーが多く、高齢者の事故多発地域にも指定された大井町。外を歩いていてもヒヤッとしたことは多々あります。防犯対策としてもお願いします。・おい児童コミュニティクラブの建物がかなり年数が経っているようですが、耐震性などは問題ないのでしょうか？大井保育園も土砂崩れの避難地域の目の前、被害は免れない土地かと思います。子どもの命を守るために、早急な対策をお願いいたします。【5歳】

【小学生保護者】

- ・ 共働きがあたりまえ、ワンオペ、一人っ子があたりまえになっている社会。子の安全を守るがゆえに公園でも必ず親が付添っている状況。過度に安全を意識しすぎて逆に子供から自立、自由を奪っているように思います。子供が少なくなった今でも、昔のように子供たちだけで公園や自然に自由に遊びに行かれる町であつたらいいと思います。特に高学年になると遊び場がないと感じます。学童問わず自由に行かれる児童館のような場所を作ってほしいです。【9歳】
- ・ 子供の教育、保育充実はすべて親の環境を整える事かなと思っています。金銭面だったり親の心のゆとり加減が、子供にダイレクトに、うつる。今もすごく思いますが、親族以外の第三者的立場の方（例えば地域のおじさんおばさんみたいな人や、保育園や学校の先生方）の関わりは子供にとってすごく大事だなと思うので、そういった方とつながりつづけるようにと思います。【9歳】
- ・ 何で、町立なのに、幼稚園と、中学校は制服を用意させるのですか？それこそ「子どもの権利」に反して、着たくもない衣服を身につけさせられる、という状態にさせていると思います。(我が子は自分が気に入らないと、基本的には、着用しません。)(制服高いです！)子育て支援センターと、ふれあい館、どちらで何を行っているか、どちらに行けば良いか、今一わからないので、どちらに行っても、手続きができるようにして欲しい。国が行おうとしていますが、就労していなくても、保育園に預けられるように、保育所を増やして欲しい。生活道路をすごい速さで、車が通り抜けて行くので、どうにかして欲しいです。【7歳】
- ・ 若い家庭が住みやすい街づくりをして欲しい。【7歳】
- ・ 金銭的支援が必要な家族の方もいらっしゃると思います。それ以上に子どもが気軽に自転車の練習や球技（キャッチボール、野球、サッカーetc）を楽しめる場所があればと思います。また、入りくんだ路地が多いので防犯カメラを増やす等して犯罪の防止になると助かると感じました。【7歳】
- ・ 中央公園の小川をそうじしてほしい。255より東側にも公園（大きな）がほしい。【11歳】
- ・ 自転車乗り方教室を全学年（中学校も）やってほしい。家庭でもよく話をしているが、自分達の目で直接見て感じた方が学びになる。【9歳】
- ・ 子どもが安全に出掛けられる環境が整ってほしい。道路で（横断歩道であっても）一時停止しない車がとて多いように感じる。スピードをゆるめない車までいる。怖くて子どもだけでは外に出したくない。子どもへの安全指導だけでなく、いま一度大人へも交通ルールを再確認する機会や、ルール違反を取り締まるなど、意識を変える試みがあるとありがたい。【7歳】

- ・ 中学校の体育館にエアコンを設置してほしい。
- ・ 道路が新しくできるので、交通量やルールの変化に伴い、事故がおきないか心配です。また、交差点なども見えにくい所があるので、車も十分注意しながら走行するように注意喚起してほしいです。【8歳】
- ・ 相和小の(町)バス通学の発着所が金手方面にもあるとよいと思います。役場まで車でいけない人のため。通学バス(路線)の本数を高校生が間に合う時間帯にもほしいです。高校によっては、間に合わず、相和の親はいつまでも送り迎えの必要がある。松田ののーと足柄に大井町のバスストップをビオトピアや山田バス停以外にもほしいです。高速バスは1日1本午後2時にへった路線もあり、現実的ではない。そうわ会館や農協にあると助かる。そもそも路線バスやゆめバスも工夫して続けて下さっているが、やはり不便です。駅に行くため、毎回自家用車でコインパーキング代をはらうのが、けっこう大変です。【11歳】
- ・ 子育てに関して、このようなアンケートを実施して下さいありがとうございます。私は他の市から転入しましたが、大井町は子育てしやすく感じております。ですが、もっと昔から大井町に住んでいる方と交流したいな、とか、余っている土地がもったいないな・・・とか思うこともあり・・・管理しづらくなってきた畑を手伝ったり、何かの収穫を一緒にしたり等・・・新しく転入してきた人と、地域をつなぐようなそんなシステム、サポートがあると、お互いに理解も深まり「困った時のご近所さん」になれたらいいな・・・と思うたりもします。先日も、道を歩いていたら、たくさん咲いてるから・・・とラベンダーを花束にして下さった方がいました。とても嬉しく、心の中で、あの方、今日も元気かしら？と思うことが。他の市から転入してきた者にとっては、こうやって自然に話しかけてもらえる事が、「つながり」を感じられて、とても嬉しいです。ご近所同士で声をかけあえるのってステキだなんて思います。それも、子育て支援につながると私は思います。自分達だけで子供を守らなきゃ！子どもを育てなきゃ！はやっぱりしんどいです。そういった「気持ち」をやわらかくしてくれるのは、人と人とのつながりだなあと。私もとなりの「おせっかいさん」になりたいなあと少し思ったりもしています。【9歳】
- ・ 地域で育てる取り組みをしないと、輪ができない。学校単位でなく、地域単位で取り組むことで、自治会の充実につながる。核家族化、地域の分断化・・・まとまりのない社会になってしまう。【7歳】
- ・ 産前産後、また保育園などお金がそこまでかからないところに手当てをだしても・・・と思います。登校班をつくったり、もっと田舎ならではの魅力を作って、子どものいる家庭を誘致したら？とも思います。家ばっか建てても意味がないです。開成の方がだんぜんいい。【7歳】

(9) 学校の設備について

【小学生】

- ・ 公園の遊具に静電気除去する工夫があるといい。大井小学校の遊具を充実させてほしい。
- ・ もっと公園などの遊具が小さい子用しかなく小学生が遊べないので小学生用遊具を置いてほしい。あと子供向けのイベントをもっともうけてほしい。
- ・ がっこうを早くあけてほしい。スケボーをする所がもっとほしい。
- ・ 公園に行くときにつぼうをついかしてほしいです。
- ・ 大井高校がなくなってほしくない。

【中学生】

- ・ 中学校にプールをつくってほしい。

【高校生】

- ・ 学生が使える自習室を作してほしい（休憩室付き）（図書館では少ない）。体育館のジムを中高生も使えるようにしてほしい。

(10) 公園について

【小学生】

- ・ 中央公園で運動大会やりたい。
- ・ 大井中大公園にもっとゆうぐをふやしてほしい。
- ・ 公園が楽しくあそべるようにきれいにしてほしい。
- ・ やってほしいことは、あたらしい公園の名前をつくってほしい。さがみかねこの人たちに大井町をきれいにしてほしい。
- ・ みんなでサッカーがワイワイできる、スポーツ公園ができたらうれしい。サッカーができる場所がすくない。
- ・ ・もっと水あそびできるばしょをふやしてほしい。・ こうえんに日かげをもっとつくってほしい。
- ・ おもいきり遊べる公園がほしい。（じてんしゃやサッカー）
- ・ 家の近くに大きな公園が欲しい。（歩いてすぐに行ける距離）
- ・ しょう公園にトイレを造ってほしい。
- ・ 公園などにゴミ箱をつけてほしい。
- ・ 水じんぐ公園を中央公園みたいにしてほしい。
- ・ 大井小や、大井中央公園にウォータースライダーがあってみんなで遊べたらいいなと思います。
- ・ 大井中央公園に、もえるゴミのゴミばこをおいてほしいです！！！！！！
- ・ プールをつくってほしい。西大井にちゃんとした公園がほしい。だがしやがほしい。
- ・ 公園などをたくさん作ってほしい。

【中学生】

- ・ 中央公園で遊ぶ物を増やしてほしいのと、ボールが使えるようにしてほしい。
- ・ 公園の美化
- ・ 中央公園で、ボール遊びができる場所を増やしてほしいです（バスケット以外の）。

(11) 公共施設（公園、学校以外）の充実

【小学生】

- ・ 雨でもあそべる場所がほしいです。・ 真夏でもあそべるすずしいあそび場がほしい。
- ・ もうだれもすんでないところをとりこわして、1かいだてのおうちをうればいいとおもう。ふるいたてものがおおい。
- ・ サッカーができる所を作ってほしい。
- ・ サッカーで遊べるしせつをふやしてほしい。
- ・ はくぶつかんを作ってほしい。
- ・ ウォータースライダーつきのプールをいっぱいつくってほしい。
- ・ 大きい遊具があったらみんながうれしいと思う！！アイスの自動はんばいきがあったら夏にはすごいと思う。
- ・ 楽しい施設を作ってほしい。
- ・ 湘光園に遊具がほしいです。
- ・ バasketゴールをいっぱいつくってほしい。
- ・ おかしつめほうだいをやってほしい。コンビニに流行りのものをふやしてほしい。
- ・ ゲームセンターを作ってほしい。
- ・ ポケモンとふれあえる場所。
- ・ いきものやしぜんをふやす。
- ・ 大きいショッピングモールができたらいいな。
- ・ コンビニがちかくにできてほしいです。なくなったミスタードーナツをふっかつさせてくれ。
- ・ だれでもいけるプールをつくってください。

【中学生】

- ・ 飲食店やショッピングモールなど、もっと増やしてにぎわってほしい。駅が少なくて不便だから交通の便をよくしてほしい。
- ・ 大井町にプールを造ってほしいです。
- ・ コンビニを増やしてほしい。

【高校生】

- ・ 紫水大橋までの道路を早く開通させてほしい
- ・ 屋外プールを作ってほしいです。みんなで遊べるようなプール。
- ・ 日陰やミストなど休める場所が欲しい。

(12) 地域イベントについて

【小学生】

- ・ イベントをふやしてほしい。
- ・ ・学校で、みんなとおとまりしたい。新しいカギの学校かくれんぼをやりたい。
- ・ 古生物のイベントをふやしてほしい。
- ・ 小学校でとうそう中と、かくれんぼをしたい。(とうそう中は先生が全校生をつかまえる鬼になって、かくれんぼは全校生が鬼になって先生方をつかまえる)のを学校でやってみたいです。
- ・ ・昆虫とふれあえる会・いろいろなスポーツを体験できる会・行事についてのパーティー(例)12/25 クリスマスパーティーなど・色々な食べ物の作り方会。
- ・ おまつりで金魚すくいがやりたい。
- ・ ひょうたん祭をすずしいときにやってほしい。
- ・ きせつ限ていの祭をしたい。
- ・ テレビにでてくるような人が大井町にきてほしい。
- ・ ・おまつりをいっぱいやってほしい。・しつないであそべる広いひろば(マロニエみみたいな)。
- ・ キャンプ・クリスマス会・スキー・雪だるま
- ・ みんなといっぱいあそびたい。

【中学生】

- ・ 大井町の行事をつくる(おやや、きょうだいと遊ぶ行事)。
- ・ 今、地域ごとに太鼓をしているけど、町でやってたくさんの子供にさんかしてほしい。どんど焼きとかも、そのじゅんびをするのに、もっとたくさんの人に参加してもらえるようにしてほしい。地域ごとではない、交通の場がもっとあってほしい。キャンプやスキーなどがあるけど、泊まりではなく、日帰りのイベントがあってもいいと思う。

【高校生】

- ・ スタバ作ってほしい。海外の人たちとの交換留学をするプログラム。暑さ対策として、田んぼを残す活動をしてほしい。住宅地もういらぬい。スベリーはなんで大井町じゃなくて東京に住んでいるのですか。

(13) 安全、安心について

【小学生】

- ・ はんざいをへらしてほしい。
- ・ 不審者がいなくなる町にしてほしい（物騒な事件がなくなってほしい）。大井町に大きな商業施設（イトーヨーカドーやコストコなど）ができたらうれしい。
- ・ 車の運転であぶない人（おとしより）が多いので、もっと安全に運転してほしいです。学生さんに自転車ののり方が危険な人がいます。
- ・ こうばんふやせ。

【高校生】

- ・ 災害時に動物が人間と一緒に避難することができる避難所を開設してほしいです（動物と人間が共存できる社会づくり）。また、近年地球温暖化が進行しているため、大きな木を植えるなどして、道に日陰を増やせるようにしてほしいです。
- ・ 最近、地球温暖化が進んでおり、将来の暮らしが不安なので、これからの世代が生きやすい環境づくりに貢献してほしいです。また地震などの災害が起きた際、避難所に動物も避難できるようにしてほしいです。

(14) 教育環境について

【小学生】

- ・ 学校の先生がすこしこわい。
- ・ 学校での6時間目をなくしてほしい。
- ・ 学校を自由登校にしてほしい。きゅうしょくひをむりょうにしてほしい。
- ・ 子どもにもいけんを言わせる。
- ・ 上大井小学校でぜんこうでおにごっこをしたい、先生がおにでぜんこうがにげる。
- ・ みんながすみやすい町にほしい。
- ・ すぐに漢字をおぼえたいです。
- ・ 家が学校から遠いため、バスを出してほしい。
- ・ ゴミをひろうクラブや、SDGsにかんすることをやってほしいです。
- ・ 科学の実験をするゲストがきて実験を試みたい。

【中学生】

- ・ ワイファイのある自習室がほしい。
- ・ 大井町内にある、ようち園、保育園、小学校、中学校で交流会がしたい（たぶん無理だけど）。
- ・ いろいろな職業や可能性を、教えて欲しい。
- ・ 給食をもっとおいしくしてほしいです。おいしくないもの①さばのみそに②マーボー豆腐③いそかあえ。
- ・ 食堂で給食が食べられるようにしてほしい。金手や河原も自転車通学ありにしてほしい。

【高校生】

- ・ 英検の受験料を高校生まで町で負担してほしい。ごてんばせんの本数をふやしてほしい。外灯の数をふやしてほしい。

(15) 環境への配慮について

【小学生】

- ・ しょうこう中学校の通りの（ひょうたんなどが植えてある所の近く）に横断歩道をつくってほしい。
- ・ みんながすごしやすく、かいてきにしてほしい。
- ・ もっと大井町がきれいな町なるように、ボランティアの人にきょうりよくしてもらい、しぜんをたいせつにする。
- ・ SDGs

【中学生】

- ・ 地域ごとに、周辺のごみ拾いをしたい。
- ・ ごみが多いから、ごみすてをみんなでするキャンペーンなどをひらいた方がいいと思う。

【高校生】

- ・ ごみ箱を増してほしいのと、御殿場線の本数を増してくれたらもっと住みやすくなると思う。

(16) 支援について

【小学生】

- ・ 募金、ユニバーサルデザイン

【高校生】

- ・ 英検、漢検、数検の補助金を高校生も対象にして欲しい。
- ・ 大井町にあるか分からないが、松田町にある“わくわく券”みたいな事をして欲しい！！もし大井町でも同じような事をしてたとしても知らない！！
- ・ 電車の本数を増やしてほしい。資格の資金免除を高校生にも行ってほしい。図書館の利用時間と、勉強スペースを増やしてほしい。お金の補助がほしい。有名人を呼んでほしい。

(17) その他

【就学前保護者】

- ・ 大井町は老人優先の町になっていると思う。外の町や市から来るとよく分かる。【4歳】
- ・ いつもありがとうございます。提出が遅れ大変申し訳ありませんでした。【2歳】

【小学生保護者】

- ・ 封筒に記載されているアンケート締め切り日と、日付が違っていました。ネットで、アンケートできると良いかなと思いました。【9歳】
- ・ 尊敬する木村泰子さんのレポートを同封致します。担当課長はじめ、皆様で読んで頂けますこと心より願っております。いつもお世話になりありがとうございます。【9歳】

【小学生】

- ・ おふろそうじや中（家）でせんたくのてつだいをできたらいいなと思っています。
- ・ 大人が毎日仕事でつかれていると思うから、やすませてほしいです。
- ・ あるかもしれないが、色々な国の人々との交流をするきかいをあたえてほしいです。
- ・ みんなの前で発表するのがなくなれば良い。
- ・ みんなできょうりよくして、男女かんげいなくやさしく、あいさつもしっかりやって、すごしたい。
- ・ ①いじめをなくす。
- ・ やさしくしてほしい。
- ・ 大人にあとで、とかちょっとまってとか、いったらちゃんとやってほしい。
- ・ ミニ四駆のパーツをみつけてほしい。
- ・ 子どもができたいろいろなことをおしえてえらい人になってねていつてあげたい。
- ・ 生物となかよくなりたい。

- ・ しょうらい自分がびようしつになって、お客さんのかみをきれいにしてみんなの心まできれいにできたらいいな。そうしたら、もっといい町になれるかもしれない。
- ・ 大きくなってようちえんの先生になるためにやさしい人になりたい。
- ・ 世界の人たちが平和にくらせたらいいと思います。
- ・ サッカー選手になって大井町をゆうめいにしたい。
- ・ 大井町を、えがおがあふれたり、楽しい、うれしい、すてきな町にしたいです。

【中学生】

- ・ 生き物探し。池の水を抜いての調査。今回のアンケートが子供向けだったのか、親だったのか分からず、親が記入してしまいました。

【高校生】

- ・ 私が大井町や大人にやってほしいと思ったことは、気持ちの良い挨拶です。なぜなら、挨拶をすることでお互い気持ちが明るくなったり、良い関係を築くことができるからです。ですので、挨拶を返してくれると私はとても嬉しいです。
- ・ アクセスの悪さの改善。体育館をもっと自由に使えるようにしてほしい。公園があるのにサッカーも野球もできないのを改善してほしい。自転車通学NGなのをどうにかしてあげてほしい。もっと町の魅力をつくって、たくさんの人に興味をもってもらえるようにしてほしい。

IV 調査票

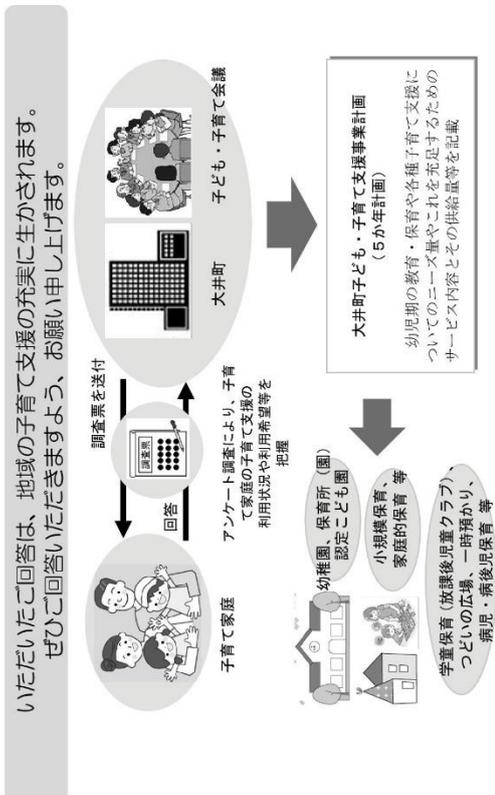
1 就学前保護者

※「子ども・子育て支援新制度」の趣旨・考え方

- 子ども・子育て支援新制度は、急速な少子化の進行、家庭・地域を取り巻く環境の変化に対応して、子どもや保護者に必要な支援を行い、一人ひとりの子どもが健やかに成長することができる社会を実現することを目的としています。
- 子どもの成長においては、乳児期におけるしつかりとした愛着形成を基礎とした情緒の安定や他者への信頼感の醸成、幼児期における他者との関わりや基本的な生きる力の獲得、学童期における心身の健全な発達を通じて、一人ひとりがかけがえのない個性ある存在として認められるとともに、自己肯定感を持って育まれることが重要です。子ども・子育て支援新制度は、社会全体の責任として、そのような環境を整備することを目指しています。
- 子ども・子育て支援は、以上のような考え方をもとに、保護者には子育てについての第一義的責任があることを前提としつつ、保護者が子育てについての責任を果たすことや、子育ての権利を享受することが可能となるような支援を行うものです。
地域や社会が保護者に寄り添い、子育てに対する負担や不安、孤立感を和らげることを通じて、保護者が自己肯定感を持ちながら子どもと向き合える環境を整え、親としての成長を支援し、子育てや子どもの成長に喜びや生きがいを感じることができるよう支援を目指しています。

アンケート調査票に使われている用語の定義

- 子育て : 教育・保育その他の子どもの健やかな成長のために行われる支援
- 教育 : 家庭での教育を含めた広い意味で用いています



子育て支援に関するアンケート調査(未就学児) ~調査の趣旨とご協力のお願い~

皆様には、日頃より町政にご理解とご協力をいただき誠にありがとうございます。大井町では、平成27年4月に施行された「子ども・子育て支援新制度」に基づき、「大井町子ども・子育て支援事業計画」を策定し、子どもにとっての最善の利益を考え、みんなであらまづつくりをめざして、子ども・子育て支援に総合的に取り組んでまいりました。この度、近年の社会動向の変化などを踏まえて、これまでの計画を見直し、新たな「大井町子ども・子育て支援事業計画」を策定することになりました。

この調査は、計画策定の基礎資料とするため、町内にお住まいの小学校就学前のお子さんがある世帯を対象に、ご協力をお願いさせていただきます。

つきましては、ご多忙のことと存じますが、皆様の率直なご意見、ご要望をお寄せくださいますようお願いいたします。なお、この調査は無記名であり、お答えいただいた内容は、施策の検討のみ利用させていただきますので、回答者が特定されたり、他の目的に利用されることは一切ございません。この調査の目的を理解していただき、ご協力くださいますようお願いいたします。

令和6年7月

大井町

- ・ご回答は、できるかぎり宛名のお子さんの保護者をお願いしますが、ご家族の方と一緒にお住まいの方にもご協力いただけますようお願いいたします。
- ・調査票の頁数が多くありますが、回答していただく方を限定している設問もありますので、最終頁までご回答くださいますようお願いいたします。
- ・番号を選ぶところでは、当ではまる項目の番号を、指定の数だけ○で囲んでください。
- ・ご記入いただいた調査票は、同封いたしました返信用封筒に入れて、**7月31日(水)までにご返送ください。**(切手は不要です。)
- ・調査内容についてご不明な点がございましたら、下記までお問い合わせください。
【お問い合わせ】 大井町 子育て健康課 電話：0465-83-8012 FAX：0465-83-8016

お住まいの地域についてうかがいます。

問1 お住まいの地区（自治会）として当てはまる番号1つに○をつけてください。

- | | | | | |
|--------|---------|---------|-----------|--------|
| 1. 相和 | 2. 根岸上 | 3. 根岸下 | 4. 市場 | 5. 坊村 |
| 6. 馬場 | 7. 宮地 | 8. 吉原 | 9. 新徳 | 10. 河原 |
| 11. 金手 | 12. 西大井 | 13. 上大井 | 14. わからない | |

封筒の宛名のお子さんご家族の状況についてうかがいます。

問2 宛名のおさんの生年月月をご記入ください。() 内に数字でご記入ください。

令和・平成()年()月()日生まれ

問3 宛名のおさんのきょうだいは何人いらっしゃいますか。宛名のおさんを含めた人数を()内に数字でご記入ください。お2人以上のおさんがいらっしゃる場合は、末子の方の生年月月をご記入ください。

きょうだい数()人 末子の生年月 令和・平成()年()月()日生まれ

問4 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。宛名のおさんからみられた関係でお答えください。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 母親 () 2. 父親 () 3. その他 ()

問5 この調査票にご回答いただいている方の配偶関係についてお答えください。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 配偶者がいる () 2. 配偶者がいない ()

問6 宛名のおさんの子育て（教育を含む）を主に持っているのはどなたですか。お子さんからみられた関係で当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 父母ともに () 2. 主に母親 () 3. 主に父親 ()
4. 主に祖父母 () 5. その他 ()

問7 お子さんと同居し、生計を同一にしているご家族の構成と人数をお答えください。単身赴任の方や学業のために世帯を離れているお子さんがいる場合には、ご家族の人数に含めて教えてください。(a～f)は、お子さんから見た続柄です。それぞれについて、当てはまる番号1つに○をしてください

a) 祖母	b) 祖父	c) 母親	d) 父親	e) 姉・兄	f) 妹・弟	g) その他	h) 合計 (あなたや対象のお子さんを含む)
0. いない	0. いない	0. いない	0. いない	0. いない	0. いない	0. いない	1. 2人
1. 1人	1. 1人	1. 1人	1. 1人	1. 1人	1. 1人	1. 1人	2. 3人
2. 2人	2. 2人	2. 2人	2. 2人	2. 2人	2. 2人	2. 2人	3. 4人
	対象のお子さん (本人)	1人		3. 3人	3. 3人	3. 3人	4. 5人
0. いない		0. いない	0. いない	4. 4人以上	4. 4人以上	4. 4人以上	5. 6人
1. 1人		1. 1人	1. 1人	5. 5人	5. 5人	5. 5人	6. 7人
2. 2人		2. 2人	2. 2人	6. 6人	6. 6人	6. 6人	7. 8人
3. 3人		3. 3人	3. 3人	7. 7人	7. 7人	7. 7人	8. 9人
4. 4人以上		4. 4人以上	4. 4人以上	8. 8人	8. 8人	8. 8人	9. 10人以上

問8 世帯全体のおおよその年間収入(税込)はいくらですか。

当てはまる番号1つに○をつけてください。
※令和5年の年間収入（生計を同一にしている家族全員の収入）についてお答えください。

- | | |
|--------------------|-------------------|
| 1. 50万円未満 | 2. 50万円～100万円未満 |
| 3. 100万円～150万円未満 | 4. 150万円～200万円未満 |
| 5. 200万円～250万円未満 | 6. 250万円～300万円未満 |
| 7. 300万円～350万円未満 | 8. 350万円～400万円未満 |
| 9. 400万円～450万円未満 | 10. 450万円～500万円未満 |
| 11. 500万円～600万円未満 | 12. 600万円～700万円未満 |
| 13. 700万円～800万円未満 | 14. 800万円～900万円未満 |
| 15. 900万円～1000万円未満 | 16. 1000万円以上 |

問9 あなたの世帯では、過去1年の間に、お金が足りなくて、家族が必要とする食料が買えないことがありましたか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. よくあった () 2. ときどきあった ()
3. まれにあった () 4. まったくなかった ()

問10 あなたの世帯では、過去1年の間に、お金が足りなくて、家族が必要とする衣服が買えないことがありましたか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. よくあった () 2. ときどきあった ()
3. まれにあった () 4. まったくなかった ()

問11 あなたの世帯では、過去1年の間に、以下の料金について、経済的な理由で支払えなかったことがありましたか。1～4については、当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 電気料金 () 2. ガス料金 ()
3. 水道料金 () 4. 電話料金 ()
5. あてはまるものはない ()

子どもの育ちをめぐる環境についてうかがいます。

問12 宛名のおさんの子育て（教育を含む）に日常的に関わっている方はどなた（施設）ですか。お子さんからみられた関係で当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 父母ともに () 2. 母親 () 3. 父親 ()
4. 祖父母 () 5. 幼稚園 () 6. 保育所 ()
7. 認定こども園 () 8. その他 ()

問13 宛名のおさんの子育て（教育を含む）に、もっとも影響すると思われる環境すべてに○をつけてください。

1. 家庭 () 2. 地域 () 3. 幼稚園 ()
4. 保育所 () 5. 認定こども園 () 6. その他 ()

問 14 日頃、宛名のお子さんをおみてもらえる親族・知人はいますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- | | |
|-------------------------------------|------------|
| 1. 日常的に祖父母等の親族におみてもらえる | 【問 14-1 へ】 |
| 2. 緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族におみてもらえる | |
| 3. 日常的に子どもをおみてもらえる友人・知人がいる | 【問 14-2 へ】 |
| 4. 緊急時もしくは用事の際には子どもをおみてもらえる友人・知人がいる | |
| 5. いずれもない | 【問 15 へ】 |

問 14-1 問 14 で「1。」または「2。」に○をつけた方にうかがいます。
祖父母等の親族にお子さんをおみてもらえている状況についてお答えください。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- | |
|--|
| 1. 祖父母等の親族の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをおみてもらえる |
| 2. 祖父母等の親族の身体的負担が大きき心配である |
| 3. 祖父母等の親族の時間的制約や精神的な負担が大きき心配である |
| 4. 自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい |
| 5. 子どもの教育や発達にこころざわしい環境であるか、少し不安がある |
| 6. その他 () |

問 14-2 問 14 で「3。」または「4。」に○をつけた方にうかがいます。
友人・知人にお子さんをおみてもらえている状況についてお答えください。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- | |
|--|
| 1. 友人・知人の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをおみてもらえる |
| 2. 友人・知人の身体的負担が大きき心配である |
| 3. 友人・知人の時間的制約や精神的な負担が大きき心配である |
| 4. 自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい |
| 5. 子どもの教育や発達にこころざわしい環境であるか、少し不安がある |
| 6. その他 () |

問 15 すべての方にうかがいます。
宛名のお子さんの子育て（教育を含む）をする上で、気軽に相談できる人はいますか。また、相談できる場所がありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

- | | |
|----------|-----------|
| 1. いる/ある | 2. いない/ない |
|----------|-----------|
- 【問 15-1 へ】

問 15-1 問 15 で「1. いる/ある」に○をつけた方にうかがいます。
お子さんの子育て（教育を含む）に関して、気軽に相談できる先は、誰（どこ）ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- | | |
|-------------------|-------------------------|
| 1. 祖父母等の親族 | 2. 友人や知人 |
| 3. 近所の人 | 4. 子育て支援センター・NPO |
| 5. 保健所・保健福祉センター | 6. 保育士 |
| 7. 幼稚園教諭 | 8. 民生委員・児童委員 |
| 9. かかりつけの医師 | 10. 自治体の子育て（教育含む）関連担当窓口 |
| 11. その他（例）ベビーシッター | () |

問 16 すべての方にうかがいます。
子育て（教育を含む）をする上で、周囲（身近な人、行政担当者など）からどのようなサポートがあればよいとお考えでしょうか。ご自由に書きください。

宛名のお子さんの保護者の就業状況についてうかがいます。

問 17 宛名のお子さんの保護者の現在の就業状況（自営業、家族従事者含む）をうかがいます。
【父親【父子家庭の場合は記入は不要です】当てはまる番号1つに○をつけてください。】

- | | |
|---|-------------|
| 1. フィルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しており、
産休・育休・介護休業中ではない | 【(1) - 1 へ】 |
| 2. フィルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しているが、
産休・育休・介護休業中である | |
| 3. パート・アルバイト等（「フィルタイム」以外の就労）で就労しており、
産休・育休・介護休業中ではない | |
| 4. パート・アルバイト等（「フィルタイム」以外の就労）で就労しているが、
産休・育休・介護休業中である | |
| 5. 以前は就労していたが、現在は就労していない | 【(2) へ】 |
| 6. これまで就労したことがない | |

(1) - 1 (1) で「1. ~ 4.」（就労している）に○をつけた方にうかがいます。
1週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間（休業時間を含む）」をお答えください。就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。（ ）内に数字をご記入ください。

1週当たり () 日	1日当たり () 時間
-------------	--------------

(1) - 2 (1) で「1. ~ 4.」（就労している）に○をつけた方にうかがいます。
家を出る時刻と帰宅時刻をお答えください。時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。時間（例）8時~18時のように、24時間制でお答えください。（ ）内に数字をご記入ください。

家を出る時刻 () 時	帰宅時刻 () 時
--------------	------------

(2) 父親【母子家庭の場合は記入は不要です】当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しており、
 育児・介護休業中ではない

2. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しているが、
 育児・介護休業中である

3. パート・アルバイト等（フルタイム）以外の就労）で就労しており、
 育児・介護休業中ではない

4. パート・アルバイト等（フルタイム）以外の就労）で就労しているが、
 育児・介護休業中である

5. 以前は就労していたが、現在は就労していない

6. これまで就労したことがない

【(2) - 1へ】

【問19へ】

(2) - 1 (2) で「1.～4.」（就労している）に○をつけた方にかかいます。

1週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間（残業時間を含む）」をお答えください。就労日数や就労時間が、一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。育児・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。（ ）内には数字でご記入ください。

1週当たり（ ）日 1日当たり（ ）時間

(2) - 2 (2) で「1.～4.」（就労している）に○をつけた方にかかいます。

家を出る時刻と帰宅時刻をお答えください。時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。育児・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。時間は、必ず（例）8時～18時のように、24時間制でお答えください。（ ）内には数字でご記入ください。

家を出る時刻（ ）時 帰宅時刻（ ）時

問18 問17の(1)または(2)で「3.」、「4.」（パート・アルバイト等で就労している）に○をつけた方にかかいます。該当しない方は、問20へお答えください。

フルタイムへの転換希望はありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

(1) 母親

1. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）への転換希望があり、実現できる見込みがある

2. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）への転換希望はあるが、実現できる見込みはない

3. パート・アルバイト等（フルタイム）以外の就労を続けることを希望

4. パート・アルバイト等（フルタイム）以外をやめて子育てや家事に専念したい

(2) 父親

1. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）への転換希望があり、実現できる見込みがある

2. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）への転換希望はあるが、実現できる見込みはない

3. パート・アルバイト等（フルタイム）以外の就労を続けることを希望

4. パート・アルバイト等（フルタイム）以外をやめて子育てや家事に専念したい

問19 問17の(1)または(2)で「5.以前は就労していたが、現在は就労していない」または「6.これまで就労したことがない」に○をつけた方にかかいます。該当しない方は、問20へお答えください。

就労したいという希望はありますか。当てはまる番号・記号それぞれ1つに○をつけ、該当する（ ）内には数字でご記入ください。

(1) 母親

1. 子育てや家事などに専念したい（就労の予定はない）

2. 1年より先、一番下の子どもが（ ）歳になったころに就労したい

3. すぐにも、もしくは1年以内に就労したい

→希望する就労形態

ア. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）

イ. パートタイム、アルバイト等（「ア」以外）

→1週当たり（ ）日 1日当たり（ ）時間

(2) 父親

1. 子育てや家事などに専念したい（就労の予定はない）

2. 1年より先、一番下の子どもが（ ）歳になったころに就労したい

3. すぐにも、もしくは1年以内に就労したい

→希望する就労形態

ア. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）

イ. パートタイム、アルバイト等（「ア」以外）

→1週当たり（ ）日 1日当たり（ ）時間

宛名のお子さんの地域の子育て支援事業の利用状況についてうかがいます。

問 22 宛名のお子さんは、現在、地域子育て支援拠点事業（親子が集まって過ごしたり、相談をしたり、情報提供を受けたりする場で、「子育て支援センター」と呼ばれています）を利用していますか。次の中から、利用されているものすべてに○をつけてください。また、おおよその利用回数（頻度）を（ ）内に数字でご記入ください。

1. 子育て支援センター事業（親子が集まって過ごしたり、相談をする場）
1週当たり（ ）回 もしくは 1か月当たり（ ）回程度
2. その他当該自治体で実施している類似の事業（亲身体）
1週当たり（ ）回 もしくは 1か月当たり（ ）回程度
3. 利用してはいない

問 23 問 22 のような地域子育て支援拠点事業について、今は利用していないが、できれば今後利用したい、あるいは、利用日数を増やしたいと思いませんか。当てはまる番号1つに○をつけて、おおよその利用回数（頻度）を（ ）内に数字でご記入ください。なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生する場合があります。

1. 利用していないが、今後利用したい
1週当たり（ ）回 もしくは 1か月当たり（ ）回程度
2. すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい
1週当たり 更（ ）回 もしくは 1か月当たり 更（ ）回程度
3. 新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない

問 24 下記の事業で知っているものや、これまでに利用したことがあるもの、今後、利用したいと思うものをお答えください。①～⑧の事業ごとに、A～Cのそれぞれについて、「はい」「いいえ」のいずれかに○をつけてください。なお、事業によっては、お住まいの地域で実施されていないものもあります。

	A 知っている		B これまでに利用したことがある		C 今後利用したい	
①母親父親教室（エンジョイ！マタニティ）	1. はい	2. いいえ	1. はい	2. いいえ	1. はい	2. いいえ
②育児支援教室（ぞうさんくらぶ）	1. はい	2. いいえ	1. はい	2. いいえ	1. はい	2. いいえ
③離乳食講習会	1. はい	2. いいえ	1. はい	2. いいえ	1. はい	2. いいえ
④1歳育児教室	1. はい	2. いいえ	1. はい	2. いいえ	1. はい	2. いいえ
⑤赤ちゃん健康相談	1. はい	2. いいえ	1. はい	2. いいえ	1. はい	2. いいえ
⑥親子相談	1. はい	2. いいえ	1. はい	2. いいえ	1. はい	2. いいえ
⑦かんたんクッキング	1. はい	2. いいえ	1. はい	2. いいえ	1. はい	2. いいえ
⑧就学に関する教育相談	1. はい	2. いいえ	1. はい	2. いいえ	1. はい	2. いいえ

宛名のお子さんの土曜・休日や長期休暇中の「定期的」な教育・保育事業の利用希望についてうかがいます。

問 25 宛名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、定期的な教育・保育の事業の利用希望がありますか（一時的な利用は除きます）。希望がある場合は、利用したい時間帯を、(例) 9時～18時のように 24 時間制でご記入ください。なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。

※保育・教育事業とは、幼稚園、保育所、認可外保育施設などの事業を指しますが、親族・知人による預りは含まれません。

- (1) 土曜日
1. 利用する必要はない
 2. ほぼ毎週利用したい } 利用したい時間帯
 3. 月に1～2回は利用したい () 時から () 時まで

- (2) 日曜・祝日
1. 利用する必要はない
 2. ほぼ毎週利用したい } 利用したい時間帯
 3. 月に1～2回は利用したい () 時から () 時まで

問 25-1 問 25 の (1) もしくは (2) で、「3. 月に1～2回は利用したい」に○をつけた方にかかっています。毎週ではなく、たまに利用したい理由は何か、当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 月に数回仕事が入るため
2. 平日に済ませられない用事をまとめて済ませるため
3. 親族の介護や手伝いが必要のため
4. 息抜きのため
5. その他 ()

問 26 「幼稚園」を利用されている方にかかいます。

宛名のお子さんについて、夏休み・冬休みなど長期の休暇期間中の教育・保育の事業の利用を希望しますか。希望がある場合は、利用したい時間帯を、(例) 9時～18時のように 24 時間制でご記入ください。なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。

1. 利用する必要はない
2. 休みの期間中、ほぼ毎日利用したい } 利用したい時間帯
3. 休みの期間中、週に数回利用したい () 時から () 時まで

問 26-1 問 26 で、「3. 休みの期間中、週に数回利用したい」に○をつけた方にかかいます。毎日ではなく、たまに利用したい理由は何か、当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 週に数回仕事が入るため
2. 買い物等の用事をまとめて済ませるため
3. 親等親族の介護や手伝いが必要のため
4. 息抜きのため
5. その他 ()

**宛名のお子さんの病気の療養の対応についてうかがいます。
(平日の教育・保育を利用する方のみ)**

問 27 平日の定期的な教育・保育の事業を利用してと答えた保護者の方(問 20 で「1.」に○をつけられた方)にうかがいます。利用していらっしゃらない方は、問 28 にお進みください。この1年間に、宛名のお子さんが病気がけがで通常の事業が利用できなかったことはありますか。

1. あった ---> 【問 27-1 へ】 2. なかった ---> 【問 28 へ】

問 27-1 宛名のお子さんが病気がけがで普段利用している教育・保育の事業が利用できなかった場合に、この1年間にを行った対処方法として当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれの日数も()内に数字でご記入ください。(半日程度の場合も1日とカウントしてください。)

1年間の対処方法	日数
ア 父親が休んだ	() 日
イ 母親が休んだ	() 日
ウ (同居者を含む) 親族・知人に子どもをみてもらった	() 日
エ 父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた	() 日
オ 病児・病後児の保育を利用した	() 日
カ ベビーシッターを利用した	() 日
キ ファミリー・サポート・センターを利用した	() 日
ク 仕方なく子どもだけで留守番をさせた	() 日
ク その他()	() 日

※「キ、ファミリー・サポート・センター」には、「病児・緊急対応強化事業」による利用も含まれます。

【問 27-5 へ】

【問 27-2 へ】

問 27-2 問 27-1 で「ア」「イ」のいずれかに○をつけた方にうかがいます。その際、「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思われますか。当てはまる番号 1 つに○をつけ、日数についても()内に数字でご記入ください。なお、病児・病後児のための事業等の利用には、一定の利用料がかかります。利用前にかかりつけ医の受診が必要となります。

1. できれば病児・病後児保育施設等を利用したい => () 日 ---> 【問 22-3 へ】
2. 利用したいとは思わない ---> 【問 22-4 へ】

問 27-3 問 27-2 で「1.」できれば病児・病後児保育施設等を利用したいに○をつけた方にうかがいます。上記の目的で子どもを預ける場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思われませんか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 他の施設(例：幼稚園・保育所等)に併設した施設で子どもを保育する事業
2. 小児科に併設した施設で子どもを保育する事業
3. 地域住民等が子育て家庭等の身近な場所で保育する事業(例：ファミリー・サポート・センター等)
4. その他()

---> 【問 28 へ】

問 27-4 問 27-2 で「2.」利用したいとは思わないに○をつけた方にうかがいます。その思われる理由について当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 病児・病後児を他人に看てもらえない不安
2. 地域の事業の質に不安がある
3. 地域の事業の利便性(立地や利用可能時間・日数など)がよくない
4. 利用料がかかる・高い
5. 利用料がわからない
6. 親が仕事を休んで対応する
7. その他()

---> 【問 28 へ】

問 27-5 問 27-1 で「ウ」から「ケ」のいずれかに○をつけた方にうかがいます。その際、「できれば父母のいずれかが仕事を休んで看みたい」と思われましたか。当てはまる番号 1 つに○をつけ、「ウ」から「ケ」の日数のうち仕事を休んで看たかった日数について()内に数字でご記入ください。

1. できれば仕事を休んで看たい => () 日 ---> 【問 28 へ】
2. 休んで看るのは非常に難しい ---> 【問 27-6 へ】

問 27-6 問 27-5 で「2.」休んで看るのは非常に難しいに○をつけた方にうかがいます。その思われる理由について当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 子どもの看護を理由に休みがとれない
2. 自営業なので休みがない
3. 休暇日数が足りないため休みがない
4. その他()

宛名のお子さんの不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用についてうかがいます。

問 28 宛名のお子さんについて、日中の定期的な保育や病気のため以外に、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で不定期に利用している事業がありますか。ある場合は、当てはまる番号すべてに○をつけ、1年間の利用日数(おおよそ)を()内に数字でご記入ください。

利用している事業	日数(年間)
1. 一時預かり (私用など理由を問わずに保育所などで一時的に子どもを保育する事業)	() 日
2. 幼稚園の預かり保育 (通常の就園時間を延長して預かる事業のうち不定期に利用する場合のみ)	() 日
3. ファミリー・サポート・センター(地域住民が子どもを預かる事業)	() 日
4. 夜間集護等事業：トワイライトステイ(児童養護施設等で休日・夜間、子どもを保護する事業)	() 日
5. ベビーシッター	() 日
6. その他()	() 日
7. 利用していない	() 日

【問 28-1 へ】

問 28-1 問 28 で「7. 利用していない理由は何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。
現在利用していない理由は何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 特に利用する必要がない
2. 利用したい事業が地域にない
3. 地域の事業の質に不安がある
4. 地域の事業の利便性（立地や利用可能時間・日数など）がよくない
5. 利用料がかかる・高い
6. 利用料がわからぬ
7. 自分が事業の対象者になるのかわからぬ
8. 事業の利用方法（手続き等）がわからぬ
9. その他（ ）

問 29 宛名のお子さんについて、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で、年間何日くらい事業を利用する必要があると思いますか。利用希望の有無について当てはまる番号・記号すべてに○をつけ、必要な日数をご記入ください（利用したい日数の合計と、目的別の内訳の日数を（ ）内に数字でご記入ください）。なお、これらの事業の利用にあたっては、一定の利用料がかかります。

利用したい	計（ ）日
ア 私用(買物、子ども(兄弟姉妹を含む)や親の習い事等、リフレッシュ目的)	()日
イ 冠婚葬祭、学校行事、子ども(兄弟姉妹を含む)や親の通院等	()日
ウ 不定期の就労	()日
エ その他()	()日

2. 利用する必要はない ---> 【問 30へ】

問 29-1 問 29 で「1. 利用したい」に○をつけた方にかかっています。問 29 の目的でお子さんを預ける場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思われませんか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 大規模施設で子どもを保育する事業（例：幼稚園・保育所等）
2. 小規模施設で子どもを保育する事業（例：地域子育て支援拠点等）
3. 地域住民等が子育て家族等の近くの場所で保育する事業（例：ファミリー・サポート・センター等）
4. その他（ ）

問 30 宛名のお子さんについて、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族（兄弟姉妹含む）の育児疲れや育児不安、病気など）により、泊りがけで年間何日くらい家族以外に預ける必要があると思いますか。利用希望の有無について当てはまる番号・記号すべてに○をつけ、必要な泊数をご記入ください。（利用したい泊数の合計と、目的別の内訳の泊数を（ ）内に数字でご記入ください）。なお事業の利用にあたっては、一定の利用料がかかります。

利用希望	目的	日数
1. 利用したい	計（ ）泊	()泊
ア 冠婚葬祭	()泊	()泊
イ 保護者や家族の育児疲れ	()泊	()泊
ウ 保護者や家族の病気	()泊	()泊
エ その他()	()泊	()泊

2. 利用する必要はない

こども誰でも通園制度についてうかがいます。

問 31 こども誰でも通園制度を利用したいですか。
※こども誰でも通園制度とは、親が働いていなくても、定められた月の利用時間の中で、時間単位で子どもを預けられる新たな通園制度です。現在は、国の試行期間において、0歳6か月から2歳までを対象とし、一人当たり「1月10時間」（1日中利用すれば月1回、午前12時から2時までとすれば毎週利用できる）を上限として行うこととされています。

1. はい ---> 【問 31-1へ】
2. いいえ ---> 【問 31-2へ】

問 31-1 問 31 で「1. はい」に○をつけた方にかかっています。
利用したい理由は何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 育児負担軽減のため
2. リフレッシュのため
3. 子どもに集団生活を体験させていたため
3. 通院や介護等を行うため
5. その他（ ）

問 31-2 問 31 で「2. いいえ」に○をつけた方にかかっています。
利用したくない理由は何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 家庭で保育しにくいから
2. 普段利用しない施設に預けることで子どもが不安を感じる懸念があるから
3. 試行期間の利用上限時間（月10時間）では足りないから
4. 一時預かり等その他の保育サービスを利用するから
5. その他（ ）

宛名のお子さんが9歳以上である方に、小学校就学後の放課後の過ごし方についてうかがいます。

問 32 宛名のお子さんについて、小学校低学年（1～3年生）のうち、放課後（平日の小学校終了後の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いませんか。当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれ希望する週当たり日数を数字でご記入ください。また、「学童保育」の場合には、利用を希望する時間も（ ）内に数字でご記入ください。時間は必ず（例）18時のように24時間制でご記入ください。

1. 自宅 週（ ）日くらい
2. 祖父母や友人・知人宅 週（ ）日くらい
3. 習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など） 週（ ）日くらい
4. 放課後子ども教室※1 週（ ）日くらい
5. 学童保育（児童コミュニティクラブ）※2 週（ ）日くらい
6. ファミリー・サポート・センター 週（ ）日くらい
7. その他（公民館、公園など） 週（ ）日くらい

※1 「放課後子ども教室」…地域の方々の協力を得て、放課後や週末に小学校や公民館で学習・スポーツ・文化芸術活動などを体験する取組です。保護者の就労の有無に関わらず、すべての小学生が利用できます。
※2 「学童保育」……地域によって放課後児童クラブなどと呼ばれる場合があります。保護者が就労等により居間家庭にいない場合に、指導員の下、子どもの生活の場を提供するものです。事業の利用にあたっては、一定の利用料がかかります。

問 33 宛名のお子さんについて、小学校高学年（4～6年生）になったら、放課後（平日の小学校終了後の）時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれの適当な日数を数字でご記入ください。また、「学童保育」の場合には、利用を希望する時間も（ ）内に数字でご記入ください。時間は必ず（例）18 時のように 24 時間制でご記入ください。

1. 自宅	週（ ）日くらゐ
2. 祖父母や友人・知人宅	週（ ）日くらゐ
3. 習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）	週（ ）日くらゐ
4. 放課後子ども教室	週（ ）日くらゐ
5. 学童保育（児童コミュニティクラブ）	週（ ）日くらゐ→ 下校時から（ ）時まで
6. ファミリー・サボート・センター	週（ ）日くらゐ
7. その他（公民館、公園など）	週（ ）日くらゐ

問 34 問 32 または問 33 で「6. 学童保育（児童コミュニティクラブ）」に○をつけた方いらっしゃいます。宛名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、学童保育の利用希望はありますか。事業の利用には、一定の利用料がかかります。

次の（1）、（2）のそれぞれについて、当てはまる番号1つに○をつけてください。また利用したい時間帯を、（ ）内に（例）9 時～18 時のように24 時間制でご記入ください。

（1）土曜日

1. 低学年（1～3年生）の間は利用したい	} 利用したい時間帯
2. 高学年（4～6年生）になっても利用したい	
3. 利用する必要はない	

（2）日曜・祝日

1. 低学年（1～3年生）の間は利用したい	} 利用したい時間帯
2. 高学年（4～6年生）になっても利用したい	
3. 利用する必要はない	

問 35 宛名のお子さんについて、お子さんの夏休み・冬休みなどの長期の休暇期間中の学童保育の利用希望はありますか。事業の利用には、一定の利用料がかかります。当てはまる番号1つに○をつけてください。また利用したい時間帯を、（ ）内に（例）9 時～18 時のように24 時間制でご記入ください。

1. 低学年（1～3年生）の間は利用したい	} 利用したい時間帯
2. 高学年（4～6年生）になっても利用したい	
3. 利用する必要はない	

すべての方に、育児休業や短時間勤務制度など職場の両立支援制度についてお聞きします。

問 36 宛名のお子さんが生まれた時、父母のいずれかもしくは双方が育児休業を取得しましたか。母親、父親それぞれについて、当てはまる番号1つに○をつけ、該当する（ ）内には数字でご記入ください。また、取得していない方はその理由をご記入ください。

母親（いずれかに○）	父親（いずれかに○）
1. 働いていなかった 2. 取得した（取得中である） 3. 取得していない ⇒ 取得していない理由（下から番号を選んでご記入ください）（いくつでも）	1. 働いていなかった 2. 取得した（取得中である） 3. 取得していない ⇒ 取得していない理由（下から番号を選んでご記入ください）（いくつでも）

1. 職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった 2. 仕事が忙しかった 3. （産休後）仕事に早く復帰したかった 4. 仕事に戻るのが難しそうだった 5. 昇給・昇格などが遅れそうだった 6. 収入減となり、経済的に苦しくなる 7. 保育所（園）などに預けることができた 8. 配偶者が育児休業制度を利用した 9. 配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえらるなど、制度を利用する必要がなかった 10. 子育てや家事に専念するため退職した 11. 職場に育児休業の制度がなかった（就業規則に定めがなかった） 12. 有期雇用のため育児休業の取得要件を満たさなかった 13. 育児休業を取得できるところを知らなかった 14. 産前産後の休暇（産前6週間、産後8週間）を取得できずを知らず、退職した 15. その他（ ）
--

問 36-1 子どもが原則1歳（保育所における保育の実施が行われないなど一定の要件を満たす場合は1歳6か月）になるまで育児休業給付が支給される仕組み、子どもが満3歳になるまでの育児休業等（法定の育児休業及び企業が法定を上回る期間設けた育児休業に準ずる措置）の期間について健康保険及び厚生年金保険の保険料が免除になる仕組みがありますが、そのことをご存じでしたか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 育児休業給付、保険料免除のいずれも知っていた 2. 育児休業給付のみ知っていた 3. 保険料免除のみ知っていた 4. 育児休業給付、保険料免除のいずれも知らなかった
--

問 36-2 問 36 で母親・父親が「2. 取得した（取得中である）」に○をつけた方にうかがいます。
該当しない方は、問 37へお進みください。

育児休業取得後、職場に復帰しましたか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

(1) 母親

1. 育児休業取得後、職場に復帰した	2. 現在も育児休業中である
3. 育児休業中に離職した	

(2) 父親

1. 育児休業取得後、職場に復帰した	2. 現在も育児休業中である
3. 育児休業中に離職した	

問 36-3 問 36-2 で「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」に○をつけた方にうかがいます。
育児休業から職場に復帰したのは、年度初めの保育所入所に合わせたタイミンングでしたか。
あるいはそれ以外でしたか。どちらか1つに○をつけてください。※年度初めの認可保
育所入所を希望して、1月～2月頃復帰して一時的に認可外保育所に入所した場合なども
「1.」に当てはまります。また、年度初めでの入所を希望して復帰したが、実際には希望
する保育所に入所できなかったという場合も「1.」を選択してください。

(1) 母親

1. 年度初めの入所に合わせたタイミンングだった	2. それ以外だった
--------------------------	------------

(2) 父親

1. 年度初めの入所に合わせたタイミンングだった	2. それ以外だった
--------------------------	------------

問 36-4 育児休業からは、「実際」にお子さんが何歳何か月のときに職場復帰しましたか。また、お
勤め先の育児休業の制度の期間内で、何歳何か月のときまで取り戻ったかどうか。()
内に数字でご記入ください。

(1) 母親

実際の取得期間 () 歳 () か月	希望 () 歳 () か月
----------------------	-----------------

(2) 父親

実際の取得期間 () 歳 () か月	希望 () 歳 () か月
----------------------	-----------------

問 36-5 お勤め先に、育児のために3歳まで休暇を取得できる制度があった場合、「希望」としては
お子さんが何歳何か月のときまで取り戻ったかどうか。()内に数字でご記入ください。

(1) 母親

() 歳 () か月

(2) 父親

() 歳 () か月

問 36-6 問 36-4 で実際の復帰と希望が異なる方にうかがいます。
希望の時期に職場復帰しなかった理由についてうかがいます。

(1) 「希望」より早く復帰した方 ※当てはまる番号すべてに○をつけてください。

①母親

1. 希望する保育所に入るため	2. 配偶者や家族の希望があったため
3. 経済的な理由で早く復帰する必要があった	4. 人事異動や業務の節目の時期に合わせるため
5. その他 ()	

②父親

1. 希望する保育所に入るため	2. 配偶者や家族の希望があったため
3. 経済的な理由で早く復帰する必要があった	4. 人事異動や業務の節目の時期に合わせるため
5. その他 ()	

(2) 「希望」より遅く復帰した方 ※当てはまる番号すべてに○をつけてください。

①母親

1. 希望する保育所に入れなかったため	2. 自分や子どもなどの体調が悪くなくなったため
3. 配偶者や家族の希望があったため	4. 職場の受け入れ態勢が整っていなかったため
5. 子どもをみてくれる人がいなかったため	
6. その他 ()	

②父親

1. 希望する保育所に入れなかったため	2. 自分や子どもなどの体調が悪くなくなったため
3. 配偶者や家族の希望があったため	4. 職場の受け入れ態勢が整っていなかったため
5. 子どもをみてくれる人がいなかったため	
6. その他 ()	

問 36-7 問 36-2 で「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」に○をつけた方にうかがいます。
育児休業からの職場復帰時には、短時間勤務制度を利用しましたか。当てはまる番号1つ
に○をつけてください。

(1) 母親

1. 利用する必要がなかった（フルタイムで働きたかった、もともと短時間勤務だった）
2. 利用した
3. 利用したが、利用しなかった（利用できなかった）

(2) 父親

1. 利用する必要がなかった（フルタイムで働きたかった、もともと短時間勤務だった）
2. 利用した
3. 利用したが、利用しなかった（利用できなかった）

子どもの権利についてうかがいます。

※子どもの権利とは、すべての子どもが心身ともに健康に育つために必要とされる権利です。子どもの権利条約では、「生きる権利」、「育つ権利」、「守られる権利」、「参加する権利」の4つが掲げられています。

問 38 あなたは、「子どもの権利」という言葉を知っていますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

- 1. 名前も内容も知っている
- 2. 名前は知っているが内容は知らなかった
- 3. 知らない

問 39 子どもの権利の中で特に大切だと思うことはどれですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- 1. 人種や性別、宗教などで差別されないこと
- 2. 障がいのある子が差別されないこと
- 3. 子どもが知りたくないことを隠さないこと
- 4. 暴力や言葉で傷つけないこと
- 5. 家族が仲良く一緒に過ごす時間をもつこと
- 6. 自分の考えを自由に言えること
- 7. 人と違う自分らしさが認められること
- 8. 自分の秘密が守られること
- 9. 自分のことは自分で決められること
- 10. 自由な時間をもつこと
- 11. 自由な呼びかけでグループを作り集まれること
- 12. 必要な情報を知ることや、参加する手助けを受けられること

問 40 あなたは、子育てをしていて、子どもからの意見や要望を聞き、それを取り入れるように意識をしたことはありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

- 1. 常にしている
- 2. ときどきしている
- 3. あまりしていない
- 4. まったくしていない

問 41 あなたは、以下のことについてのどのようなように思いますか。それぞれ当てはまる番号1つに○をつけてください。

子どもは権利の主体である	そう思う ←	1	2	3	→ そう思わない
あなたの周りには、子どもや若者の遊びや体験活動の機会や場が十分にある	そう思う ←	1	2	3	→ そう思わない
障害のある子ども・若者、発達に特性のある子ども・若者の地域社会への参加・包摂（インクルージョン）が推進されている	そう思う ←	1	2	3	→ そう思わない

ヤングケアラーについてうかがいます。

※ヤングケアラーとは、本来大人が担うと想定されている家事や家族の世話などを日常的に行っている子どものこと

問 42 あなたは、「ヤングケアラー」という言葉をこれまでに聞いたことがありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

- 1. 聞いたことがある、内容も知っている
- 2. 聞いたことはあるが、よく知らない
- 3. 聞いたことはない

問 36-7 で「3. 利用しなかったが、利用しなかった（利用できなかった）」に○をつけただ方にうかがいます。短時間勤務制度を利用しなかった（利用できなかった）理由は何か。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

(1) 母親

- 1. 職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった
- 2. 仕事が忙しかった
- 3. 短時間勤務にする給与が減額される
- 4. 短時間勤務にすると保育所の入所申請の優先順位が下がる
- 5. 配偶者が育児休業制度や短時間勤務制度を利用した
- 6. 配偶者が無職、祖父母等の親族にのみもたえるなど、子どもをみてくれる人がいた
- 7. 子育てや家事に専念するため退職した
- 8. 職場に短時間勤務制度がなかった（就業規則に定めがなかった）
- 9. 短時間勤務制度を利用できなかったことを知らなかった
- 10. その他 ()

(2) 父親

- 1. 職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった
- 2. 仕事が忙しかった
- 3. 短時間勤務にする給与が減額される
- 4. 短時間勤務にする保育所の入所申請の優先順位が下がる
- 5. 配偶者が育児休業制度や短時間勤務制度を利用した
- 6. 配偶者が無職、祖父母等の親族にのみもたえるなど、子どもをみてくれる人がいた
- 7. 子育てや家事に専念するため退職した
- 8. 職場に短時間勤務制度がなかった（就業規則に定めがなかった）
- 9. 短時間勤務制度を利用できなかったことを知らなかった
- 10. その他 ()

問 36-9 問 36-2 で「2. 現在も育児休業中である」に○をつけた方にうかがいます。宛名のお子さん1歳になったときに必ず利用できる事業があれば、1歳になるまで育児休業を取得しますか。または、預けられる事業があっても1歳になる前に復帰しますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

(1) 母親

- 1. 1歳になるまで育児休業を取得したい
- 2. 1歳になる前に復帰したい

(2) 父親

- 1. 1歳になるまで育児休業を取得したい
- 2. 1歳になる前に復帰したい

問 37 お住まいの地域における子育ての環境や支援への満足度について、当てはまる番号1つに○をつけてください。



2 小学生保護者

子育て支援に関するアンケート調査（就学児）

～調査の趣旨とご協力をお願い～

皆様には、日頃より町政にご理解とご協力をいただき誠にありがとうございます。
大井町では、平成 27 年 4 月に施行された「子ども・子育て支援新制度」に基づき、「大井町子ども・子育て支援事業計画」を策定し、子どもにとっての最善の利益を考え、みんな支えあうまちづくりをめざして、子ども・子育て支援に総合的に取り組んできました。ここで、近年の社会動向の変化などを踏まえ、これまでの計画を見直し、新たな「大井町子ども・子育て支援事業計画」を策定することになりました。
この調査は、計画策定の基礎資料とするため、町内にお住まいの小学生のお子さんがある世帯を対象に、ご協力をお願いさせていただきます。
つきましては、ご多忙のことと存じますが、皆様の率直なご意見、ご要望をお寄せくださいますようお願いいたします。なお、この調査は無記名であり、お答えいただいた内容は、施策の検討のみにご利用させていただきますので、回答者が特定されたり、他の目的に利用されることは一切ございません。この調査の目的を理解していただき、ご協力くださいますようお願いいたします。

令和6年7月

大井町

- ・ご回答は、できるかぎり宛名のお子さんの保護者をお願いしますが、ご家族の方や一緒にお住まいの方にもご協力いただきますようお願いいたします。
- ・調査票の質数が多くありますが、回答していただく方を限定している設問もありますので、最終頁までご回答くださいますようお願いします。
- ・番号を選ぶところでは、当ではまる項目の番号を、指定の教だけOで囲んでください。
- ・ご記入いただいた調査票は、同封いたしました返信用封筒に入れて、**7月31日（水）まで**にご返送ください。（切手は不要です。）
- ・調査内容についてご不明な点がございましたら、下記までお問い合わせください。
【お問い合わせ先】 大井町 子育て健康課 電話：0465-83-8012
FAX：0465-83-8016

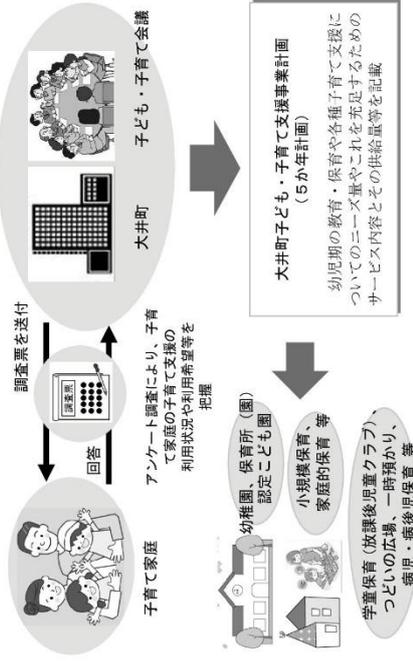
※「子ども・子育て支援新制度」の趣旨・考え方

- 子ども・子育て支援新制度は、急速な少子化の進行、家庭・地域を取り巻く環境の変化に対応して、子どもや保護者に必要な支援を行い、一人ひとりの子どもが健やかに成長することができる社会を築くことを目的としています。
- 子どもの成長においては、乳幼児期におけるしっかりとした愛着形成を基礎とした情緒の安定や他者への信頼感の醸成、幼児期における他者との関わりや基本的な生きる力の獲得、学童期における心身の健全な発達を通じて、一人ひとりがかけがえのない個性ある存在として認められるとともに、自己肯定感を持って育まれることが重要です。子ども・子育て支援新制度は、社会全体の責任として、そのような環境を整備することを目指しています。
- 子ども・子育て支援は、以上のような考え方をもとに、保護者には子育てについての第一義的責任があることを前提としつつ、保護者が子育てについての責任を果たすことや、子育ての権利を享受することが可能となるような支援を行うものです。
地域や社会が保護者に寄り添い、子育てに対する負担や不安、孤立感を和らげることを通じて、保護者が自己肯定感を持ちながら子どもと向き合える環境を整え、親としての成長を支援し、子育てや子どもの成長に喜びや生きがいを感じることができるよう支援を目指しています。

アンケート調査票に使われている用語の定義

- 子育て : 教育・保育その他の子どもの健やかな成長のために行われる支援
- 教育 : 家庭での教育を含めた広い意味で用いています

いただいたご回答は、地域の子育て支援の充実を生かされます。
ぜひご回答いただきますよう、お願い申し上げます。



お住まいの地域についてうかがいます。

問1 お住まいの地区（自治会）として当てはまる番号1つに○をつけてください。

- | | | | | |
|--------|---------|---------|-----------|--------|
| 1. 相和 | 2. 根岸上 | 3. 根岸下 | 4. 市場 | 5. 坊村 |
| 6. 馬場 | 7. 宮地 | 8. 吉原 | 9. 新徳 | 10. 河原 |
| 11. 金手 | 12. 西大井 | 13. 上大井 | 14. わからない | |

封筒の宛名のお子さんご家族の状況についてうかがいます。

問2 宛名のおさんの生年月月をご記入ください。() 内に数字でご記入ください。

平成()年()月生まれ

問3 宛名のおさんのきょうだいは何人いらっしゃいますか。宛名のおさんを含めた人数を()内に数字でご記入ください。お2人以上のおさんがいらっしゃる場合は、末子の方の生年月月をご記入ください。

きょうだい数()人 末子の生年月 令和・平成()年()月生まれ

問4 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。宛名のおさんからみられた関係でお答えください。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 母親 2. 父親 3. その他()

問5 この調査票にご回答いただいている方の配偶関係についてお答えください。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 配偶者がいる 2. 配偶者がいない

問6 宛名のおさんの子育て（教育を含む）を主に持っているのはどなたですか。お子さんからみられた関係で当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 父母ともに 2. 主に母親 3. 主に父親
4. 主に相父母 5. その他()

問7 お子さんと同居し、生計を同一にしているご家族の構成と人数をお答えください。単身赴任の方や学業のために世帯を離れているお子さんがいる場合には、ご家族の人数に含めて教えてください。(a～f)は、お子さんから見た続柄です。それぞれについて、当てはまる番号1つに○をしてください

a) 祖母	b) 祖父	c) 母親	d) 父親	e) 姉・兄	f) 妹・弟	g) その他	h) 合計 (あなたや対象のお子さんを含む)
0. いない	0. いない	0. いない	0. いない	0. いない	0. いない	0. いない	1. 2人
1. 1人	1. 1人	1. 1人	1. 1人	1. 1人	1. 1人	1. 1人	2. 3人
2. 2人	2. 2人	2. 2人	2. 2人	2. 2人	2. 2人	2. 2人	3. 4人
	対象のお子さん (本人)			1人			4. 5人
0. いない		0. いない	0. いない				5. 6人
1. 1人		1. 1人	1. 1人				6. 7人
2. 2人		2. 2人	2. 2人				7. 8人
3. 3人		3. 3人	3. 3人				8. 9人
4. 4人以上		4. 4人以上	4. 4人以上				9. 10人以上

問8 世帯全体のおおよその年間収入(税込)はいくらですか。当てはまる番号1つに○をつけてください。 ※令和5年の年間収入(生計を同一にしている家族全員の収入)についてお答えください。

- | | |
|--------------------|-------------------|
| 1. 50万円未満 | 2. 50万円～100万円未満 |
| 3. 100万円～150万円未満 | 4. 150万円～200万円未満 |
| 5. 200万円～250万円未満 | 6. 250万円～300万円未満 |
| 7. 300万円～350万円未満 | 8. 350万円～400万円未満 |
| 9. 400万円～450万円未満 | 10. 450万円～500万円未満 |
| 11. 500万円～600万円未満 | 12. 600万円～700万円未満 |
| 13. 700万円～800万円未満 | 14. 800万円～900万円未満 |
| 15. 900万円～1000万円未満 | 16. 1000万円以上 |

問9 あなたの世帯では、過去1年の間に、お金が足りなくて、家族が必要とする食料が買えないことがありましたか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. よくあった 2. ときどきあった
3. まれにあった 4. まったくなかった

問10 あなたの世帯では、過去1年の間に、お金が足りなくて、家族が必要とする衣服が買えないことがありましたか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. よくあった 2. ときどきあった
3. まれにあった 4. まったくなかった

問11 あなたの世帯では、過去1年の間に、以下の料金について、経済的な理由で支払えなかったことがありましたか。1～4については、当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 電気料金 2. ガス料金
3. 水道料金 4. 電話料金
5. あてはまるものはない

子どもの育ちをめぐる環境についてうかがいます。

問 12 日頃、宛名のお子さんをみてもらえる親族・知人はいいますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 日常的に祖父母等の親族にみてもらえる **【問 12-1へ】**
 2. 緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる
 3. 日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる **【問 12-2へ】**
 4. 緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる
 5. いずれもない **---▶ 【問 13へ】**

問 12-1 問 12 で「1.」または「2.」に○をつけた方にうかがいます。
 祖父母等の親族にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 祖父母等の親族の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる
 2. 祖父母等の親族の身体的負担が大きく心配である
 3. 祖父母等の親族の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である
 4. 自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい
 5. 子どもの教育や発達にどこまで心ざわしい環境であるか、少し不安がある
 6. その他 ()

問 12-2 問 12 で「3.」または「4.」に○をつけた方にうかがいます。
 友人・知人にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 友人・知人の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる
 2. 友人・知人の身体的負担が大きく心配である
 3. 友人・知人の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である
 4. 自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい
 5. 子どもの教育や発達にどこまで心ざわしい環境であるか、少し不安がある
 6. その他 ()

問 13 すべての方にうかがいます。宛名のお子さんの子育て（教育を含む）をする上で、気軽に相談できる人はいいますか。また、相談できる場所がありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. いる/ある **---▶ 【問 13-1へ】** 2. いない/ない **---▶ 【問 14へ】**

問 13-1 問 13 で「1. いる/ある」に○をつけた方にうかがいます。
 お子さんの子育て（教育を含む）に関して、気軽に相談できる先は、誰（どこ）ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 祖父母等の親族
 2. 友人や知人
 3. 近所の人
 4. 子育て支援センター・NPO
 5. 保健所・保健福祉センター
 6. 保育士
 7. 幼稚園教諭・小学校教諭
 8. 民生委員・児童委員
 9. かかりつけの医師
 10. 自治体の子育て（教育含む）関連担当窓口
 11. その他（例）ベビーシッター ()

問 14 子育て（教育を含む）をする上で、周囲（身近な人、行政担当者など）からどのようなサポートがあればよいとお考えでしょうか。ご自由にお書きください。

宛名のお子さんの保護者の就業状況についてうかがいます。

問 15 宛名のお子さんの保護者の現在の就業状況（自営業、家族従事者含む）をうかがいます。

（1）母親【父子家庭の場合は記入は不要です】当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就業）で就業しており、
 産休・育休・介護休業中ではない **【(1) - 1へ】**
 2. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就業）で就業しているが、
 産休・育休・介護休業中である
 3. パート、アルバイト等（「フルタイム」以外の就業）で就業しており、
 産休・育休・介護休業中ではない
 4. パート、アルバイト等（「フルタイム」以外の就業）で就業しているが、
 産休・育休・介護休業中である
 5. 以前は就業していたが、現在は就業していない **【(2)へ】**
 6. これまで就業したことがない

（1）-1 （1）で「1.～4.」（就業している）に○をつけた方にうかがいます。

1週当たりの「就業日数」、1日当たりの「就業時間（就業時間を指す）」をお答えください。就業日数や就業時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。（ ）内に数字をご記入ください。

1週当たり () 日 1日当たり () 時間

（1）-2 （1）で「1.～4.」（就業している）に○をつけた方にうかがいます。

家を出る時刻と帰宅時刻をお答えください。時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。時間には、必ず（例）8時～18時のように、24時間制でお答えください。（ ）内に数字をご記入ください。

家を出る時刻 () 時 帰宅時刻 () 時

(2) 父親【母子家庭の場合は記入は不要です】当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しており、
育児・介護休業中ではない
2. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しているが、
育児・介護休業中である
3. パート・アルバイト等（フルタイム）以外の就労）で就労しており、
育児・介護休業中ではない
4. パート・アルバイト等（フルタイム）以外の就労）で就労しているが、
育児・介護休業中である
5. 以前は就労していたが、現在は就労していない
6. これまで就労したことがない

【(2) - 1へ】

【問17へ】

(2) - 1 (2) で「1.～4.」(就労している)に○をつけた方にかがいます。
1週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就業時間（残業時間を含む）」をお答えください。就労日数や就労時間が、一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。育児・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。
() 内に数字をご記入ください。

1週当たり()日 1日当たり()時間

(2) - 2 (2) で「1.～4.」(就労していない)に○をつけた方にかがいます。
家を出る時刻と帰宅時刻をお答えください。時間がない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。育児・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。時間は、必ず(例)8時～18時のように、24時間制でお答えください。
() 内に数字をご記入ください。

家を出る時刻()時 帰宅時刻()時

問16 問15の(1)または(2)で「3.」「4.」(パート・アルバイト等で就労している)に○をつけた方にかがいます。該当しない方は、問17へお進みください。
フルタイムへの転換希望はありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

(1) 母親

1. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）への転換希望があり、実現できる見込みがある
2. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）への転換希望はあるが、実現できる見込みはない
3. パート・アルバイト等（フルタイム）以外の就労を続けることを希望
4. パート・アルバイト等（フルタイム）以外をやめて子育てや家事に専念したい

(2) 父親

1. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）への転換希望があり、実現できる見込みがある
2. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）への転換希望はあるが、実現できる見込みはない
3. パート・アルバイト等（フルタイム）以外の就労を続けることを希望
4. パート・アルバイト等（フルタイム）以外をやめて子育てや家事に専念したい

問17 問15の(1)または(2)で「5.」以前は就労していたが、現在は就労していないまたは「6.」
これまで就労したことがない)に○をつけた方にかがいます。該当しない方は、問18へお進
みください。
就労したいという希望はありますか。当てはまる番号・記号それぞれ1つに○をつけ、該当す
る() 内には数字をご記入ください。

(1) 母親

1. 子育てや家事などに専念したい（就労の予定はない）
2. 1年より先、一番下の子どもが()歳になったころに就労したい
3. すぐにも、もしくは1年以内に就労したい
→希望する就労形態
ア. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）
イ. パートタイム、アルバイト等（「ア」以外）
→1週当たり()日 1日当たり()時間

(2) 父親

1. 子育てや家事などに専念したい（就労の予定はない）
2. 1年より先、一番下の子どもが()歳になったころに就労したい
3. すぐにも、もしくは1年以内に就労したい
→希望する就労形態
ア. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）
イ. パートタイム、アルバイト等（「ア」以外）
→1週当たり()日 1日当たり()時間

宛名のお子さんの病気の態の対応についてうかがいます。

問18 この1年間に、宛名のお子さんが病気やけがで小学校を休まなければならなかったことはあり
ますか。

1. あった ---▶ 【問18-1へ】
2. なかった ---▶ 【問19へ】

問18-1 宛名のお子さんが病気やけがで小学校を休まなければならなかった場合に、この1年間に
行った対応方法として当てはまる記号すべてに○をつけ、それぞれの日数も() 内に
数字をご記入ください。(半日程度の対応の場合も1日とカウントしてください。)

1年間の対応方法		日数
ア	父親が休んだ	()日
イ	母親が休んだ	()日
ウ	(同居者を含む)親族・知人に子どもをみてもらった	()日
エ	父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた	()日
オ	病児・病後児の保育を利用した	()日
カ	ベビーシッターを利用した	()日
キ	ファミリー・サポート・センターを利用した	()日
ク	仕方なく子どもだけで留守番をさせた	()日
ケ	その他()	()日

※「キ・ファミリー・サポート・センター」には、「病児・緊急対応強化事業」による利用も含まれます。

【問18-5へ】

【問18-2へ】

宛名のお子さんの不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用についてうかがいます。

問 19 宛名のお子さんについて、日中の定期的な保育や病気のため以外に、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で不定期に利用している事業はありますか。ある場合は、当てはまる番号すべてに○をつけ、1年間の利用日数（おおよそ）を（ ）内に数字でご記入ください。

利用している事業	日数（年間）
1. ファミリー・サポート・センター（地域住民が子どもを預かる事業）	（ ）日
2. 夜間養護事業・トワイライトステイ（児童養護施設等で休日・夜間、子どもを保護する事業）	（ ）日
3. ベビーシッター	（ ）日
4. その他（ ）	（ ）日
5. 利用していない	（ ）日

【問 19-1】へ

問 19-1 問 19 で「5. 利用していない」に○をつけた方いらっしゃいます。現在利用していない理由は何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 特に利用する必要がない
2. 利用したい事業が地域にない
3. 地域の事業の質に不安がある
4. 地域の事業の利便性（立地や利用可能時間・日数など）がよくない
5. 利用料が分かる・高い
6. 利用料がわからぬ
7. 自分が事業の対象者になるのかわからない
8. 事業の利用方法（手続き等）がわからない
9. その他（ ）

問 20 宛名のお子さんについて、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で、年間何日くらい事業を利用する必要があると思いますか。利用希望の有無について当てはまる番号・記号すべてに○をつけ、必要な日数をご記入ください（利用したい日数の合計と、目的別の内訳の日数を（ ）内に数字でご記入ください。）なお、これらの事業の利用にあたっては、一定の利用料がかかります。

1. 利用したい	計（ ）日
ア 私用（賞物、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の習い事等、リフレッシュ目的）	（ ）日
イ 冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の通院等	（ ）日
ウ 不定期の就労	（ ）日
エ その他（ ）	（ ）日
2. 利用する必要はない	（ ）日

【問 21】へ

問 20-1 問 20 で「1. 利用したい」に○をつけた方いらっしゃいます。問 20 の目的でお子さんを預ける場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思われませんか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 大規模施設で子どもを保育する事業（例：幼稚園・保育所等）
2. 小規模施設で子どもを保育する事業（例：地域子育て支援拠点等）
3. 地域住民等が子育て家庭等の近くの場所で開催する事業（例：ファミリー・サポート・センター等）
4. その他（ ）

問 18-2 問 18-1 で「ア」「イ」のいずれかに○をつけた方いらっしゃいます。その際、「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思われましたか。当てはまる番号 1 つに○をつけ、日数についても（ ）内に数字でご記入ください。なお、病児・病後児のための事業等の利用には、一定の利用料がかかります。利用前にかかりつけ医の受診が必要となります。

1. できれば病児・病後児保育施設等を利用したい ⇒（ ）日 ---▶ **【問 18-3】へ**
2. 利用したいとは思わない ---▶ **【問 18-4】へ**

問 18-3 問 18-2 で「1. できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」に○をつけた方いらっしゃいます。上記の目的で子どもを預ける場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思われませんか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 他の施設（例：幼稚園・保育所等）に併設した施設で子どもを保育する事業
2. 小児科に併設した施設で子どもを保育する事業
3. 地域住民等が子育て家庭等の身近な場所で保育する事業（例：ファミリー・サポート・センター等）
4. その他（ ）

---▶▶ **【問 19】へ**

問 18-4 問 18-2 で「2. 利用したいとは思わない」に○をつけた方いらっしゃいます。そう思われる理由について当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 病児・病後児を他人に看ってもらうのは不安
2. 地域の事業の質に不安がある
3. 地域の事業の利便性（立地や利用可能時間・日数など）がよくない
4. 利用料が分かる・高い
5. 利用料がわからない
6. 親が仕事を休んで対応する
7. その他（ ）

---▶▶ **【問 19】へ**

問 18-5 問 18-1 で「ウ」から「ケ」のいずれかに○をつけた方いらっしゃいます。その際、「できれば父母のいずれかが仕事を休んで看りたい」と思われましたか。当てはまる番号 1 つに○をつけ、「ウ」から「ケ」の日数のうち仕事を休んで看った日数についても（ ）内に数字でご記入ください。

1. できれば仕事を休んで看たい ⇒（ ）日 ---▶ **【問 19】へ**
2. 休んで看ることは非常に難しい ---▶ **【問 18-6】へ**

問 18-6 問 18-5 で「2. 休んで看ることは非常に難しい」に○をつけた方いらっしゃいます。そう思われる理由について当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 子どもの看護を理由に休みがとれない
2. 自営業なので休めない
3. 休暇日数が足りないため休めない
4. その他（ ）

問 21 宛名のお子さんについて、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族（兄弟姉妹を含む）の育児疲れや育児不安、病氣など）により、泊りがけで年間何日くらい家族以外に預ける必要があるか、必要泊数を記入してください。（利用したい泊数の合計と、目的別の内訳の泊数を（ ）内に数字で記入してください。）なお事業の利用にあたっては、一定の利用料がかかります。

利用希望	目的	日数
1. 利用したい	計（ ）泊	計（ ）泊
	ア 冠婚葬祭	（ ）泊
	イ 保護者や家族の育児疲れ	（ ）泊
	ウ 保護者や家族の病氣	（ ）泊
	エ その他（ ）	（ ）泊
2. 利用する必要はない		

宛名のお子さんの放課後の過ごし方についてうかがいます。

問 22 宛名のお子さんについて、小学校低学年（1～3年生）のうち、放課後（平日の小学校終了後の）時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれ希望する通当たり日数を数字で記入してください。また、「学童保育」の場合には、利用を希望する時間も（ ）内に数字で記入してください。時間は必ず（例）18 時のように 24 時間制で記入してください。

1. 自宅 週（ ）日<5日
2. 祖父母や友人・知人宅 週（ ）日<5日
3. 習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など） 週（ ）日<5日
4. 放課後子ども教室※1 週（ ）日<5日
5. 学童保育（児童コミュニティクラブ）※2 週（ ）日<5日→下校時から（ ）時まで
6. ファミリー・サポート・センター 週（ ）日<5日
7. その他（公民館、公園など） 週（ ）日<5日

※1 「放課後子ども教室」…地域の方々の協力を得て、放課後や週末に小学校や公民館で学習・スポーツ、文化芸術活動などを体験する取組です。保護者の就労の有無に関わらず、すべての小学生が利用できます。

※2 「学童保育」…地域によって放課後児童クラブなどと呼ばれています。保護者が職労等により昼間家庭にいない場合などに、指導員の下、子どもの生活の場を確保するものです。事業の利用にあたっては、一定の利用料がかかります。

問 23 宛名のお子さんについて、小学校高学年（4～6年生）になったら、放課後（平日の小学校終了後の）時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれ希望する通当たり日数を数字で記入してください。また、「学童保育」の場合には、利用を希望する時間も（ ）内に数字で記入してください。時間は必ず（例）18 時のように 24 時間制で記入してください。

1. 自宅 週（ ）日<5日
2. 祖父母や友人・知人宅 週（ ）日<5日
3. 習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など） 週（ ）日<5日
4. 放課後子ども教室 週（ ）日<5日
5. 学童保育（児童コミュニティクラブ） 週（ ）日<5日→下校時から（ ）時まで
6. ファミリー・サポート・センター 週（ ）日<5日
7. その他（公民館、公園など） 週（ ）日<5日

問 24 問 22 または問 23 で「5. 学童保育（児童コミュニティクラブ）」に○をつけた方にうかがいます。宛名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、学童保育の利用希望はありますか。事業の利用には、一定の利用料がかかります。

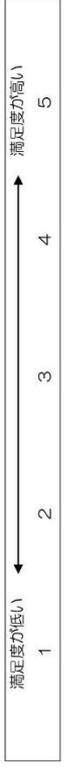
次の（1）、（2）のそれぞれについて、当てはまる番号1つに○をつけてください。また利用したい時間帯を、（ ）内に（例）9 時～18 時のように 24 時間制で記入してください。

- (1) 土曜日
1. 低学年（1～3年生）の間は利用したい } 利用したい時間帯
 2. 高学年（4～6年生）になっても利用したい } （ ）時から（ ）時まで
 3. 利用する必要はない
- (2) 日曜・祝日
1. 低学年（1～3年生）の間は利用したい } 利用したい時間帯
 2. 高学年（4～6年生）になっても利用したい } （ ）時から（ ）時まで
 3. 利用する必要はない

問 25 宛名のお子さんについて、お子さんの夏休み・冬休みなどの長期の休暇期間中の学童保育の利用希望はありますか。事業の利用には、一定の利用料がかかります。当てはまる番号1つに○をつけてください。また利用したい時間帯を、（ ）内に（例）9 時～18 時のように 24 時間制で記入してください。

1. 低学年（1～3年生）の間は利用したい } 利用したい時間帯
2. 高学年（4～6年生）になっても利用したい } （ ）時から（ ）時まで
3. 利用する必要はない

問 26 お住まいの地域における子育ての環境や支援への満足度について、当てはまる番号1つに○をつけてください。



子どもの権利についてうかがいます。

※子どもの権利とは、すべての子どもが心身ともに健康に育つために必要とされる権利です。子どもの権利条約では、「生きる権利」、「育つ権利」、「守られる権利」、「参加する権利」の4つが掲げられています。

問 27 あなたは、「子どもの権利」という言葉を知っていますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 名前も内容も知っている 2. 名前は知っているが内容は知らなかった
3. 知らない

問 28 子どもの権利の中で特に大切だと思うことはどれですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 人種や性別、宗教などで差別されないこと 2. 障がいのある子が差別されないこと
3. 子どもが知りたいことを隠さないこと 4. 暴力や言葉で傷つけないこと
5. 家族が仲良く一緒に過ごす時間をもつこと 6. 自分の考えを自由に言えること
7. 人と違う自分らしさが認められること 8. 自分の秘密が守られること
9. 自分のことは自分で決められること 10. 自由な時間をもつこと
11. 自由な呼びかけでグループを作り集まれること
12. 必要な情報を知ることや、参加する手助けを受けられること

問 29 あなたは、子育てをしていて、子どもからの意見や要望を聞き、それらを取り入れるように意識をしたことはありませんか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 常にしている 2. ときどきしている
3. あまりしていない 4. まったくしていない

問 30 あなたは、以下のことについてどのようになっていますか。それぞれ当てはまる番号1つに○をつけてください。

子どもは権利の主体である	そう思う	←	→	そう思わない
	1			3
あなたの周りには、子どもや若者の遊びや体験活動の機会や場が十分にある	そう思う	←	→	そう思わない
	1			3
障音のある子ども・若者、発達に特性のある子ども・若者の地域社会への参加・包容（インクルージョン）が推進されている	そう思う	←	→	そう思わない
	1			3

ヤングケアラーについてうかがいます。

※ヤングケアラーとは、本来大人が担うと想定されている家事や家族の世話などを日常的に行っている子どものこと

問 31 あなたは、「ヤングケアラー」という言葉をこれまでに聞いたことがありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 聞いたことがあり、内容も知っている 2. 聞いたことはあるが、よく知らない
3. 聞いたことはない

問 32 あなたの身近に、ヤングケアラーと思われる子どもがいる家庭がありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. ある 2. ない
3. わからない

問 32-1 問 32で「1. ある」に○をつけた方にかかっています。あなたはその家庭に対し、どのようなことをしましたか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 相談にのった 【問 32-2へ】
2. 町の窓口や相談機関等に相談した
3. 何もしなかった

問 32-2 問 32-1で「2. 町の窓口や相談機関等に相談した」に○をつけた方にかかっています。その相談先はどこですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 保育士、幼稚園の先生、学校の先生
2. 大井町子ども家庭センターころん（子育て健康課）
3. 民生・児童委員、主任児童委員
4. 教育相談（教育支援センターなど）
5. その他（ ）

大井町の子育て関連の取り組み全般についてうかがいます。

問 33 大井町における子育ての環境や支援への満足度・楽しさ・大変さ・子育てしやすさについて、それぞれ当てはまる番号1つに○をつけてください。

満足度が低い	←	→	満足度が高い
1			5
子育てが楽しくない	←	→	子育てが楽しい
1			5
子育てが大変と感ずる	←	→	子育てが大変と感ずらない
1			5
子育てしにくい	←	→	子育てしやすい
1			5

問 34 あなたは子育てに関する情報を主にどのように入手していますか。当てはまる番号3つまでに○をつけてください。

- | | |
|------------------|------------------|
| 1. 家族、友人 | 2. 保育園や学校からのお知らせ |
| 3. インターネット | 4. 町の広報 |
| 5. 保育園・幼稚園などの保護者 | 6. 健診時 |
| 7. 雑誌 | 8. 病院 |
| 9. 町内会等の自治組織 | 10. 町の窓口 |
| 11. その他 () | |

問 35 町に対して、どのような子育て支援の充実を図ってほしいと期待していますか。当てはまる番号3つまでに○をつけてください。

- | |
|--|
| 1. 手当の増額など、子育てのための経済的支援の充実 (具体的に:) |
| 2. 安心して子どもが医療機関を受診できる体制の整備 (具体的に:) |
| 3. 子どもの遊び場の拡充 (具体的に:) |
| 4. 保育園や幼稚園などの費用負担の軽減 |
| 5. 保育サービスの充実 (具体的に:) |
| 6. 子育て支援策に関する情報提供の拡充 |
| 7. 出産や不妊治療に対する経済的支援の充実 |
| 8. 残業の短縮等の実施など、男性も含めた働き方の見直し |
| 9. 男女共同参画意識と、男性の家事・育児への参加の促進 |
| 10. 安心して子育てができるための相談機関の充実 |
| 11. きめ細かなサービスの提供できるNPO等によるサービスの充実 (具体的に:) |
| 12. 町営住宅への多子世帯の優先入居や広い部屋の割り当てなどの住宅面の配慮 |
| 13. バリアフリー施設の整備など、子育てにやさしいまちづくり (具体的に:) |
| 14. 子どもを対象とした犯罪・事故の軽減による安全・安心のまちづくり |
| 15. 親子が気軽に集まれる身近な場、イベント等の機会の確保 (具体的に:) |

問 36 あなたは、これからも大井町で暮らしたいですか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

- | | |
|---------------|---------------------------|
| 1. 暮らしたい | 2. 別の場所ですらしてから、大井町に戻ってきたい |
| 3. 別の場所ですらしたい | |

問 37 あなたは、以下のことについてどのように思っていますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

子どももなか※社会の実現に向かっている	そう思う	←	→	そう思わない
	1			3
結婚、妊娠、子ども・子育てに温かい社会の実現に向かっている	そう思う	←	→	そう思わない
	1			3

※ 「子どももなか」…子どもや若者の意見を尊重し、その意見を尊重し、子どもや若者にとってよいことは何かを考え、自分ができるアクションを実践していきます。どんな子どもものことも考えていきます。

問 38 最後に、教育・保育環境の充実など子育ての環境や支援に関してご意見がありましたら、ご自由にご記入ください。

切手は貼らずに同封の封筒に入れて、7月31日(水)までにご返送ください。調査にご協力いただき、ありがとうございます。

3 小学生

おおいまち 大井町 子どものためのアンケート

大井町では、子どもや子育て中の方のために色々な取り組みを行っています。このアンケート調査は、皆さんがいつもどのように過ごしているか、周りの人に意見を伝えることについてどう思っているかなどを、皆さんから直接お聞きするものです。

これからの大井町を、皆さんがより過ごしやすいまちにするため、気持ちや考えを教えてください。

2024年7月 大井町

● 回答の仕方

下の例のように、あなたの考えに一番近い番号に○をつけてください。○の数は質問によって異なりますので、注意してください。また、どの番号にもあてはまらないと思ったら「その他」に○をつけて、うしろにあるカッコの中に内容をかいてください。

問 あなたが好きな食べ物を教えてください。あてはまるもの1つに○をつけてください。

- 1 りんご
 ③ その他 (ぶどう) 2 みかん

● 締切日

配布・回収用封筒に入れて、

7月16日(火)までに担任の先生にわたしてください。

● アンケートに関するお問い合わせ先...

内容についてわからないことがございましたら、お問い合わせください。

おおいまち 大井町 子育て健康課
 電話：0465-83-8012
 FAX：0465-83-8016

1 最初にあなた自身のことについてお聞きします。

問1 あなたは次のうちどれにあてはまりますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

- 1 小学3年生 2 小学5年生

2 「あなたの気持ち」についてお聞きします。

問2 あなたは、自分のことが好きですか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

- 1 好き 2 どちらかといえば好き
 3 どちらかといえば好きではない 4 好きではない

問3 あなたは、自分には良いところがあると思いますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

- 1 思う 2 だいたい思う 3 あまりそう思わない 4 思わない

問4 あなたは、まわりの人から大切にされていると思いますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

- 1 思う 2 だいたい思う 3 あまりそう思わない 4 思わない

問5 あなたは、自分の荷が守られ安心して暮らしていると思いますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

- 1 思う 2 だいたい思う 3 あまりそう思わない 4 思わない

3 困っていること、つらいことの相談についてお聞きします。

問6 困ったとき、つらいとき、あなたはだれに相談しますか。
あてはまるものに3つまでOをつけてください。

- 1 お父さん
- 2 お母さん
- 3 きょうだい
- 4 おじいさんやおばあさん
- 5 友だち
- 6 学校の先生
- 7 保健室の先生
- 8 スクールカウンセラー
- 9 塾や習いごとの先生
- 10 児童コミュニティクラブ・放課後教室の先生
- 11 クラブ活動の先生やコーチ
- 12 スマホやオンラインゲーム等で知り合った人
- 13 こども家庭センターまたは役場の人
- 14 その他 ()
- 15 相談できる人がいない
- 16 だれにも相談したくない
- 17 なやみがない

問7 あなたが今、「困っていること」や「悩んでいること」はどんなことですか。
あてはまるものすべてにOをつけてください。

- 1 学校の勉強のことについて
- 2 友だちとの関係について
- 3 家族のことについて
- 4 進路や将来のことについて
- 5 その他 ()
- 6 なやみがない

4 「あなたの意見を言うこと」についてお聞きします。

問8 おうちで、あなたの考えや思っていることを聞いてもらっているといますか。
あてはまるもの1つにOをつけてください。

- 1 思う
- 2 だいたい思う
- 3 あまりそう思わない
- 4 思わない

問9 聞いてもらった内容は何ですか。あてはまるものに2つまでOをつけてください。

- 1 塾や習いごとについて
- 2 旅行などの家族の行事について
- 3 家のルールについて
- 4 家の手伝いについて
- 5 友だちや周りの人のことについて
- 6 学校のことについて
- 7 進路・進学先について
- 8 その他 ()

問10 あなたは、親や家族の人にもっとあなたの意見を聞いてほしいと思うことはありませんか。
あてはまるもの1つにOをつけてください。

- 1 ある
- 2 ない
- 3 知りたいことがあるが言いえない (理由:)

問11 問10で、1にOをつけた人にお聞きします。

それはどんなことですか。
下の中からあてはまるものがあればすべてにOをしてください。

- 1 家族にとつて重要なことについて (家のルール・家の手伝い)
- 2 旅行など家族と遊ぶことについて
- 3 進路や進学などの将来のことについて
- 4 新聞やテレビの話題のことについて
- 5 友だちや周りの人のことについて
- 6 学校のことについて
- 7 その他 ()

問12 学校の中で、あなたの考えや思っていることを話せる人はいますか。
あてはまるもの1つにOをつけてください。

- 1 いる
- 2 いない

問13 伝えている内容は何ですか。あてはまるものに2つまでOをつけてください。

- 1 クラブ活動 (内容・進め方) について
- 2 委員会の活動について
- 3 学習の仕方、学校のルールについて
- 4 学校の施設について
- 5 学習発表会、運動会、遠足などの学校行事について
- 6 友だちや周りの人のことについて
- 7 家族のことについて
- 8 進路や将来のことについて
- 9 その他 ()

問14 大井町では、まちを良くするために、みなさんが利用する施設やサービスについて、みなさんの意見をとりいれていきたいと考えています。あなたは、大井町に対して、自分の意見や思いを伝えたいと思いますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

- 1 思う
2 どちらかといえば思う
3 あまりそう思わない
4 思わない
5 わからない

問14で、1と2に○をつけた人にお聞きします。
問15 大井町に対して、どんなことを伝えたいですか。次の中から、あてはまるもの3つに○をつけてください。(あてはまるものが、1つまたは2つだけでもかまいません。)

- 1 自分の住む地域で起きている問題に関すること
2 公園や図書館などを使ったためのルールに関することや使いやすく作りかえること
3 新しく建てることなど
4 家の周りの生活環境(住んでいる場所やまちの風景など)に関すること
5 社会問題(公園のこみが片付けないことや学校のいじめ)に関すること
6 学校生活に関すること
7 家族に関すること
8 その他()

問16 どのような方法や手段があれば、大井町に意見を伝えやすいと思いますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

- 1 ライン(LINE)などのチャット
2 メール
3 インターネットのフォーム
4 インスタグラム(Instagram)やエックス(X)、ティックトック(TikTok)などのソーシャル・ネットワーク・サービス
5 ユーチューブ(YouTube)などの動画投稿
6 電話
7 手紙
8 アンケート用紙に記入する
9 同じ年代の人が集まるグループで意見を言い合う
10 たくさんの人の前で意見を発表する
11 インタビュー
12 わからない
13 その他()

5 あなたの生活のことについてお聞きします。

問17 あなたには、遊んだり休んだり、自分の好きなことをしたりする時間はたくさんありますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

- 1 ある
2 ときどきある
3 あまりない
4 ない

問17で、3、4に○をつけた人にお聞きします。

問18 遊んだり休んだり、自分の好きなことをしたりする時間がたくさんない理由は何ですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

- 1 クラブ活動
2 委員会・活動
3 塾や習いごと
4 学校の宿題・勉強
5 家族の世話(介護)
6 家事や手伝い
7 おこづかいがない
8 通院
9 地域の行事・ボランティア活動
10 その他()

問19 あなたは「ヤングケアラー」ということを知っていますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

※ ヤングケアラーとは、お世話が必用な家族のために、大人がするような家事や仕事をしている子どものことをいいます。たとえば、病気の家族のために家事をしたり、家族を支えるためにお金を稼いでいたりする子どもです。

- 1 ことばも内容も知っている
2 ことばは聞いたことがある
3 知らない

問20 家族の中にあなたがお世話をしている人はいますか。(ここでいう「お世話」とは、大人が行うような家事や家族のお世話を指します)。あてはまるもの1つに○をつけてください。

- 1 いる
2 いない

問20で、1に○をつけた人にお聞きします。

問21 お世話をしていることで、以下のような経験をされたことはありますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

- 1 学校を休んでしまう
2 学校に遅刻や早退をしてしまう
3 宿題など勉強をする時間がない
4 眠る時間が足りない
5 友だちと遊ぶことができない
6 習いごとができない
7 自分の時間が取れない
8 その他()
9 待たない

問22 あなたにとって、ホッとできる場所はどこですか。
あてはまるものすべてに○をつけてください。

- | | | |
|----|----------------------------|--|
| 1 | 自分の部屋など、家で一人で行られる場所 | |
| 2 | リビングなどで家で家族といられる場所 | |
| 3 | 友だちの家 | |
| 4 | おじいさんやおばあさんの家 | |
| 5 | 親せきの家 | |
| 6 | 学校の教室 | |
| 7 | 学校の保健室 | |
| 8 | クラブ活動・塾・ピアノ・スポーツなどの習いごとの教室 | |
| 9 | 児童コミュニケーションクラブ・放課後教室 | |
| 10 | 図書館、公民館など公共の施設 | |
| 11 | 公園、山や川など自然のある場所 | |
| 12 | ゲームセンター、カラオケボックスなどのお店 | |
| 13 | コンビニエンスストア、ファストフードなどのお店 | |
| 14 | その他 () | |
| 15 | ホッとできる場所はない | |

問23 あなたは、あなたの生活に満足していますか。10段階の中でお答えください。
あてはまるもの1つに○をつけてください。

満足していない									満足している
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10

6 あなたの将来についてお聞きします。
あなたは、自分の将来について希望を持っていますか。
あてはまるもの1つに○をつけてください。

- | | | | |
|---|---------------|---|---------------|
| 1 | 希望がある | 2 | どちらかといえば希望がある |
| 3 | どちらかといえば希望がない | 4 | 希望がない |

問25 あなたは、将来、つぎたい仕事はありますか。
あてはまるもの1つに○をつけてください。

- | | |
|---|------------------|
| 1 | ある () |
| 2 | いくつかあるが、まだ決めていない |
| 3 | まだわからない |

問26 将来のために、今やっている（やろうと思う）ことはありますか。
あてはまるものすべてに○をつけてください。

- | | |
|---|------------------------------|
| 1 | 学校の勉強をしっかりとやる（やっている） |
| 2 | 苦手な科目の勉強をしっかりとやる（やっている） |
| 3 | 学校で習ったことをもとめて自分で調べてみる（調べている） |
| 4 | 興味のあることを自分で調べてみる（調べている） |
| 5 | 塾や習いごとをいっしょけんめいやる（やっている） |
| 6 | その他 () |
| 7 | 特にやっていない |

問27 おとなになっても住みたいまちはどこですか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

- | | | | |
|---|---------------|---|-----------------|
| 1 | 大井町に住みたい | 2 | 神奈川県内の別の場所に住みたい |
| 3 | 神奈川県外の場所に住みたい | 4 | 日本以外の国に住みたい |
| 5 | わからない | | |

7 その他についてお聞きします。

問28 あなたは「子どもの権利」を知っていますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。
※ 「子どもの権利」とは、すべての子どもが、そのいのちを守られ、すこやかに、自分らしく、安心して、すごすことができるために世界中で広められている考えです。たとえば、子どもには、次のような「権利」があるとされています。

- ① 生きる権利…住む場所や食べ物がある。産里ようが受けられる。命が守られる。
- ② 育つ権利…教育が受けられる。持っている能力を伸ばせる。
- ③ 守られる権利…きやくだたいを受けない。労働を強要されない。華せまうはわれない。
- ④ 参加する権利…自分の意見を自由に言える。

- | | | | |
|---|-------------|---|--------------------|
| 1 | 名前も内容も知っている | 2 | 名前は知っているが内容は知らなかった |
| 3 | 知らなかった | | |

問29 あなたが、大井町や大人に「やってほしいこと」や「こんなことができたらいいな」と思うことがあったら、自由に書いてください。

調査にご協力いただき、ありがとうございます。

配布・回収用封筒に入れて7月16日（火）までに担任の先生にわたしてください。

おおいまち 大井町 子どものためのアンケート

大井町では、子どもや子育て中の方のために色々な取り組みを行っています。このアンケート調査は、皆さんがいつものように過ごしているか、周りの人に意見を伝えることについてどう思っているかなどを、皆さんから直接お聞きするものです。

これからの大井町を、皆さんがより過ごしやすいまちにするため、気持ちや考えを教えてください。

2024年7月 大井町

● 回答の仕方

下の例のように、あなたの考えに一番近い番号に○をつけてください。
○の数は質問によって異なりますので、注意してください。
また、どの番号にもあてはまらないと思ったら「その他」に○をつけて、うしろにあるカッコの中に内容をかいてください。

問 あなたの好きな食べ物を教えてください。あてはまるもの1つに○をつけてください。

- 1 りんご
- ③ その他 (ぶどう)
- 2 みかん

● 締切日 7月19日(金)

配布・回収用封筒に入れて、昇降口の回収箱に入れてください。
または、二次元コードを読み取り、インターネットから回答してください。



←こちらから回答してください

● アンケートに関するお問い合わせ先

内容についてわからないことがございましたら、お問い合わせください。
大井町 子育て健康課 電話：0465-83-8012
FAX：0465-83-8016

1 「あなたの気持ち」についてお聞きします。

問1 あなたは、自分のことが好きですか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

- 1 好き
- 2 どちらかかといえば好き
- 3 どちらかかといえば好きではない
- 4 好きではない

問2 あなたは、自分には良いところがあると思いますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

- 1 思う
- 2 だいたい思う
- 3 あまりそう思わない
- 4 思わない

問3 あなたは、まわりの人から大切にされていると思いますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

- 1 思う
- 2 だいたい思う
- 3 あまりそう思わない
- 4 思わない

問4 あなたは、自分の命が守られ安心して暮らしていると感じますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

- 1 思う
- 2 だいたい思う
- 3 あまりそう思わない
- 4 思わない

2 困っていること、つらいことの相談についてお聞きします。

問5 困ったとき、つらいとき、つらいとき、あなたはだれに相談しますか。あてはまるものに3つまで○をつけてください。

- 1 お父さん
- 2 お母さん
- 3 きょうだい
- 4 おじいさんやおばあさん
- 5 友だち
- 6 学校の先生
- 7 保健室の先生
- 8 スクールカウンセラー
- 9 部活動の先生・コーチ
- 10 塾やピアノ・スポーツなどの習いごとの先生・コーチ
- 11 スマホやオンラインゲーム等で知り合った人
- 12 子ども家庭センターまたは役場の人
- 13 その他 ()
- 14 相談できる人がいない
- 15 だれにも相談したくない
- 16 なやみがない

問6 あなたが今、「困っていること」や「悩んでいること」はどんなことですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

- 1 友達や将来の友達について
- 2 学校の勉強のことで
- 3 友だちとの関係について
- 4 家族のことで
- 5 その他 ()
- 6 なやみがない

3 「あなたの意見を言うこと」についてお聞きします。

問7 おうちで、あなたの考えや思っていることを聞いてもらっていると思いますが、あてはまるもの1つに○をつけてください。

- 1 思う
- 2 だいたいそう思う
- 3 あまりそう思わない
- 4 思わない

問7で、1、2に○をつけた人にお聞きします。

問8 聞いてもらった内容は何か。あてはまるものに2つまで○をつけてください。

- 1 進路・進学先について
- 2 塾・ピアノ・スポーツなどの習いごとについて
- 3 旅行などの家族の行事について
- 4 家のルールについて
- 5 家の手伝いについて
- 6 友だちや周りの人のことについて
- 7 学校のことについて
- 8 その他 ()

問9 あなたは、親や家族の人にもっとあなたの意見を聞いてほしいと思うことはありますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

- 1 ある
- 2 ない
- 3 いたいことがあるがいない (理由:)

問9で、1に○をつけた人にお聞きします。

問10 それはどんなことですか。

下の中からあてはまるものがあればすべてに○をしてください。

- 1 家族にとつて重要なことについて (家のルール・家の手伝い)
- 2 旅行など家族と遊ぶことについて
- 3 進路や進学などの将来のことについて
- 4 新聞やテレビの話題のことについて
- 5 友だちや周りの人のことについて
- 6 学校のことについて
- 7 その他 ()

問11 学校の中で、あなたの考えや思っていることを話せる人はいますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

- 1 いる
- 2 いない

問11で、1に○をつけた人にお聞きします。

問12 伝えている内容は何か。あてはまるものに2つまで○をつけてください。

- 1 部活動について
- 2 塾・ピアノ・スポーツなどの習いごとについて
- 3 生徒会の活動について
- 4 学習の仕方、学校のルールについて
- 5 学校の施設について
- 6 文化祭や活動発表会、体育祭、遠足などの学校行事について
- 7 友だちや周りの人のことについて
- 8 家族のことについて
- 9 進路や将来のことについて
- 10 その他 ()

問13 大井町では、まちを良くするために、みなさんが利用する施設やサービスについて、みなさんの意見をとりいれたいと考えています。あなたは、大井町に対して、自分の意見や思いを伝えたいと思いますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

- 1 思う
- 2 どちらかといえばそう思う
- 3 あまりそう思わない
- 4 思わない
- 5 わからない

問13で、1と2に○をつけた人にお聞きします。

問14 大井町に対して、どんなことを伝えたいですか。次の中から、あてはまるもの3つに○をつけてください。(あてはまるものが、1つまたは2つだけでもかまいません。)

- 1 自分の住む地域で起きている問題に関する事
- 2 公園や図書館などを使うためのルールに関することや使いやすさ作りかえること、新しく建てることなど
- 3 家の周りの生活環境 (住んでいる場所やまちの風景など) に関する事
- 4 社会問題 (公園のごみが片付けられないことや学校のいじめ) に関する事
- 5 学校生活に関する事
- 6 家族に関する事
- 7 自分の将来や進路に関する事
- 8 その他 ()

問15 どのような方法や手段があれば、大井町に意見を伝えやすいと思いますか。
あてはまるものすべてに○をつけてください。

- 1 ライン (LINE) などのチャット
- 2 メール
- 3 インターネットのフォーム
- 4 インスタグラム (Instagram) やエックス (X)、ティックトック (TikTok) などのソーシャル・ネットワーク・サービス
- 5 ユーチューブ (YouTube) などの動画投稿
- 6 電話
- 7 手紙
- 8 アンケート用紙に記入する
- 9 同じ年代の人が集まるグループで意見を言い合う
- 10 たくさんの人の前で意見を発表する
- 11 インタビュー
- 12 わからない
- 13 その他 ()

4 あなたの生活のことについてお聞きします。

問16 あなたには、遊んだり休んだり、自分の好きなことをしたりする時間は、たくさんありますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

- 1 ある
- 2 とんどさある
- 3 あまりない
- 4 ない

問16で、3、4に○をつけた人にお聞きします。

問17 遊んだり休んだり、自分の好きなことをしたりする時間が、たくさんない理由は何ですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

- 1 部活動
- 2 生徒会の活動
- 3 塾・ピアノ・スポーツなどの習いごとの教室
- 4 学校の宿題・勉強
- 5 家族の世話 (介護)
- 6 家事や手伝い
- 7 おこづかいがない
- 8 通院
- 9 地域の行事・ボランティア活動
- 10 その他 ()

問18 あなたは「ヤングケアラー」ということを知っていますか。
あてはまるもの1つに○をつけてください。

※ ヤングケアラーとは、お世話が必要な家族のために、大人がするような家事や仕事をしている子どものことです。たとえば、病気の家族のために家事をしたり、家族を支えるためにお金を稼いでいたりする子どもです。

- 1 ことばも内容も知っている
- 2 ことばは聞いたことがある
- 3 知らない

問19 家族の中にあなたがお世話をしている人はいますか。(ここでいう「お世話」とは、大人が行うような家事や家族のお世話を指します。)

あてはまるもの1つに○をつけてください。

- 1 いる
- 2 いない

問19で、1に○をつけた人にお聞きします。

問20 お世話をしていることで、以下のような経験をしたことはありますか。
あてはまるものすべてに○をつけてください。

- 1 学校を休んでしまう
- 2 学校に遅刻や早退をしよう
- 3 宿題など勉強をする時間がない
- 4 眠る時間が足りない
- 5 友だちと遊ぶことができない
- 6 習いごとができない
- 7 自分の時間が取れない
- 8 その他 ()
- 9 特になし

問21 あなたにとって、ホッとできる場所はどこですか。
あてはまるものすべてに○をつけてください。

- 1 自分の部屋など、家で一人で行られる場所
- 2 リビングなど家で家族といられる場所
- 3 友だちの家
- 4 おじいさんやおばあさんの家
- 5 親せきの家
- 6 学校の教室
- 7 学校の保健室、相談室 (S・C室)
- 8 部活動
- 9 塾・ピアノ・スポーツなどの習いごとの教室
- 10 図書館、公民館など公共の施設
- 11 公園、山や川など自然のある場所
- 12 ゲームセンター、カラオケボックスなどのお店
- 13 コンビニエンスストア、ファストフードなどのお店
- 14 その他 ()
- 15 ホットとできる場所はない

問22 あなたは、あなたの生活に満足していますか。10段階の中でお答えください。
あてはまるもの1つに○をつけてください。

満足していない									満足している
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10

5 あなたの将来についてお聞きします。

問23 あなたは、自分の将来について希望を持っていますか。
あてはまるもの1つに○をつけてください。

- 1 希望がある
- 2 どちらかといえば希望がある
- 3 どちらかといえば希望がない
- 4 希望がない

問24 あなたは、将来、つきたい仕事はありますか。
あてはまるもの1つに○をつけてください。

- 1 ある ()
- 2 いくつかあるが、まだ決めていない
- 3 まだわからない

問25 将来のために、今やっている(やろうと想う)ことはありますか。
あてはまるものすべてに○をつけてください。

- 1 学校の勉強をしつかりやる (やっている)
- 2 苦手な科目の勉強をしつかりやる (やっている)
- 3 学校で習ったことをもっと自分で調べてみる(調べている)
- 4 興味のあることを自分で調べてみる(調べている)
- 5 塾や習いごとをいつししようけんめいやる (やっている)
- 6 その他 ()
- 7 特にやっていない

問26 おとなになって住みたいまちはどこですか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

- 1 大井町に住みたい
- 2 神奈川県内の別の場所に住みたい
- 3 神奈川県外に住みたい
- 4 日本以外の国に住みたい
- 5 わからない

6 その他についてお聞きします。

問27 あなたは「子どもの権利」を知っていますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

※ 「子どもの権利」とは、すべての子どもが、そのいのちを守られ、すこやかに、自分らしく、安心して、すこすことのできるために世界中で広められている考え方です。たとえば、子どもには、次のような「権利」があるとされています。

- ① 生きる権利…住む場所や食べ物がある。病気よすが受けられる。命が守られる。
- ② 育つ権利…教育を受けられる。持っている能力を伸ばせる。
- ③ 守られる権利…ぎやくだきたいを受けない。労働を強要されない。幸せをうけとれない。
- ④ 参加する権利…自分の意見を自由に言える。

- 1 名前も内容も知っている
- 2 名前は知っているが内容は知らなかった
- 3 知らなかった

問28 あなたが、大井町や大人に「やってほしいこと」や「こんなことができたらいいな」と思うことがあったら、自由に書いてください。

調査にご協力いただき、ありがとうございます。

配布・回収用封筒に入れて7月19日(金)までに昇降口の回収箱に入れてください。

または、二次元コードを読み取り、インターネットから回答してください。



↑こちらから回答してください

1 「あなたの気持ち」についてお聞きします。

問1 あなたは、自分のことが好きですか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

1 好き	2 どちらかといえは好き
3 どちらかといえは好きではない	4 好きではない

問2 あなたは、自分には良いところがあると思いますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

1 思う	2 だいたいと思う	3 あまりそう思わない	4 思わない
------	-----------	-------------	--------

問3 あなたは、まわりの人から大切にされていると思いますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

1 思う	2 だいたいと思う	3 あまりそう思わない	4 思わない
------	-----------	-------------	--------

問4 あなたは、自分の命が守られ安心して暮らしていると思いますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

1 思う	2 だいたいと思う	3 あまりそう思わない	4 思わない
------	-----------	-------------	--------

問5 あなたが、「今夢中になっていること」や「やりがいを感じていること」は何ですか。あてはまるものに3つまで○をつけてください。「今夢中になっていること」や「やりがいを感じていること」がない場合は17に○をつけてください。

1 学校の勉強	2 学校のクラブ活動・部活動
3 学校の委員会活動や生徒会活動	4 学校の運動会・体育大会などの運動行事
5 学校の発表会・文化祭などの文化行事	
6 地域のスポーツ活動（サッカー・野球・剣道など）	
7 おけいこ・習いごと（水泳・楽器・習字・絵画・バレエなど）	
8 塾の勉強	9 ボランティア活動
10 地域の子ども会活動	11 読書
12 友だちとの遊びや活動	13 パソコンやインターネットなど
14 一人でするゲーム	15 家の手伝い
16 仕事・アルバイト	
17 今夢中になっていること、やりがいを感じていることはない	

問5で、17に○をつけた人にお聞きします。

問6 その理由はなんですか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

1 学校がいそがしいため	2 塾や習いごとがいそがしいため
3 病院へ通院しているため時間が無い	4 家族の世話をしているため、できない
5 特に理由はない	6 わからない
7 その他（ ）	

大井町 こどものアンケート

アンケートへの協力をお願い

大井町では、こどもや子育て中の方のために色々な取り組みを行っています。このアンケート調査は、皆さんがいつもどおのようになっているか、周りの人に意見を伝えることについてどう思っているかなどを、皆さんから直接お聞きが出来るものです。これからの大井町を、皆さんがより過ごしやすいまちにするため、気持ちや考えを教えてください。

2024年7月 大井町

● どうしてアンケートをするの？

大井町では、皆さんから聞いた意見を大切に、皆さんにとって最もよいことは何かを考えて、それを実行していきたいと思っています。

2023年4月に「こども基本法」という法律が作られました。この法律は“すべてのこどもや若者が将来にわたって幸せな生活ができる社会を実現する”ために作られたものです。

この法律では、国や県、市町などがこどもや若者に関する取り組みを進めていくときには、こどもや若者の皆さんが意見を言える場所や仕組みづくりを行うように決められています。

● アンケート結果はどうするの？

こどもや子育て中の方のための計画である『第2期大井町子ども・子育て支援事業計画』を新しくつくりかえるための参考にしたいと思っています。他にも、これから大井町で行う、こどもや若者に関する取り組みに反映していきます。

● アンケート回答方法・締切日

番号を選ぶところでは、あてはまる項目の番号を、指定の数だけ○で囲んでください。記入いただいた調査票は、同封いたしました返信用封筒に入れて、7月31日(水)までに返送ください。(切手は不要です。)

● アンケートに関するお問い合わせ先

調査内容についてご不明な点がございましたら、下記までお問い合わせください。
大井町 子育て健康課 電話：0465-83-8012
FAX：0465-83-8016

2 困っていること、つらいことの相談についてお聞きします。

問7 困ったとき、つらいとき、あなただけに相談しますか。
あてはまるものに3つまで○をつけてください。

- 1 お父さん
- 2 お母さん
- 3 きょうだい
- 4 おじいさんやおばあさん
- 5 友だち
- 6 学校の先生
- 7 保健室の先生
- 8 スクールカウンセラー
- 9 塾や習いごとの先生
- 10 部活動やクラブ活動などの先生・コーチ
- 11 スマホやオンラインゲーム等で知り合った人
- 12 こども家庭センターまたは役場の人
- 13 職場の人
- 14 その他 ()
- 15 相談できる人がいない
- 16 だれにも相談したくない
- 17 なやみがない

問8 あなたが今、「困っていること」や「悩んでいること」はどんなことですか。
あてはまるものすべてに○をつけてください。

- 1 進路や将来のことについて
- 2 学校の勉強のことについて
- 3 友だちとの関係について
- 4 家族のことについて
- 5 その他 ()
- 6 なやみがない

3 「あなたの意見を言う機会」についてお聞きします。

問9 家庭で、あなたの考えや思っていることを聞いてもらっていると思いますか。
あてはまるもの1つに○をつけてください。

- 1 思う
- 2 だいたいそう思う
- 3 あまりそう思わない
- 4 思わない

問9で、1、2に○をつけた人にお聞きします。

問10 聞いてもらった内容は何ですか。あてはまるものに2つまで○をつけてください。

- 1 進路・進学先について
- 2 塾や習いごとについて
- 3 旅行などの家族の行事について
- 4 家のルールについて
- 5 家の手伝いについて
- 6 友だちや周りの人について
- 7 学校のことについて
- 8 仕事・アルバイトのことについて
- 9 その他 ()

問11 あなたは、親や家族の人にもっとあなたの意見を聞いてほしいと思うことはありますか。
あてはまるもの1つに○をつけてください。

- 1 ある
- 2 ない
- 3 知りたいことがあるがいない (理由:)

問11で、1に○をつけた人にお聞きします。

問12 それはどんなことですか。
下の中からあてはまるものがあればすべてに○をしてください。

- 1 家族にとって重要なことについて (家のルール・家の手伝い)
- 2 旅行など家族と遊ぶことについて
- 3 進路や進学などの将来のことについて
- 4 新聞やテレビの話題のことについて
- 5 友だちや周りの人について
- 6 学校のことについて
- 7 仕事・アルバイトのことについて
- 8 その他 ()

問13 学校の中で、あなたの考えや思っていることを話せる人はいますか。
あてはまるもの1つに○をつけてください。

- 1 いる
- 2 いない

問13で、1に○をつけた人にお聞きします。

問14 伝えている内容は何ですか。あてはまるものに2つまで○をつけてください。

- 1 クラブや部活動 (内容・進め方) について
- 2 生徒会の活動について
- 3 学習の仕方、学校のルールについて
- 4 学校の施設について
- 5 文化祭や発表会、運動会、遠足などの学校行事について
- 6 友だちや周りの人について
- 7 家族のことについて
- 8 進路や将来のことについて
- 9 その他 ()

問15 地域で、あなたの考えや思っていることを話せる人 (家庭や学校以外の人) はいますか。
あてはまるもの1つに○をつけてください。

- 1 いる
- 2 いない

問15で、1に○をつけた人にお聞きします。

問16 話している内容は何ですか。あてはまるものに2つまで○をつけてください。

- 1 遊びやスポーツができる場所について
- 2 地域の行事を決めることについて
- 3 地域のボランティア活動について
- 4 自然環境を守ることについて
- 5 文化・芸術の体験活動について
- 6 家族のことについて
- 7 地域の人の様子について
- 8 友だちや周りの人について
- 9 家族のことについて
- 10 進路や将来のことについて
- 11 仕事・アルバイトのことについて
- 12 その他 ()

問 17 大井町では、大井のまちを良くするために、みなさんが利用する施設やサービスについて、みなさんの意見を反映させる取り組みを行っています。
あなたは、大井町に対して、自分の意見や思いを伝えたいと思いますか。
あてはまるもの1つに○をつけてください。

- 1 思う
- 2 どちらかといえばそう思う
- 3 あまりそう思わない
- 4 思わない
- 5 わからない

問 17で、1と2に○をつけた方にお聞きします。

問 18 大井町に対して、どんなことを伝えたいですか。次の中から、あてはまるもの3つに○をつけてください。(あてはまるものが、1つまたは2つだけでもかまいません)

- 1 自分の住む地域で起きている問題に関すること
- 2 公園や図書館などを使うためのルールに関することや使いやすく作りかえること、新しく建てることなど
- 3 家の周りの生活環境（住んでいる場所やまちの風景など）に関すること
- 4 社会問題（公園のごみが片付けられないや学校のいじめ）に関すること
- 5 学校生活に関すること
- 6 家族に関すること
- 7 自分の将来や進路に関すること
- 8 その他（具体的に)

問 19 どのような方法や手段があれば、大井町に意見を伝えやすいと思いますか。
あてはまるものすべてに○をつけてください。

- 1 LINE などのチャット
- 2 メール
- 3 インターネットのフォーム
- 4 LINE 以外の SNS (Instagram や X (旧 Twitter)、 TikTok など)
- 5 YouTube などの動画投稿
- 6 電話
- 7 手紙
- 8 アンケート用紙に記入する
- 9 同じ年代の人が集まるグループで意見を言い合う
- 10 たくさんの人の前で意見を発表する
- 11 インタビュー
- 12 わからない
- 13 その他（具体的に)

4 あなたの生活のことについてお聞きします。

問 20 地域の中に、遊んだりスポーツをしたり、やりたいことができる場所がありますか。
あてはまるもの1つに○をつけてください。

- 1 ある
- 2 ない
- 3 やりたいことはない

問 21 あなたには、遊んだり休んだり、自分の好きなことをする時間は十分にありますか。
あてはまるもの1つに○をつけてください。

- 1 ある
- 2 とどきがある
- 3 あまりない
- 4 ない

問 21で、3、4に○をつけた方にお聞きします。

問 22 遊んだり休んだり、自分の好きなことをする時間が十分ない理由は何ですか。
あてはまるものすべてに○をつけてください。

- 1 クラブや部活動
- 2 生徒会の活動
- 3 塾や習い事
- 4 学校の宿題・勉強
- 5 家族の世話（介護）
- 6 家事や手伝い
- 7 おこづかいがない
- 8 通院
- 9 地域の行事・ボランティア活動
- 10 仕事・アルバイト
- 11 その他 ()

問 23 あなたは「ヤングケアラー」ということばを知っていますか。
あてはまるもの1つに○をつけてください。

※ 「ヤングケアラー」とは、大人がすることだと思われているような家事や家族の世話などを、日常的に（特別なことではなく、いつものこととして）している18歳未満の子どもや若者のことです。

- 1 ことばも内容も知っている
- 2 ことばは聞いたことがある
- 3 知らない

問 24 家族の中にあなたがお世話をしている人はいませんか。(ここでいう「お世話」とは、大人が行うような家事や家族のお世話を指します。
あてはまるもの1つに○をつけてください。

- 1 いる
- 2 いない

問 24で、1に○をつけた方にお聞きします。

問 25 あなたがお世話をしている人は誰ですか。
あてはまるものすべてに○をつけてください。

- 1 母親
- 2 父親
- 3 祖父母
- 4 兄弟・姉妹
- 5 その他 ()

問24で、1に○をつけた方にお聞きします。

問26 お世話をしていることで、以下のような経験をされたことはありますか。
あてはまるものすべてに○をつけてください。

- | | |
|----------------------------|------------------|
| 1 学校を休んでしまう | 2 学校に遅刻や早退をしてしまう |
| 3 宿題など勉強をする時間がない | 4 眠る時間が足りない |
| 5 友だちと遊ぶことができない | 6 習い事ができない |
| 7 自分の時間が取れない | |
| 8 仕事・アルバイトに遅刻や早退をしたり休んでしまう | |
| 9 その他 () | 10 特にない |

問27 あなたにとって、ホッとできる場所はどこですか。
あてはまるものすべてに○をつけてください。

- | |
|---------------------------------|
| 1 自分の部屋など、家で一人で行られる場所 |
| 2 リビングなど家で家族といられる場所 |
| 3 友だちの家 |
| 4 祖父母や親せきの家 |
| 5 学校の教室 |
| 6 学校の保健室、カウンセリングルーム |
| 7 クラブ活動・部活動・塾・ピアノ・スポーツなどの習い事の教室 |
| 8 図書館、公民館など公共の施設 |
| 9 公園、山や川など自然のある場所 |
| 10 ゲームセンター、カラオケボックス、マンガ喫茶などのお店 |
| 11 コンビニエンスストア、ファーストフードなどのお店 |
| 12 仕事やアルバイト先 |
| 13 その他 () |
| 14 ホットとできる場所はない |

問28 あなたは、あなたの生活に満足していますか。10段階の中でお答えください。
あてはまるもの1つに○をつけてください。

全く満足していない	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	満足している
-----------	---	---	---	---	---	---	---	---	---	----	--------

5 あなたの将来についてお聞きします。

問29 あなたは、自分の将来について希望を持っていますか。
あてはまるもの1つに○をつけてください。

- | | |
|-----------------|-----------------|
| 1 希望がある | 2 どちらかといえば希望がある |
| 3 どちらかといえば希望がない | 4 希望がない |

問30 あなたは、将来、つきたい仕事はありますか。
あてはまるもの1つに○をつけてください。

- | | | |
|----------------|--------------------|-----------|
| 1 ある (具体的にあれば) | 2 いくつがあるが、まだ決めていない | 3 まだわからない |
|----------------|--------------------|-----------|

問31 将来のために今やっている (やろうと思う) ことはありますか。
あてはまるものすべてに○をつけてください。

- | |
|--------------------------------|
| 1 学校の勉強をしつかりやる (やっている) |
| 2 苦手な科目の勉強をしつかりやる (やっている) |
| 3 学校で習ったことをもって自分で調べてみる (調べている) |
| 4 興味のあることを自分で調べてみる (調べている) |
| 5 塾や習いごとをいっしょけんめいやる (やっている) |
| 6 仕事やアルバイトをやる (やっている) |
| 7 その他 () |
| 8 特にやっていない |

問32 おとなになって住みたいまちはどこですか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

- | | |
|-----------------|-------------------|
| 1 大井町に住みたい | 2 神奈川県内の別の場所に住みたい |
| 3 神奈川県外の場所に住みたい | 4 日本以外の国に住みたい |
| 5 わからない | |

6 その他についてお聞きします。

問33 あなたは、「子どもの権利」を知っていますか。
あてはまるもの1つに○をつけてください。

- ※ 「子どもの権利」には、「子どもの権利条約」に定められている次の4つの権利があります。
- ① 生きる権利…住む場所や食べ物がある。医りようが受けられる。命が守られる。
 - ② 育つ権利…教育を受けられる。持っている能力を伸ばせる。
 - ③ 守られる権利…ぎゃくたいを受けない。労働を強要されない。幸せをうばわれない。
 - ④ 参加する権利…自分の意見を自由に言える。団体活動を行ったり集会を開ける。

- | | |
|---------------|----------------------|
| 1 名前も内容も知っている | 2 名前は知っているが内容は知らなかった |
| 3 知らなかった | |

問34 あなたが、大井町や大人に「やってほしいこと」や「こんなことができたらいいな」と
思うことがあったら、自由に書いてください。

切手は貼らずに同封の封筒に入れて、7月31日(水)までにご返送ください。
調査にご協力いただき、ありがとうございました。

大井町

子育て支援に関するアンケート調査結果報告書

発行年月：令和6年8月

発行：大井町 子育て健康課

〒258-0019

神奈川県足柄上郡大井町金子1964番地1

電話：0465-83-8012